

# 平成25年度 夏期スクーリングの手引の訂正

教務課（試験係）

平成25年度『夏期スクーリングの手引』において、以下の訂正がありますので、お知らせいたします。

## 1 開講講座一覧表の訂正

『夏期スクーリングの手引』7頁に掲載している開講講座一覧表の第4期に誤りがあります。

誤			正		
第4期 8/13~8/15			第4期 8/13~8/15		
講座コード	講 座 名	担当講師名	講座コード	講 座 名	担当講師名
F1	宗 教 学	吉岡 司郎	F1	宗 教 学	吉岡 司郎
F2	経 濟 学	田村 和彦	F2	経 濟 学	田村 和彦
F3	英語 E	八木 茂那子	F3	英語 E	八木 茂那子
F4	英語 F	新井 英夫	F4	英語 F	新井 英夫
F5	ドイツ語 I・II	志田 憲	F5	ドイツ語 I・II	志田 憲
F6	国際法	渡部 茂己	F6	国際法	渡部 茂己
F7	民 法 IV	伊藤 文夫	F7	民 法 IV	伊藤 文夫
F8	商 法 I	小菅 成一	F8	商 法 I	小菅 成一
F9	行 政 学	山田 光矢	F9	行 政 学	山田 光矢
FA	国文学講義 II (中古)	笛生 美貴子	FA	国文学講義 II (中古)	笛生 美貴子
FB	国 文 法	阿久澤 忠	FB	国 文 法	阿久澤 忠
FC	国語学演習	鈴木 功真	FC	国語学演習	鈴木 功真
FD	英語学特殊講義	市川 泰弘	FD	英語学特殊講義	市川 泰弘
FE	英 文 法	真野 一雄	FE	英 文 法	真野 一雄
FF	英作文 II B	アレックス ブラウン	FF	英作文 II B	アレックス ブラウン
FG	英語学演習 E	田中 竹史	FG	英語学演習 E	田中 竹史
FH	英米文学演習 F	鈴木 ふさ子	FH	英米文学演習 F	鈴木 ふさ子
FJ	英米文学演習 G	榎本 義子	FJ	英米文学演習 G	榎本 義子
FK	西洋思想史 I	土屋 睦廣	FK	西洋思想史 I	土屋 睦廣
FL	哲学演習 B	本間 司	FL	哲学演習 B	本間 司
FM	古文書学	横山 則孝	FM	古文書学	横山 則孝
FN	西洋史演習	坂口 明	FN	西洋史演習	坂口 明
FP	日本経済論	飯島 正義	FP	日本経済論	飯島 正義
FQ	租 税 論	吉田 克己	FQ	租 税 論	吉田 克己
FR	交 通 論	針谷 莊司	FR	交 通 論	針谷 莊司
FS	国際金融論	谷川 孝美	FS	国際金融論	谷川 孝美
FT	会 計 学	田村 八十一	FT	会 計 学	田村 八十一
FU	教育の思想／教育原論	宮島 健次	FU	教育の思想／教育原論	宮島 健次
FW	教育制度論	長嶺 宏作	FW	教育制度論	長嶺 宏作
FX	道徳教育の研究／道徳教育の理論と方法	山岸 竜治	FX	道徳教育の研究／道徳教育の理論と方法	山岸 竜治
FY	博物館情報・メディア論	大塚 英明	FY	博物館情報・メディア論	大塚 英明
BY	マーケティング	佐藤 総			
C1	現代教職論	杉森 知也			
C2	教育カウンセリング論／教育相談	植松 紀子			
C3	社会科・地理歴史科教育法 II	間屋 雄一			
C4	英語科教育法 IV	岡田 善明			
C5	かな書法	山本 まり子			
C6	文化人類学	清水 享			
T2	博物館実習 I	折茂 克哉			

※左記の枠で囲まれた科目は、第4期  
では開講されませんので、留意して  
ください。

## 2 訂正事項

掲載頁	内 容	誤	正
17	「博物館実習 I」における受講条件	本誌2ページ参照	本誌3ページ参照
39	「経営学」における配当学年	2年	条件参照
49	講座テーマ「文法を重視した英作文の書き方」における講座名	英作文 II	英作文 I A
108	使用教材が『市販教材（市販本）』場合の（購入方法）欄	直接店頭（174ページを参照）で購入	直接店頭（124ページを参照）で購入
121	受講申込辞退願	平成24年度夏期スクーリング	平成25年度夏期スクーリング

以 上

# 平成25年度 夏期スクーリングの手引

**第1期** 8月 3日（土）～ 4日（日）

**第2期** 8月 6日（火）～ 8日（木）

**第3期** 8月 9日（金）～ 11日（日）

**第4期** 8月 13日（火）～ 15日（木）

**第5期** 8月 16日（金）～ 18日（日）

## スクーリング受講手続日程

①	受講届提出締切日	6／13(木) <u>在学生専用サポート(Web報)【24：00】</u> <u>窓口提出の場合【事務取扱時間内厳守】</u> <u>郵送の場合【消印有効】</u>
②	受講辞退手続締切日	7／22(月) <u>窓口提出の場合【事務取扱時間内厳守】</u> <u>郵送の場合【必着】</u>
③	受講料納入期限	7／29(月) <u>銀行窓口にて【厳守】</u>

※試験結果通知は、9月中旬に発送する予定です（在学生専用サポート（Web報）にも掲載）。

スクーリング併用試験方式を利用される方は上記①の前に、以下の②、③も手続きしてください。

②	履修登録締切日	6／ 4(火) <u>窓口提出の場合【事務取扱時間内厳守】</u> <u>郵送の場合【必着】</u>
③	リポート提出締切日	6／13(木) <u>窓口提出の場合【事務取扱時間内厳守】</u> <u>郵送の場合【必着】</u>



日本大学通信教育部

# はじめに

面接授業（スクーリング）とは、教員による直接の講義・演習・実技を受講することをいいます。その目的は、教材による在宅学習では十分に学習効果を上げることが困難な科目の一面を補い、教育効果を高めることにあります。このような主旨・目的から、スクーリングは卒業のための必修となっています。

本学の通信教育部では、学生に多くの受講機会が得られるよう、多種多様なスクーリングを開講しています。この『手引』は、その実施要領などをとりまとめて掲載しています。

スクーリングの受講を希望する場合には、手続きの前にこの『手引』をよく読み、その指示に従って受講してください。

## 【所定単位とスクーリングについてお知らせ】

所定単位とは、その科目を修得するために必要な単位数のことです。

スクーリングでは、開講単位数を1単位又は2単位で開講しています。そのため、多くの講座は、所定単位の半分の開講単位数になります。したがって、**スクーリングのみの受講の場合は、ある科目をスクーリングで1回受講・合格しても1科目の修得単位としては認められないため、所定単位を充足したことにはならず、成績証明書、教員免許状申請用学力に関する証明書等にも記載されません。**

大部分の科目において『学習要覧』にある科目的所定単位とスクーリングでの開講単位は異なります。所定単位と各スクーリングでの開講単位を十分確認してください。

## 【受講の調整について】

スクーリングには、十分な教育効果を得るために適正な受講者数の基準が設定されています。受講申込者数が、適正受講者数でない場合、大学側で受講の調整を行うことがあります。

調整にあたっては、「受講機会の均等」の観点から、各申込者の受講調整履歴、スクーリング受講状況、単位修得状況、在学年数等を総合的に判断し、対象者を確定しますので、あらかじめご了承ください。

なお、講座の適正人数は、およそ下表の人数を目安としますが、講座の特性、スクーリングの形態、スクーリング会場の試験時定員数、パソコン台数及び受講学生の履修要件等により、下表によらない場合もあります。

講 座	受講者数の上限	受講者数の下限
外国語科目講座	65名	5名
演 習 講 座	30名	5名
上記以外の講座	100名	10名

### 〔調整方法等〕

- 1 希望した講座が受講者数の上限を超えた場合、同時期に開講されている同じ科目的講座に振り分けることがあります。
- 2 超過人数の状況により新たに講座を増設（分割）して開講する場合があります。
- 3 上記①・②の方法で対応できない場合、調整対象者は当該講座の受講ができません。
- 4 受講申込者数が下限に満たない場合、開講を取りやめることができます。
- 5 「受講許可講座」及び「講師」の決定は、受講許可通知書にて通知します。したがって、受講許可講座以外の講座の受講は、認められません。また、一度決定した受講許可講座の追加・変更はできません。

## 目 次

<b>I 開講日程・会場と開講講座</b>	
1 開講日程及び会場	26
2 開講講座一覧表（第1期～第5期）	
<b>II 講座の選定と講座内容（シラバス）</b>	
1 受講講座の選定	9
2 各期の開講講座表と講座内容（シラバス）	12
・第1期	13
・第2期	16
・第3期	38
・第4期	60
・第5期	78
<b>III 講座の申込方法</b>	
1 受講手続の流れ	98
2 講座を申し込む	99
3 受講講座の変更・追加	103
<b>IV 申込講座の許可と不許可</b>	
1 受講許可通知書を確認する	104
2 講座振り分け及び受講不許可について	104
3 許可講座を辞退する	105
<b>V 受講料の納入</b>	
1 受講料	106
2 納入期限	106
3 納入方法	106
<b>VI 受講準備</b>	
1 使用教材の購入	108
2 「休暇依頼状（勧奨状）」と「出席証明書」の発行	110
3 通学定期券の購入	110
4 「学割証」の発行（長距離区間乗車時の学生割引制度）	111
5 託児室について	113
<b>VII 受講及び試験</b>	
1 講座の受講	114
2 試験の受験	114
3 スクーリング結果の確認	115
<b>VIII 受講期間中の学生生活</b>	
1 受講にあたっての諸注意	116
2 初めて夏期スクーリングを受講する学生へ	117
3 諸届と課外活動（学友会・研究会・同好会等）	117
4 スクーリング開講期間中の学生相談室	118
5 「千代田区生活環境条例」について	118
6 緊急時の避難行動の指針について	118
<b>IX 各種用紙</b>	
教材購入用紙（丸沼書店用）	123
教材購入願（通信教育教材購入用）	125
追加科目履修届	127
通学定期乗車券発行控	129
学割証交付願	131
託児室利用登録書	133
滞在先届	135
休暇依頼状（勧奨状）申込書	137
＜受講申込辞退願＞平成25年度夏期スクーリング	139
<b>付録</b>	
1 夏期スクーリング宿泊施設の利用案内	141
2 交通案内・校舎案内	157
＜受講届＞夏期スクーリング	

# I 開講日程・会場と開講講座

## 1 開講日程及び会場

### ① 開講日程

夏期スクーリングは、「3日間集中講義型」で行われます。

第1期～第5期の全5期で開講し、最多で合計5講座まで受講できます。

第1期 8月 3日(土)～4日(日) ※第1期は「保健体育講義Ⅰ」のみの開講です。

第2期 8月 6日(火)～8日(木)

第3期 8月 9日(金)～11日(日)

第4期 8月13日(火)～15日(木)

第5期 8月16日(金)～18日(日)

授業時間各日 9:00～17:30 (時間内に昼休みを設けます)

		第1期		第2期			第3期			第4期			第5期				
		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
		土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
授業時間	9:00 ～ 17:30	授業1日目 授業2日目 試験															

### ② 会場

#### (1) 授業校舎

授業は主として通信教育部校舎及びその周辺の本学校舎で行います。ただし、「博物館実習Ⅰ」、「体育実技」は文理学部校舎で行います。

##### 【講義科目・演習科目】

名 称	日本大学通信教育部1・3号館及び本学校舎周辺
所 在 地	通信教育部 東京都千代田区三崎町2-2-3
交 通 案 内	水道橋駅から徒歩5分 神保町駅から徒歩7分

※ 授業講堂は本学通信教育部ホームページの新着情報にて事前にお知らせするとともに、授業開始初日に通信教育部1号館1階掲示板に掲示します。

#### (2) 会場(授業校舎)が他と異なる講座(日本大学文理学部での受講講座)

##### ア 「保健体育講義Ⅰ」(第1期) 及び「体育実技」(第2期)について

「保健体育講義Ⅰ」及び「体育実技」は、他の講座と異なり文理学部校舎で受講します。以下の事項をよく確認ください。

###### a 開講日程

「体育実技」 8月6日(火)～8日(木) 9:00～17:30

「保健体育講義Ⅰ」 8月3日(土)・4日(日) 10:00～16:30

※ 開講日程及び授業時間が他の期と異なるため、留意してください。

**b 受講会場**

日本大学文理学部（後掲「案内図」参照）

**c 持参物**

- ・運動のできる服装（トレーニングウェア等）\*
  - ・室内用運動靴\*
  - ・健康保険証\*
  - ・筆記用具
  - ・スクーリングの手引
  - ・スクーリング受講許可通知書兼領収書
- \*「保健体育講義Ⅰ」の受講生は不要

**d 集合場所・集合時間**

「体育実技」は日本大学文理学部百周年記念館入口に8時45分に集合（時間厳守）

※実施期間中は、百周年記念館入口に集合し、出席確認を受けた後、各自が持参した運動のできる服装に更衣室で着替え、受講会場内で待機してください。

「保健体育講義Ⅰ」は授業開始時間までに文理学部3号1階掲示板にて講堂を確認し、移動してください。

**e 受講について**

体育実技は卒業必修科目となっていますが、疾病その他身体障害の理由で実技自体の参加が困難であると思われる方は、受講申込前（「受講届」提出前）に教務課に連絡してください（TEL 03-5275-8911）。

**f 「体育実技」受講上の注意事項**

- ・ジーンズや普段着での受講はできません。
- ・更衣室は、百周年記念館にあります。
- ・貴重品は、各自で管理してください。
- ・授業開始15分前から出席をとります。必ず遅れることのないようにしてください。
- ・文理学部周辺は住宅街で付近に食事をする場所が少なく、また、当日、文理学部内の食堂は利用できない可能性があるため、食事はなるべく持参することをお勧めします。

**イ 「博物館実習Ⅰ」（第2期）について**

「博物館実習Ⅰ」は、他の講座と異なり文理学部校舎で受講します。また、以下の受講条件等を確認の上、申し込んでください。

**a 開講日程**

8月6日（火）～8日（木） 9：00～17：30

**b 受講会場**

日本大学文理学部1号館1階「学芸員課程実習室」

※「学芸員課程実習室」の場所は受講許可通知時に案内します。

**c 受講条件（対象者）**

- 1 Dカリキュラムの3学年以上で、「生涯学習論」、「博物館概論」、「博物館経営論」及び「博物館資料論」の4科目をすでに修得済みであること。
- 2 これまで「博物館実習Ⅰ」を受講していないこと。

**d 受講許可**

- 1 受講申込者のうち、前述の「C 受講条件」を充足しているか審査します。
- 2 受講許可者には、博物館実習Ⅰ専用の「受講許可通知書兼納金票」を送付します。

※受講定員は 20 名です。受講許可者数が受講定員を超えた場合は、別の開講期に増設して開講する予定です。  
なお、増設して開講する場合、講座は大学側で指定します。あらかじめご了承ください。

#### e 受講料の納入

受講希望者は、以下のいずれかの方法で以下の納入期限までに、受講料を納入してください。

【受講料】20,000 円（スクーリング受講料 10,000 円、諸経費 10,000 円）

※他の講座と金額が異なりますので、注意してください。

【納入期限】7 月 29 日（月）

1 窓口での納入：通信教育部会計課窓口で博物館実習 I 専用の「受講許可通知書兼納金票」にて、納入期限までに納入してください。

2 郵送による納入：博物館実習 I 専用の「受講許可通知書兼納金票」、「受講料」（郵便為替）及び「返信用封筒」（受講許可通知書返送用（80 円切手貼付））の 3 点を会計課あてに送付（納入期限必着）し、納入してください。受講料を現金で納入する場合は上記 3 点を、現金書留にて送付してください（納入期限必着）。受領後、「領収書兼受講許可通知書」を返送します。

※納入期限までに納入がない場合は、受講辞退とみなします。

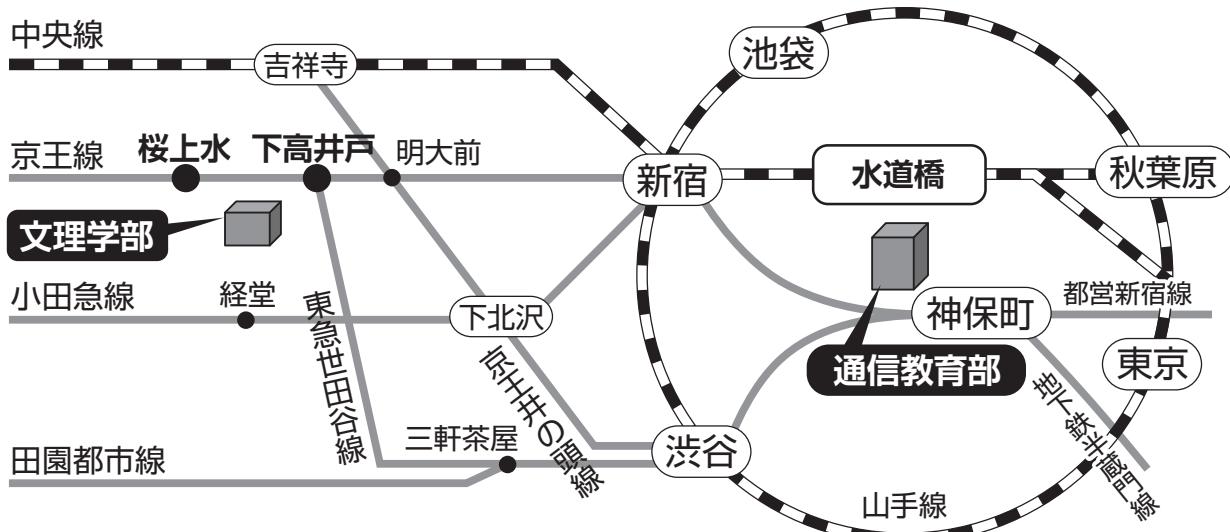
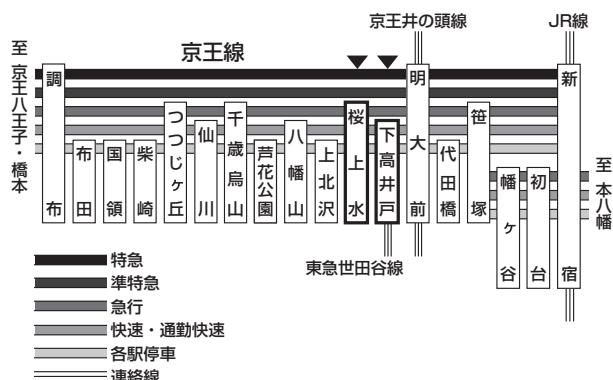
#### f 注意事項

1 当日は、動きやすい服装で受講してください。

2 講義内容の詳細は、シラバスを参照してください。

## 〈文理学部案内図〉

住 所  
東京都世田谷区桜上水3-25-40  
交通案内  
京王線下高井戸駅及び桜上水駅下車  
徒歩約10分



## 2 開講講座一覧表（第1期～第5期）

第1期 8/3~8/4			第2期 8/6~8/8		
講 座 コード	講 座 名	担当講師名	講 座 コード	講 座 名	担当講師名
A1	保健体育講義 I	高橋 正則	B1	哲 学	小山 英一
			B2	英語 A	天野 晓子
			B3	英語 B	桑山 啓子
			B4	英語V	小田井 勝彦
			T1	体育実技 I・II	吉本 俊明
			B5	東洋史入門	須江 隆
			B6	民 法 I	益井 公司
			B7	刑 法 II	尾田 清貴
			B8	民事訴訟法	松本 幸一
			B9	政治学原論	吉野 篤
			BA	外 交 史	佐渡友 哲
			BB	国文学講義V(近代)	小平 麻衣子
			BC	国語音声学	田中 ゆかり
			BD	漢文学 I	青木 隆
			BE	文章表現演習	近藤 健史
			BF	イギリス文学史 I	鈴木 ふさ子
			BG	英 語 史	真野 一雄
			BH	英作文II A	ダレル ハーディ
			BJ	放送英語	アレックス ブラウン
			BK	英米事情II	小山 誠子
			BL	英語学演習 A	青木 啓子
			BM	英米文学演習 B	岩城 久哲
			BN	宗教学概論	小林 紀由
			BP	科学哲学	江川 晃
			BQ	日本史概説	小形 利彦
			BR	西洋史特講II	高草木 邦人
			BS	日本史演習 I・II	閔 幸彦
			BT	経済学史	高橋 宏幸
			BU	地方財政論	野田 裕康
			BW	情報概論 A	中村 典裕
			BX	貿 易 論	飯野 文
			BY	マーケティング	佐藤 稔
			C1	現代教職論	杉森 知也
			C2	教育カウンセリング論／教育相談	植松 紀子
			C3	社会科・地理歴史科教育法II	閔屋 雄一
			C4	英語科教育法IV	岡田 善明
			C5	かな書法	山本 まり子
			C6	文化人類学	清水 享
			T2	博物館実習 I	折茂 克哉

第3期 8/9~8/11

講座コード	講座名	担当講師名
D1	総合科目	根岸 良征
D2	法 学	根本 晋一
D3	英語 C	大住 有里子
D4	英語 D	北原 安治
D5	英語基礎	上島 美佳
D6	フランス語 I・II	大庭 克夫
D7	中国語 I・II	稻葉 明子
D8	英米文学概説	竹野 一雄
D9	哲学基礎講読	宮原 琢磨
DA	憲 法	名雪 健二
DB	民 法 V	矢田 尚子
DC	商 法	鬼頭 俊泰
DD	法学特殊講義 I・II	山岡 永知
DE	西洋政治史	渡邊 容一郎
DF	国文学講義IV(近世)	佐藤 至子
DG	文章表現法	木村 一
DH	国文学演習 A	藤平 泉
DJ	イギリス文学史II	猪野 恵也
DK	英作文 I A	石川 勝
DL	英語音声学	森 晴代
DM	スピーチコミュニケーション I	ダレル ハーディ
DN	英語学演習 C	秋葉 倫史
DP	英米文学演習 D	野口 肇
DQ	倫理学特殊講義	金子 佳司
DR	哲学演習 A	長谷川 武雄
DS	西洋史概説	池本 今日子
DT	東洋史演習	高綱 博文
DU	考古学演習	寺内 隆夫
DW	経済原論	関谷 喜三郎
DX	日本経済史	古賀 義弘
DY	社会政策論	今井 拓
E1	経営学	松本 芳男
E2	特別活動の研究／特別活動論	今泉 朝雄
E3	生徒指導・進路指導論	野々村 新
E4	社会科・公民科教育法 I	壽福 隆人
E5	地誌学	永野 征男
E6	国語科教育法 II	品川 利幸
E7	博物館経営論	中野 照男

第4期 8/13~8/15

講座コード	講座名	担当講師名
F1	宗教学	吉岡 司郎
F2	経済学	田村 和彦
F3	英語 E	八木 茂那子
F4	英語 F	新井 英夫
F5	ドイツ語 I・II	志田 慎
F6	国際法	渡部 茂己
F7	民法 IV	伊藤 文夫
F8	商法 I	小菅 成一
F9	行政学	山田 光矢
FA	国文学講義 II(中古)	笹生 美貴子
FB	国文法	阿久澤 忠
FC	国語学演習	鈴木 功眞
FD	英語学特殊講義	市川 泰弘
FE	英文法	真野 一雄
FF	英作文 II B	アレックス ブラウン
FG	英語学演習 E	田中 竹史
FH	英米文学演習 F	鈴木 ふさ子
FJ	英米文学演習 G	榎本 義子
FK	西洋思想史 I	土屋 瞳廣
FL	哲学演習 B	本間 司
FM	古文書学	横山 則孝
FN	西洋史演習	坂口 明
FP	日本経済論	飯島 正義
FQ	租税論	吉田 克己
FR	交通論	針谷 莊司
FS	国際金融論	谷川 孝美
FT	会計学	田村 八十一
FU	教育の思想／教育原論	宮島 健次
FW	教育制度論	長嶺 宏作
FX	道徳教育の研究／道徳教育の理論と方法	山岸 竜治
FY	博物館情報・メディア論	大塚 英明
BY	マーケティング	佐藤 稔
C1	現代教職論	杉森 知也
C2	教育カウンセリング論／教育相談	植松 紀子
C3	社会科・地理歴史科教育法 II	関屋 雄一
C4	英語科教育法 IV	岡田 善明
C5	かな書法	山本 まり子
C6	文化人類学	清水 享
T2	博物館実習 I	折茂 克哉

第5期 8/16~8/18		
講座コード	講 座 名	担当講師名
H1	歴史学	下川 雅弘
H2	政治学	関根 二三夫
H3	英語 G	石黒 恭代
H4	英語 H	寒河江 融
H5	英語 J	山本 由布子
H6	中国語Ⅲ・Ⅳ	稻葉 明子
H7	英語学概説	山岡 洋
H8	西洋古典	元氏 久美子
H9	民法Ⅲ	根本 晋一
HA	商法Ⅲ	福田 弥夫
HB	国際政治学	大八木 時広
HC	国文学概論	武藤 純子
HD	国文学講義 I (上代)	梶川 信行
HE	国文学演習 B	長谷川 正江
HF	英作文 I B	安田 比呂志
HG	英語学演習 H	青木 克憲
HH	英米文学演習 J	堤 裕美子
HJ	英米文学演習 K	佐藤 秀一
HK	西洋思想史 II	瀧田 寧
HL	哲学概論	齋藤 隆
HM	哲学特殊講義	齋藤 瞳
HN	考古学特講 I	野中 和夫
HP	日本史特講 II	坂口 太助
HQ	西洋史特講 I	後藤 秀和
HR	国際経済論	陸 亦群
HS	経済開発論	辻 忠博
HT	情報概論 B	一島 力男
HU	広告論	樋口 紀男
HW	中小企業論	山本 聰
HX	発達と学習	陶山 智
HY	教育の方法・技術論	池田 有里子
J1	英語科教育法Ⅲ	市川 泰弘
J2	経済地理学	佐藤 俊雄

# II 講座の選定と講座内容（シラバス）

## 1 受講講座の選定

### ① 受講講座を選ぶ

このスクーリングでは、第1期～第5期の各期から1講座（最多5講座）申込みできます。各自、入学時に配布された『学習要覧』やコース履修者は『コース履修の手引』を参照し、自分が履修しなければならない科目を把握し、学習計画を立てた上で受講申込をしてください。

### ② 受講制限について

すべての方がすべての講座を申し込めるのではありません。自分の学年・学科（専攻）、カリキュラム及びその他の理由により申し込むことができない講座があります。以下、それぞれの受講制限を掲載しますので、必ず確認の上、申込みしてください。

#### （1）配当学年による受講制限

##### ア 1学年生

各期の「開講講座表」の「配当学年」欄に「1年」と記載されている講座のみ受講可能です。それ以外の講座は受講できません。

なお、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

##### イ 2学年生

各期の「開講講座表」の「配当学年」欄に「1年」又は「2年」と記載されている講座の受講が可能です。それ以外の講座は受講できません。

なお、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

##### ウ 3・4学年生

配当学年による受講の制限はありませんが、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

#### （2）科目履修生の受講制限

入学時の「履修申請書」で履修登録した科目に該当する講座のみ受講できます。

なお、科目履修生は「スクーリング併用試験方式」での申込み・受講はできないので注意してください。

#### （3）カリキュラムによる受講制限

カリキュラムの適用により、受講できない講座があります。自分のカリキュラムを次ページで確認し、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄を参照してください。

## 【平成 25 年度のカリキュラム適用状況】

各自の学生（科目履修生）番号は8桁で構成されていますが、そのうち3～5桁目を下表に照らし合わせて各自のカリキュラムを確認してください。

種別	入学年度	学生（科目履修生）番号の 3～5桁目の表示		適用カリキュラム
		4月生	10月生	
正科生	平成 13 年度	** 015 ***		C カリキュラム
	平成 14 年度	** 021 ***	** 025 ***	
			** 026 ***	
	平成 15 年度	** 031 ***	** 035 ***	
		** 032 ***	** 036 ***	
			** 037 ***	
	平成 16 年度	** 041 ***	** 045 ***	
		** 042 ***	** 046 ***	
		** 043 ***	** 047 ***	
			** 048 ***	
平成 17 年度	** 051 ***	** 055 ***		D カリキュラム
	** 052 ***	** 056 ***		
	** 053 ***	** 057 ***		
	** 054 ***	** 058 ***		
	** 061 ***	** 065 ***		
	** 062 ***	** 066 ***		
	** 063 ***	** 067 ***		
	** 064 ***	** 068 ***		
	** 071 ***	** 075 ***		
	** 072 ***	** 076 ***		
平成 20 年度	** 073 ***	** 077 ***		C カリキュラム
	** 074 ***	** 078 ***		
	** 081 ***	** 085 ***		
	** 082 ***	** 086 ***		
平成 21 年度	** 083 ***	** 087 ***		D カリキュラム
	** 084 ***	** 088 ***		
	** 091 ***	** 095 ***		
	** 092 ***	** 096 ***		
平成 22 年度	** 093 ***	** 097 ***		C カリキュラム
	** 094 ***	** 098 ***		
	** 101 ***	** 105 ***		
	** 102 ***	** 106 ***		
平成 23 年度	** 103 ***	** 107 ***		D カリキュラム
	** 104 ***	** 108 ***		
	** 111 ***	** 115 ***		
	** 112 ***	** 116 ***		
平成 24 年度	** 113 ***	** 117 ***		C カリキュラム
	** 114 ***	** 118 ***		
	** 121 ***	** 125 ***		
	** 122 ***	** 126 ***		
平成 25 年度	** 123 ***	** 127 ***		D カリキュラム
	** 124 ***	** 128 ***		
	** 131 ***	** 135 ***		
	** 132 ***	** 136 ***		
科目 履修生	** 133 ***	** 137 ***		D カリキュラム
	** 134 ***	** 138 ***		
平成 24 年度	** 120 ***	_____		
平成 25 年度	** 130 ***	_____		

#### (4) その他の理由による受講制限

以下のいずれかに該当する場合、その講座は受講できません。

ア 既に所定単位を修得している科目及び単位修得方式が確定している科目を充当科目とする講座の受講

イ 過去に受講し、合格した科目（充当科目）と同一担当講師の科目（充当科目）で授業内容も同一である講座の受講

次のa～cのすべてに該当する講座は申込みできません。

a 科目名（充当科目名）が同じである（「講座名」ではなく、「科目名（充当科目名）」です）。

b 担当講師が同一である。

c 講義内容が全く同一である。

※ 講義内容を参照し、授業のねらい等が全く同一の場合は申込みできません。

ウ 受講の調整による受講制限

一部の講座については、申込希望者が講座の適正人員を超える場合があり、この場合、大学側で受講の調整を行います。

調整により、受講申込講座と異なる講座での受講を許可する場合や、受講不許可となる場合があります。

そのため、必ず「受講許可通知書」にて、講座名・担当講師を確認し、許可された講座を受講してください（受講許可講座と異なる講座の受講は、認められません）。

## 2 「教職に関する科目」における新・旧科目について

平成23年度に下表の「教職に関する科目」4科目については、科目名称が変更となり、平成23年度1学年入学者から学年進行により順次、新科目名での履修となります。

スクーリングの開講にあたっては、同一講座で新・旧両方の科目を充当科目として開講しますので、下表により適用となる充当科目を確認の上、受講申込みをしてください。

旧科目名		新科目名	
0904	教育の思想	0901	教育原論
0941	道徳教育の研究	0940	道徳教育の理論と方法
0942	特別活動の研究	0943	特別活動論
0947	教育カウンセリング論	0937	教育相談
旧科目名での履修対象者		新科目名での履修対象者	
右記以外の学生		入学年度	入学形態
		平成23年度	1学年入学生
		平成24年度	1学年入学生 2学年編入・再入学生 科目履修生
		平成25年度	1学年入学生 2学年編入・再入学生 3学年編入・再入学生 科目履修生

## 2 各期の開講講座表と講座内容（シラバス）

### 「開講講座表」の見方

1	講座コード	スクーリング開講講座を識別するために講座ごとに付された固有のコード番号です。 「受講届」の「講座コード」欄（2行）には、この講座コードを記入してください。	
2	開講講座名	講座の名称です。原則、科目名と同一ですが、「英語」等のように複数開講される講座については、講座名の後ろにアルファベット等の記号を付して各講座を識別します。	
3	担当講師名	当該講座を担当する教員の名前です。	
4	充当科目（科目コード、科目名）	受講講座の合格により成績評価の対象となる科目コードと科目名です。スクーリングの開講単位は「講座」であり、その「講座」に対してどの「科目（科目コード）」で受講するか（充当させるのか）を申告します。多くの講座の充当科目は限定的ですが、「英語」や「演習科目」のように受講者の単位修得状況により充当科目の選択が必要な講座もあるので、充当科目の選定は慎重に行ってください。 「受講届」の「充当科目コード」欄（4行）には、この科目コードを記入してください。	
5	受講方式	「スクーリング併用試験方式」による受講の対象講座か否を記載しています。「スクーリング併用試験方式」による受講ができない講座には、「※印」が記載されています。	
6	制限・注意	配 当 学 年	ここに記載されている学年に達していない場合は受講できません。 学部・学科（専攻）により受講可能な学年が異なる場合は、「受講条件」欄に記載されています。
		カリキュラム	D カリキュラムのみ履修可能な講座には「D」と記載されています。なお、空欄の場合は、全カリキュラムが受講可能です。
		受 講 条 件	その他の受講制限及び諸注意等がある場合に記載されています。

## 各期の開講講座表と講座内容（シラバス）

# 第1期

日 程	授 業 時 間		備 考
8月 3日	土	10:00 ~ 16:30	※時間内に昼休みを設けます。
8月 4日	日	10:00 ~ 16:30	

※以下の第1期開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		受講 方 式	制 限・注 意		
			科 目 コ ー ド	科 目 名		配 当 学 年	カ リ キ ュ ラ ム	受 講 条 件
A1	保健体育講義 I	高橋 正則	0074	保健体育講義 I	※	1年		スクーリング1回の合格で単位完成する科目です

### 注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

## 講座内容（シラバス）

### ◆運動・スポーツと健康体力の理解

### 〔保健体育講義Ⅰ〕

開講単位：1単位 担当者：高橋 正則

◆**学習目標** 運動・スポーツを理解するとともに、健康・体力の維持増進の必要性とその方法について理解を深める。そのため、運動・スポーツ・健康をキーワードとした関連用語の知識を身につける。

◆**授業方法** 講義形式の授業により、毎回配布資料に沿って進めていく。時折、受講生の意見や考えを聞きながら字授業を進めていきたい。

◆**準備学習** 最も関心のあるスポーツのルールを覚えたり、テレビ等で放送されている映像を見ることによって、自らがスポーツや運動を楽しむ態度を培ってください。

◆**授業計画** [1日目：360分, 2日目：360分]

1日目	・健康について、体力の維持、エネルギー論的体力とその維持増進、呼吸循環器系体力とその増進。
2日目	・スポーツ技能の上達とは何か、またその方法、レジャー・レクリエーション、チャンピオン・スポーツ、まとめ、テスト。

◆**教科書** プリント配布

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 授業の取り組み及び試験結果を総合的に評価する。

◆**E-Mail :**

MEMO

## 各期の開講講座表と講座内容（シラバス）

# 第2期

日 程		授 業 時 間	備 考
8月 6日	火	9:00～17:30	※時間内に昼休みを設けます。
8月 7日	水	9:00～17:30	
8月 8日	木	9:00～17:30 <試験も含む>	

※以下の第2期開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		受講 方 式	制 限・注 意					
			科 目 コ ー ド	科 目 名		配当 学 年	カリ キ ュ ラム	受 講 条 件			
B1	哲 学	小山 英一	0011	哲 学		1年					
B2	英 語 A	天野 晓子	0041	英 語 I	1年		I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。				
			0042	英 語 II							
			0043	英 語 III	2年						
			0044	英 語 IV							
B3	英 語 B	桑山 啓子	0041	英 語 I	1年		I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。				
			0042	英 語 II							
			0043	英 語 III	2年						
			0044	英 語 IV							
B4	英 語 V	小田井 勝彦	0045	英 語 V		2年		英文学専攻のみ申込可			
T1	体育実技Ⅰ・Ⅱ	吉本 俊明	0077	体 育 実 技 I	※	1年	I・IIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。 スクーリング1回の合格で単位完成する科目です				
B5	東洋史入門	須江 隆	0096	東洋史入門							
B6	民 法 I	益井 公司	0131	民 法 I		2年		法律学科のみ1学年以上申込可 その他は2学年以上申込可			
B7	刑 法 II	尾田 清貴	0152	刑 法 II		2年					
B8	民 事 訴 訟 法	松本 幸一	0160	民 事 訴 訟 法		2年					
B9	政 治 学 原 論	吉野 篤	0210	政 治 学 原 論		条件 参 照		政治経済学科のみ1学年以上申込可 その他は2学年以上申込可			
BA	外 交 史	佐渡友 哲	0222	外 交 史		2年					
BB	国文学講義V(近代)	小平 麻衣子	0338	国文学講義V(近代)		2年					
BC	国 語 音 声 学	田中 ゆかり	0356	国 語 音 声 学		2年					
BD	漢 文 学 I	青木 隆	0371	漢 文 学 I		2年					
BE	文 章 表 現 演 習	近藤 健史	0378	文 章 表 現 演 習	※	2年		国文学専攻のみ申込可			
BF	イギリス文学史 I	鈴木 ふさ子	0411	イギリス文学史 I		条件 参 照		英文学専攻のみ1学年以上申込可 その他は2学年以上申込可			
BG	英 語 史	真野 一雄	0441	英 語 史		2年					

### 注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	充当科目		受講方式	制限・注意		
			科目コード	科目名		配当学年	カリキュラム	受講条件
BH	英作文Ⅱ A	ダレル ハーディ	0448	英作文Ⅱ	※	2年		スクーリング1回の合格で単位完成する科目です
BJ	放送英語	アレックス ブラウン	0471	放送英語	※	2年		スクーリング1回の合格で単位完成する科目です
BK	英米事情Ⅱ	小山 誠子	0477	英米事情Ⅱ	※	2年		英文学専攻のみ申込可 スクーリング1回の合格で単位完成する科目です
BL	英語学演習A	青木 啓子	0481	英語学演習I	※	3年		英文学専攻のみ申込可 I～IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
			0482	英語学演習II				
			0483	英語学演習III				
BM	英米文学演習B	岩城 久哲	0486	英米文学演習I	※	3年		英文学専攻のみ申込可 I～IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
			0487	英米文学演習II				
			0488	英米文学演習III				
BN	宗教学概論	小林 紀由	0532	宗教学概論		2年		
BP	科学哲学	江川 晃	0575	科学哲学		2年		
BQ	日本史概説	小形 利彦	0620	日本史概論		2年		法学部のみ申込可
			0621	日本史概説				文理・経済・商学部のみ申込可
BR	西洋史特講Ⅱ	高草木 邦人	0670	西洋史特講Ⅱ	※	2年		
BS	日本史演習Ⅰ・Ⅱ	関 幸彦	0681	日本史演習I	※	3年		史学専攻のみ申込可 I・IIのどちらに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
			0682	日本史演習II				
BT	経済学史	高橋 宏幸	0713	経済学史		2年		文理・経済・商学部のみ申込可
			0714	経済学説史				
BU	地方財政論	野田 裕康	0743	地方財政論		2年		
BW	情報概論A	中村 典裕	0773	情報概論		2年		
BX	貿易論	飯野 文	0822	貿易論		2年		
BY	マーケティング	佐藤 稔	0823	マーケティング		2年		
C1	現代教職論	杉森 知也	0903	現代教職論	※	2年		スクーリング1回の合格で単位完成する科目です
C2	教育カウンセリング論／教育相談	植松 紀子	0937	教育相談	※	2年		本誌11ページを参照 スクーリング1回の合格で単位完成する科目です
			0947	教育カウンセリング論				
C3	社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	関屋 雄一	0958	社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	※	2年		法学部・哲学専攻・史学専攻・経済学部・商学部のみ申込可 スクーリング1回の合格で単位完成する科目です
C4	英語科教育法Ⅳ	岡田 善明	0962	英語科教育法Ⅳ	※	2年		英文学専攻のみ申込可 スクーリング1回の合格で単位完成する科目です
C5	かな書法	山本まり子	0981	かな書法	※	2年		国文学専攻のみ申込可 スクーリング1回の合格で単位完成する科目です
C6	文化人類学	清水 享	2009	文化人類学		2年	D	
T2	博物館実習Ⅰ	折茂 克哉	2004	博物館実習Ⅰ	※	3年	D	所定の4科目が履修済であること 詳細は本誌2ページを参照

## 講座内容（シラバス）

### ◆哲学の伝統を楽しく学ぼう

〔哲学〕

開講単位：2単位 担当者：小山 英一

#### ◆学習目標

- ・「哲学」という言葉の成立とその意味を知ろう。
- ・さまざまな哲学（西欧）の考え方について触れてみよう。
- ・さまざまな学者たちの言葉に触れてみよう。

#### ◆授業方法

- ・下記テキストと配布プリントを中心に講義形式で授業を行う（テキストは必ず購入してください）。
- ・配布プリントの資料を指名して読んでもらう（テキストと配布プリントをゆっくり読みながら授業を進めています）。

#### ◆準備学習

- ・下記授業計画の該当箇所（1日目、2日目）をあらかじめ読んでおきましょう。注：授業計画の（ ）内はテキスト該当ページです。

#### ◆授業計画〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	・「哲学」という言葉の成立とその意味。 ・ソフィスト（p.184, 96-98, 22, 23） ・ソクラテス（p.24, 98, 185, 186）
2日目	・プラトン（p.25-31, 99, 100, 187, 188） ・アリストテレス（p.32-39, 100-102, 189, 190） ・デカルト（p.64-67, 114-115（p.217））
3日目	・ベーコン（p.118-120） ・カント（p.76-78, 126-128, 225-227） ・ベンサムとミル（p.228-230）

#### ◆教科書

通材『哲学 0011』通信教育教材（教材コード 000404）3,250円（送料込）〈この教材は市販の『西洋思想の要諦周覧』嘉吉純夫・齋藤隆著（北樹出版）と同一です〉  
配布プリント

#### ◆参考書

必要に応じて講義中に紹介する。

#### ◆成績評価基準

試験（80%，記述式2問×40点）と課題提出（20%，2回×10点）

#### ◆E-Mail：

### ◆英語名文を読む楽しさを味わう

〔英語 A〕

開講単位：1単位 担当者：天野 晓子

#### ◆学習目標

英語名文を読む楽しみを味わいながら、英語の基本重要文型100をしっかりと身に着けます。正確に読むことは、聞くこと、話すこと、書くことの基本となります。音読を繰り返して、「音」と「文字」がつながるようにしていきます。

#### ◆授業方法

各Chapterの基本文型、重要な単語句・文を確認。Reading Passageを音読し、内容を理解します。「Dialogue」では、各自のリスニングに加え、シャドーイング、ロールプレイを発表します。「Oral Composition」は暗唱できるまで繰り返します。音読補助として、発音練習用DVDなども活用します。各Chapter毎に小テスト、聴き取りなどを行います。積極的な授業参加が求められます。

#### ◆準備学習

中学・高校の参考書などをよく復習することを勧めます。  
テキストは予め、よく読み、辞書を引き、予習をしておいてください。

#### ◆授業計画〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	ガイダンス（進度は受講生の習熟度、クラスの人数等により変更することがある） Chapter 1 Dates We can't Forget Chapter 2 Professor Donald Keene Chapter 3 The Cherry Blossoms of Washington DC
2日目	Chapter 4 The Pink Dog Chapter 5 The Miracle of Trees Chapter 6 Nothing New under the Sun Chapter 7 Exporting the Mottainai Movement
3日目	Chapter 8 The Bear Spirit Chapter 9 Technology and Language 試験

#### ◆教科書

丸沼『Enjoyable Reading II 「続・読んで身につく基本文型100」』

Joan McConnell, 武田 修一 成美堂 2013年, 2,310円（税込）（送料340円）

#### ◆参考書

英和辞書を必ず持参してください（電子辞書は可ですが、授業でのスマートやタブレット系辞書の使用は不可です）

#### ◆成績評価基準

発表（30%）、小テスト等（20%）、筆記試験（50%）、全出席を前提とし総合的に評価します。

#### ◆E-Mail：

## ◆英文を正確に読む

〔英語 B〕

開講単位：1単位 担当者：桑山 啓子

◆**学習目標** テキストの英文を正確に読み、かつ英文全体で著者が言いたいことが何であるかをとらえることができるようになるのを目標として授業を進めて行く。

◆**授業方法** 授業は演習形式で進め、学生全員に本文の音読と和訳、英文の内容についての説明、Exercise の答えなどを発表してもらう。その後教師が間違いを訂正し、重要な箇所を説明する。また学生の方で予め英文を読んだ時に分からぬ英文を授業の中で指摘してもらって、そこを中心に解説していく。学習者の実力に合わせてテキストを進めて行くのでシラバスは目安にしてほしい。

◆**準備学習** 予習をしてあることを前提に授業を進めるので、テキストを購入して授業で読んでいく予定の箇所を予習しておくこと。分からぬ単語、熟語を調べ、和訳できるようにしておくこと。分からぬ英文をチェックして授業の中で質問できるようにしておくこと。

◆**授業計画** (1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分)

1日目	(午前) ガイダンス／Unit 1 - Unit 2 (午後) Unit 2 - Unit 3
2日目	(午前) 第1日目の復習／Unit 5 (午後) Unit 6 - Unit 7
3日目	(午前) 第2日日の復習／Unit 7 - Unit 8 (午後) Unit 1 - Unit 8までの復習 試験

◆**教科書** 丸沼『総合英語 Vision Stephen E. Rife』松尾、大里共著 三修社 1,785円(税込)(送料260円)

◆**参考書** 丸沼「英文法解説」江川泰一郎著 金子書房 1,785円(税込)(送料390円)  
「総合英語 Forest (第6版)」石黒昭博監修 桐原書店 1,575円(税込)(送料390円)

◆**成績評価基準** 授業内の発表(25%)、予習調べ、小テスト等(25%)、最終試験(50%)

◆ **E-Mail :**

## ◆英語でイギリスの短編小説に挑戦

〔英語 V〕

開講単位：1単位 担当者：小田井 勝彦

◆**学習目標** 「英語V」は、英文学専攻の学生を対象にし、今後の学科での学習に必要な英語力養成を完成させる授業です。この授業では、まずは文章を正確に読むことを主眼に置きつつ、イギリスの短編小説を2作品鑑賞し、「英語を学ぶ」から「英語で学ぶ」段階への橋渡しを目指していきます。

◆**授業方法** 受講者に1段落ずつ英文を日本語に訳してもらったのち、文構造の解説、内容の解説を教員が行なっていきます。英語をしっかり読んで考えていただくため、作品名は最終日まで伏せますが、最終日に作家と作品の解説をいたします。

◆**準備学習** 物語の文脈をよく考えながら、辞書をよく引き、プリントの英文を日本語に訳してきて下さい。

◆**授業計画** (1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分)

1日目	ガイダンス(授業の進め方、成績評価についてなど) 1作品目の読み解きと鑑賞 (作品の前半三分の2ぐらいの分量を予定していますが、進度によっては変更になる場合があります)
2日目	1作品目の読み解きと鑑賞 2作品目の読み解きと鑑賞 (作品の前半三分の1ぐらいの分量を予定していますが、進度によっては変更になる場合があります)
3日目	2作品目の読み解きと鑑賞 取り上げた作家と作品についての解説 テスト

◆**教科書** 事前資料送付 プリント使用(事前に配布)

◆**参考書** 各自、学習用英和辞典(電子辞書可)を用意して下さい。

◆**成績評価基準** テスト 60%  
平常点 40% (授業内の発表、授業態度など) ※毎回出席することを前提としています。

◆ **E-Mail :**

## ◆運動・スポーツに親しむ

## 〔体育実技〕

開講単位：1単位 担当者：吉本 俊明

◆**学習目標** 高齢社会を迎え、健康・体力の維持増進の必要性は益々重要になってきています。この授業では、運動・スポーツの実践を通して、その楽しさ、重要性を認識し、生活習慣にまで発展させることをねらいとしています。

◆**授業方法** 天候に左右されない体育館での授業とし、小グループでいろいろなスポーツ（卓球やバトミントンなどのネット型球技）を体験しますが、年齢相応体力相応の参加の仕方を理解してもらうようにします。また、体力測定を自覚し、維持増進についての認識を高めてもらうようにします。

◆**準備学習** 1日20分以上の連続歩行と、軽い柔軟運動の実施を心がけてください。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	1) ガイダンス、グループ分け、準備運動、体力測定 2) 体力測定結果の活用方法について解説 班別スポーツ種目の展開(1)
2日目	3) 班別スポーツ種目の展開(2) 4) 年齢差、性差、体力差と体力維持増進の関係について解説 班別スポーツ種目の展開(3)
3日目	5) 班別スポーツ種目の展開(4) 6) 生涯スポーツと体力維持増進の関係について解説 班別対抗ソフトバレー大会

◆**教科書** 特になし。

◆**参考書** 特になし。

◆**成績評価基準** 授業への取組み及び自己の体力に合った運動への理解によって総合的に評価します。

◆ E-Mail :

## ◆中国史研究の魅力を発見してみよう

## 〔東洋史入門〕

開講単位：2単位 担当者：須江 隆

◆**学習目標** 東洋史の中でも、中国前近代史に焦点を絞り、当該期の歴史を研究するに当たって不可欠となる基礎的知識や、具体的かつ実践的な研究手法を学ぶことを目的とします。それを通じて、中国前近代史研究の意義を理解し、その面白さや魅力を発見してもらいたいと思います。できる限り、研究文献や史料に触れる機会を豊富にし、研究文献のまとめ方や批評の方法、歴史学の基本である史料操作の在り方についても習熟できるように配慮します。

◆**授業方法** 概説書の記述や嘗ての中国で記録された具体的な史料を分かり易く解説しながら、前近代の中国社会の特徴を知ってもらい、それを通して研究テーマを探し出す方法に言及します。また、探索し得た研究テーマに即して、実践的研究を進めて論文を作成するに至るまでの過程を鮮明に解説します。特に漢語史料に接することの魅力や分析手法を学ぶことに重点を置きます。講義形式で行いますが、質疑応答の時間も講義時間中に設ける予定です。

◆**準備学習** 中国前近代史の魅力に気づくためには、中国史の全体像を鮮明に把握しておく必要があります。学習の準備として、『東洋史概説 0623』（通信教育教材）や高等学校で使用している各出版社発行の教科書「世界史B」の中国前近代史関連部分を熟読しておくと、授業の理解が深まります。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	ガイダンス、アンケート I 概説書から中国史の全体の流れを知ろう：主たる概説書に見える、中国史全体の把握の在り方を検討します。 II 興味のある時期を抽出し時代像を探ろう：『世界史史料』（岩波書店）に所収の史料等を取り上げて、前近代中国の政治・社会・文化の特色を分かり易く解説し、史料から研究テーマを探索する方法を学びます。
2日目	III 関連する研究文献を集め読み解評価してみよう：探索し得た研究テーマに関連する研究文献の収集法や、個々の研究文献の読み解き及び整理の仕方、批評の方法について学びます。 IV 関連する漢語史料を集め読み解き分析する：漢語史料に関する基礎的知識や、その収集・読み解き・分析方法について学びます。特に、漢語史料の一節から様々な情報を引き出していく手法の解説に重点を置きます。
3日目	V 論文の作成で直面する試行錯誤の過程：講義担当者が執筆した一つの研究論文を事例として取り上げ、その作成過程を具体的に示し、卒業論文執筆にあたっての参考に資せるようにします。 講義全体の総括、質疑応答、授業アンケート 筆記試験

◆**教科書** [当日資料配付] 当日プリント配布。

◆**参考書** 丸沼 授業中に適宜紹介しますが、参考までに以下のものをあげておきます。

『中国歴史研究入門』礪波護、岸本美緒、杉山正明編 名古屋大学出版会 3,990円（税込）（送料390円）

◆**成績評価基準** 試験（80%）、アンケート（10%）、受講状況（10%）。3日間出席していることを前提として総合的に評価します。

◆ E-Mail :

## ◆民法総則を学ぶ

〔民法 I〕

開講単位：2単位 担当者：益井 公司

◆**学習目標** 民法の通則たる民法総則に関し、現在の通説・判例を中心として各制度の意味と機能を概説する。その際、なぜそうした学説や判例が主張されるようになったのかを示すことにより、各人がそれぞれの制度の持つ意味をより深く理解できるようになるだけでなく、さらにはそのことを通じて法的思考を身に着けることを学習の目標としている。

◆**授業方法** 講義形式で授業を進めていくが、必要に応じて私の方から学生に質問をしたり、学生の質問を受けたりするようにする予定である。講義にあたってはできるだけ具体的なケースをあげながら説明をする。また必要に応じて、判例などを示すようにしたい。なお講義の際には必ず六法を持参するようにしていただきたい。

◆**準備学習** 受講生はあらかじめ指定された教材を通読しておくことが望ましい。また、講義において示した判例は各自もう一度よく検討するようにしていただきたい。

◆**授業計画** (1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分)

1日目	民法の意義、民法の構成、民法の基本原理、権利能力、失踪宣告、同時死亡、制限行為能力者制度につき説明する予定である。
2日目	権利の客体、法律行為総論、心裡留保、通謀虚偽表示、錯誤、詐欺・強迫について説明する。
3日目	代理制度総論、無権代理、表見代理、時効制度総論、取得時効、消滅時効について説明する。

◆**教科書** 選材『民法 I 0131』通信教育教材（教材コード 000407）2,300円（送料込）

◆**参考書** 必要に応じて講義の際に指示する。

◆**成績評価基準** 筆記試験により評価する。

◆**E-Mail** :

## ◆身近な事件を通して、刑法各論を理解する

〔刑法 II〕

開講単位：2単位 担当者：尾田 清貴

◆**学習目標** 刑法は犯罪者のマグナカルタと言われているが、そのことを、身近な事件を通して分析することを通して、各論の重要な項目を学ぶ

◆**授業方法** 普通の人が、加害者や被害者になりやすい類型を実際に発生した事件を素材に、裁判官、検察官、弁護人の立場で検討することができるようとする。

◆**準備学習** 教科書を事前に読むことも必要だが、新聞・TVの事件記事（ニュース）に関心を持つことを心掛けて欲しい。

◆**授業計画** (1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分)

1日目	人の死を巡る類型について学ぶ
2日目	①盗犯について学ぶ ②知能犯について学ぶ ※振り込め詐欺について学ぶ
3日目	①過失犯類型について学ぶ ②経済犯罪、公務員犯罪について学ぶ

◆**教科書** 特に指定しない。（自分に合った読みやすい刑法各論の教科書を求めて下さい）

◆**参考書** 特になし。当方で素材は準備する。

◆**成績評価基準** グループ毎の発表とレポートにより評価する。

◆**E-Mail** :

## ◆民事訴訟法の基礎を学ぶ

## [民事訴訟法]

開講単位：2単位 担当者：松本 幸一

◆**学習目標** 私人間の生活関係から生じた利害を対立解決する究極の紛争解決制度が民事裁判制度です。本講座は、裁判審理の法則・原理の確かな理解と本質を正しく捉え、考えながら、民事裁判の体系に関する基本原理を、条文を引用して理解すること、また民事裁判審理とその手続の展開を理解し、民事訴訟の流れを掴むことを目標とします。

◆**授業方法** 教材に合わせて、六法を参照しながら、民事裁判手続の大まかな過程を事例を中心にわかりやすく解説し、また民事訴訟の判決に至る流れを理解できるよう、民事訴訟法の基本的原理を理解してもらえるよう講義します。さらに、実体法である民法・商法と、手続法である民事訴訟法との関連を理解できるよう講義します。

◆**準備学習** 一般社会における私人間の身近なトラブルには、どのような種類があるでしょうか。民事裁判（訴訟）は、司法制度としてなぜ必要なのでしょうか。授業計画の項目を事前に学習しておくことが大切です。「ポケット六法 平成25年度版（有斐閣）」を必ず持参してください。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	「訴えなければ裁判なし（処分権主義）」、私的自治の原則の反映—弁論主義、紛争事実、当事者、裁判所の管轄、訴えの3類型—給付の訴え、確認の訴え、形成の訴え、訴訟要件の種類、訴え提起の効果—実体法上の効果と二重起訴の禁止を学びます。
2日目	争点及び証拠の整理、裁判審理の諸原則、主要事実・間接事実の主張・立証活動、弁論主義—裁判審理での自白、証明と証拠調べ手続、文書提出命令とイン・カメラ手続の複雑さ、証明責任の分配の原則を学びます。
3日目	訴訟上の和解、訴えの取り下げ、請求の放棄、請求の認諾、判決—終局判決、中間判決、本案判決、訴訟判決、確定した終局判決の効力—既判力、上訴—控訴と上告、多数当事者の裁判—通常共同訴訟、必要的共同訴訟、独立当事者参加、同時審判申出訴訟、訴訟当事者の変更を学び、以上をまとめます。（試験）

◆**教科書** 受講許可通知書の同封文書でお知らせします。

◆**参考書** 丸沼『ポケット六法 平成25年版』（有斐閣）1,890円（税込）（送料390円）

◆**成績評価基準** 平常点30%、試験70%

◆ E-Mail :

## ◆政治を見る眼を養う

## [政治学原論]

開講単位：2単位 担当者：吉野 篤

◆**学習目標** 政治概念の歴史的変容を分析することで、政治の本質に迫るとともに、現代の政治過程の概要を理解すること。

◆**授業方法** 講義形式。時宜に応じた政治問題を考えるために、主として新聞報道を材料として用いる予定。

◆**準備学習** 授業計画の内容について、事前に予習することが望ましい。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	古典古代の政治概念 中世ヨーロッパの政治像 近代の政治概念 社会契約説の論理
2日目	保守主義の政治思想 19世紀の政治概念・社会主義 市民社会から大衆社会への変容 大衆社会の政治理論
3日目	政治過程の考え方 政党と政党システム 選挙と選挙制度 政治学の科学化過程について

◆**教科書** 丸沼『山田光矢編著『政治学』弘文堂 2,100円（税込）（送料340円）

◆**参考書** 授業中に指示します

◆**成績評価基準** 試験により評価する。

◆ E-Mail :

## ◆原典で読み解く 20世紀の国際政治史

〔外交史〕

開講単位：2単位 担当者：佐渡友 哲

◆学習目標 第一次世界大戦の勃発（1914年）から冷戦終結（1989年）までが20世紀の国際政治史の核心部分である。講義では、第一次大戦後と第二次大戦後の時代に、主要国のリーダーたちがどのように考え、話し合い、協定を結んで新国際秩序を構築したかについて注目する。そして当時の首脳たちの主張や国際会議で決まった宣言や協定などの原点を講読・分析・討論することによって、歴史の真実を読み解くことを目標とする。

◆授業方法 歴史研究は「暗記するもの」ではなく、また一方的に教わるものでもなく、「過去と現代の対話」（E.H.カーラー）の中から真実を見つけ出す作業である。したがって一方的な講義ではなく、あらかじめ資料を読み、討論する「参加型学習」の授業方法をとる。また、時々映像により時代背景を理解し、Quiz（小テスト）に答えることになる。受講生は主体的に授業に参加することを要求されている。

◆準備学習 受講生は、講義で取り上げられる内容について「資料プリント」、教科書、参考書をあらかじめ読んで、授業に備える必要がある。その内容については発言し、討論ができるようにしておくこと。

◆授業計画〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	(1) ガイダンス：歴史をどう学ぶのか (3) 概説：20世紀における世界秩序の形成 (5) 映像：「第二次世界大戦へと向かうヨーロッパ」	(2) 国際秩序としての国際システム (4) 映像：「ヒトラーとムッソリーニ」
2日目	(6) ヴェルサイユ・システムの崩壊過程 (8) 原典：「ヤルタ協定」の分析 (10) 討論：ヤルタ会談は「世界の分割」だったのか？	(7) 映像：「第二次世界大戦の余波」 (9) ヤルタ会談での3首脳の思惑と国益
3日目	(11) 原典：「ソ連の対日参戦に関する協定」「ポツダム宣言」 (13) 冷戦時代の米ソ関係 (15) 最終試験	(12) 映像：「東西冷戦の始まり」 (14) まとめ：「冷戦時代」とは何だったのか？

◆教科書 通材『外交史 0222』通信教育教材（教材コード000085）1,950円（送料込）  
事前資料送付「資料プリント」

◆参考書 講義の際に文献リストを配布する。

◆成績評価基準 リポート・小テスト・授業への取り組み〔50%〕、最終試験〔50%〕

◆E-Mail：

## ◆日本近代文学と〈教養〉

〔国文学講義V（近代）〕

開講単位：2単位 担当者：小平 麻衣子

◆学習目標 〈教養〉とは、学問・芸術などにより人間性・知性を高めることをいう。だが、その文化的内容やふるまい方は、社会的条件によって異なっている。〈教養〉の歴史的変遷を、日本近代文学とのかかわりにおいて考える。この作業を通じて、自分たちの持っている知の枠組み自体を批判的に見るまなざしを獲得し、対象を歴史的に考える態度を学ぶ。

◆授業方法 近代の都市化や学校文化が成立させる〈教養〉の内実、出版文化との関係性、〈教養〉から排除される層の問題、〈教養〉の語義の変化などについて、主にプリントを使用して、講義する。

◆準備学習 授業は、作品の読解を行うというよりは、さまざまな言説を横断的に紹介してゆく。そのため、田村俊子、野上弥生子、吉屋信子など、とりあげる作家の全体像を詳述する予定はない。作家についての概略は、文学事典や各種参考文献で予習しておくことが望ましい。

◆授業計画〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	・唐木順三『現代史への試み』における教養主義批判 ・旧制高校における〈教養〉と学生の傾向 ・〈教養〉は〈修養〉と違うのか? ・阿部次郎『三太郎の日記』
2日目	・田村俊子、鈴木悦と大正教養主義 ・女性雑誌にみる〈教養〉 ・岩波書店の出版文化 ・野上弥生子の周辺
3日目	・少女小説家・吉屋信子の人間観 ・大衆性と〈教養〉 ・戦争と〈教養〉

◆教科書 当日資料配付 当日プリント配布。

◆参考書 『教養主義の没落—変わりゆくエリート学生文化（中公新書）』竹内洋、中央公論新社、2003年  
『日本型「教養」の運命 歴史社会学的考察（岩波現代文庫）』筒井清忠、岩波書店 2009年

◆成績評価基準 授業への取り組み（コメントシート等）・テストにより総合的に評価します。

◆E-Mail：

## ◆日本語の音声・音韻、アクセント・イントネーションを学ぶ [国語音声学]

開講単位：2単位 担当者：田中 ゆかり

◆**学習目標** 日本語の音とは何かを学ぶ。音声学の基本的な考え方について学習し、日本語の音声・音韻・アクセント・イントネーションについて具体的な記述と考察ができるようになることを目標とする。

◆**授業方法** 教科書と講義内で配布する印刷教材を用いて講義形式で行う。講義内では、音声の発音・聞き取り、事例を用いた考察（課題）など、受講者自身が参加する方式も適宜行う。

◆**準備学習** 受講者はあらかじめ教科書をよく読んで、問題点を整理した上で、スクーリングに参加のこと。スクーリング時にはいずれかの時間帯に質問の時間をもうける予定。スクーリング時も予習・復習が必要である。復習はとくに重要である。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	(1) 発音のしくみ (2) 発音
2日目	(1) 子音 (2) 異音・同化現象
3日目	(3) 拍・音節・フット (4) アクセント・イントネーション

◆**教科書** 通材『国語音声学 0356』通信教育教材（教材コード 000266）1,350円（送料込）

◆**参考書** 教科書の巻末【参考書】参照（pp.165-167）のこと。  
その他参考文献についてはスクーリング時に適宜紹介する。

◆**成績評価基準** 最終日に行う試験 80%，課題・宿題を含む授業参加状況 20%。全日程出席することが前提。

◆ E-Mail :

## ◆三国志演義の名場面

## [漢文学Ⅰ]

開講単位：2単位 担当者：青木 隆

◆**学習目標** 1. 漢文を読むための漢和辞典の特徴を学び、使い方を習得する。  
2. 小説『三国志演義』の本文を楽しみながら漢文訓読法を習得する。  
3. 現代中国に通じる近代中国の人々のものの考え方、感じ方に触れる。

◆**授業方法** 1. 『三国志演義』を楽しむ上で必須の基礎知識を概読し、次に漢文訓読を学ぶのにふさわしい参考書や漢和辞典の特徴を紹介する。  
2. 『三国志演義』の本文に取り組み、教室で実際に漢和辞典を駆使しながら漢文訓読法により読み下し文を作成する。一文ずつ出席者に発表を求めつつ、漢文の意味用法について解説する。  
3. 歴代の批評や挿絵、現代中国のテレビドラマを用いて『三国志演義』の魅力を解説する。

◆**準備学習** 特に必要ありませんが、岩波文庫版『完訳三国志』（全八巻）、筑摩文庫版『三国志演義』（全七巻）のいずれかを読んでおいてくださいと助かります。授業では、岩波文庫版を用いる予定です。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	午前：『三国志演義』の基礎知識。参考書・辞書について。漢文訓読法について。 午後：『三国志演義』の名場面①・②
2日目	午前：『三国志演義』の名場面③ 午後：『三国志演義』の名場面④・⑤
3日目	午前：『三国志演義』の名場⑥ 午後：『三国志演義』の名場面⑦ 試験

◆**教科書** [当日資料配付] 当日プリント配布

◆**参考書** 教室に必ず漢和辞典をお持ちになってください。授業では『漢字海』（三省堂）を用います。参考書としてこれを推薦しますが、現時点でお持ちの漢和辞典があれば、それをお持ちになってください。

◆**成績評価基準** 最終日の筆記試験で評価する。

◆ E-Mail :

## ◆ 21世紀を生きる学生のたしなみー書くことの場合ー [文章表現演習]

開講単位：1単位 担当者：近藤 健史

◆学習目標 書くための準備をしっかり学び、「ルールを守り書く」というトレーニングをすることで、実践力アップを目標とする。

◆授業方法 『マスター日本語表現』などを利用してトレーニングする。書いたものの発表や質疑応答などの討論形式もある。

- ◆準備学習
- 国語辞書を用意すること。
  - 縦書きの原稿用紙（400字）を用意すること。
  - ホッキスを用意すること。
  - 好きな小説を読み、感想を話せるようにしておくこと。

◆授業計画 (1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分)

1日目	1. ガイダンス・自己紹介 2. 書くための準備（表現力につけるために） (1) 「私」を表現する (3) 話し言葉と書き言葉を使い分ける 3. 小説を読み、感想を話す	(2) コミュニケーションの力をつける (4) 効果的なプレゼンテーション
2日目	1. 書くための準備（表記力につけるために） (1) 言葉の世界を広げる (3) 冠婚葬祭・贈答のしきたり 2. 書くための準備（読解力・思考力につけるために） (1) 文章の構成法を学ぶ 3. 辞書で遊ぶ	(2) 効果的な文章作成 (4) 効果的な電子メール (2) 要約力をつける
3日目	1. 書くトレーニング (1) 明確な文章を書く (3) 資料を分析し、文章化する	(2) いろいろな文章の書き方のポイントと実例

◆教科書 丸沼『マスター日本語表現』遠藤郁子他編著 双文社出版 1,575円（税込）（送料340円）

◆参考書 特になし

◆成績評価基準 作成した提出物（70%）、発表（20%）、質疑応答（10%）

◆E-Mail：

## ◆イギリス文学を辿るー黎明期～17世紀後半 [イギリス文学史I]

開講単位：2単位 担当者：鈴木 ふさ子

◆学習目標 黎明期から17世紀後半までの時代背景と思潮を辿り、それぞれの時代を代表する作家について学び、その作品を鑑賞することによって、イギリス文学の基本的な知識を身につけます。また、文学とその時代のイギリス文化と社会との関わりについて理解を深め、最終的にはイギリス文学の魅力を知ってもらうことを目標としています。

※2012年度夏期スクーリングで受講した方はほぼ同じ内容になりますので、受講しないよう注意して下さい。

◆授業方法 基本的には下記授業計画に沿って、テキストを中心に時代の背景と思潮を学びます。その後、代表的作家と作品をジャンル別（詩・散文・劇）に概観していきます。講義で重点的に扱う作家と作品についてはプリントを適宜配布し、映像などもを利用して補足説明を行い、作品の抜粋部分を原文で鑑賞します。なお、鑑賞した作品について発表してもらう、あるいはコメントを提出してもらいます。

◆準備学習 黎明期から17世紀後半までのイギリス文学史を3日間という短い期間で駆け抜ける講座なので、準備学習が非常に大切になります。授業で扱うテキストの章は熟読し、全体的な流れをつかんだ上で、各時代の特徴を把握し、その時代の代表的作家にはどのような人物がいるのかジャンル別に頭に入れてきて下さい。不明な用語は『英米文学事典』にあたるなどして調べておくようにしましょう。

◆授業計画 (1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分)

1日目	ガイダンス イギリス文学への誘い（イギリス文学の特徴、魅力について、表記などの説明） プロローグ イギリス文学の黎明期 第1章 チョーサーの時代（時代思潮と代表的作家と作品の概観：King Arthurについて） 第2章 シェイクスピアの時代（時代思潮と代表的作家と作品の概観：William Shakespeare の詩を鑑賞）
2日目	第2章 シェイクスピアの時代（William Shakespeare の演劇の解説と代表作品の鑑賞を中心に） 第3章 ミルトンの時代（時代思潮と代表的作家と作品の概観：John Milton, Robert Herrick, Andrew Marvell の作品を中心に） 映画と英詩①（授業で鑑賞した詩の出てくる映画を部分的に鑑賞し、映画のテーマと詩の関連性を考える）
3日目	第3章 ミルトンの時代（John Donne, George Herbert の作品を中心に） 映画と英詩②（授業で鑑賞した詩の出てくる映画を部分的に鑑賞し、映画のテーマと詩の関連性を考える） 全体のまとめ 試験

◆教科書 丸沼『はじめて学ぶイギリス文学史』神山妙子編著 ミネルヴァ書房 2,940円（税込）（送料390円）、プリントなど

◆参考書 『英米文学事典』ミネルヴァ書房 4,725円（税込）（送料500円）、『映画で英詩入門』平凡社 1,365円（税込）（送料390円）

◆成績評価基準 全出席を前提に、以下のような割合で成績の評価をします。3日間の集中講座なので無遅刻が望ましいです。授業に対する取り組み・積極性・発表（20%）・コメント（20%）・試験（60%）

◆E-Mail：

## ◆英語はどのようにして成り立ったか？

〔英語史〕

開講単位：2単位 担当者：真野 一雄

◆**学習目標** 英文の読解力を高めるとともに、英語がどのような発達・変化を遂げて今日の姿になったか、歴史的な流れの基礎的な知識を習得する。過去の歴史を振り返り、英語の未来の姿を想像してみましょう。

◆**授業方法** テキストI章「英語の発達」を、『学習指導書』を併用しながら、読みます。テキストは私達にとって必要な箇所を重点的に読みます。

◆**準備学習** 毎回、テキスト（英文）を読み、『学習指導書』の問の解答を用意しておいてください。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	インド・ヨーロッパ語族・ゲルマン語派のところを読みます。 (ただし、テキストp.1~p.4, 22行, p.11, 6~16行, p.12, 13~30行はざっと目を通すだけで結構です。)
2日目	古英語・中英語のところを読みます。 (ただし、テキストp.16, 21行~p.21, 9行, p.23, 2行~p.24, 28行は読んでおかなくて結構です。)
3日目	中英語（続き）・近代英語のところを読みます。（ただし、テキストp.26, 11行~p.28, 28行, p.30, 17行~p.32, 26行は読んでおかなくて結構です。） 試験+質疑応答

◆**教科書** 通材『英語史 0441』通信教育教材（教材コード000117）2,500円（送料込）  
<この教材は市販の『ブラック英語史』G. L. Brook（南雲堂）と同一です>

◆**参考書** 丸沼『英語の歴史—過去から未来への物語』寺澤 盾著 中公新書 1971 819円（税込）（送料260円）  
丸沼『英語の歴史』中尾俊夫著 講談社現代新書 958 777円（税込）（送料260円）  
(※自学用で、授業中に参照することはありません。)

◆**成績評価基準** 試験（100%）で評価します。（試験は途中退出なしです）毎回出席することを前提として評価します。

◆ E-Mail :

## ◆ English Composition 2

〔英作文II〕

開講単位：2単位 担当者：ダレル ハーディ

◆**学習目標** This course will focus on the form, organization, and composition of a standard five paragraph essay in English. We will review paragraph and essay structure and look at the important points of an effective essay. We will follow the writing process method of composition, especially with respect to generating and organizing ideas prior to writing.

◆**授業方法** We will work on developing writing fluency through free-writing activities, ways of generating and organizing ideas by group activities, and work on group and individual essays in a workshop like environment

◆**準備学習** No preparation or prerequisites are required. Students should have a good understanding of basic sentence composition and be willing to work in groups.

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	Orientation, introduction to free-writing, and overview of paragraph and essay structure. Group brainstorming activity to generating ideas for essay one. Focus on paragraph structure; topic sentences and supporting sentences. Drafting a paragraph; peer editing and revise paragraph.
2日目	Review of essay structure. Complete first draft of essay one, peer editing, revise, and submit completed essay one. Decide on a general topic for essay two and create a bubble chart. Free-writing activity. Create an outline for essay two. Begin the first draft of paragraph one, the introduction.
3日目	Essay analysis and critique. Peer editing of the introduction and revision. Complete draft one of the body of essay two, peer edit and revise. Begin and complete the first draft of conclusion, peer edit, and revise. Complete the final draft of essay two and hand in.

◆**教科書** No text is required. Students will be provided with handouts. Students are expected to bring a notebook and a folder to keep handouts in.

◆**参考書** Students should bring a dictionary to class.

◆**成績評価基準** Students will be graded on two essays: one group essay and one individual essay. Class participation will also be considered part of the grade.

◆ E-Mail :

## ◆ Broadcast English

〔放送英語〕

開講単位：2単位 担当者：アレックス ブラウン

◆**学習目標** Students will improve listening and speaking skills by watching short news reports and discussing the content and issues of the news reports.

◆**授業方法** Students will develop listening skills by listening to CNN news reports from the CNN web site ([www.cnn.com](http://www.cnn.com)) (other materials may be used). Students will also learn vocabulary and expressions related to the news topics and discuss and give their opinions about the topics.

◆**準備学習** Students are asked to keep up to date with International News in the weeks leading up to the course.

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	Orientation News Report #1 News Report #2 News Report #3 News Report #4
2日目	Vocabulary Quiz #1 News Report #5 News Report #6 News Report #7
3日目	New Report #8 Review Vocabulary Quiz #2 Final Examination

◆**教科書** No text will be required. Students will be provided with handouts. Students are expected to bring a notebook and a folder to keep handouts in.

◆**参考書** Students should bring a dictionary to class.

◆**成績評価基準** Grades will be based on attendance, vocabulary quizzes and final examination.

◆**E-Mail :**

## ◆ 「イギリス」「英国」について知ろう！

〔英米事情Ⅱ〕

開講単位：2単位 担当者：小山 誠子

◆**学習目標** 英文学を専攻する上で常識かつ基本的確認事項として、一般に「イギリス」「英国」と呼ばれている国の風土・文化・習慣について概観し、受講者各自による主体的な「イギリス」への興味・関心を深めます。

◆**授業方法** 初日は下記授業計画に従い、講義形式とします。2日目及び3日目に取り上げる範囲（下記参照）については受講者各位による調査報告（下記準備学習参照）を中心に展開していきます。

◆**準備学習** テキストの情報は一般的かつ表面的な情報に限定されており、補足・更新が必要です。下記授業計画の2日目以降に取り上げる箇所（テキストのIndex参照）の中から一か所選び（どちらでも可）、①テキストの関連箇所の音読／要約の後②関連事項の調査報告をやってもらいます。調査は複数の文献（Wikipedia を除く）にあたり、①文献／書名②著者（責任の所在）③出版社及び④出版年等の情報は初日に提出を求めるので控えておくこと、それらの文献から「イギリス（人）の特徴」という結びになるよう10-15分程度の発表メモ（一見して概略がわかるもの）に開講時迄にまとめておいてください。※受講者数により発表の時間等変更が生じる可能性がありますが、開講時提出のメモ回収後に別途指示します。また、この発表は成績評価に含まれます。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	ガイダンス Identity Institutions Education	
2日目	Every day (At home/In the family) Food The Arts (Film and theatre/Music/The classics)	Working Life (Finding a job/The economy) The Media (In the news/On TV and radio)
3日目	Leisure (At the shops/Sport) Regions	Getting Around 全体のまとめ／試験

◆**教科書** 丸沼 *In Britain 21th Century Edition* Macmillan Language House 2,310円（税込）送料390円

◆**参考書** 英和辞書（大学生・社会人レベルのもの）を毎回持参のこと。  
※携帯電話及びPCの辞書替わりの授業中の使用は認めない。

◆**成績評価基準** 平常（上記調査報告及び授業への積極的取組を総合的に評価）：40% 最終試験：60%

◆**E-Mail :**

## ◆言語と私たちの世界

## 〔英語学演習 A〕

開講単位：1単位 担当者：青木 啓子

◆**学習目標** 演習・実践形式の授業。言語の発達・言語習得・言語学習・言語分類法・言語の変遷等、言語に対する意識を高め、深める。ペアワークやグループワークを通じて、テキスト内容を理解し、それ以上のものを得る。

◆**授業方法** 演習・実践形式で行います。テキスト内容に関するディスカッションをし、皆さんに発表してもらいます。長文箇所は分担を決め、担当箇所の和訳・ハンドアウト等を作成してもらい、その箇所の説明・解説を行ってもらいます。テキストは全て英語で書かれている上、その内容に対しグループでディスカッションを行うので、受講者は中級～上級程度の英語力が必要です（TOEIC 600点以上が望ましい）。実践練習が多いので、グループやペアの作業に積極的に参加する必要があります。授業は受講者の様子を見て進めますので、授業計画は目安です。

◆**準備学習** 授業期間が3日間と少ないので、テキスト長文指示箇所 (Chapter 1, 4, 5, 6, 10, 11, 12, 13, 19, 20, 21)を開講前にすべて和訳して、内容をよく理解してから初回授業に臨んでください。  
扱う Chapter が指定されていますので、間違えないよう予習をしてください。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	ガイダンス等 Chapter 1 : The Dawn of Language Chapter 5 : Younger Is Better ※1日のまとめレポート	Chapter 4 : Chomsky and Universal Grammar Chapter 6 : Misunderstandings about Bilingualism
2日目	Chapter 10 : What Makes a Good Language Learner? Chapter 11 : Individual and Societal Multilingualism Chapter 12 : The Role of Teaching Methods in Language Learning Chapter 13 : Ways of Organizing Languages Chapter 19 : Language Change ※ 1日のまとめレポート	
3日目	Chapter 20 : Prescriptivism and Descriptivism ※まとめ ※試験	Chapter 21 : Loanwords

◆**教科書** 丸沼 *Language and Our World* (言語と私たちの世界) 三修社 1,890円(税込)(送料340円)

◆**参考書** 英和辞典を必ず持参してください

◆**成績評価基準** 授業活動への参加度・試験結果を総合的に評価します。遅刻・欠席は認められません。

◆ E-Mail :

## ◆ V. ウルフを読む

## 〔英米文学演習 B〕

開講単位：1単位 担当者：岩城 久哲

◆**学習目標** ヴィージニア・ウルフの作品を理解する。

◆**授業方法** 演習形式で行います。

◆**準備学習** 授業計画に記述した作品を読んでおいてください。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	『燈台へ』 I. Want does it mean ~ V. Yes, that is their ~ VII. "Mrs. Ramsay!" Lily cried ~ XII. Mr.Ramsay had ~ XIII. "He must have reached ~
2日目	『ダロウェイ夫人』 · Mrs Dalloway said she would buy the flowers ~ · Laying her brooch on the table, she had a sudden ~ · Those five years – 1918 to 1923 – had been, ~ · Big Ben struck the half-hour, ~ · Lucy came running full tilt ~
3日目	『オーランド』 I. He – for there could ~ II. The biographer is ~ IV. With some of the ~ VI. Orlando went indoors ~

◆**教科書** 担当者がプリントなどを準備するが、準備学習の記述を読み予め学習しておくこと。

◆**参考書** 特になし。

◆**成績評価基準** コメントなどの参加度(50%) 最終日に行うテスト(50%) 評価基準を変更するときは最初日に説明する。

◆ E-Mail :

## ◆「宗教」と「美」とのかかわりを考える

[宗教学概論]

開講単位：2単位 担当者：小林 紀由

◆学習目標 この講座は「美」とのかかわりという観点から「宗教」とは何であるかを考えようとするものです。宗教は一般に教理、儀礼、教団、体験の4要素により構成されると考えられていますが、この講座ではとくに儀礼という観点から観た宗教と美とのかかわりを考えます。この講座は宗教に対し肯定的姿勢から学ぶものではありません。宗教学の諸思想を紹介しつつ、学問としての中立的立場から宗教を分析してゆきます。

◆授業方法 講義と講義に対する受講生のリアクション、そしてリアクションに対する回答により構成されます。

◆準備学習 特にありません。

◆授業計画 [1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分]

1日目	はじめに「宗教学」の学問的立場についての確認 「宗教」をどうとらえるか 「美」をどうとらえるか
2日目	「儀礼」と「宗教集団」と「美」 「儀礼」と「宗教体験」と「美」 「神話」をめぐって(1)
3日目	「神話」をめぐって(2) 「他界・来世」をめぐって

◆教科書 **丸沼** 高橋陽一郎編『美についての五つの考察』(北樹出版) 1,995円(税込)(送料340円)  
「宗教と美」「藝術と美」の部分を中心に「宗教学概論」半期分(前半部分)として用います。後半部分は別講座でと考えています。

◆参考書 **通材**『宗教学概論』通信教育教材(教材コード000139) 1,500円(送料込)

◆成績評価基準 試験(100%)。毎回出席することを前提として評価します。

◆E-Mail :

## ◆クローン・ES細胞・iPS細胞を哲学する。

[科学哲学]

開講単位：2単位 担当者：江川 晃

◆学習目標 iPS細胞は、はたして人類に幸福をもたらすことが可能であろうか。いま、科学と哲学は、その障壁をなくしつつ、一つの総合的な知識へと向かう必要があるのではないか。科学哲学は、総合的知識として、科学の進歩と人間社会の関係を考えしていくことを学ぶ。

◆授業方法 探求解決型の哲学講義。私も協同探求します。毎回授業最後に、質問や考えたことを書いていただく「思索ペーパー」を実施いたします。次回の授業は、そのコメントからはじめます。それをもとに発表・討論しあいたいと思います。

◆準備学習 配布プリントをよく読んでおいてください。

◆授業計画 [1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分]

1日目	科学哲学とは何か 科学的自然観 (思索ペーパー：午前・午後)
2日目	科学的人間像 クローン・ES細胞・iPS細胞を哲学する (思索ペーパー：午前・午後)
3日目	科学技術と哲学(思索ペーパー：午前) レポート作成

◆教科書 **事前資料送付** プリント配布

◆参考書 授業中に提示します。

◆成績評価基準 「思索ペーパー」(5回：50%)とレポート(50%)

◆E-Mail :

## ◆日本のあゆみを基礎から学びましょう

## 〔日本史概説〕

開講単位：2単位 担当者：小形 利彦

◆**学習目標** 日本史をもう一度学びたい人や高等学校で日本史を履修しなかった人、地歴科の教員をめざす人たちが体系的に日本の原始・古代、中世、近世、近・現代を学習することを目標とします。

最近の歴史は「ひと」「もの」「地域」などが多面的に取り上げられることによってより興味深く語られています。その一方で、戦後世代がふえたことから明治・大正・昭和前期をたくましく生き抜いてこられた方々との経験の共有が少なくなった。そこで日本の近現代史も振り返ってみたいと思います。

◆**授業方法** 日本の原始・古代から近代・現代までを講義形式でおこないます。そのため、講義に小テーマを付してタイトルとします。また、特設テーマを〔 〕で示しました。

通信教育部指定教科書や皆様がかつて使用した日本史の教科書などを参考にします。文化や関係史料は、プレゼンテーション・DVDの画像を見ていただきます。

◆**準備学習** 歴史に対する興味・関心をもちながら授業に臨むことが大切です。歴史的な話題の記事や特集番組を見て歴史に対する意識をつくってください。また、教科書や参考書に目を通してください。

◆**授業計画** [1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分]

1日目	導入／古代～中世 原始・古代の日本列島、古代国家、律令国家の形成、古代の社会と文化、摂關政治の展開と文化、武士と荘園、中世社会の成立と発展、室町時代の政治と社会、中世後期のアジアと日本、中世の文化 〔遣唐使の学び～最澄と空海〕
2日目	導入／近世～近代 織豊政権、幕藩体制の確立、元禄・享保の文化、幕藩体制の動搖、安政の大獄と幕藩体制の崩壊、近代国家の成立、士族と土族意識、政党政治の発展、軍国主義の台頭 〔学祖山田顕義と日本大学〕
3日目	導入／近代～現代 日中戦争から太平洋へ、大東亜帝国、戦時下の国民生活（DVD）、終戦、占領と改革、朝鮮戦争と日本の復興、日本国憲法の制定 〔昭和天皇と極東国際軍事裁判〕 試験

◆**教科書** 通材『日本史概論 0620／日本史概説 0621』通信教育教材（教材コード 000382）2,450円（送料込）  
〈この教材は市販の『概論 日本歴史』佐々木潤之介（吉川弘文館）と同一です〉

◆**参考書** 高校で使用した日本史の教科書（出版社を問わず）や『日本史』関係市販本など。授業で使用する史料は配布します。

◆**成績評価基準** 試験 70% 平常点 30% 授業中の態度、出席なども参考にします。

◆**E-Mail :**

## ◆東欧の二大政党政治を学ぶ

## 〔西洋史特講Ⅱ〕

開講単位：2単位 担当者：高草木 邦人

◆**学習目標** 近年、日本では二大政党政治を改めて考える機会が増えているといえます。そこで、本講義では、二大政党政治の歴史を学ぶことで、その特徴や意義を再考することを目的とします。また本講義は二大政党政治の代名詞であるイギリスやアメリカではなく、東欧の小国ルーマニアをとりあげます。先進国ではなく、後進国でかつ民主主義的に「劣った」とみなされたルーマニアに着目することで、二大政党政治に対する理解を深めていきます。

◆**授業方法** 当日配布するプリントや映像資料などを利用しながら、授業を進めていきます。また、授業は基本的には講義形式でおこないますが、1日目と2日目の最後の60分を使い、「レポート作成」の時間を設けます。授業を受け身ではなく、能動的に受講するようにしてください。なお、3日目の最後の60分は試験をおこないます。

◆**準備学習** 下記の参考書を精読し、東欧（特にバルカン）の歴史やルーマニア史の基礎知識を蓄えておいてください。また、新聞やニュースなどのメディアを通じて、二大政党政治に関する情報を集め、二大政党政治というものに対する自分の考え方をまとめておいてください。

◆**授業計画** [1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分]

1日目	★ルーマニアの建国と二大政党政治 以下の問題点を踏まえながら、第一次世界大戦以前のルーマニアの二大政党政治の構造を学びます。 ・1859年に建国されたルーマニアの国づくりの中で、二大政党（自由党と保守党）がどのように形成されたか? ・二大政党である自由党と保守党との間にはどのような対立点・相違点があったのか?
2日目	★二大政党政治の「外側」 以下の問題点を踏まえながら、二大政党以外の政治勢力を学び、二大政党政治以外の可能性を考えます。 ・二大政党以外の諸政党や政治グループはどのような活動をしていたのか? ・二大政党政治から脱却を目指す政党は存在したのであろうか?
3日目	★二大政党と社会問題 以下の問題点を踏まえながら、二大政党が社会問題にどのように対処していたかを学び、その限界を考えます。 ・社会問題に対する政策に関して、二大政党には差異はあったのか? ・社会問題の解決のために準備された政策にはどのような限界があったのか?

◆**教科書** 使用せず。〔当日資料配付〕プリント配布（当日）

◆**参考書** 丸沼『ルーマニア史』ジョルジエ・カステラン著（萩原直 訳）白水社 998円（税込）（送料 260円）  
『図説 バルカンの歴史』（増補改訂新版）柴宜弘 河出書房新社 1,890円（税込）（送料 340円）

◆**成績評価基準** 試験（40%）、レポート（60%）。なお、全時間の出席を前提として評価します。

◆**E-Mail :**

## ◆日本史演習

## 〔日本史演習〕

開講単位：1単位 担当者：関 幸彦

◆学習目標 承久の乱に射程に据え、演習の史料として『吾妻鏡』を材料に考える。

◆授業方法 『吾妻鏡』は鎌倉時代の記録であり、これを読み解くことで資料読解力を養い、史学研究に必要な基礎力を養います。

◆準備学習 受講者は教科書、参考書を読んでおいてください。

◆授業計画〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	①古代から中世へ、中世とは何か ②『吾妻鏡』と承久の乱について ③『吾妻鏡』の訓読法
2日目	①承久の乱の概要 ②後鳥羽院の登場 ③鎌倉幕府と王朝
3日目	①『吾妻鏡』を読む一挙兵 ②『吾妻鏡』を読む一合戦 ③『吾妻鏡』を読む一戦後処理

◆教科書 丸沼『承久の乱と後鳥羽院』(吉川弘文館) 2,730円(税込)(送料340円)

【当日資料配付】『吾妻鏡』関係部分コピー(当日配布)

◆参考書 『吾妻鏡必携』(吉川弘文館) 3,780円(税込)(送料390円)

◆成績評価基準 

- ・毎回出席を前提とします
- ・授業への取り組み(発表等)
- ・試験などで総合評価

◆E-Mail：

## ◆経済学はどのようにして作られたのか

## 〔経済学史〕

開講単位：2単位 担当者：高橋 宏幸

◆学習目標 本講義では、各時代の経済学者たちが、どのような歴史的背景のもとで、どのような社会経済問題に直面し、それぞれの経済学を展開したかをみていきます。それを通じて、経済学の歴史を知ることはもとより、それぞれの経済学の歴史的意義や限界についても学んでいきます。

◆授業方法 講義は、板書とその解説を中心に進めます。補助資料としてプリントを使用する予定です。本講義は、専門科目ですので、「経済学」と「経済史」についての基礎知識をすでに修得していることを前提として講義を進めます。毎回講義に出席し、しっかりとノートをとることが重要です。

◆準備学習 授業計画を確認し、教科書の該当する箇所を読んでおいてください。毎回の授業の前に、前回の講義内容について教科書やノート等で必ず復習しておいてください。

◆授業計画〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	1) イントロダクション・ガイダンス：本講義における目標、方法、講義内容の概説等 2) 経済学史とはどのような学問分野か：経済学史の学習目的、捉え方、研究方法等 3) 重商主義の概説：各国の重商主義、重商主義の主目的、基本政策等 4) イギリス重商主義：その時代背景、政策体系、重商主義の経済理論と経済思想
2日目	1) フランス重商主義：その時代背景、コルベール主義の政策体系、フランス重商主義の帰結 2) フランス重農主義①：その時代背景、フランソワ・ケネーとその哲学的基礎、ケネーの経済理論 3) フランス重農主義②：ケネーと経済表、ケネーの経済政策論、ケネー経済理論の経済学的意義 4) アダム・スミスの経済学①：アダム・スミスの人物像、時代背景、国富の方法、分業論
3日目	1) アダム・スミスの経済学②：交換論、価値論、自然価格・市場価格論 2) アダム・スミスの経済学③：分配論、資本蓄積論、投資の自然的順序、経済発展論 3) リカードとマルサスの経済学説①：マルサス人口論、リカードとマルサスの論争 4) リカードとマルサスの経済学説②：リカードとマルサスの経済学の特質 5) 単位認定試験

◆教科書 通材『経済学史 0713／経済学説史 0714』 通信教育教材 (教材コード000160) 2,150円(税込)

◆参考書 丸沼『入門経済思想史 世俗の思想家たち』 ロバート・ハイルブロナー著 ちくま学芸文庫 1,575円(税込) (送料340円) その他の参考書は、必要に応じて適宜紹介します。

◆成績評価基準 毎回出席することを前提として、単位認定試験(最終試験)で評価します。

◆E-Mail：

## ◆地方分権の可能性を考える

## [地方財政論]

開講単位：2単位 担当者：野田 裕康

◆**学習目標** 東日本大震災や政権交代など、我が国の地方財政を巡る諸問題は近年特に複雑深刻化してきている。本講義では地方財政の基本的な理解を主目標に置き、国（中央）との現実の経済関係を、適宜身近な地方公共団体も参考例にしながら、わかりやすく解説していく。受講者は自分の住んでいる市町村の財政活動全般を常に念頭に置きながら、講義を理解することで、ミクロ的かつマクロ的な地方財政論の全般的意義と制度的目標を習得して欲しい。

◆**授業方法** 基本的に、講義形式でテーマごとに授業を進めていくが、受講者の質問や関心も適宜取り入れ、双方向の学習を心がけたい。また、必要に応じて資料も配布する。

◆**準備学習** 地方財政は約1,700の地方公共団体を相対的に論考する部分と、個別の都道府県や市町村の経済活動を具体的に考察する部分に分けられるが、後者に対しては受講者の関心のある団体の勉強を自主的に行うことが効果的である。よって、ネット等のメディアを通じて、事前に特定市町村の地方財政状況を概ね把握しておくことが望ましい。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	財政学の範囲、地方財政の理論（ティバー、オーツ、ブキャナン）、中央集権と地方分権の考え方、日本の地方財政計画、地方税原則 ※地方財政の基礎概念を理解し、財政学における地方分権の範囲と地方財政の考え方を理論的に考察する。同時に、我が国の地方財政の現状を理解し、諸外国に比べた日本の特異性を学ぶ。
2日目	地方税、住民税、事業税、固定資産税、法定外税、外形標準課税、地方交付税交付金、基準財政収入、基準財政需要、財政力指数 ※国税に対する地方税の役割とその性格について学び、具体的に様々な税を取り上げながら、地方の財源としての地方税の実態と、近年の税制改革の成果や問題点などを考察する。
3日目	依存財源と特定財源、地方譲与税、国庫支出金、地方債、地方の歳入・歳出構造の特殊性 ※地方税以外の地方歳入構造の近年の傾向を把握し、地方分権に求められてきているこれまでの地方財政改革や種々の政策を考えていく。

◆**教科書** 特に使用しない。授業で用いる資料がある場合には当日配布する。

◆**参考書** 特に使用しない。（総務省、及び各自治体のHPを予習・復習時に閲覧できることが望ましい）

◆**成績評価基準** 最終試験60%、授業中のミニテスト（2回）20%、平常点20%の割合で、毎回出席を前提として評価する。

◆ E-Mail :

## ◆オフィスソフトを使いこなす

## [情報概論 A]

開講単位：2単位 担当者：中村 典裕

◆**学習目標** 現代においては、もはやコンピュータに触れたことの無い人は稀であろう。しかし、メールとインターネットだけの利用の人がかなり多いのではないだろうか。

学習や仕事でコンピュータを活用するためには、ワードやエクセルといった「オフィスソフト」の利用が不可欠である。このスクーリングでは、文書作成、表計算の機能を学習すると同時に、パワーポイントの実習も行う。これによって、コンピュータを真に「使いこなす」能力を高めることを目標とする。

◆**授業方法** 本講義の中では講義形式と演習の両方を行う。講義形式ではコンピュータの構造、歴史、情報倫理などについて学ぶ。演習ではコンピュータを実際に操作しながら、必要な技術の習得を目指す。授業の折々に小課題を課し提出する。

◆**準備学習** 日常的にコンピュータやインターネットに関する興味を持ち、新聞やテレビの報道などに関心を持つ態度が望ましい。また、すでにコンピュータなどを所有している人は、もう一度、そのマニュアル全体に目を通し、情報機器の概要を基本から把握する事が望まれる。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	ガイダンス、PC操作の基礎とウェブの原理と閲覧 ワードの基礎：タイピング、各種記号や特殊文字の入力、コピー & ペースト ワードの応用：表、図形の作成、ビジネス文書（社内文書、社外文書）の作成 コンピュータの基本原理・コンピュータの基礎に関するビデオの鑑賞
2日目	ワードの総合演習：表現力のある文書の作成 エクセル入門：表計算ソフトの基礎、合計と平均を使った表の作成 エクセル活用：四則演算、グラフ基礎、IF関数、条件付き書式 エクセル応用：オートフィルタ、データベース機能、ピボットテーブル インターネットセキュリティ：コンピュータ犯罪などについて学ぶ
3日目	パワーポイント入門：プレゼンテーションの基礎と実例演習 最終課題：これまでに学習した内容を駆使して、ワードとエクセルを応用した課題に取り組む。

◆**教科書** 特に指定しない。**〔当日資料配付〕**プリント等を配布する。

◆**参考書** 授業中に指示する。

◆**成績評価基準** 平常点（30%）、小課題（30%）、最終課題レポート（40%）。全時間受講する事を前提として評価する。

◆ E-Mail :

## ◆貿易・投資の現状と国際貿易・投資ルール

[貿易論]

開講単位：2単位 担当者：飯野 文

◆**学習目標** 貿易に関する国際的枠組みやその歴史的背景を学び、貿易に関する知識を身につける。それを踏まえて、現状を分析する能力を養う。貿易の現状に加え、貿易をめぐる諸課題（「非貿易的関心事項」等）、貿易紛争の実態についても学習する。講義全体を通じて、貿易に関連する問題発見・問題解決能力の養成に努める。

◆**授業方法** 基本的には教科書の内容を中心に、貿易に関する国際的枠組み、ルールの内容について講義する。加えて、統計データや、新聞記事を基に、これらの国際的枠組みの内容が現実の国際貿易にどのような影響をもたらしているのかを説明する。現実に生じている問題について、ビデオ視聴や、ディスカッションも行う場合がある。

◆**準備学習** 普段から、新聞（日刊経済紙）を読むことを強く推奨する。事前に参考文献（『WTO入門』）を一読すると、講義の内容に対する理解が深まる。

◆**授業計画** [1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分]

1日目	①総論（データでみる財・サービス貿易動向） ③基本原則（最惠国待遇原則、内国民待遇原則ほか） ⑤本日のまとめとディスカッション	②国際貿易体制の成立と展開・全体像／関税・輸出入政策 ④一般的例外と非貿易的関心事項
2日目	⑥衛生植物検疫措置／貿易の技術的障害 ⑧貿易救済措置（アンチダンピング） ⑩本日のまとめとディスカッション	⑦貿易救済措置（セーフガード） ⑨貿易救済措置（補助金・相殺措置）
3日目	⑪農産品貿易・サービス貿易の自由化 ⑫貿易・投資紛争処理制度	⑫地域経済統合・原産地規則 ⑭試験

◆**教科書** 通材『貿易論 0822』通信教育教材（教材コード 000439）2,350円（送料込）

◆**参考書** 丸沼『WTO入門』UFJ総合研究所新戦略部通商政策ユニット編日本評論社、2004年 2,520円（税込）（送料 390円）

丸沼『国際経済法 第2版』中川淳司他編 有斐閣、2012年 3,780円（税込）（送料 390円）

◆**成績評価基準** 授業への取組・試験により、総合的に評価する。

◆ E-Mail :

## ◆現代マーケティングの考え方

[マーケティング]

開講単位：2単位 担当者：佐藤 稔

◆**学習目標** 現代マーケティングの考え方について体系的に理解する。

◆**授業方法** テキスト及び各種資料に基づく講義形式

◆**準備学習** 特に必要としない。

◆**授業計画** [1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分]

1日目	マーケティングの生成 マーケティング理念 マーケティング戦略の形成
2日目	マーケティング概念の変遷 社会志向的マーケティングの体系 現代マーケティング研究方法 マーケティングを取り巻く環境 マーケティングの諸類型
3日目	マーケティング情報の重要性と収集方法 中核としての製品計画の意義と体系

◆**教科書** 通材『マーケティング 0823』通信教育教材（教材コード 000182）2,200円（送料込）

◆**参考書** なし

◆**成績評価基準** 授業への参加、レポートの提出及び最終試験など総合的に評価

◆ E-Mail :

## ◆教職観を形成（再構成）する

〔現代教職論〕

開講単位：2単位 担当者：杉森 知也

◆**学習目標** 本講は、教職課程の入門的科目に位置づくものである。したがって、高度な理論を提示するのではなく、教職についての基本的事項（教職の意義、教員の役割、職務等）を押さえることが中心となる。また、それらに加えて、教員養成の原理と方法およびその課題について理解し、近年の政策動向の中で新たに求められつつある「教師の力量」について国際的動向も含めて把握しながら、自らの教職観を形成（再構成）する。

◆**授業方法** 履修人数にもよるが、原則的に講義形式でおこなう。適宜、グループディスカッションを取り入れたい。現職教員が参加できるようであれば、学生との交流の機会を設けたい。

◆**準備学習** ①教員（現職でなくてもよい）にヒアリングをおこない、現場での苦労とやりがい等についてできる限り具体的に話を聞き、レポートを作成する。②①ができない場合は、「開かれた学校づくり」が重視されるようになった背景、および実例について参考書やインターネット等を使用して調べ、レポートを作成する。以上の①②のいずれかについて、A4（40字×36行）×1枚以上で記述し、3日目の授業で提出すること。

◆**授業計画** [1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分]

1日目	・ガイダンス—教師との出会いを振り返る— ・教師の職務 ・教師の地位と身分
2日目	・教職課程の仕組みと内容—「教育職員免許法」を中心に— ・教員免許制度の課題 ・教師のやりがいとバーンアウト ・教職観の変遷
3日目	・学校・教師の課題—現職教員との交流・教師を取り巻くデータをもとに— ・価値多様化社会の中の専門職—「反省的実践家」としての専門職集団づくり— ・新しい教師の力量—世界の教師との比較、OECDの政策提言から世界的動向を見出す—

◆**教科書** [当日資料配付] 授業時にプリントを配布する

◆**参考書** 丸沼『学校を変える地域が変わる』 佐藤晴雄、教育出版、2,310円（税込）（送料340円）  
『日本教育新聞』日本教育新聞社  
その他は、授業時に指示する。

◆**成績評価基準** 授業内試験（30%）、平常点（40%）、レポート（30%）で、総合的に評価する。授業内試験は、講義についての基本的事項について問う。平常点は、授業への参加姿勢を評価する。

◆ E-Mail :

## ◆教育カウンセリングの基礎を学ぶ

〔教育カウンセリング論／教育相談〕

開講単位：2単位 担当者：植松 紀子

◆**学習目標** 教育カウンセリング（教育相談）の理論や方法の基礎を学びます。教育カウンセリングすなわち教育相談は、児童・生徒だけではなく幼児も含まれるもので、広い意味での教育相談の理論・歴史を学び、教育相談の方法としてのカウンセリングの理論、心理検査などにもふれながら、具体的な検査体験も行います。また、学校で行う教師の教育相談のあり方も講義します。

◆**授業方法** 教科書に準じて講義形式で行います。教科書に掲載されていない箇所は、プリントで補い、教科書に掲載されていても必要でない箇所については、ふれない場合があります。  
具体的な事例をあげながら、できるだけ抽象的な相談ではなく、自分で体験し考えていくことを積極的に取り入れますので授業中、植松からの質問も多くなります。

◆**準備学習** 学習の準備としては、日常に情報として発信される教育、子どもの問題、親の問題などに対して大きな関心を持ち、なぜこのような出来事が起きるのか、自分自身の問題として考えることが大事です。

◆**授業計画** [1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分]

1日目	教育カウンセリング、教育相談、学校教育相談の違いについて講義します。教育相談の理論、方法にふれ、カウンセリングの歴史、種類、方法、カウンセラーの態度、スキル、心理検査等を講義します。心理検査については実際に体験し、自己を客観的に把握できるように学びます。
2日目	前日の心理検査の説明を行い、学校現場での教育相談、すなわち教師による教育相談（学校カウンセリング）について、その本質、理論、実践（不登校、特別支援教育、いじめ、自殺など）について講義します。
3日目	学校カウンセリングの実際について多くの事例にふれながら、学校教育相談として重要である進路相談について講義します。最後に論述試験を行います。

◆**教科書** 通材『教育相談 0937／教育カウンセリング論 0947』 通信教育教材（教材コード000218）1,400円（税込）  
[当日資料配付] 当日プリント配布

◆**参考書** 丸沼『改訂生徒指導・教育相談・進路指導』野々村新他編者 田研出版 2,520円（税込）（送料340円）  
『クラス会議で子どもが変わる』ジェーン・ネルソン 会沢信彦訳 コスモスライブラリー  
〈上記の本は絶版のため図書館等を利用して下さい〉

◆**成績評価基準** 「最終試験」60% 「授業への取り組み（発表）」40%などによる総合的評価

◆ E-Mail :

## ◆歴史教育の進展を目指して

## 〔社会科・地理歴史科教育法Ⅱ〕

開講単位：2単位 担当者：関屋 雄一

◆**学習目標** 日本史を中心として、世界史との接点にも留意しつつ、生徒に身につけてもらうべき、歴史の大きな流れと各時代の要点を押さえる。同時に歴史教育の歴史的経緯と、現在置かれている現状を把握しつつ、今後教育を実践していく上で身に付けるべき視点について考える。

◆**授業方法** 各授業時間においては、講義形式が主であるが、模擬授業も行う。その際の割り振りなどは授業の際に改めて話をする。質疑応答や意見交換などを交え、受講する各自にとってより建設的な授業になることを心がけたい。

◆**準備学習** 指定された教材の読み込み以外にも、歴史学・歴史教育に関する文献などに多く目を通しておくこと。情報に接する、つまり「アンテナ」を常に張っておくことは、その後の思考と実践を行う前提として大事である。

### ◆授業計画〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	戦前から戦後に至る歴史教育全体の推移と、学習指導要領の変遷とその特色を講義する。歴史教育がどのような発想や方法論に基づいて、過去に行われていたのかを学ぶ。教材を事前に読み込んでもらうことが望ましい。後の模擬授業の割り振りなども行う。
2日目	日本史と世界史の接点を意識した、古代までの大きな流れとポイントを押さえていく。また、模擬授業を、教案作成や板書など、実際の授業を意識しつつ行う。授業の実践力向上を目指すとき、発表者の問題点や参考にすべき点を、受講者各自が考え、整理していく作業が不可欠である。
3日目	中世から現代までの大きな流れとポイントを押さえていく。日本史と世界史の接点については、時代が下るにつれてより一層、空間的把握も留意しつつ、意識する必要がある。また、2日目に引き続き模擬授業を行う。相互に建設的な意見交換を行っていくことを心がけてもらいたい。

◆**教科書** 通材『社会科・地理歴史科教育法Ⅱ 0958』通信教育教材（教材コード 000388）1,800円（送料込）

◆**参考書** 特に指定しないが、上記の準備学習を意識すること。

◆**成績評価基準** 発表・質疑応答（50%）、試験（50%）毎回の出席を前提に評価する。

◆**E-Mail** :

## ◆第二言語習得研究理論からの英語指導

## 〔英語科教育法IV〕

開講単位：2単位 担当者：岡田 善明

◆**学習目標** 心を通わせ英語コミュニケーションにより「いじめ」のない精神性の高い英語教育を実現するために岡田善明著「英語教育の精神と実践」及び Rod Ellis 著 *Second Language Acquisition* を基にして、第二言語習得研究の観点から、中学・高校の英語教育における指導法を考え、指導法を確立する。

特に英語指導を学習者の中間言語の発展的育成として捉え、コミュニケーション能力の指導の在り方を考えていく。

◆**授業方法** 予習として各章を読み、授業ではグループ学習を通して順番に学生が内容を発表し（英語か日本語）、内容に関して討論を行う。また模擬授業を行い、学習した内容を踏まえた実際の指導法を身に着ける。

◆**準備学習** ワークシートにより、授業で行うページを必ず予習し授業での討論に備える。

### ◆授業計画〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	オリエンテーション 英語科教育の精神と実践 1. Introduction: describing and explaining L2 acquisition
2日目	2. The Nature of Learner Language 3. Interlanguage 4. Social aspect of interlanguage 5. Psycholinguistic aspects of interlanguage
3日目	模擬授業（学習した中間言語の進化を促すための授業実践を行う） 試験（学習した内容の論述試験）

◆**教科書** 通材『英語科教育法IV 0962』通信教育教材（教材コード 000227）2,800円（送料込）

〈この教材は市販の『Second Language Acquisition』Rod Ellis 著（OXFORD）と同一です〉

◆**参考書** 授業内で紹介する

◆**成績評価基準** 輪読、模擬授業、試験等で総合的に評価する。

◆**E-Mail** :

## ◆書法の基礎

## 〔かな書法〕

開講単位：2単位 担当者：山本 まり子

◆**学習目標** 基本的事項について学習し、それらを踏まえ、創作も行う。後半は漢字についても少しふれる。毛筆による実践を通して体系的に学び、理解を深めたい。

◆**授業方法** 平安時代の書写とされる名筆のいくつかを中心に講義・実践を行う。それらをもとに、各自、「提出作品」を制作する。「提出作品」の内容は担当者作成のプリントによる。当日は、プリント・教科書等（その他、必要なものはプリントに記載）、忘れ物のないように万全を期するように。

◆**授業計画** (1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分)

1日目	・ガイダンス ・文房四宝（筆・墨・硯・料紙）・印泥等に関する基礎的事項 ・単体の基本	・書道用品店見学 ・連綿の基本
2日目	・散らし書きの基本 ・「寸松庵色紙」の鑑賞と臨書	・創作 ・書簡文
3日目	・午前：各单元における清書を和綴じの上、提出。 ・午後：講義形式の後、筆記試験（教科書・プリント等、持込可）	

◆**準備学習** 詳細は事前に送付されるプリントに記載。受講前に必ず目を通し、予習を行なっておくように。

◆**参考書** 事前に資料を送付する。

◆**教科書** 通材『かな書法手本 0981』 通信教育教材（教材コード 000239） 600円（送料込）

※教科書は必携である。手引内購入方法等を確認し、授業時に必ず持参されたい。

※『かな書法教本 0981』（教材コード 000238）は使用しないため、購入の必要はありません。

◆**参考書** 当日、適宜、紹介する。

◆**成績評価基準** 受講状況（授業中の課題への取組み方、積極性等）50%、成果物 30%、授業内テスト 20%

◆ E-Mail :

## ◆フィールドからの出発

## 〔文化人類学〕

開講単位：2単位 担当者：清水 亨

◆**学習目標** 文化人類学は人間が作り出した文化・社会を研究対象とする。本講義ではこの文化人類学がいかなる学問であるか、その概要を学ぶ。実証的かつ実践的なフィールドワークという方法によって築き上げられた文化人類学は、異文化および自文化への多角的、分析的な視点を有する。文化人類学を学ぶことによって現代社会において異なる文化や社会との接触より起こりうる摩擦や問題に対し、的確に認識、分析できる思考の基礎を養いたい。

◆**授業方法** 講義形式にておこなう。テキストに沿って文化人類学の概要を学んでいく。適宜、視聴覚教材の使用、参考資料となるプリントの配布、実際に使われている物質資料の観察などから、より理解を深めていきたい。また講義も質疑応答を行い、理解度を確認しながら進めていきたい。

◆**準備学習** より深い理解をするために、授業前にテキストを必ず精読し、疑問点などを整理しておくこと。また、参考書も授業中に提示するのであわせて目を通すことを勧める。

◆**授業計画** (1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分)

1日目	ガイダンス 「民族と国家」	「フィールドワークと人類学」 「家族と親族」
2日目	「セクシュアリティーとジェンダー」 「儀礼と分類」	「交換と経済」 「宗教と呪術」
3日目	「死と葬儀」 「グローバル化と他者」	「文化とアイデンティティ」 試験

◆**教科書** 通材『文化人類学 2009』 通信教育教材（教材コード 000424） 2,850円（送料込）

〈この教材は市販の『文化人類学のレッスンフィールドからの出発（増補版）』奥野克己・花渕馨也著（学陽書房）と同一です〉

◆**参考書** 授業中適宜指示する。

◆**成績評価基準** 受講状況（30%）、試験（70%）

◆ E-Mail :

## ◆博物館実習 I

[博物館実習 I ]

開講単位：2単位 担当者：折茂 克哉

◆**学習目標** 博物館の専門職員である学芸員として知っておかなければならない理論や知識の他に、業務を行う際に直面するであろう問題について考える。そのなかでも特に重要な資料に関する問題への理解、資料に接する際に必要な実技の体験、習得を目標とする。

◆**授業方法** 博物館や学芸員業務の実際についての講義。日常業務のなかで学芸員が資料に接する機会を想定し、資料の収集・調査、保管・運搬、そして展示という3つの状況下における作業を体験する。また、事後のレポートだけでなく、毎回の終了時にも小レポートを提出する。

◆**準備学習** 各自所持している博物館学関係の書籍・資料を再読しておいてください。授業時には実際に作業を行うので、動きやすい服装を心がけ、身につけたアクセサリー類は外せるようにしておいてください。

◆**授業計画** (1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分)

1日目	ガイダンス、博物館実習概説、資料の基本的な取り扱い方法
2日目	学芸員の仕事、資料収集・調査に関わる作業、保管・運搬に関わる作業
3日目	博物館業務の種類、展示に関わる作業、まとめ

◆**教科書** 特になし（毎回プリントを配布）

◆**参考書** 特になし（毎回プリントを配布）

◆**成績評価基準** 毎回の小レポート（60%）と事後レポート（40%）による

◆**E-Mail :**

## 各期の開講講座表と講座内容（シラバス）

# 第3期

日 程		授 業 時 間	備 考
8月 9日	金	9:00～17:30	※時間内に昼休みを設けます。
8月 10日	土	9:00～17:30	
8月 11日	日	9:00～17:30 <試験も含む>	

※以下の第3期開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		受講 方 式	制 限・注 意				
			科 目 コ ー ド	科 目 名		配当 学 年	カリ キ ュ ラ ム	受 講 条 件		
D1	総 合 科 目	根岸 良征	0001	総合科目 I	※	1年		I～VIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。 スクーリング1回の合格で単位完成する科目です		
			0002	総合科目 II						
			0003	総合科目 III						
			0004	総合科目 IV						
			0005	総合科目 V						
			0006	総合科目 VI						
D2	法 学	根本 晋一	0021	法学（日本国憲法2単位を含む）		1年				
D3	英 語 C	大住 有里子	0041	英語 I		1年		I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。		
			0042	英語 II						
			0043	英語 III		2年				
			0044	英語 IV						
D4	英 語 D	北原 安治	0041	英語 I		1年		I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。		
			0042	英語 II						
			0043	英語 III		2年				
			0044	英語 IV						
D5	英 語 基 础	上島 美佳	0046	英語基礎		1年	D	英文学専攻は申込不可		
D6	フランス語 I・II	大庭 克夫	0056	フランス語 I		1年		I・IIのどちらに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。		
			0057	フランス語 II						
D7	中 国 語 I・II	稻葉 明子	0061	中国語 I		1年		I・IIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。		
			0062	中国語 II						
D8	英 米 文 学 概 説	竹野 一雄	0086	英米文学概説		条件 参 照		英文学専攻のみ1学年以上申込可 その他は2学年以上申込可		
D9	哲 学 基 础 講 讀	宮原 琢磨	0091	哲学基礎講読		条件 参 照		哲学専攻のみ1学年以上申込可 その他は2学年以上申込可		
DA	憲 法	名雪 健二	0121	憲 法		条件 参 照		法学部のみ1学年以上申込可 その他は2学年以上申込可		
DB	民 法 V	矢田 尚子	0137	民 法 V						
DC	商 法	鬼頭 俊泰	0140	商 法		2年				
DD	法学特殊講義 I・II	山岡 永知	0190	法学特殊講義 I	※	2年		I・IIのどちらに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。		
			0191	法学特殊講義 II						
DE	西 洋 政 治 史	渡邊 容一郎	0214	西 洋 政 治 史		2年				
DF	国文学講義IV(近世)	佐藤 至子	0336	国文学講義IV(近世)		2年				
DG	文 章 表 現 法	木村 一	0379	文 章 表 現 法		2年		国文学専攻のみ申込可		

### 注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	充当科目		受講方式	制限・注意		
			科目コード	科目名		配当学年	カリキュラム	受講条件
DH	国文学演習 A	藤平 泉	0386	国文学演習 I	※	3年		国文学専攻のみ申込可 I～VIのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず記 入してください。
			0387	国文学演習 II				
			0388	国文学演習 III				
			0389	国文学演習 IV				
			0390	国文学演習 V				
			0391	国文学演習 VI				
DJ	イギリス文学史 II	猪野 恵也	0412	イギリス文学史II		2年		
DK	英作文 I A	石川 勝	0447	英作文 I	※	2年		スクーリング1回の合格で単 位完成する科目です
DL	英語音声学	森 晴代	0450	英語音声学		2年		
DM	スピーチコミュニケーション I	ダレル ハーディ	0453	スピーチコミュニケーション I		2年		英文学専攻のみ申込可
DN	英語学演習 C	秋葉 倫史	0481	英語学演習 I	※	3年		英文学専攻のみ申込可 I～IIIのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず記 入してください。
			0482	英語学演習 II				
			0483	英語学演習 III				
DP	英米文学演習 D	野口 肇	0486	英米文学演習 I	※	3年		英文学専攻のみ申込可 I～IIIのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず記 入してください。
			0487	英米文学演習 II				
			0488	英米文学演習 III				
DQ	倫理学特殊講義	金子 佳司	0573	倫理学特殊講義	※	2年		
DR	哲学演習 A	長谷川 武雄	0581	哲学演習 I	※	3年		哲学専攻のみ申込可 I・IIのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず記 入してください。
			0582	哲学演習 II				
DS	西洋史概説	池本 今日子	0624	西洋史概説		2年		文理・経済・商学部のみ申込可 法学部のみ申込可
			0628	西洋史概論				
DT	東洋史演習	高綱 博文	0686	東洋史演習 I	※	3年		史学専攻のみ申込可 I・IIのどちらに該当させる のか充当科目コードを必ず記 入してください。
			0687	東洋史演習 II				
DU	考古学演習	寺内 隆夫	0698	考古学演習 I	※	3年		史学専攻のみ申込可 I・IIのどちらに該当させる のか充当科目コードを必ず記 入してください。
			0699	考古学演習 II				
DW	経済原論	関谷 喜三郎	0711	経済原論	条件 参照			経済学部のみ1学年以上申込可 文理・商学部は2学年以上申込可 法学部政治経済学科のみ1学 年以上申込可 法律学科は2学年以上申込可
			0712	経済学原論				
DX	日本経済史	古賀 義弘	0722	日本経済史		2年		
DY	社会政策論	今井 拓	0761	社会政策論				文理・経済・商学部のみ申込可 法学部のみ申込可
			0762	社会政策				
E1	経営学	松本 芳男	0841	経営学		2年		商学部のみ1学年以上申込可 その他は2学年以上申込可
E2	特別活動の研究／ 特別活動論	今泉 朝雄	0942	特別活動の研究	※	2年		本誌11ページを参照 スクーリング1回の合格で単 位完成する科目です
			0943	特別活動論				
E3	生徒指導・ 進路指導論	野々村 新	0944	生徒指導・ 進路指導論	※	2年		スクーリング1回の合格で単 位完成する科目です
E4	社会会科・ 公民科教育法 I	壽福 隆人	0959	社会会科・ 公民科教育法 I	※	2年		法学部・哲学専攻・史学専攻・經 済学部・商学部のみ申込可 スクーリング1回の合格で単 位完成する科目です
E5	地誌学	永野 征男	0967	地誌学		2年		哲学・史学専攻・經濟学部の 申込可 法学部のみ申込可 商学部のみ申込可
			0968	地誌学概論				
			0969	地理学概論 (地誌を含む)				
E6	国語科教育法 II	品川 利幸	0992	国語科教育法 II	※	2年		国文学専攻のみ申込可 スクーリング1回の合格で単 位完成する科目です
E7	博物館経営論	中野 照男	2011	博物館経営論	※	2年	D	スクーリング1回の合格で単 位完成する科目です

## 講座内容（シラバス）

### ◆初歩から始めるパソコン～メディア授業を受けるために～ 【総合科目】

開講単位：2単位 担当者：根岸 良征

◆**学習目標** 情報技術や情報セキュリティについて基礎的な知識を習得し、パソコンを有意義に利用できるようになることを目標とする。講義を受講後、メディア授業を受講するためにはどのような機器を用意すれば良いのかを自分自身で判断したり、パソコンで安全に情報を扱えるようになってほしい。

◆**授業方法** 授業は講義中心に行いますが、適宜パソコンを操作してケーススタディをします。また、毎回授業中に課題を出題します。教科書は講義で利用しますので、必ず持参してください。

※授業は、Windows Vista, Office2007 の環境で実施します。

◆**準備学習** 日本語入力、マウス操作といった基本的なパソコン操作はできることを前提に講義を進めますから、不安な学生は事前に練習をしてから受講してください。また、最近発生したコンピュータセキュリティ関連の事件（個人情報の流出など）を2～3調べておいてください。新聞などを注意して見ているとよいでしょう。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	・コンピュータの進化～最初のコンピュータから現代のパソコンまで～ ・パソコンで扱うデータの種類、情報技術について～情報の表現とデータ形式～ ・コンピュータハードウェアの種類と役割 ・基本ソフトウェアと応用ソフトウェアの種類と役割～Windowsが必要な理由～ ・パソコン基本操作～ファイル管理とバックアップ～
2日目	・コンピュータネットワークとインターネットのしくみ～インターネットでの情報検索～ ・インターネットのサービス～メディア授業～、メディア授業の受講方法 ・情報セキュリティ基礎知識 その① 「様々な脅威」～標的型攻撃、情報漏えい～
3日目	・情報セキュリティ基礎知識 その② 「セキュリティ対策」～ファイアウォール、暗号と認証～・情報セキュリティ基礎知識 その③ 「無線 LAN での対策」 ・スクーリング最終課題演習

◆**教科書** 丸沼『情報セキュリティ読本「IT時代の危機管理入門」』4訂版 実教出版 情報処理推進機構（IPA）著（ISBN978-4-407-33076-2）525円（税込）（送料260円）

◆**参考書** 特になし

◆**成績評価基準** 授業への参加度（毎回の課題の評価など）による評価が60%、最終課題の内容による評価が40%。なお、最終課題を提出しないと評価をつけません。

◆ E-Mail :

### ◆法学要説—法律学入門—

【法学】

開講単位：2単位 担当者：根本 晋一

◆**学習目標** 大学に学び、学士の称号を取得する者に相応しい法的教養の涵養をめざす。なお、本講座の目的は、抽象的な法哲学的思索ではなくて、法律の機能面（紛争解決規範性）の理解である。従って、条文解釈の手法や、わが国における国法体系の理解、主要法律（主として基本六法）の制定目的、主要条文の趣旨や解釈（定義・趣旨・要件・効果・論点・判例）の理解と修得に重点を置く。

◆**講義方法・受講上の注意** 講義形式を採用する。シラバス（学習計画）は凡そその目安である。法改正や新判例、新論点を追加した場合、シラバスと進行に齟齬が生じる場合もある。なお、根本「法学」スク2単位+根本「法学」スク2単位=「法学」1科目（4単位）完成は不可である。例外は認めない。

◆**準備学習** 前回講義における板書事項を、しっかりと読み直していくこと。それが本講義における予習であり、準備学習である。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	学習目標の再確認 “法（灘）”の概念・法律の機能（紛争解決規範性・行為規範と裁判規範）・法律解釈の手法・法の適用（法的三段論法）・国法体系・法の分類方法 など
2日目	(昨日の続き) 国家と法（公法・最高法規としての“憲法”） 財産関係と法（私法・財産取引法としての“民法”と“商法・会社法”） 家族関係と法（私法・身分関係・相続関係を規定する法としての“民法”）
3日目	(昨日の続き) 犯罪と法（公法・犯罪と刑罰に関する法としての“刑法”） 裁判と法（公法・裁判のプロセスを規定する“訴訟法”） 筆記試験（但し、レポート試験の場合には実施しない）

◆**教科書** 指定しない。

◆**参考書** 通材『法学 0021』通信教育教材（教材コード 000394）1,700円（送料込）  
その他の文献については適宜紹介をする。

◆**成績評価基準** 筆記試験またはレポートの成績・授業態度等を、総合的に考慮する。

◆ E-Mail :

## ◆旧約聖書物語を読む

〔英語 C〕

開講単位：1単位 担当者：大住 有里子

◆学習目標 西欧で最も知られている書物が聖書だそうです。そして、聖書は世界最高の文学作品と言う人もいます。世界最高の文学作品かどうか、自分で判断してみて下さい。旧約聖書から作られた物語を読みます。旧約聖書を味わうことと、辞書があれば初めての英語でも何とか意味を取っていけるようになることを目標とします。

◆授業方法 一人半ページ位を読んでいただき、その大まかな内容を言って下さい。その際、意味のとれないところなどの質問もお出しください。一緒に解決して読み進めます。

◆準備学習 事前にテキストを読み、知らない単語は辞書で調べ、自分なりの内容把握に努めてください。声に出して読む練習をなさるといいです。予習段階で生じた質問を授業で解決したいと思います。

◆授業計画 [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	1. God's First Big Bang 2. The Snake in The Garden 3. The First Murder 4. The Flooded World
2日目	5. God's Great Joke 6. The Horrifying Plagues 7. The Miraculous Walls of Water 8. The Fury of Moses
3日目	9. The Secret of The Hero's Hair 10. The Boy And The Giant 11. Fiery Elijah And Terrible Jezebel 12. The Prophet And The Whore 試験

◆教科書 四沼 *Dramatic Tales from The Bible*, Gavin Bantock, 武谷紀久雄 編註, 金星堂 1,260円(税込)  
(送料 260円)

◆参考書 『聖書』 新共同訳、日本聖書協会  
『旧約聖書を知っていますか』阿刀田高 新潮社 1993年  
授業でも折に触れ紹介します。

◆成績評価基準 授業への参加具合と試験から総合的に評価します。

◆E-Mail :

## ◆英語の基本構造を学ぶ

〔英語 D〕

開講単位：1単位 担当者：北原 安治

◆学習目標 五文型に基づき、英文の構造を把握する講義。

◆授業方法 予習段階で英文を5行ほどの間隔でノートに写す。その英文の下にS(主語), V(動詞)などを書いてもらい、訳を付ける。細かく板書するので訳が書き取れないということはない。予習の段階で必ず本文をノートに写していくこと。各色のマーカーなど持ってくると良い。受講者の速度に合わせるので、かならずしも授業計画どおりにはならない。本文のみやり練習問題はやらない。最終の試験日にノート検査をする。ノート無きものは単位を与えない。および板書事項を正確にすべて写していないノートは不可とし単位を与えない。第7章から始める。

◆準備学習 予習段階で英文を5行ほどの間隔でノートに写す。ノートの見開きの左のページに英文を写し、右のページに訳をつけても良い。単語を調べてくること。和訳小テストをする場合があるので辞書を持ってくること。

◆授業計画 [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	第7章「ロシア」の文法構造理解と和訳のやり方を学ぶ。基本文法事項を再確認して理解を深める。勘に頼る単語の並べ替えの和訳ではなく文法構造に基づき論理的に訳せるようにする。
2日目	第7章「ロシア」の文法構造理解と和訳のやり方を学ぶ。基本文法事項を再確認して理解を深める。勘に頼る単語の並べ替えの和訳ではなく文法構造に基づき論理的に訳せるようにする。スムーズに進めれば次の課にも入りたい。
3日目	第8章「中国」の文法構造理解と和訳のやり方を学ぶ。基本文法事項を再確認して理解を深める。勘に頼る単語の並べ替えの和訳ではなく文法構造に基づき論理的に訳せるようにする。ノート検査と試験。

◆教科書 四沼『Major Countries in the World～世界の主要国～』小泉和弘編、鳳書房 (Tel/Fax (03) 3483-3723) 1,890円(税込)(送料 340円)

◆参考書 四沼『ロイヤル英文法』1,890円(旺文社)(税込)(送料 500円)  
この本は講義では使いません。辞書は毎回持ってくること。

◆成績評価基準 皆出席を前提とする。試験、小テストなどの総合評価。

◆E-Mail :

## ◆シャーロック・ホームズ（短編）を読む

〔英語基礎〕

開講単位：1単位 担当者：上島 美佳

- ◆学習目標
- ・基本的な文法事項を復習・確認しながら、Conan Doyle の代表的作品、Sherlock Holmes の短編を読みます。
  - 初心者にも読みやすいテキストを用います。長文に慣れること、英語を正確に読めることを目指します。
- ◆授業方法
- ・演習形式で行います。該当箇所を音読し、和訳してもらいます。必要事項は逐次説明を加えていきます。
  - また DVD を鑑賞することによって、当時のイギリス社会及び文化を認識し、作品の理解を深めます。
  - ・受講者の様子を見ながら進行します。辞書は必ず持参してください。
  - ・小テストを行い、文法事項の確認をします。
- ◆準備学習
- ・事前に郵送されたプリントについては、訳しておいてください。（1日目に使用するので、持参してください。）
  - ・使用テキストは、当日配布いたします。

### ◆授業計画〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	・ガイドンス ・テキスト購読・発表 ・解説 ・小テスト
2日目	・テキスト購読・発表 ・解説 ・DVD 鑑賞 ・小テスト
3日目	・テキスト購読・発表 ・解説・まとめ ・試験

◆教科書 **事前資料送付** **当日資料配付** 事前及び当日にプリントを配布いたします。

◆参考書 英和辞書（電子辞書可）を必ず持参してください。

◆成績評価基準 小テスト・発表・試験により、総合的に評価します。

◆E-Mail：

## ◆中学の英語をフランス語に変換します

〔フランス語Ⅰ・Ⅱ〕

開講単位：1単位 担当者：大庭 克夫

- ◆学習目標 英語にすれば中学1年生レベルの内容が、フランス語で言えて・書けて・聴き取れるようにするのが目標です。また報告課題や科目習得試験のフランス語Ⅰにしっかりと合格できるだけの学力を養成します。なお名称は「フランス語Ⅰ・Ⅱ」となっていますが、授業時間数からいって実際に扱えるのはフランス語Ⅰの内容だけです。
- ◆授業方法 中学で習う英語をベースに（基礎英語がきちんと身に付いていることが単位取得可能の大前提です）、基本的な単語や冠詞の使い分け、提示の仕方、動詞の人称変化などを学習します。なお下記の「準備学習」でも触れましたが、全くの初学者の人がわずか3日間で仏語Ⅰの内容を習得するのは到底不可能です。そこで事前に「報告課題」に取り組んでいただき、その過程で生じた疑問・質問に私が答えていくという〈双方向〉の授業にしたいと思います。
- ◆準備学習 外国語という覚えて初めて意味を持つ科目、しかも英語と異なりすべてが未知の科目にとって、3日制というのは実に大きなハンデです。そこで初学者の人は是非受講前に報告課題のフランス語Ⅰを提出してください。仮にそれが「不合格」になったとしても一向に構いません。その過程で様々な疑問が生じるはずです。それをぜひスクーリングでの場でぶつけてください。何の準備もしなかった場合に比べて何（十）倍もの学習効果が得られるはずです。

### ◆授業計画〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	フランス語のアルファベ、発音のルール（大切）、フランス語の発音記号、基本的な可算名詞と不可算名詞、名詞の性別、不定冠詞・定冠詞・部分冠詞、数詞（1～10）、3種類提示の仕方【配布プリント第1課～第2課】。 ※フランス語は英語と異なり綴り字と発音との間にさくらんばとした規則のある言葉です。規則を覚えるのが面倒ではなく、規則があるからこそ覚えることが可能です。初日はこの規則を徹底して意識してもらいます。
2日目	主語人称代名詞、第1群規則動詞の活用と用例、副詞の語順【配布プリント第3課】、動詞〈être〉（= be 動詞）と〈avoir〉（= have）の活用と用例、疑問文と否定文の作り方、指示形容詞【配布プリント第4課】。 ※仏語と英語の最大の違いは動詞が人称変化するかしないかです。動詞の活用さえマスターしてしまえばあとは基本的に英語と同じです。仏語Ⅰで扱う動詞は3種類だけです。その活用をしっかりインプットしてください。
3日目	普通形容詞の用法（前置形容詞と後置形容詞）、疑問詞〈Que〉（= What）と〈Qui〉（= Who/Whom）を用いた例文【配布プリント第5課】。第1課～第5課までの総復習と音声演習。 ※3日目は最後に試験を行うので、午前中新しく覚えてもらう事柄としては形容詞の用法と用例くらいです。午後は第1課～第5課までの総復習と音声演習にあてて、最後に150点満点（問題数が多いので）の試験を行います。

◆教科書 **当日資料配付** 授業開講時にこちらでプリントを配布します。 **事前資料送付** また事前に音声演習用のCDを郵送いたします。

◆参考書 **丸沼** 仏和辞典を必ず一冊用意して下さい。個人的には電子辞書をお薦めできません。現在辞書をお持ちの人はそれで結構ですが、新しく購入されるのであれば白水社の「Le Dico 仏和辞典」3,990円（税込）（送料500円）がお薦めです。

◆成績評価基準 試験の結果（＝努力の結果）90%，授業への取り組み10%。なお試験はすべて「和文仏訳」とヒヤリング形式（原文を書き取ったのち和訳する）で出題します。安直な和訳・書き換え・穴埋め・採一等は一切出題しません。

◆E-Mail：

## ◆音から世界を把握する

[中国語Ⅰ・Ⅱ]

開講単位：1単位 担当者：稻葉 明子

◆**学習目標** 中国語の発音を完全に理解し、漢字や日本語訳に頼らず音声のみから文と文脈を自力で捉えていく訓練を通じて、自立的な言語習得の基礎を築きます。日付・時刻・買い物といった数字の訓練を通じて反応のスピードアップも図ります。

◆**授業方法** 日本語の連想の無い状態で、本文についてシートを用いた単語の音声導入を行い、場面と音声から自力で内容を掴んでいく訓練を行います。普通に出席していれば、スクーリング中に発音記号の疑問点は解消するでしょう。初日に学習方法を示すので、2日目以降に行う小テストにむけて指示通りに復習をしてください。

◆**準備学習** 音声による認識と練習が主眼の授業ですので、教科書についてはあえて「予習せずに」臨み、指示通りの復習を必ず行ってください。教材音声に手軽に親しめる環境を作つておいてください。(付属CDをプレーヤーに取り込む、出版社のHPにアクセスするなど)

◆**授業計画** (1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分)

1日目	発音の総復習と実地訓練。(声調・母音・子音・音節) 基本単語の音節把握とスクーリング中の基本作業の確認。 (随時教科書使用部分を示す)
2日目	数字・日時の言い方と時間量の概念。 (随時教科書使用部分を示す)
3日目	数字・金額・大きな数字の概念。 (随時教科書使用部分を示す) 教場試験

◆**教科書** 通材『中国語Ⅰ 0061』通信教育教材(教材コード000456)2,750円(送料込)  
<この教科書は、関中研『中国語@キャンパス会話編(改訂版)』(朝日出版社)と同一です>  
[当日資料配付]その他プリントを配布。

◆**参考書** 授業中随时紹介します。2日目以降に教科書附属CDを用いた復習が必要になります。  
WEBの教科書補助教材にもアクセスできると更に便利です。

◆**成績評価基準** 最終試験を基礎に、2日目以降の小テスト、学習状況を加味して判断します。受講前に予想できる内容ではなく、柔軟な取り組みが必要ですが、指示通りに取り組めば、難しいものではありません。

◆ E-Mail :

## ◆英文学とキリスト教

[英米文学概説]

開講単位：2単位 担当者：竹野 一雄

◆**学習目標** キリスト教がイギリスの作家たちの構築する作品世界とどのような次元で関わっているかを研究する方法論の会得のみならず、C.S.ルイス文学のキリスト教的次元の解読を目標とする。

◆**授業方法** 日本文化構成要素としてのキリスト教、西洋におけるキリスト教と文学の対立の歴史の大略を確認し、イギリスのキリスト教について簡略に講述したのち、授業計画に記載してある作品世界にみるキリスト教との関連について見ていく。

◆**準備学習** 事前に送付する資料に目を通し、C.S. Lewis: *The Lion, the Witch and the Wardrobe*を熟読し、各作品についてはできるだけ多く読んでおくこと。

◆**授業計画** (1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分)

1日目	キリスト教の基礎知識 ・日本文化構成要素のキリスト教／西洋における文学否定論と文学肯定論／イギリスのキリスト教 ・C.S. Lewis: <i>The Lion, the Witch and the Wardrobe</i> Chap.1～6)
2日目	キリスト教と文学の関係① ・Shakespeare ( <i>Hamlet</i> ), Milton ( <i>Paradise Lost</i> ), Wordsworth ("The Rainbow"), Austen ( <i>Pride and Prejudice</i> ), Dickens ( <i>Christmas Carol</i> ), Charlotte Brontë ( <i>Jane Eyre</i> ), ・C. S. Lewis: <i>The Lion, the Witch and the Wardrobe</i> (Chap.7～12)
3日目	キリスト教と文学の関係② ・Hardy ( <i>Tess of the d' Urbervilles</i> ), D.H. Lawrence ( <i>The Man Who Died</i> ), C.S. Lewis ( <i>The Chronicles of Narnia</i> ), J.R.R. Tolkien ( <i>The Lord of the Rings</i> ), Graham Greene ( <i>The End of the Affair</i> ) ・C.S. Lewis: <i>The Lion, the Witch and the Wardrobe</i> (Chap.13～17) ・試験

◆**教科書** 丸沼「*The Lion, the Witch and the Wardrobe*」Lewis, C.S.著／森安 綾 解説注釈(研究社)1,680円(税込)(送料260円)

◆**備考** 授業計画に記載された作品は翻訳で読んでも良い。

◆**参考書** 『C.S. ルイス 歓びの扉——信仰と想像力の文学世界』竹野一雄著(岩波書店)

◆**成績評価基準** 授業に対する全般的な関わり方、ミニ・リポート、試験により総合的に評価する。

◆ E-Mail :

## ◆近代ヨーロッパの思考法—アルノーを読む—

〔哲学基礎講読〕

開講単位：2単位 担当者：宮原 琢磨

◆**学習目標** テクスト『論理学、別名思考の技法』は17～19世紀の約250年間、ヨーロッパ各地の大学で使われた論理学の教科書です。本授業ではその読解を通じて、西欧近代の思考法を正しく理解するとともに、本書によって培われた近代における人間のありかたについて考察します。

◆**授業方法** テクストの重要箇所を輪読しながら、質疑応答を重ね、目標に向けて理解を深める。また必要に応じて、デカルト、パスカル、マルブランシュ、ライブニッツらを参照しながら、アルノーがいかに自らの方法を構築したか、そして近代の普遍的人間像オネット・オムをつくり上げたかについて検証する。

◆**準備学習** テクスト『論理学、別名思考の技法』（指定教科書）を前もって読んでおいて下さい。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	I. テクストについての解説、授業の目標と進行、そしてテクストの哲学史的意義等を講義する II. テクスト第一部 観念の理論についての解説、読解、質疑応答 III. テクスト第二部 判断の理論についての解説、読解、質疑応答
2日目	I. テクスト第三部 推理の理論について解説の読解、質疑応答 II. テクスト第四部 方法の理論についての解説、読解、質疑応答
3日目	I. アルノーの学問・方法論の特質。第四部を中心にして、知識論を展望しつつ、アルノーの人間観を検証する。

◆**教科書** 通材『哲学基礎講読 0091』通信教育教材（教材コード000042）3,650円（送料込）

◆**参考書** 丸沼『方法序説』デカルト（岩波文庫）504円（税込）（送料180円）  
『パンセ』（中公クラシックス）(1)1,732円（税込）（送料340円）(2)1,627円（税込）（送料340円）(1),  
(2)両方で（送料390円）

◆**成績評価基準** 平常点と授業期間中に提出するレポートとの合計点によって評価する。

◆ E-Mail :

## ◆憲法を考える

〔憲法〕

開講単位：2単位 担当者：名雪 健二

◆**学習目標** 憲法は、国家のあり方を規定した基本法である。したがって、憲法を知ることは、われわれが国家生活をしていく上で極めて重要である。  
本講義では、憲法とは何かを理解してもらうよう努めたい。

◆**授業方法** 憲法の解釈論が中心となるが、憲法を理解するための前提として、その基礎観念、基本原理もみていく。また、生きた憲法を知るために、判例を取り上げる。そのための資料を配布する。

◆**準備学習** 授業計画が1回目から3回目まで記載されているので、授業を理解する前提として、教材をよく読んでおくこと。授業の範囲における専門用語については、法学（法律学）で辞典を引き、その意味を正確に理解しておくこと。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	憲法の学び方、憲法の概念、憲法の分類、日本国憲法制定の法理、日本国憲法の構造、日本国憲法の基本原理、天皇、基本的人権—人権総論
2日目	基本的人権—自由権（精神的自由、経済的自由、人身の自由）、社会権、国会の憲法上の地位、衆議院の解散、国会の権能（法律の制定、条約の承認、内閣総理大臣の指名）
3日目	議員の権能、内閣総理大臣の憲法上の地位・権能、違憲審査権、憲法改正

◆**教科書** 丸沼『日本国憲法要論』廣田健次 南窓社 3,399円（税込）（送料390円）

◆**参考書** 丸沼『増補ゼミナール憲法』名雪健二他 南窓社 3,360円（税込）（送料390円）

◆**成績評価基準** 授業態度・スクーリング最終試験により総合的に判断する。

◆ E-Mail :

## ◆家族法の現代的意義を学ぶ

〔民法V〕

開講単位：2単位 担当者：矢田 尚子

◆**学習目標** 家族法とは、民法の第4編の親族法、第5編の相続法を中心とする家族に関する実体法と、家族問題を扱う家事事件に関する手続法を広く総称する概念です。本講義では、家族法の基礎的な知識を正確に理解すること目標とします。その際は、具体的な事例を扱うこととし、その考察を通して、現代の多様化する家族の間での紛争の特色を知り、それを防止・解決するための方法を考えるとともに、これから家族法のあり方も探っていきます。

◆**授業方法** 講義形式で行います。指定のテキストのほか、そのテキストの理解を深める当日配付のレジュメを用いて講義を行っていきます。

◆**準備学習** 特別なことは必要ありません。ただし、短期間に広範囲にわたる講義を行うため、教科書をざつとでも目を通しておくとよいでしょう。

◆**授業計画** (1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分)

1日目	家族法の意義・特色及び夫婦に関する諸問題を学びます。 まず、家族法の特色基本原理、家族紛争の処理手続など家族法の総論的な内容を確認します。次に、親族の範囲、婚姻制度の意義、婚姻中の夫婦間の義務や財産関係の基礎を学びます。最後に、離婚制度、とりわけ、離婚原因、財産分与、子の親権、面会交流、養育費などについて広く検討していきます。
2日目	親子・老親扶養に関する諸問題を学びます。 まず、親子に関しては、法的な親子関係はいかに発生し、また、父母の婚姻の有無が子にどのような影響を与えるのかについてみていきます。その上で、議論の多い人工授精や代理出産にあたり、誰が親となるのか、また、養子制度や里親制度、児童虐待などについて考えていきます。 次に、老親扶養に関しては、少子高齢化が進む中、高齢者は誰とどこで最期を迎えるのかが大きな課題となっています。その解決策を探るための基礎的知識として、親の介護と扶養義務、生活保護や相続と扶養との関係性を広く学ぶとともに、成年後見制度についてもここで扱います。
3日目	相続・遺言に関する諸問題を学びます。 相続の意義・根拠を理解した上で、相続人と相続分、相続の承認と相続放棄、遺産分割など相続手続の一連の流れを広く学びます。さらに、遺言や遺留分制度を理解した上で、最近の相続にまつわる具体的な紛争事例をみていくことを通じて、現代の相続の問題点を知り、その解決方法を探っていきます。

◆**教科書** 通材『民法V 0137』通信教育教材（教材コード 000059）2,400円（送料込）

◆**参考書** 丸沼『家族法判例百選〔第7版〕』有斐閣 2,400円（税込）（送料340円）

◆**成績評価基準** 試験 100%。試験の形式や参照可能資料については、講義の最初に指示します。

◆**E-Mail :**

## ◆会社の仕組みと会社法

〔商法〕

開講単位：2単位 担当者：鬼頭 俊泰

◆**学習目標** この講義は商法の中から、「会社」について規定している会社法を解説します。日常生活を送る中で、会社とは多くの接点を持っているにも関わらず、実はよく会社の法的ルールを知らない、という人がほとんどであると思います。そこで、この講義は、会社のうち、最も重要性が高いと思われる株式会社に焦点を当てて講義を行い、株式会社に関する法知識を受講者に習得してもらうことを最終的な学習目標とします。

◆**授業方法** 毎回出席を取ったうえで、授業計画に従って講義を進めていきます。講義は、会社法の条文や実際の事例などを紹介しながら進めていますが、必要に応じて、受講生に質疑や小テストを行う場合もあります。なお、具体的な授業方法・内容については、1日目のガイダンスにおいて説明するので、必ず出席してください。

◆**準備学習** 予習は特に必要な必要はありませんが、復習はきちんとこなす必要があります。とりわけ、講義で説明がなされた難解な法律専門用語や、考え方の基本となる原理原則などは、きちんと押さえておかないと実際の問題に対応できないだけでなく、講義内容の理解にも支障をきたします。毎回の講義内容をきちんと理解し消化することが求められます。

◆**授業計画** (1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分)

1日目	ガイダンス、会社法の概要、株式会社の設立と法規制、株式と株主の地位 ※会社法の全体を概観したうえで、まず、株式会社はどのような手続きに従ってつくられるのか、その際にどのような規制が法的に課されているのか、につき、実際の事例などを素材に説明します。また、株式という制度についても法的・経済的側面から説明します。
2日目	株式会社の機関設計と各機関の概要、株主総会の機能・権限、役員の義務と責任、株式会社の資金調達① ※株式会社がどのような機関によって構成されているのか、それらはどのような機能・権限を有し、どのような責任を負っているのか、につき説明します。特に、株主総会と取締役（会）については重点的に説明を行う予定です。そのほか、募集株式の発行を素材に、株式会社がいかに資金を調達するのかを学びます。
3日目	株式会社の資金調達②、株式会社の組織再編、M&Aに関する法規制、講義のまとめ、テスト ※株式会社の資金調達につき説明します。前日に行う予定である株式会社の資金調達①の内容と併せて、株式会社がどのように事業に必要な資金を調達しているのかを学びます。また、既に出来上がった株式会社を、状況に合わせてつくり変えていく術（組織再編、M&A）を説明します。

◆**教科書** 通材『商法 0140』通信教育教材（教材コード 000451）2,000円（送料込）

◆**参考書** 六法（必携。最新版が望ましい。）

丸沼『会社法判例百選』江頭憲治郎ほか編 有斐閣 2,279円（税込）（送料340円）

◆**成績評価基準** 最終日に行うテストの評価をもとに成績評価を決定する。

◆**E-Mail :**

## ◆アメリカ合衆国における「司法審査」と憲法上の「人種・人権問題」 [法学特殊講義 I・II]

開講単位：2単位 担当者：山岡 永知

◆学習目標 特殊講義（外国法）の講義においては、アメリカ合衆国の「司法制度」及び「司法審査」について説明し、さらにアメリカ合衆国憲法の中で、主に「人種問題」に関して、判例研究を通じて、憲法上の権利について理解する。

◆授業方法 ディスカッションを中心に講義を進める。そのため、特に配布される判例を充分予習すること。

◆準備学習 テキストを良く熟読し、授業に使用される判例を予め学習すること。

◆授業計画 [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	序（歴史的背景） 司法制度と司法審査—判例研究：(1) <u>Marbury v. Madison</u> (2) <u>Fletcher v. Peck</u> (3) <u>Martin v. Hunter's Lessee</u> 政教分離—判例研究：(1) <u>Lemon v. Kurtzman</u> (2) <u>Wisconsin v. Yoder</u> 言論・出版の自由—判例研究：(1) <u>Schenck v. United States</u> (2) <u>New York Times Co. v. United States</u>
2日目	言論・出版の自由—判例研究：(3) <u>Miller v. California</u> (4) <u>New York Times Co. v. Sullivan</u> (5) <u>Texas v. Johnson</u> 平等の権利—判例研究：(1) <u>Dred Scott Case</u> (2) <u>Plessy v. Ferguson</u> (3) <u>Korematsu v. United States</u> (4) <u>Shelley v. Kraemer</u> (5) <u>Brown v. Board of Education of Topeka</u> (6) <u>Moose Lodge No. 107 v. Irvis</u> (7) <u>Regents of the University of California v. Bakke</u> (8) <u>Phillips v. Martin Marietta Corp.</u> (9) <u>Missouri v. Jenkins</u> プライバシーの保護—判例研究：(1) <u>Roe v. Wade</u> (2) <u>Planned Parenthood v. Casey</u> (3) <u>Cruzan v. Director, Missouri Department of Health</u> 他
3日目	デューブロセス（Due Process of Law）—判例研究：(1) <u>The Slaughter-House Cases</u> (2) <u>Lochner v. New York</u> (3) <u>Muller v. Oregon</u> (4) <u>Village of Euclid, Ohio v. Ambler Realty Co.</u> (5) <u>West Coast Hotel Co. v. Parrish</u> 刑事訴訟における被告の人権—判例研究：(1) <u>Powell v. Alabama</u> (2) <u>Gideon v. Wainwright</u> (3) <u>Mapp v. Ohio</u> (4) <u>Miranda v. Arizona</u> (5) <u>In re Gault</u> (6) <u>Gregg v. Georgia</u> (7) <u>M'Naghten's Case</u>

◆教科書 丸沼『対訳アメリカ合衆国憲法』 北脇・山岡共訳 国際書院 1,575円（税込）（送料340円）

◆参考書 丸沼『アメリカ法・総論』 山岡永知著 敬文堂 2,625円（税込）（送料390円）  
判例については授業中にプリントを配布する。

◆成績評価基準 レポートと平常点の総合評価による。

◆E-Mail :

## ◆ドイツの視点で西欧政治の流れを読み解く

## [西洋政治史]

開講単位：2単位 担当者：渡邊 容一郎

◆学習目標 現代ヨーロッパ／EU政治の本質を理解するためには、「ヨーロッパの優等生」「ヨーロッパの横綱」すなわちドイツとその政治経済に関する知識が不可欠である。そこで、本講義では、ドイツ政治史を軸として近現代ヨーロッパ政治史全体の流れを読み解くとともに、現代日本政治のあり方を考える材料を提供していくことにしたい。

◆授業方法 基本的には毎回講義形式で授業を進めていくが、できるだけ対話形式の授業を取り入れたいと考えている。かなり多量の板書をしながら講義を進めていくので、受講者は必ずノートブックを持参すること。必要に応じてレジュメや資料・年表を配付する。

◆準備学習 講義の理解度を深めるため、受講者には、指定されたテキストを予め読んでおくことが求められる。世界史あるいは西洋史の知識に不安のある受講生は、さまざま『世界史事典』ないし『世界史用語集』を手元に置いておくと便利だし、有益であろう。

◆授業計画 [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	I 「ドイツ」の形成と近現代ヨーロッパ政治史の幕開け ·ガイダンス（講義計画、試験実施方法） ·「神聖ローマ帝国」とその意義 ·「ドイツ」とは何か—ロマン主義と歴史学派 ·ドイツ三月革命と「第二帝国」の成立—英仏との比較 ·ビスマルク時代の内政と外交、第一次世界大戦の背景・経緯・特質 ·第一次世界大戦の意義とヴェルサイユ体制の成立
2日目	II 「ワイマール・ドイツ」から「ナチス・ドイツ」へ：戦間期のヨーロッパ政治 ·戦間期のイギリス政治とフランス政治 ·ドイツ11月革命と「ワイマール共和国」の成立 ·ワイマール共和国の構造と政党政治 ·ヒトラーとナチズムの台頭 ·第二次世界大戦の性格および意義とヤルタ体制の成立
3日目	III 「西ドイツ」から「統一ドイツ」、そして「EUの中のドイツ」へ ·冷戦期ならびにポスト冷戦期のヨーロッパ政治 ·ヨーロッパ統合と西ドイツの役割 ·ドイツ統一をめぐるヨーロッパ政治の展開 ·まとめ、自習（試験対策）、試験

◆教科書 通材『西洋政治史 0214』通信教育教材（教材コード000464）3,300円（送料込）  
〈この教材は市販の『現代ヨーロッパ政治史（増補版）』杉本稔著（北樹出版）と同一です〉

◆参考書 授業中に紹介します。

◆成績評価基準 特別な事情がない限り毎回出席していることを前提に、最終日論述試験の成績（100%）で評価する。

◆E-Mail :

## ◆妖術使いの物語

## 〔国文学講義IV（近世）〕

開講単位：2単位 担当者：佐藤 至子

◆学習目標 古文に親しむことを大きな目標として、近世文学を中心に、妖術（忍術・幻術）をとりあげた小説や演劇について概説する。妖術を使い生み出した想像力の背景には、どのような文化的な基盤があったのか。近世以前の文学や宗教にも目を向けながら、現代のファンタジー小説やマンガにもつながる物語のあり方について理解を深める。

◆授業方法 講義形式。代表的な作品を読み、解説する。1日目・2日目は、授業の終わりに用紙を配布し、講義の要点・感想を書いて提出してもらう。これを平常点とする。3日目は最終時間に教室内で小論文を書いてもらい、これを試験に替える。小論文の課題については1日目に説明する。

◆準備学習 授業では近世文学のさまざまなジャンルにふれることになる（読本、合巻、歌舞伎、浄瑠璃など）。個々のジャンルの特色や歴史について、十分に説明する時間はとれないで、自ら調べておくとよい。また、あらかじめ教科書を読んでおけば、よりよく授業を理解することができるだろう。

◆授業計画 [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	<ul style="list-style-type: none"><li>・妖術文学の定義、この講義で扱う文学の範囲などについて概説する。</li><li>・隠行の術（隠れ蓑・隠れ笠の物語、石川五右衛門の物語など）</li><li>・飛行の術（古代から幕末までの、飛行の術を使う妖術使いの物語）</li><li>・分身と反魂の術（仙人や陰陽師と妖術の関わり）</li></ul>
2日目	<ul style="list-style-type: none"><li>・蝦蟇の術（キリストと妖術の結びつきについて）</li><li>・鼠の術（仏教と妖術の結びつきについて）</li><li>・蜘蛛の術（女性と蜘蛛の結びつきについて）</li><li>・蝶の術（死者と蝶の結びつきについて）</li></ul>
3日目	<ul style="list-style-type: none"><li>・妖術使いの型と分類</li><li>・妖術文学のひろがり</li><li>・小論文作成</li></ul>

◆教科書 丸沼『妖術使いの物語』佐藤至子著 国書刊行会 2,520円（税込）（送料390円）  
※補足資料として当日プリントを配布する。

◆参考書 必要に応じて授業中に紹介する。

◆成績評価基準 小論文（50%）、平常点（50%）。毎回出席することを前提として評価します。

◆E-Mail：

## ◆伝わる文章のために

## 〔文章表現法〕

開講単位：2単位 担当者：木村 一

◆学習目標 現代に生きる私たちはコミュニケーションに苦しんでいる。伝わるものためには何をどうするべきなのか。書くための「ルール」を学び、実際に文章の表現にいたる。

◆授業方法 基本的には講義形式ですが、文章で表現してもらうのは受講生諸君です。また、状況により「口頭発表」してもらいます。書く以前の基礎を養い、基礎を学び、文章作成をする。

◆準備学習 各自積極的に講義ノートをとること。それに基づいて予習復習をしっかりすること。

◆授業計画 [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	導入、どう進めるか。 ①準備段階としての文章表現。 他人に自分のことを伝えるには何をどうしたら良いのか。 孤独な現代社会と「分かってほしいのに分かってくれない」現状。
2日目	②表現力／発想力のために。 抽象的なものごとを文章化してみること。 「伝わらないこと」の根底には。 伝えようとする努力とは。
3日目	③実践。 コラム・エッセイ・批評。 「伝わらないのは相手が悪い」？ 世界といかに関わるかということ。

◆教科書 通材『文章表現法 0379』通信教育教材（教材コード000109）2,400円（送料込）  
(この教材は市販の『日本語の表現』久保田修編（双文社出版）と同一です)

◆参考書 各自、国語辞書を必携とする。電子辞書があると便利。

◆成績評価基準 毎回出席することを前提とし、表現や提出物（70%）・質疑応答（20%）・受講状況（10%）で総合的に評価する。

◆E-Mail：

## ◆『小倉百人一首』をよむ

〔国文学演習 A〕

開講単位：2単位 担当者：藤平 泉

◆**学習目標** 鎌倉時代の歌人藤原定家撰の『小倉百人一首』をテキストとして、古典文学の基礎知識や、資料の作り方、文献調査の仕方などを学ぶ。

単に古典和歌の知識を学ぶだけではなく、客観的、論理的な思考とはどのようなものか、説得力ある資料の作成、口頭発表の仕方なども学ぶ。

◆**授業方法** 各自、『小倉百人一首』から好きな和歌1首を選び、その和歌の出典、解釈、成立に関する問題点、作者の出自、系図、文学的経歴などを調査して口頭発表し、質疑を行う。

◆**準備学習** 演習資料作成のための事前資料を送付する。また藤平の下記ホームページにも関連記事を掲載するので参照にされたい。<http://www.h3.dion.ne.jp/~fujihira/> それに基づき事前に資料を作成しておくこと。

各自テキストを購入後、通読しておくこと。その上で自分の担当したい和歌を第一候補、第二候補の2首選んでおくこと。(希望する和歌が重複した場合、発表順に2名まで同一の和歌を選べる。3番目以降になった人は、別な和歌を選び直してもらうことになる)

◆**授業計画** (1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分)

1日目	1 『小倉百人一首』成立の背景について講義 2 撰者 藤原定家という人物 後鳥羽院との関係。百人一首成立の謎 3 口頭発表の仕方、資料作成上の注意。 (参加人数多数の場合は、一日目最終時間から口頭発表開始)
2日目	各自口頭発表。参加人数によるが、基本は発表30分、質疑15分程度。
3日目	各自口頭発表。参加人数によるが、基本は発表30分、質疑15分程度。

◆**教科書** 丸沼『百人一首』有吉保 講談社学術文庫 1,417円(税込)(送料340円)  
〔当日資料配付〕他にプリントを配布する。

◆**参考書** 丸沼『新版 百人一首』島津忠夫 角川ソフィア文庫 660円(税込)(送料260円)

◆**成績評価基準** 口頭発表の内容、質疑への参加度などによる総合評価。

◆ E-Mail :

## ◆ヴィクトリア朝から James Joyce まで

〔イギリス文学史Ⅱ〕

開講単位：2単位 担当者：猪野 恵也

◆**学習目標** ヴィクトリア朝の作家からJames Joyceに至るまでの作家と作品を紹介していく。扱わない作家や作品もあるので、イギリス文学史というよりイギリス文学誌と捉えてほしい。各作品を読むためのきっかけになることを望みます。気に入った作品があれば翻訳(できれば原書)を読み、親しんで下さい。

◆**授業方法** プリントを配布しそれらを読み上げていき、作家の生涯や代表的な作品の内容に触れる。作品からの抜粋を読んだり、DVDも活用する。扱う作家が授業計画と異なる場合あり。

◆**準備学習** イギリス文学史の本で(どんなものでも可)あらかじめヴィクトリア朝からJames Joyceにいたるまでの文学史の流れを押さえておくとよい。

◆**授業計画** (1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分)

1日目	William Makepeace Thackeray ( <i>Vanity Fair</i> ) / Henry James ( <i>The Portrait of a Lady</i> ) / Oscar Wilde ( <i>The Picture of Dorian Gray</i> ) / Joseph Conrad ( <i>Heart of Darkness</i> ) / E.M. Forster ( <i>Howards End</i> )
2日目	小テスト / George Orwell ( <i>1984</i> ) / D.H.Lawrence ( <i>Lady Chatterley's Lover</i> ) / Virginia Woolf ( <i>Mrs. Dalloway</i> ) T.S. Eliot
3日目	W.B. Yeats / James Joyce ( <i>Ulysses</i> など)

◆**教科書** 当日プリント(枚数多し)

◆**参考書** 授業中指示する

◆**成績評価基準** 試験(70%) 小テスト(20%) 平常点(10%) 三日間の短期スクーリングなので皆出席を前提とする。各自のスケジュールを確認してから受講して下さい。

◆ E-Mail :

## ◆文法を重視した英作文の書き方

〔英作文Ⅱ〕

開講単位：2単位 担当者：石川 勝

◆学習目標 文法の誤りを正しながら英文を書くことを目的とする。日本語の感覚で英文を書くときに犯してしまいがちな誤りを細かくチェックし、自然な英文が書けることを目指す。

◆授業方法 テキストを中心に授業を行う。事前に指示された個所を予習しておくこと。授業中はアトランダムに指名し発表してもらう。予習していない場合は単位を認めない。

◆準備学習 各 Unit の英文の個所と A-1, A-2 をスクーリングの前に予習しておくこと。B に関しては授業中に指示する。  
C は行わない。

◆授業計画 (1日目：450 分, 2日目：450 分, 3日目：450 分)

1日目	ガイダンス Unit 11, 12, 13 の演習と解説。
2日目	Unit 14, 15, 16 の演習と解説
3日目	Unit 17, 18 の演習と解説 小テスト

◆教科書 丸沼『Common Errors in English Writing Sixth Edition』マクミランランゲージハウス 1,890 円（税込）(送料 340 円)

◆参考書 英和・和英辞典

◆成績評価基準 皆主席と予習が基本条件である。そのうえで小テストの結果で成績をつける。

◆E-Mail :

## ◆英語の音声現象の基礎理解

〔英語音声学〕

開講単位：2単位 担当者：森 晴代

◆学習目標 1. 日本語との違いを意識し、英語の発音の特徴及び発音記号を理解する。  
2. 英語のスペルと発音のずれに意識を置き、正確な発音を目指す。  
3. 発音記号からスペルに変換できる能力をつける。

◆授業方法 英語音声学の観点から母音、子音の説明を行い、項目ごとに小テストを課して習熟度を確認します。テクストには専門用語が数多く出てくるので、前もって読んでおいてください。必要に応じてプリントを配布し補足説明します。クラス全員の人数を見ながら 8 名から 10 名のグループを作り、発音練習の取り組みやプリント作成など協力しながら進めていきます。全員参加型の授業を目指します。

◆準備学習 たった三日間で一つの学問を習得することは至難の技です。授業は必然的に内容が詰め込まれ、プリントの枚数や発音練習が多くなります。最終目的是発音記号を正確に読める力をつけることです。辞典を引くとき発音記号を意識して見るようにしておきましょう。授業には必ず辞典を持参してください。

◆授業計画 (1日目：450 分, 2日目：450 分, 3日目：450 分)

1日目	コミュニケーションにおける音声、発声器官の名称説明、Phonics に関するプリント配布及び解答 英語の母音について（前舌母音、中舌母音、後舌母音、二重母音）、発音練習（単語、文） 母音確認プリント配布、解答 小テスト
2日目	英語の子音について（阻害音、鼻音、接近音、子音連続）発音練習（単語、文） 子音の確認プリント配布、解答 小テスト
3日目	母音、子音の補足説明、語強勢と文強勢の若干の説明、文章音読 小テスト 試験

◆教科書 丸沼『A Way to Better English Pronunciation—英語の発音、リスニング、スピーキングへの近道』英潮社フェニックス 2009 年 池田紅玉、森晴代著 2,310 円（税込）(送料 260 円)

◆参考書 丸沼『英語の音声を科学する』大修館書店 新装版 CD 付 川越いつえ著 2,520 円（税込）(送料 340 円)  
\*授業では使用しません

◆成績評価基準 平常点 (20%), 小テスト (20%), 試験 (60%)

◆E-Mail :

## ◆ Speech Communication 1

## 〔スピーチコミュニケーションⅠ〕

開講単位：1単位 担当者：Darrell Hardy

◆**学習目標** This course will focus on communication skills, mainly speaking and listening. The emphasis will be on using English in an authentic context and developing fluency.

◆**授業方法** This course is based on a topic-based syllabus where students will learn vocabulary, language structures and functions commonly used related to the topics. Students will then perform activities such as group tasks and role plays which incorporate the language covered in the section.

◆**準備学習** No prerequisites are required, just a willingness to communicate in English and do group work. The language and activities are set for pre-intermediate to intermediate level language ability.

### ◆授業計画〔1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分〕

1日目	Orientation, Introductions and Classroom Language. Topic 1: relevant vocabulary; language structures; group activities; tasks and role-plays.
2日目	Topic 2: relevant vocabulary; language structures; group activities; tasks and role-plays.
3日目	Topic 3: relevant vocabulary; language structures; group activities; tasks and role-plays. Written and speaking tests

◆**教科書** No textbook is required. Students will be provided with handouts. Students are expected to bring a notebook and a folder to keep handouts in.

◆**参考書** A dictionary may be useful but not necessary.

◆**成績評価基準** Grades will be based on class participation, a final exam and a speaking test.

◆ E-Mail :

## ◆英訳聖書の英語の変遷を見る

## 〔英語学演習 C〕

開講単位：1単位 担当者：秋葉 倫史

◆**学習目標** 聖書には多数の英訳聖書が存在する。本演習では、通時的言語区分（古英語（450-1100）・中英語（1100-1500）・近代英語（1500-1900）・現代英語（1900-））をもとに、各時代の聖書（『マタイによる福音書』第5章）を読み進める。それぞれの英訳聖書に使われる英語を比較することで、その言語変遷をみることを本演習の目標とする。同時に、様々な聖書が訳出された背景も学習する。

◆**授業方法** 序盤に、英訳聖書の歴史的背景と古い英語を読むための基礎知識を解説した後に、テキストを輪読形式で進める。まず、最も古い区分の古英語を読み、その後、各時代の聖書の同一箇所を比較検討する。受講者に音読、構文の説明、和訳等を発表してもらい、その後解説を加える形をとる。初日に受講者を確認し、2日目以降の担当箇所を決定する。なお、受講者数によって進路、担当を調整する。

◆**準備学習** 輪読形式で進めるため、テキストの予習が必要である。事前に、本演習用の注釈を配布する。その資料、または下記参考書等を用いて、単語、文法の理解に努めること。現代英語の聖書を参考にテキストの該当箇所内容を確認しておくことが必須である。

### ◆授業計画〔1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分〕

1日目	1. ガイダンス 2. 英訳聖書の歴史 3. 古英語の基礎知識（綴りと発音・語順・格変化等）
2日目	英訳聖書（『マタイによる福音書』第5章）の輪読・比較
3日目	1. 英訳聖書（『マタイによる福音書』第5章）の輪読・比較（2日目の続き） 2. 試験

◆**教科書** 事前資料送付 事前にプリントを配布する。

◆**参考書** 丸沼『英語史入門』 橋本功著 慶應義塾大学出版会 2,520円（税込）（送料340円）

丸沼『古英語・中英語初步』 市河三喜・松浪有著 研究社 3,045円（税込）（送料340円）

◆**成績評価基準** 試験（50%）、授業への取り組み（発表等）（50%）を総合的に評価します。ただし、全出席を前提とする。

◆ E-Mail :

## ◆文学として「聖書」を読む

〔英米文学演習 D〕

開講単位：1単位 担当者：野口 肇

◆**学習目標** 聖書を文学として読みます。主に旧約聖書から、人口に膾炙している、ストーリー性のあるいくつかの物語を読みます。人間の美醜について考え、また、人物の心理を探っていきます。英米文学に必要な、聖書、ユダヤ教、キリスト教についての基礎的な知識や、聖書が英米文学に与えた影響についてもお話ししていきたいと思います。堅苦しい、専門的な教義については、最小限度にとどめます。

◆**授業方法** 事前に予習をしてきてください。その際、表面的な意味だけではなく、人物の心理にも注意を払ってください。授業は、受講者の数にもよりますが、テキストを音読し、和訳してもらう形式で進めていきたいと思います。関連のビデオを見ます。最終日に、筆記試験を行います。

◆**準備学習** 自分で選んで、聖書、キリスト教に関する書物を、少なくとも1冊は読んでおいてください。

◆**授業計画** (1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分)

1日目	イントロダクション（聖書、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、エルサレムなどについて）／テキスト講読／ビデオ
2日目	テキスト講読／ビデオ
3日目	テキスト講読／筆記試験

◆**教科書** **事前資料送付** 英語聖書より抜粋したものを使用します。事前にプリントで配布します。

◆**参考書** 英訳聖書、日本語訳聖書をお持ちの方は、持参してください。

◆**成績評価基準** 筆記試験(70%)、予習及び授業への取り組み等(30%)を目安として、総合的に判断します。毎回出席することを前提とします。

◆ E-Mail :

## ◆倫理学の原点・アリストテレス倫理学を学ぶ

〔倫理学特殊講義〕

開講単位：2単位 担当者：金子 佳司

◆**学習目標** 倫理学(ethics, ethica)という学問を始めたのはアリストテレスです。そして、一般的には、彼の倫理学の集大成が『ニコマコス倫理学』だと言われています。そこで、最初の倫理学書と言える『ニコマコス倫理学』の概要を理解し、倫理学の原点を知ることがこの授業の目標です。

◆**授業方法** 授業は講義形式で行ないますが、できるだけ受講生の方々との対話を交えながら進めていきたいと思います。また、できるだけ『ニコマコス倫理学』の中のアリストテレス自身の言葉を紹介し、その言葉をいっしょに解釈しながら彼の考え方を理解していきたいと思います。

◆**準備学習** 事前に授業計画に書かれている箇所(『ニコマコス倫理学』第1巻～第3巻、第5巻、第7巻、第8巻～第10巻)に目を通しておいてください。そして、できれば、授業計画の中に示されている【テーマ】について考えておいてください。

◆**授業計画** (1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分)

1日目	・『ニコマコス倫理学』第1巻～第2巻の説明 【テーマ】人生の究極的な目的とは何か。人間にとて最も善いもの(最高善)とは何か。人間として優れていること(徳)とは何か。性格の徳(人柄が優れていること)とは中庸であるとはどういう意味か。
2日目	・『ニコマコス倫理学』第3巻、第5巻、第7巻の説明 【テーマ】勇気とは何か。節制(節度)とは何か。正義とは何か。抑制のなさ(自制心のなさ)とはどういうことなのか。快樂は善いものなのかな。
3日目	・『ニコマコス倫理学』第8巻～第10巻の説明 【テーマ】友愛(親愛)とは何か。自己愛と友愛はどのような関係にあるのか。幸福になるためには愛する人(友)が必要なのか。快樂とは何か。徳に基づく生活と観想活動(理論的思考活動)ではどちらが幸福なのか。 ・まとめと期末試験

◆**教科書** **丸沼**『ニコマコス倫理学』アリストテレス(朴一功訳／京都大学学術出版会〔西洋古典叢書〕)4,935円(税込)(送料340円)

**丸沼**『ニコマコス倫理学』アリストテレス(高田三郎訳／岩波書店〔岩波文庫〕)(上)903円(税込)(送料340円)(下)903円(税込)(送料340円)(上)(下)両方なら送料390円

\*前者が望ましいですが、これは高価なので、後者でも結構です。

◆**参考書** J.O.アームソン『アリストテレス倫理学入門』(岩波書店／岩波現代文庫または同時代ライブラリー)

\*これは現在、絶版ですが、図書館または古書店で入手すれば、予習時の参考になるでしょう。

◆**成績評価基準** 期末試験70%、平常点30%(平常点は授業中に行なう小テストによって評価します。この小テストは5回行なう予定。)詳しくは、1日目の授業の初めに説明します。

◆ E-Mail :

## ◆梅原猛の「人類哲学序説」

[哲学演習 A]

開講単位：1単位 担当者：長谷川 武雄

◆**学習目標** 「哲学はまず、自分の思想を自分の言葉で語らなければなりません」と梅原は言っている。この言葉をもってこの演習の目標とする。もちろん「自分の思想」そのものではないが、ある思想に対する自分の考え方（思想の第一歩と考えられる）を明確にすることで、梅原の言う、少なくとも「自分の言葉で語る」という行為は果たせるのではないか。この演習ではそれを可能な限り実践することを目指す。

◆**授業方法** 各自の個別読解、あるいは何人かの合同読解と発表、全員参加の質疑応答を組み合わせて行う。

◆**準備学習** 教科書を一通り読んでおくこと。特に演習の内容となっているデカルト、ニーチェ、ハイデッガー、及びヘブライズム、ヘレニズムについての概要を把握しておくこと。

◆**授業計画** [1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分]

1日目	これから授業についての説明／なぜいま「人類哲学」か（講義）・デカルト省察（発表、質疑応答、論述）
2日目	ニーチェ及びハイデッガー哲学への省察・ヘブライズムとヘレニズム（発表、質疑応答、論述）
3日目	森の思想（発表、質疑応答、論述）

◆**教科書** 丸沼『人類哲学序説』梅原 猛（岩波新書 新赤 1422）504円（税込）（送料260円）

◆**参考書** 『哲学の復興』梅原 猛（講談社現代新書 301）  
〈この本は品切のため図書館等を利用して下さい〉

◆**成績評価基準** 平常点（発表、質疑応答、論述文等）

◆ E-Mail :

## ◆ロシア史——ヨーロッパ史を背景として

[西洋史概説]

開講単位：2単位 担当者：池本 今日子

◆**学習目標** ヨーロッパ史を東から考えます。ロシア史の大まかな流れをつかみながら、ロシアの政治体制、社会構造に係わる重要な問題を理解します。ロシアの成長と近代化の苦悩を学び、また、ロシアと西欧を関連づけ、あるいは比較する視点を持つことによって、ヨーロッパ史一般への理解を深めます。

◆**授業方法** 講義を行います。レジュメのほか、必要に応じて図版や和訳史料などを用います。

◆**準備学習** 特に必要ありませんが、ロシア史の大まかな流れについて書いてある入門書を読んでおくと、講義が理解しやすいでしょう。

◆**授業計画** [1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分]

1日目	導入 ロシア史の大まかな流れ。 伝統的ロシア：国家と教会の共生。君主のイメージ。 17世紀ロシア：ヨーロッパの影響による伝統的社会の崩壊。 ピョートル大帝の改革のモデルとしてのヨーロッパ絶対主義
2日目	ピョートル大帝の改革：君主のイメージにおける改革。西欧社会との違い。 勤務と税。中央行政改革。ピョートル改革の問題点。 ピョートル改革の徹底と修正：女帝エカテリーナの改革。
3日目	ナポoleon戦争の時代のロシア——アレクサンドル1世。 19世紀における近代化（西欧化）の困難。 まとめ 試験

◆**教科書** [当日資料配付] プリントを配布する

◆**参考書** 教場で指示する

◆**成績評価基準** 試験の成績で評価するが、平常点を加味する。

◆ E-Mail :

## ◆日本人のアジア認識—〈アジア主義〉とは何か

〔東洋史演習〕

開講単位：1単位

担当者：高綱 博文

◆**学習目標** 近代日本人のアジア認識について、アジアとの連帯と侵略の二面性を持つ〈アジア主義〉に関する代表的な史料を講読し、研究論文を批判的に検証しながら、歴史研究の方法を修得することを目指します。

◆**授業方法** はじめに近代日本人のアジア認識についての概要及びその研究方法について講義します。それを踏まえて、〈アジア主義〉の関係史料及び諸論文を講読して、受講生による発表と討論を行います。また、アジア主義者に関する映像の視聴も行います。

◆**準備学習** 予め送付された〈アジア主義〉関係史料及び諸論文を学習し、発表担当の史料または論文についてレジュメ（報告要旨及び資料）を作成する。

◆**授業計画** (1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分)

1日目	(1) 近代日本とアジア関係史について (2) 近代日本人のアジア認識について (3) アジア主義者に関する映像視聴
2日目	(1) 〈アジア主義〉史料の講読・発表・討論 (2) 〈アジア主義〉関係論文の講読・発表・討論
3日目	(1) 〈アジア主義〉史料を講読・発表・討論 (2) 〈アジア主義〉関係論文を講読・発表・討論

◆**教科書** 事前資料送付 予め送付された〈アジア主義〉関係史料及び諸論文

◆**参考書** 資料とともに参考文献一覧を送付します。

◆**成績評価基準** 発表(50%), 小テスト(20%), 平常点(30%)。毎回出席していることを前提として評価します。

◆**E-Mail** :

## ◆発掘資料から地域の歴史を探る

〔考古学演習〕

開講単位：1単位

担当者：寺内 隆夫

◆**学習目標** 考古学的と関連する諸科学を使い、身近な場所の現在の姿がどのように形成されてきたのかを明らかにする方法を学ぶ。

◆**授業方法** まず、考古学の基本的な方法等について、講義形式で学習する。また、博物館において、展示資料を見ながら講義内容を補足する。さらに博物館周辺で遺跡の有無についての見方を学習する。

次に、準備学習において、各自の身近な地区にある博物館や資料展示室、図書館等で調べてきた遺跡・出土品と地域の歴史の関係について、発表し、質疑応答を行う。

◆**準備学習** 自分の住んでいる地域（あるいは興味のある場所）の博物館・資料館等で、発掘された資料（出土品、遺跡の写真や記録類）と地域の歴史の関係について、A3（事前にひな形と参考例を送付します）1枚にまとめ、授業開始時に提出する。

◆**授業計画** (1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分)

1日目	講義：考古学の対象、日本考古学の流れ（縄文時代を中心に）、考古学の研究法等について 実地：博物館の展示資料見学。および博物館周辺地形等見学。
2日目	学生による発表・質疑応答 地域の特色と発掘地点の関係がわかる地図、現地の現状・遺跡の内容等の把握、出土品や遺構から読み取れること、地域の歴史における位置づけ、今後の課題・展望について等々
3日目	学生による発表・質疑応答 まとめ 小テスト（事前に調べた遺跡について、講義内容・質疑応答で学んだことを加えて、今後の課題と展望について記す）

◆**教科書** 事前資料送付 プリントを配布する。

◆**参考書** 授業中に適宜指示する。

◆**成績評価基準** 発表内容(40%), 平常点(20%), 試験(40%) 毎回出席することを前提として評価します。

◆**E-Mail** :

## ◆国民所得水準の決定と変動を理解する

〔経済原論〕

開講単位：2単位 担当者：関谷 喜三郎

◆**学習目標** この講義では、マクロ経済学に基づいて国民所得水準の決定とその変動についてみていきます。マクロ経済学は、経済全体の動きを解明するのですが、その基本となる概念が国民所得です。この講義を通じて国民所得水準の決定およびその変動にかんするメカニズムを学んでいきます。

◆**授業方法** 講義は、下記のテキストに基づいて、国民所得の概念を理解したうえで、国民所得水準がどのようなメカニズムを通じて決定されるかを見ていきます。さらに、貨幣市場の分析を通じて、貨幣および利子率が国民所得に与える影響を解明します。マクロ経済学の知識は、現実経済を理解する上で不可欠なものですので、基本的な内容を平易に解説します。

◆**準備学習** マクロ経済学の内容を理解するためには、テキストをよく読んで、基本となる概念や専門用語を理解しておくことが必要です。さらに、マクロ経済学の究極的な目標は、現実経済を理解することですので、現実の経済に関心を持つことも重要です。そのために、新聞やテレビ等を通じて経済問題の実情を知るようにしてください。

◆**授業計画** (1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分)

1日目	国民所得の概念 (GDP), 三面等価の原則, 名目 GDP と実質 GDP, 国民所得の決定 ※国民所得の概念を理解したうえで、国民所得水準の決定を説明します。その場合に、国民所得決定を、政府を含まない封鎖経済、政府を含む封鎖経済、開放経済の3段階に分けて解説していきます。
2日目	貨幣供給、貨幣需要、流動性選好理論、利子率の決定、IS 曲線、LM 曲線、財政政策、金融政策 ※貨幣市場においての利子率の決定を説明し、財市場と貨幣市場から IS-LM 曲線分析を展開します。それによって、国民所得と利子率の同時決定を展開します。さらに、財政政策と金融政策の効果を検討します。
3日目	総需要曲線、総供給曲線、インフレーション、デフレーション、フィリップス曲線、自然失業率仮説 ※総需要・総供給分析にもとづいて、国民所得と物価水準の同時決定を展開します。次に、インフレーションとデフレーションを説明します。さらに、フィリップス曲線を用いて失業と物価の関係を解説していきます。

◆**教科書** 丸沼『マクロ経済学』石橋春男・関谷喜三郎 共著 創成社 2,310円（税込）（送料 340円）

◆**参考書** 授業中に指示する。

◆**成績評価基準** 試験 (80%), 平常点 (20%) 毎回出席することを前提に成績を評価します。

◆ E-Mail :

## ◆日本資本主義の発展の軌跡と国民生活

〔日本経済史〕

開講単位：2単位 担当者：古賀 義弘

◆**学習目標** 本講義では、日本資本主義の構造的特徴を歴史的な観点に立って述べている。その中では世界資本主義や途上国との関係、国民生活との関連を問題意識として持って説明する。時期としては徳川封建制の解体から明治維新による近代的経済システムの成立、そして第2次大戦への道、その破綻から戦後高度成長期にいたる道を考えている。

◆**授業方法** 講義を主体として進めていく。その過程で学生からの質問や疑問に答えると共に、必要に応じて相互に意見を述べ合う形式をとる場合も考えられる。また、授業中の感想や要望についてアクションペーパーを書いてもらう予定である。

◆**準備学習** 日本の歴史について大まかな知識を頭に入れておくことが望ましい。すでに中学・高校の歴史で一応は身についていると思うが、近現代史（徳川幕府成立から戦後）についてはもういちど「おさらい」のつもりで下記にあげた参考書などを一見、一読しておいて準備する。

◆**授業計画** (1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分)

1日目	・ガイダンス ・封建制の解体、幕末の経済・社会の構造と開国 ・明治維新政府の成立と近代的経済・社会・産業の展開
2日目	・日本における産業革命の特徴と貿易構造 ・日清・日露戦争と産業の展開 ・第一次大戦期における日本経済の変化
3日目	・戦後経済への道とその破綻 ・戦後の混乱から復興への道 ・高度経済成長の実現とその構造的特徴 ・筆記試験

◆**教科書** 授業時にレジュメを配布する。

◆**参考書** 丸沼『日本近現代史』シリーズ①～⑩岩波新書 ①・③・④・⑤・⑥・⑧・⑨・⑩各 861円（税込）②798円（税込み）⑦756円（税込）（各送料 250円）（全巻送料 500円）

◆**成績評価基準** 筆記試験 70%, 受講状況 30%（アクションペーパー）

◆ E-Mail :

## ◆今日の資本制社会の危機と社会政策の新たな展望

【社会政策論】

開講単位：2単位

担当者：今井 拓

◆**学習目標** 1990年代初頭のバブル経済の崩壊以降、我が国の国民経済・実体経済の停滞・後退の下で、格差社会の問題点が顕わとなり、資本制社会は危機に陥っていると考えられます。その背景には、国民経済の充実や市民の福祉・権利の保障を蔑にし、社会政策を後退させてきたことがあります。そこで、第一に、社会政策や福祉国家の意義と近年のその変質について解説します。次に、グローバリゼーションの下で衰退傾向の続いた欧米の労働運動は、近年、正規雇用や所得保障から排除されてきた青年、女性、マイノリティの運動と連携し、再生に向かいつつあり、社会政策の新たな展望を切り拓きつつあります。そこで、第二に、社会運動ユニオニズムと言われる欧米の労働運動の動向を紹介します。第三に、社会運動ユニオニズムの源流にさかのぼり、社会政策を展開する社会的な力がどこから生まれてくるのか、を検討していきます。

◆**授業方法** 1日の冒頭40分で前日の質問・意見・小レポート等への応答を行い、各テーマについて1時間20分の講義を行います。各講義の最後10分間で講義を受けて大事だと思った要点や質問・意見、1日の最後40分で課題について小レポートを作成してもらいます。

◆**準備学習** 参考書『よくわかる社会政策』の序、社会政策と日本社会の現状、I. 社会政策の考え方、II. 賃金と社会政策、V. 労使関係 を通読しておくこと。また疑問や質問をまとめておくこと。

◆**授業計画** (1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分)

1日目	第1講 なぜ、社会政策が必要なのか 労働力の商品化と生活問題 第2講 労働時間規制政策 第3講 所得保障政策 第4講 社会サービス供給 第5講 社会政策の財源：社会ファンド 小レポート（課題についての論述）
2日目	応答、第6講 労働組合の機能と社会政策、第7講 イギリス・ドイツ・イタリアの労働運動、第8講 アメリカの労働運動の危機と再生、第9講 日本の労働運動の危機と動向、小レポート
3日目	第10講 社会運動ユニオニズムの源流 I 市民権運動、第11講 源流II 公務・公共労働運動、第12講 源流III 移民労働運動 第13講 社会政策を展開する社会的な力をどう構築するか 論述試験

◆**教科書** **【当日資料配付】**毎日レジュメ、資料を配布し、テーマについて解説します。レジュメ・資料は毎日持参すること。

◆**参考書** **丸沼『よくわかる社会政策』**石畠良太郎・牧野富夫編著 (2009) ミネルヴァ書房 2,730円(税込)(送料390円)

◆**成績評価基準** ① 論述試験 ② 小レポート ③ リアクションペーパーの内容 の総合

◆ E-Mail :

## ◆現代企業の特質と経営課題について考える

【経営学】

開講単位：2単位

担当者：松本 芳男

◆**学習目標** 現代産業社会を支える企業・会社の本質・形態・指導原理、経営戦略の論理と経営組織との関係、コーポレート・ガバナンスの意味と重要性・課題、コンプライアンス経営の課題、働く意味と働き方の変化、良い企業とは何か、など、現代企業の特質・問題点・課題について考察する。

◆**授業方法** テキストと事前配付資料を用いて講義する。毎回、出席票の裏に、講義内容に関する質問やコメントを記入してもらう。受講条件（講義内容が基本的に2012年度の夏期スクーリングと同じであるため、同講義の受講者は受講不可である。）

◆**準備学習** 毎回の講義テーマに該当するテキスト、配付資料を事前によく読んで授業に臨むこと。新聞や経済誌の関連記事にも目を配ること。

◆**授業計画** (1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分)

1日目	① 企業・会社の概念・形態・指導原理 (3章、6章) ③ 経営戦略の概念・体系、多角化戦略 (7章、配付資料) ⑤ 経営組織の諸形態 (9章)	② 企業・会社中心社会の光と影 (2章、配付資料) ④ 資源展開戦略とPPM (7章、配付資料)
2日目	⑥ 現代企業における所有・経営・支配の関係 (5章) ⑧ 日本企業のコーポレート・ガバナンスの特徴・問題点・改革案 (5章、配付資料) ⑨ 企業不祥事の原因と対策 (配付資料)	⑦ コーポレート・ガバナンスの意義と構造 (5章) ⑩ コンプライアンス経営と企業倫理教育 (配付資料)
3日目	⑪ 働く意味と働き方の変化 (13章、配付資料) ⑬ 「良い企業」とは何か (20章、配付資料) ⑮ 試験	⑫ 会社人間はどこへ行く (配付資料) ⑭ 総括・Q&A

◆**教科書** **通材『経営学 0841』**通信教育教材 (教材コード000271) 2,400円(税込)

\*第3章については、別冊の補遺を必ず入手しておくこと。

**事前資料送付**

◆**参考書** **丸沼** 経営学検定試験を受験しようと考えている人は、次の公式テキストを参考にすると良い。経営学検定試験協議会監修、経営能力開発センター編『経営学検定試験公式テキスト1 経営学の基本(第4版)』中央経済社、2009年 2,730円(税込)(送料390円)

◆**成績評価基準** 試験(80%)、平常点(20%)、出席票の裏に質問・コメントを記入してもらった内容を評価する。毎回出席することを前提として評価する。

◆ E-Mail :

## ◆教科外活動の教育的意義と指導を考える [特別活動の研究／特別活動論]

開講単位：2単位 担当者：今泉 朝雄

◆**学習目標** 学校教育における重要な教育活動である教科外活動について、教育課程上の位置づけや教育的な意義、構成等についての基礎を理解し、さらにその指導方法について具体的に検討する。

◆**授業方法** 講義だけでなく、特別活動に関する様々な活動や指導方法等に関する学生同士の討議、分析などを採り入れ、実践的な学習を行う。

◆**準備学習** まずはこれまで学校教育の中で「授業以外」でどんなことをしてきたのか、それらが果たして自分にとってどういう意義があったのか（なかったのか）を具体的なレベルで考えてみる。

◆**授業計画** [1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分]

1日目	① 特別活動の基礎的理解：基礎的概念。学習指導要領上の位置づけ。教育的意義。 ② 学校集団の考え方：良い集団、悪い集団とは何か。具体的な集団経営の考え方について。
2日目	① 学級活動：その教育課程上の基礎的理解。話し合い活動を中心とした指導理論と実践方法について。 ② 学校行事・生徒会活動：その教育課程上の基礎的理解。特に生徒の主体性に着眼しながら指導方法を考察する。
3日目	① 部活動：教育課程外の活動としての特質や問題性。その具体的な運営方法の考え方について。 ② 課題レポート作成／まとめ

◆**教科書** なし

◆**参考書** 通材『特別活動論 0943』通信教育教材（教材コード 000443）2,550円  
〈この教材は市販の『最新特別活動の研究』関川悦雄著（啓明出版）と同一です〉  
その他は講義の中で随時提示する。

◆**成績評価基準** 平常点 30%，最終日レポート 70%

◆ E-Mail :

## ◆ガイダンスの意義と方法を考える

## [生徒指導・進路指導論]

開講単位：2単位 担当者：野々村 新

◆**学習目標** ガイダンスを抜きにして教育を語ることはできないと言われます。そこでまず、ガイダンスの意義・目的、必要性を取り上げ、さらに、生徒指導の意義・目的・方法および最近その新しい方向・在り方が示されたキャリア教育とその中核をなす進路指導の意義・目的・指導方法について学びます。

◆**授業方法** 講義が中心となりますが、多くの最新情報・資料を配布します。講義内容がどのような意義を有するのか、それが児童・生徒・学生及び社会にとってどのような意味を持つのかを理解する必要があります。

◆**準備学習** 毎日の授業後に翌日の講義内容を示しますので、テキストの該当箇所を読んで授業に臨んでください。また、授業後にはテキストと照合しながらノートの整理を行うことが大切です。

◆**授業計画** [1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分]

1日目	ガイダンスの意義と必要性、ガイダンスの歴史的発展、教育基本法・学校教育法の改正および学習指導要領の改訂による生徒指導の在り方と指導方法および進路指導・キャリア教育の在り方と指導方法等について学びます。
2日目	“出口指導”と“本来の進路指導”的差異、進路指導の意義・目的とそれを達成するための指導の領域、領域（1）個人理解（2）進路情報の理解と活用（3）啓発的経験の指導（4）進路相談について学びます。
3日目	領域（5）進路先決定のための指導・援助（6）追指導と進路指導の評価、アメリカにおけるキャリア教育、わが国におけるキャリア教育の必要性とその導入の経緯、キャリア教育の意義・目的、キャリア教育の新しい方向と在り方について学びます。

◆**教科書** 通材『生徒指導・進路指導論 0944』通信教育教材（教材コード 000397）1,850円（送料込）

◆**参考書** なし

◆**成績評価基準** 授業への取り組み・試験により総合的に評価します。

◆ E-Mail :

## ◆生き生きとした社会科を目指す

## 〔社会科・公民科教育法Ⅰ〕

開講単位：2単位 担当者：壽福 隆人

◆**学習目標** 「暗記」ばかりの社会科、公民科でいいのだろうか。本来、社会科や公民科が目指したものとは何だったのか教育の理念から社会科教育・公民科教育の原点に立ち返って考えていきたい。

◆**授業方法** 講義を中心として進める。

◆**準備学習** 高等学校で学習する程度で良いから、西洋史とくにアメリカ史、日本近代史を学習し直しておいてもらいたい。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	教科教育学とはどのような学問として成立し、どのように発展してきたのかを学ぶ。
2日目	日本の教科教育学や教育方法学の発展過程から社会科教育・公民科教育の目標を明らかにする。 また、社会科成立時のアメリカの学校教育の発展過程の中から社会科・公民科教育の理念について考える。
3日目	日本における社会科教育導入の背景や発展過程の中から、社会科教育が目指すべきものとは何かを考える。

◆**教科書** 丸沼『歴史教育の課題と教育の方法・技術』壽福隆人著 DTP出版 2005年 2,520円（税込）（送料340円）

◆**参考書** 講義の中で適宜紹介する。

◆**成績評価基準** 試験 70%, 平常点 30%

◆**E-Mail :**

## ◆多文化社会アメリカの現状と課題

## 〔地誌学〕

開講単位：2単位 担当者：永野 征男

◆**学習目標** 外国地誌から、日本との関係が深いアメリカ合衆国を取り上げ、この国の現状を「教育・民族・風土」に視点をおいて講述する。そして最終的には、異文化社会に対する理解の手法を習得する。

◆**授業方法** 講義の内容は大きく三部に分かれます。毎時の教材としては、その都度、配布する資料を用いる。授業内では、できるだけ現地のスライド等を多く用い、講義形式で進める。

◆**準備学習** とくに、授業に関する事前の学習課題は設定しない。できれば、中学・高校時に使用した「地図帳」を持参して欲しい。

※注意事項：すでに、本学スクーリング（2009／2011年度夏期）で、今回と同じ講義内容を履修した学生は、受講不可。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	〈教育（国民性の形成）〉 ①地名研究にみられる合衆国の開拓史 ②高等教育のシステムと大学の特色 ③「経営学修士（MBA）」への最近の評価 ④《日米関係》米国大学の日本校開設ブームの陰り
	〈民族（複雑な多文化社会を理解する基本）〉 ①先住アメリカ人とヨーロッパ移民との葛藤 ②日系アメリカ人の苦渋の移民史 ③アメリカの将来を変えるヒスパニック ④《日米関係》第二次世界大戦時の日系人社会
	〈風土（西海岸における地域特性）〉 ①カリフォルニア州の位置づけ ②全米第一位の農業州の実態 ③先端技術産業の発祥地としての地位 ④《日米関係》巨大レジャー産業と東京ディズニーリゾート

◆**教科書** とくに指定はないが、通材『地誌学 0967／地理学概論 0968／地理学概論（地誌を含む） 0969』通信教育教材（教材コード 000232）1,300円（送料込）を持参することが好ましい。

◆**参考書** 授業の進度に併せて紹介する。

◆**成績評価基準** 最終試験（70%）、授業内のレポート類（30%）などから総合的に判断する。

◆**E-Mail :**

## ◆求められる指導力とは

## 〔国語科教育法Ⅱ〕

開講単位：2単位 担当者：品川 利幸

◆**学習目標** 「求められる指導力とは」をテーマに、関係法規を照合しつつ『国語科教育法Ⅱ』などに説かれる内容を、具体的に『国語総合』の教科書の上に確かめ、それらがどのように反映されているかを捉え、国語教育の現場で求められる指導力とは何かを考察する。夏期は、初日の理論を基に2日目から模擬授業を取り入れ、具体的な展開例から指導法の適否について論じることとする。学習指導の実際を想定した具体的な内容から国語科教育法として必要な事項について確認していく。

◆**授業方法** 理論面として「国語教育関係法規」などから教育課程の意義と編成の方法について把握する。併せて学習計画、学習指導案の実際について考察する。『国語総合』の於ける各ジャンルの指導を現場に即応した内容を基軸に、国語科指導の核となる、話すこと・聞くこと、書くこと、読むことの事柄を確認して行きたい。具体的には、現代文・古文・漢文の模擬授業を演習形式で行い、その適否について考察を加える。

◆**準備学習** 事前課題として『国語総合』260頁～261頁「祇園精舎」を2時間で配当する前提で、本時を第1時間目とする学習指導案を作成し、スクーリング初日に提出しなさい。また、2日目から取り上げる『国語総合』教科書の各ジャンル作品の指導法について、模擬授業を想定した学習指導案の作成をしておく。

◆**授業計画** [1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分]

1日目	(1) ガイダンス・教育課程の意義と編成の方法 (3) 学習計画・年間計画の立案 (5) 古典授業の展開例（ビデオ視聴）	(2) 国語科教育の目標 (4) 学習指導案の作成について
2日目	(1) 現代文 小説教材の指導 井上ひさし「ナイン」の展開 (3) 漢文教材の指導 故事より「塞翁馬」 (5) 古文 韻文教材の指導 「新古今集」の展開	(2) 古文教材の指導 伊勢物語「芥川」の展開 (4) 現代文 評論教材の指導 鷺田清一「自由の制服」 (6) 事前課題「祇園精舎」指導案の検討
3日目	(1) 漢詩の指導「江雪」、「涼州詞」 (3) 文語文法と訓点・訓読、句型の指導について (5) まとめテスト（60分）	(2) PISA に対応した現代文の指導について (4) 教材開発（ビデオ視聴）

◆**教科書** 通材『国語科教育法Ⅱ 0992』通信教育教材（教材コード 000444）3,100円（送料込）

〈この教材は市販の『新訂 国語科教育学の基礎』森田信義他著（溪水社）と同一です〉

高校1年教科書『国語総合』（教育出版）

◆**参考書** 国語・古語・漢和の各辞書はもとより、任意に、国語科基本用語辞典を備えたい、

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提に、受講状況（30%）、提出物（20%）、試験（50%）により総合的に評価します。

◆ E-Mail :

## ◆博物館を適切に運営・管理するノウ・ハウを学ぶ

## 〔博物館経営論〕

開講単位：2単位 担当者：中野 照男

◆**学習目標** 博物館のあるべき姿や望ましい活動について適切に判断できる能力を養う。博物館の管理や運営、普及や教育などの広報活動、ボランティアの養成や支援組織づくり、他の美術館や博物館とのネットワークの形成など、多岐にわたる博物館活動を円滑に進めるためのマネジメント能力を身につけることを目指す。

◆**授業方法** 講義内容をまとめたレジュメを当日の講義前、あるいは前日の講義終了時に配布し、それを用いて講義形式で授業を進める。必要に応じて、理解を深めるために有効なスライドなどの画像を上映する。また、授業が一方的な情報の伝達にならないように、毎回質疑応答の時間を設け、議論を通じて、聴講者の疑問に速やかに答える。

◆**準備学習** 事前に配布されたレジュメに関しては、予習時にチェックし、担当講師に質問すべき事項、内容をあらかじめ用意して授業に臨むこと。平素から、博物館や美術館を訪ね、各館の展示企画、展示手法、広報活動等について観察すること。文化財や美術作品の保存や活用についても関心をもつこと。

◆**授業計画** [1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分]

1日目	博物館経営の理念、博物館運営に関わる行政的・財政的制度、博物館の施設と整備、博物館の組織と職員について述べる。博物館の適切な運営を確保するために必要な行政や財政の制度の現状を点検し、博物館が備えるべき施設や設備、博物館の組織と職員について概観する。また、欧米の実例と対比して、日本の組織、職員の役割、運営手法等の独自性を挙出し、その利点と欠点を洗い出し、あるべき姿を探る。
2日目	博物館経営の使命と理念、経営計画、博物館経営に対する自己点検評価と外部評価、博物館倫理および行動規範、危機管理、普及・広報・教育の手法、マーケティング、ミュージアム・ショップの運営等について述べる。現代の博物館が求められているさまざまな役割を実現させるための手法について、授業担当者自身の博物館員としての体験を踏まえて考察する。
3日目	博物館の支援組織づくり、解説担当のドーセントを含むボランティアの活用、他の博物館・美術館とのネットワークの形成、大学や研究所などの教育・研究機関との連携、地域の活性化への荷担について述べる。新しいニーズや役割に的確に応えるために、博物館はどう行動すべきかについて、国内外の博物館や美術館の新しい動向を踏まえて考える。最後に、講義内容に関連した試験を実施する。

◆**教科書** 使用しない。[事前資料送付] [当日資料配付] 講義の内容をまとめたレジュメを当日、または事前に配布する。

◆**参考書** 授業時間中に、それぞれのテーマに即した参考文献を提示する。

◆**成績評価基準** 試験の成績を70%、授業への貢献度を30%で評価する。授業への貢献度に関しては、授業時間中に積極的に質問し、授業の運営に自発的に参加したかどうかを重視する。

◆ E-Mail :

MEMO

## 各期の開講講座表と講座内容（シラバス）

# 第4期

日 程		授 業 時 間	備 考
8月13日	火	9:00～17:30	※時間内に昼休みを設けます。
8月14日	水	9:00～17:30	
8月15日	木	9:00～17:30 <試験も含む>	

※以下の第4期開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		受講 方 式	制 限・注 意				
			科 目 コ ー ド	科 目 名		配当 学 年	カリ キ ュ ラ ム	受 講 条 件		
F1	宗 教 学	吉岡 司郎	0014	宗 教 学		1年				
F2	経 済 学	田村 和彦	0024	経 済 学		1年				
F3	英 語 E	八木 茂那子	0041	英 語 I	1年	1年	I～IVのいずれに該当させるのか充當科目コードを必ず記入してください。			
			0042	英 語 II						
			0043	英 語 III	2年	2年				
			0044	英 語 IV						
F4	英 語 F	新井 英夫	0041	英 語 I	1年	1年	I～IVのいずれに該当させるのか充當科目コードを必ず記入してください。			
			0042	英 語 II						
			0043	英 語 III	2年	2年				
			0044	英 語 IV						
F5	ド イ ツ 語 I・II	志田 慎	0051	ド イ ツ 語 I	1年		I・IIのどちらに該当させるのか充當科目コードを必ず記入してください。			
			0052	ド イ ツ 語 II						
F6	国 際 法	渡部 茂己	0124	国 際 法		2年				
F7	民 法 IV	伊藤 文夫	0135	民 法 IV		2年				
F8	商 法 I	小菅 成一	0141	商 法 I		2年				
F9	行 政 学	山田 光矢	0221	行 政 学		2年				
FA	国文学講義II(中古)	笛生 美貴子	0333	国文学講義II(中古)	※	2年				
FB	国 文 法	阿久澤 忠	0355	国 文 法		2年				
FC	国 語 学 演 習	鈴木 功真	0381	国語学演習 I	※	3年	国文学専攻のみ申込可			
			0382	国語学演習 II						
			0383	国語学演習 III						

### 注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	充当科目		受講方式	制限・注意		
			科目コード	科目名		配当学年	カリキュラム	受講条件
FD	英語学特殊講義	市川 泰弘	0430	英語学特殊講義	※	2年		
FE	英 文 法	真野 一雄	0445	英 文 法		条件参照		英文学専攻は1学年以上申込可 その他は2学年以上申込可
FF	英作文ⅡB	アレックス ブラウン	0448	英作文Ⅱ	※	2年		スクーリング1回の合格で単位完成する科目です
FG	英語学演習E	田中 竹史	0481 0482 0483	英語学演習I 英語学演習II 英語学演習III	※	3年		英文学専攻のみ申込可 I～IIIのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず記入してください。
FH	英米文学演習F	鈴木 ふさ子	0486 0487 0488	英米文学演習I 英米文学演習II 英米文学演習III	※	3年		英文学専攻のみ申込可 I～IIIのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず記入してください。
FJ	英米文学演習G	榎本 義子	0486 0487 0488	英米文学演習I 英米文学演習II 英米文学演習III	※	3年		英文学専攻のみ申込可 I～IIIのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず記入してください。
FK	西洋思想史I	土屋 瞳廣	0511	西洋思想史I		条件参照		哲学専攻のみ1学年以上申込可 その他は2学年以上申込可
FL	哲学演習B	本間 司	0581 0582	哲学演習I 哲学演習II	※	3年		哲学専攻のみ申込可 I・IIのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず記入してください。
FM	古文書学	横山 則孝	0674	古文書学		2年		
FN	西洋史演習	坂口 明	0691 0692	西洋史演習I 西洋史演習II	※	3年		史学専攻のみ申込可 I～IIIのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず記入してください。
FP	日本経済論	飯島 正義	0736	日本経済論		2年		
FQ	租税論	吉田 克己	0744	租税論		2年		
FR	交通論	針谷 莊司	0827	交通論		2年		
FS	国際金融論	谷川 孝美	0833	国際金融論		2年		
FT	会計学	田村 八十一	0851	会計学		2年		
FU	教育の思想／ 教育原論	宮島 健次	0901 0904	教育の思想	※	2年		本誌11ページを参照 スクーリング1回の合格で単位完成する科目です
FW	教育制度論	長嶺 宏作	0912	教育制度論	※	2年		スクーリング1回の合格で単位完成する科目です
FX	道徳教育の研究／ 道徳教育の理論と方法	山岸 竜治	0940 0941	道徳教育の理論と方法 道徳教育の研究	※	2年		本誌11ページを参照 スクーリング1回の合格で単位完成する科目です
FY	博物館情報・ メディア論	大塚 英明	2016	博物館情報・ メディア論	※	2年	D	スクーリング1回の合格で単位完成する科目です

## 講座内容（シラバス）

### ◆宗教の現状の理解のために

〔宗教学〕

開講単位：2単位 担当者：吉岡 司郎

◆**学習目標** 宗教一般についての知識を習得するとともに、世界の諸宗教の特徴を知ることによって、宗教に対する理解を深める。各宗教の教理・思想に加え、宗教的実践についても注意を向けたい。これによって、宗教の現代的意義について各自で考える手がかりを身につけることを目標とする。

◆**授業方法** 下記「授業計画」の順序で、講義形式で進める。教科書はとくに指定しない。授業内容の要旨、各宗教の特徴などについては、担当者が資料（プリント）を配布し、理解を深める手段としたい。

◆**準備学習** 下記「参考書」に挙げた教材のいずれかを通読し、各自、宗教に関する問題意識を深めておくことを希望する。下記以外の宗教一般についての概説書でもよい。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	①宗教一般についての総説（序論）：(1)宗教の定義、(2)宗教の本質・起源についての主要な学説、(3)宗教の各種の分類。 ②世界の諸宗教(1)：ユダヤ教とキリスト教
2日目	③世界の諸宗教(2)：イスラーム教。以上(1), (2)は唯一神教についての考察である。 ④世界の諸宗教(3)：バラモン教・ヒンドゥー教。（多神教）
3日目	⑤世界の諸宗教(4)：仏教。 筆記試験

◆**教科書** とくに指定しない。授業内容の要旨および参考資料を授業中に配布する。

◆**参考書** 通材『宗教学 0014』通信教育教材（教材コード 000004）1,850円（送料込）  
通材『宗教学基礎講読 0092』通信教育教材（教材コード 000044）2,550円（送料込）  
<この教材は市販の『世界の宗教』岸本英夫編（原書房）と同一です>  
通材『宗教学概論 0532』通信教育教材（教材コード 000139）1,500円（送料込）  
その他、理解を深めるのに有益と思われる著作は、授業中に随時紹介する。

◆**成績評価基準** 受講状況（30%）、筆記試験（70%）。受講状況評価のため、小レポートを出題する（200～300字程度の項目説明。1日目に出題、3日目に提出）。

◆ E-Mail :

### ◆経済学【ミクロ経済学】

〔経済学〕

開講単位：2単位 担当者：田村 和彦

◆**学習目標** 経済に関する知識は日常生活に不可欠となっている。経済について考えるための基礎知識を提示する。各自経済ニュースには関心を持ってこの講義に臨んで欲しい。近年、少子高齢化が急速に進行している。各自の経済生活に大きな影響を及ぼしている。特に、経済における格差が大きな問題となっている、この点に言及したい。消費生活と家計について考えてみたい。

◆**授業方法** 講義方式。※この講座は田村和彦師「経済学 マクロ」と積み重ね受講できます。「経済学 ミクロ」とは積み重ねで着ません。

◆**準備学習** あらかじめ、各自現在の経済問題に关心を持つこと。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	経済学の本質、経済学研究の手続、資本主義の定義。消費者の経済行動：効用概念。 限界効用遞減の法則、消費性向・貯蓄性向、無差別曲線、最適消費計画、消費者余剰。
2日目	需要の価格弾力性、価格消費曲線・所得消費曲線。生産の定義、生産函数、等量曲線、収穫遞減の法則。 限界生産力、生産費の理論、平均費用曲線・限界費用曲線。
3日目	平均費用最低点と最適生産量、包括費用曲線、生産者余剰、生産要素の最適結合。 最大利潤の追求と企業規模、供給曲線の導出。試験。

◆**教科書** 丸沼『経済学』瀬川浩・田村和彦共著 桜門書房出版部 2,940円（税込）（送料 340円）必ず購入し、予習しておくこと。

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 試験（100%）ただし、授業は毎日出席することを前提とする。

◆ E-Mail :

## ◆世界の人・風土・生き物・暮らし・出来事をビデオ学びましょう [英語 E]

開講単位：1単位 担当者：八木 茂那子

◆**学習目標** 本講座では英語初中級レベルの学習者を対象にアメリカの雑誌 National Geographic 誌からの美しい DVD 映像と平易な英文を通じ文章を理解する上で必要な語彙力・文法力・文の論理的な関係を把握し、内容を理解する力を身に付けることを目標とします。

◆**準備学習** ①DVD 視聴による概要の把握、②語彙チェック③長文の内容把握、段落のまとめなど。④さらに DVD を見て内容を把握する。⑤Dictation ⑥各ストーリーの後の練習問題や文法事項の確認をする、といった流れで授業を行う予定です。

### ◆授業計画 [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目 (土)	ガイダンス 午前 Unit 1 Taste of Mexico 午後 Unit 3 Penguins in Trouble Unit 5 Maasai Teacher	Unit 2 Lightning Unit 4 Parasomnia
2日目	午前：Unit 6 Living in Venice 午後：Unit 8 Treasures in Old San Juan Unit 11 Global Warming	Unit 7 Tornado Chace Unit 9 Bee Therapy Review
3日目	午前：Unit 12 More Water for India 午後：Unit 13 Butler School Oral test 復習	Unit 14 Mecca 試験

◆**教科書** 『*World in Focus*』Rebecca Klewberg Muöller 著  
(株)センゲージ ラーニング 2,520円(税込)(送料340円)(本体2,300円) DVD付き 2,415円(本体2,300円)

◆**参考書** 中英和辞典(電子辞書可)

◆**成績評価基準** 筆記試験 50%+平常点 50% (quiz, 提出物, 発表, Oral test 他)による総合評価(受講生のレベルにより調整を加えることがあります)

◆ E-Mail :

## ◆夏の基礎力完成講座 2013 (英文解釈)

[英語 F]

開講単位：1単位 担当者：新井 英夫

◆**学習目標** 本講座の目標は、英文解釈力の向上にあります。

多くの学生が苦手意識を持ち、学ぶことを避ける傾向にある「英文法」ですが、実は正確な英文解釈には、必要不可欠な道具です。巷には色々な英文解釈法が流布していますが、英文法の知識を使い、一文一文を正確に理解することこそ、正攻法の英文解釈法です。一文一文を理解することなく、英文全体を理解することなど不可能です。この夏、もう一度、基礎を徹底的に確認し、今後の飛躍に結び付けたいと願う学生の受講を歓迎します。

### ◆授業方法 解説中心の講義スタイルを採ります。

毎回英文法の基本、英文の構造ができるだけ丁寧に解説し、英語が「考えれば理解できるもの」となるよう講義を展開します。また講義を円滑に進めるために、黒板やハンドアウトを駆使し、受講生の理解力向上を図ります。

本年度はオリジナル新作教材を使用します。本文はいずれも平易な英語で記述されているため、基礎を徹底的に確認し、今後の飛躍に結び付けたいと願う学生のニーズに答える教材に仕上がっています。

尚、冒頭でも説明したように本講義は学生に日本語訳を発表させるスタイル(輪読式)はとらず、講師による解説中心のスタイルとなることを重ねて指摘しておきます。

◆**準備学習** 受講許可後に配付される教材は、「問題編」と「解説編」の二部構成になっています。予習では「問題編」の英文を辞書や参考書などを頼りに、「理解できる箇所」と「理解できない箇所」を明確にすることに重きを置いて下さい。必要に応じて日本語訳を作成して下さい。

### ◆授業計画 [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	イントロダクション、英文解説講義①
2日目	英文解説講義②
3日目	英文解説講義③、最終試験

◆**教科書** 事前資料送付 事前にプリント配布

◆**参考書** 毎回英和辞典(電子辞書可)を携帯して下さい。

◆**成績評価基準** 平常点 20%と試験 80%で評価します。遅刻・早退・欠席は、減点の対象となりますので注意して下さい。

◆ E-Mail :

## ◆やさしいドイツ語

## 〔ドイツ語Ⅰ・Ⅱ〕

開講単位：1単位 担当者：志田 慎

◆**学習目標** 「聞く」、「読む」、「話す」、「書く」の四つの基本能力をバランスよく磨いて、ドイツ語技能検定5級から4級レベルの総合的なドイツ語力を身につけます。

◆**授業方法**

- 各課のダイアログをCDで聴き、みなで真似て発音練習します。これを数回繰り返します。
- 教科書の例文を用いて文法事項を解説します。
- 練習問題をみなさんにはじめます。

◆**準備学習** 付属のCDを聴いて、なるべくドイツ語の音に耳を慣らしてください。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	アルファベート／発音の基礎／数字／曜日／月名／四季／日常のあいさつ／ドイツ語を話す地域 Lektion 1-3 (人称代名詞 動詞 sein, haben／動詞の変化 名詞の性 動詞の位置 疑問文／不規則変化動詞 名詞の1・4格) 小テスト
2日目	Lektion 4-7 (人称代名詞と名詞の3・4格 否定疑問の答え／名詞の2格 前置詞／3・4格支配の前置詞／話法の助動詞 名詞の複数形) 小テスト
3日目	Lektion 8-9 (再帰代名詞 再帰動詞 時刻の表現／分離動詞 副文) 復習 最終試験

◆**教科書** 丸沼『やさしいドイツ語 ドイツ環境問題へのアプローチ』 Troll／大串著 第三書房 2,100円（税込）（送料340円）

◆**参考書** 独和辞典を必ず用意してください。推奨は『アポロン独和辞典』（同学社）4,410円（税込）（送料500円）『クラウン独和辞典』（三省堂）4,410円（税込）（送料500円）

◆**成績評価基準** 最終試験50%, 平常点（練習問題、小テストなど）50%により総合的に評価します。

◆ E-Mail :

## ◆国際社会を規律する法／国際的人権保護の国際法

## 〔国際法〕

開講単位：2単位 担当者：渡部 茂己

◆**学習目標** 国際社会を規律する法規範である「国際法」は、国内社会とは異なる特徴を有する国際社会の状況下で、どのようにして定立され、実施そして執行されるのか、その基本構造を理解する。実定国際法の具体的な内容については基本的人権の国際的保護に関する国際法分野である「国際人権法」を例として学習する。

◆**授業方法** パワーポイントやビデオ（またはDVD）も活用しながら、当日の授業内に配布するレジュメや資料プリントに基づいて平易に解説したい。質疑等を歓迎する。

◆**準備学習** 事前に教科書を一通り、目を通しておくのが望ましい。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	◆国際社会の特質と国際法の基本構造 ◆国際法の概念と理念（国際法は何のために存在するのか？）
2日目	国際法の法源と国際法主体 ◆人権保障と国連システムおよび国際法 ◆個別的な人権保護のための諸条約、その1 女性の権利（女性差別撤廃条約）
3日目	◆子どもの権利（子どもの権利条約） ◆難民の権利（難民条約） ◆先住民族の権利・その他 ◆論述式試験

◆**教科書** 丸沼『国際人権法』渡部茂己編著、国際書院、2,940円（税込）（送料390円）

◆**参考書** 通材『国際法 0124』通信教育教材（教材コード000462）2,750円（税込）  
<この教材は市販の『国際法』渡部茂己・喜多義人著（弘文堂）と同一です>

◆**成績評価基準** 平常点（50%）、論述試験（参考書・ノート等の参考可）（50%）。  
※スクーリングは、毎回出席することを前提として評価します。

◆ E-Mail :

## ◆債権法各論

〔民法IV〕

開講単位：2単位 担当者：伊藤 文夫

◆**学習目標** 債権発生原因を規定するいわゆる債権各論は、約定債権としての売買など13種類の典型契約を規定し、法定債権として不当利得・事務管理・不法行為を規定する。いずれも日常生活に密着するところであるが、今回は自動車事故、医療事故、製造物事故等、いつ被害者・加害者になりかねない不法行為に焦点を合わせ検討を加える。この領域はある意味で判例法が支配しているのでレジュメに判例を多用しつつ、不法行為の今日的到達点の理解を目標にしたい。

◆**授業方法** 講義方式によるが、議論がかなり緻密な展開を示すので、教科書及びスクーリングが始まってから配布されるレジュメの予習は不可欠である。

◆**準備学習** 上記のように、本講義にとって教科書。参考書・レジュメなどの予習は不可欠である。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	民法典における債権各論の守備範囲。債権とは何か。損害賠償請求権発生原因としての不法行為。 不法行為法への説明。不法行為法の俯瞰図（成立要件、帰責類型、損害、損害賠償額の調整、免責事由、正当防衛・緊急避難、名誉毀損、時効・除斥期間）。一般不法行為（709条）。一般不法行為の成立要件（故意・過失〈過失概念の変遷〉、責任能力の位置づけ、違法性、権利・法益侵害類型、因果関係）。
2日目	他人の行為ないし危険物管理等についての責任①=使用者責任・責任無能力者と監督義務者の責任 他人の行為ないし危険物管理等についての責任②=工作物設置瑕疵責任・動物占有者責任。複数校舎の加害行為と不法行為責任（共同不法行為・競合不法行為）。
3日目	名誉・プライバシー侵害と不法行為（表現の自由・原状回復・差止請求）。権利の消滅と権利存続期間と判例法の展開（消滅時効・除斥期間）。現代不法行為としての自動車人身事故民事責任と保険・補償システム（自動車損害賠償保障法の概要、判例法の概要）

◆**教科書** 丸沼『債権各論講義（改訂版）』山川一陽 立花書房 3,300円（税込）（送料390円）

◆**参考書** 丸沼『不法行為法』窪田克見 有斐閣 3,360円（税込）（送料390円）

◆**成績評価基準** 筆記試験による。

◆ E-Mail :

## ◆企業取引に関する法律について

〔商法I〕

開講単位：2単位 担当者：小菅 成一

◆**学習目標** 本授業では、商法のうち商法総則・商行為法に関する分野を取り上げながら、企業取引と法律との関係について勉強していきます。具体的には、商業登記制度、商人・会社の名称（商号）、企業取引の補助者（商業使用人）、企業間売買、企業間取引における担保制度、消費者法等について取り上げていきます。企業活動と法律との関係に关心のある学生の受講を歓迎します。

◆**授業方法** 授業の方法は、講義形式（講義担当者の作成したプリントを使用して）で行います。最終日には筆記試験を実施します。商法総則・商行為法を勉強することで、受講生が企業取引をめぐる法律的な問題に关心が持てるようになります。また、商法総則については、会社法の中にも「会社法総則」として規定されているので、本授業内でも適時会社法について取り上げていきます。

◆**準備学習** 「商法I」という講義名ですので、商法をはじめて勉強する学生を念頭に話しを進めていますが、あらかじめ、商法II（会社法）を履修しておかれることをおすすめします。また、商法は企業活動に関わる法律ですので、日々から新聞の経済面等（日本経済新聞朝刊毎週月曜日連載の「法務」等がおすすめです）に目を通しておいてください。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	授業の概要、商法と他の法律との関係、商行為の種類・特徴、商人の概念等 ※初日ですので、まず授業の概要について説明した後、商法の特徴（会社法や手形・小切手法等との関係）や他の法律（民法や独占禁止法等）との関係について勉強します。また、商行為の種類（基本的商行為・営業的商行為等）と特徴、商人の概念（個人商人や会社の種類、商人資格の取得時期等）についても取り上げます。
2日目	商業登記制度、商号の機能、商業使用人等について ※商業登記制度は、企業の情報開示システムです。とくに、会社は登記が強制されていますので、会社の登記をめぐる法律的な問題点を取り上げます。また、商人・会社の名称である商号（名板貸責任も含む）の機能やその問題点、企業取引の補助者である商業使用人（会社の使用人）の権限等についても勉強しています。
3日目	商事売買、商事担保、消費者法等 ※3日目は、商行為法について勉強します。具体的には、企業間売買、企業間取引における担保制度、消費者法（消費者契約法、特定商取引法、割賦販売法等）等です。商行為法の分野は民法との関係がとても深い分野です。したがって、民法における売買や担保等の制度についても適宜取り上げながら、説明していきます。なお、この日に筆記試験を行います。

◆**教科書** [当日資料配付] 授業当日に講義担当者の作成したプリントを配布します。ただし、六法（平成25年版のもの〔有斐閣のポケット六法等〕。判例が掲載されている六法は避けてください）は必ずご持参ください。

◆**参考書** 『現代商取引法』藤田勝利=工藤聰一編 弘文堂 2,940円（税込）（送料340円）

◆**成績評価基準** スクーリングの性質上、受講態度（30%）、定期試験の結果（70%）で評価します。

◆ E-Mail :

## ◆日本を中心に見た行政改革の理論・歴史・将来 [行政学]

開講単位：2単位 担当者：山田 光矢

◆**学習目標** 最初にロストーの「take off の原理」をモデルに、時代と国家の性格や役割の変化を世界史の視点から理解してもらい、時代的背景と行政改革の歴史や理論や実態を解説し、その後、行政需要の変化と行政改革の方向性の妥当性を、日本の行政改革の歴史と現状を通じて説明し、行政と行政改革への理解を高める

◆**授業方法** 講義形式で行います。受講生の興味や問題意識を勘案して講義を進めたいので、こちらから質問する場合にはきちんと答えてください。また質問がある場合には積極的に発言してください。可能な限り相互の意見交換の中で講義を進め、受講生の理解を深めていきたいので、積極的な講義への参加を求めながら進めていきます。

◆**準備学習** 最後に日本の政権交代と行政改革の方向性を考えもらいますので、可能な限り新聞等を読んで、日本の行政の現状や問題点、さらに望ましい改革の方向性などを考えてきてください。

◆**授業計画** [1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分]

1日目	①行政の定義：三権分立論と五権分立論、憲政と行政、政治と行政他 ②国家の役割の変化：「take off の原理」、小さな政府と大きな政府他 ③国家と行政：官房学・警察学・シュタイン行政学、アメリカ建国と行政 ④公務員制度改革とアメリカ：ジャクソニアンデモクラシー、アメリカ行政学他
2日目	①行政改革の理論と実際：合理モデル、満足モデル、インクリメンタリズム他 ②統治機構と行政：大統領制、議院内閣制、フランス型大統領制他 ③官僚制Ⅰ：官僚制の特徴、官僚制の機能と逆機能、欲求五段階、現代組織論他 ④官僚制Ⅱ：スタッフとライン、独任制と合議制、行政（独立規制）委員会、NPO他
3日目	①日本の行政Ⅰ：明治維新と行政制度、内閣制度、大日本帝国憲法と行政制度 ②日本の行政Ⅱ：日本国憲法と行政組織、橋本改革、小泉政権とその後 ③行政学と行政改革：講義のまとめと質疑応答 ④試験

◆**教科書** [当日資料配付] 当日プリント等の資料を配布します。

◆**参考書** 必要な場合には講義の中で指定します。

◆**成績評価基準** 答案を60～70%で、小テストや平常点を30～40%で評価する。最高点を100点とし、全体を総合性に勘案して採点する。

◆ E-Mail :

## ◆源氏物語入門（「夕顔」巻を読む） [国文学講義Ⅱ（中古）]

開講単位：2単位 担当者：笹生 美貴子

◆**学習目標** 日本文學の最高峰である『源氏物語』を吟味することによって、物語の読みの広がり・解釈を学びます。また、周辺作品との関連にも触れながら、『源氏物語』の文学的位置について考えていきます。

◆**授業方法** 作品の講読というスタイルをとります。文脈の一つ一つを丹念に追いかけて作品世界を読解し、その魅力を明らかにします。視聴覚資料も用いる予定です。1日目・2日目の最後には、感想・意見等を書いたものを提出してもらいます。また、最終日に小論文（授業内容の確認と簡単な論述）を書いてもらい、試験の代わりとします。

◆**準備学習** 事前に「夕顔」巻（教科書）に目を通し、古語辞典や参考書を用いて予習を行うことが望ましい。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	『源氏物語』以前の物語について。『源氏物語』の概説。「夕顔」巻までのあらすじについて 「夕顔」巻を読む①（古典セレクション章段区分〔1〕～〔7〕） ※『源氏物語』に関する基礎的な事項について学びます。
2日目	「夕顔」巻を読む②（古典セレクション章段区分〔8〕～〔15〕） 平安時代の通過儀礼。物語における和歌の機能。『源氏物語』における志怪小説の影響について。 ※当時の貴族社会における俗信や生活習慣について学びます。
3日目	「夕顔」巻を読む③（古典セレクション章段区分〔16〕～〔21〕） 『源氏物語』宇治十帖の世界について。試験（小論文）を実施。 ※『源氏物語』統編世界を中心に学びます。

◆**教科書** [丸沼]『古典セレクション 源氏物語①』阿部秋生・秋山虔・今井源衛・鈴木日出男 小学館 1,680円（税込）（送料340円）

◆**参考書** 多岐にわたるので、授業時に伝えます。

◆**成績評価基準** 「授業後提出の感想・意見」40%，「試験（小論文）」60%

◆ E-Mail :

## ◆文法から日本語と古典の姿をとらえる

〔国文法〕

開講単位：2単位 担当者：阿久沢 忠

◆学習目標 日本の古典（古今和歌集や徒然草など）の言葉を対象にして、そこに内在する文法的な法則を体系的に捉えます。その上で女子に対する認識を深め古典を読解する力を養います。さらには現代語の助詞と比較して、古典語にしか見られない助詞についてや、共通してある助詞についても意味・用法の異なる場合について考察します。

◆授業方法 講義によって授業を進めていきますが、各項目について説明した後には項目ごとに問題（課題）を解いてゆきます。質問もそのつど受け、こちらからも問い合わせをできるだけ多く持ちたいと思います。それらのことによつて文法事項を明確に理解してもらうことを目指します。

◆準備学習 1日目の授業が終了したら、この日に学んだことを確認してください。そして、そこで新たな疑問が生じましたらそのことを整理して2日目の授業中などに質問してください。さらに2日目で使う資料の部分についてもあらかじめを通して2日目の授業に臨んでください。2日目の授業が終了したときも同様のことをして3日目の授業に臨んでください。

◆授業計画〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	・ガイダンス ・「文法」は言葉のどういう面を捉えようとするのか ・文法論の学説について ・文法論の単位一文・文節・単語 ・文節の相互関係、単語の分類（品詞分類）、用語（特に動詞）と体言 ・課題
2日目	・助詞の分類とその基準 ・格助詞—「の」「が」「を」「に」「へ」など ・接続助詞—「ば」「で」「て」「ど」「とも」「を・に・が」 ・課題
3日目	・係助詞—「ぞ」「なむ」「や」「か」「こそ」「は」「も」 ・副助詞、終助詞、間投助詞 ・助詞の研究史一本居宣長『紐鏡』など ・課題 ・試験

◆教科書 指定しない。〔当日資料配付〕当日プリント（資料）を配布。

◆参考書 指定しない。

◆成績評価基準 試験（90%）、授業への取り組み（10%）、前日出席することを前提として評価します。

◆E-Mail：

## ◆文献資料を日本語学的に分析する

〔国語学演習〕

開講単位：1単位 担当者：鈴木 功真

◆学習目標 実際の日本語学的な分析考察方法を知るために、具体的な文献として中世近世の口語反映資料とされる大蔵流狂言台本を取り上げ、全員で本文を分担解説・逐語訳を作成発表し、当該資料に見られる語法などについて、日本語学的な考察発表を行う。

◆授業方法 演習科目なので、全員が発表を行う。受講生数が決まり次第、事前資料を配付し、本文の分担箇所を指示する。開講前に十分な日本語学的作業を行った考察資料を作成した上でスクーリングに臨むこと。作業方法は配付資料に示しておく。場合によっては必要に応じて、発表時の討議で明らかとなった追加課題についてレポートを作成し、指定期日（8月末頃）までに提出させることがある。

◆準備学習 本演習は、日本語史の把握と具体的な資料の日本語史の中での位置付けの把握からなっている。そのため、日本語史の流れをおおよそのところで把握して置いて欲しい。そして、事前資料到着後は具体的な対照資料である大蔵流狂言台本の本文の把握と口語訳（逐語訳）の把握を求める。

◆授業計画〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	ガイダンス 日本語学的調査方法について。 中世近世資料、特に狂言台本の日本語学的性格について。 発表と討議1—1 正確な本文解読の獲得
2日目	発表と討議1—2 正確な本文解読の獲得と考察ポイントの探求 発表と討議2—1 日本語学的位置づけの検討に向けて
3日目	発表と討議2—2 日本語史の変遷の中で当該資料をどう位置付けるかの検討 まとめ 日本語史全体の把握と日本語学的考察

◆教科書 事前資料送付 事前配付資料のみ

◆参考書 報告資料作成作業に下記の図書が必要となる。事前配付資料でも資料閲覧の方法は指示をするが、あらかじめ、どこの図書館へ行けば見られるかを、インターネットなどを活用して調べておくこと。参考となるホームページは総合目録データベース WWW 検索サービス <http://webcat.nii.ac.jp/>, GeNii (NII 学術コンテンツ・ポータル) <http://ge.nii.ac.jp/>, 文理学部図書館 <http://www.lib.chs.nihon-u.ac.jp/opac/> などがある。

『日本国語大辞典』（第二版・小学館）、『時代別国語大辞典』（室町時代編、三省堂）、『角川古語大辞典』、『古語大辞典』（小学館）、『日本語学研究事典』（明治書院）、『国語学大辞典』（東京堂）、『角川大字源』、佐藤武義編著『概説 日本語の歴史』（朝倉書店）、沖森卓也編著『日本語史概説』（朝倉書店）。その他、日本語学、日本語史、中世近世資料、室町・江戸時代語に関する図書。

◆成績評価基準 第一回、第二回発表および質疑応答への参加100%。場合によっては出席態度を加味し、レポートを課す。

◆E-Mail：

## ◆ First Verbs: Early Grammatical Development [英語学特殊講義]

開講単位：2単位 担当者：市川 泰弘

◆**学習目標** 本講は初期の文法発達について原書を精読し、言語発達現象と背後にある原理を探求していくことを目標とします。

◆**授業方法** 原書（あるいは原書のコピーを精読していきます。従って、予習が必要不可欠となります。また、学生に対しパラグラフを基本に日本語に訳してもらいます。担当は最低1回してもらいますが、自発的な発表を期待します。

◆**準備学習** 事前に配布したコピーをしっかり読み込んでください。授業方法で示したとおり学生に読み進めてもらいますので、何を述べようとしているのか理解しながら読むようにして下さい。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	オリエンテーション Introduction, Cognitive Linguistics and the developmental approach The importance of verbs, Plan of the monograph, Children's first verbs, Goals and hypotheses of the study, The diary, Determining meaning, Semantic analysis of verbs, Syntactic analysis of sentences, Semantic analysis of verbs, Syntactic analysis of sentences レポート
2日目	Presence, absence, and recurrence of objects (1), Presence, absence, and recurrence of objects (2), Presence, absence, and recurrence of actives, Exchange and possession of objects, Location of objects, Movement of objects, State of objects, Activities involving objects, レポート
3日目	Activities involving objects, Sentences without verbs, Constructing sentences, Constructing a grammar, Language acquisition as cultural learning, 最近の言語研究, レポート

◆**教科書** 事前資料送付 コピーを配布します。（参考文献がコピーの原本です）

◆**参考書** 丸沼 *First Verbs: A case study of early grammatical Development*, Tomasello, M. (1992) Cambridge University Press. ISBN9780521374965 22,050円（税込）

◆**成績評価基準** 3日間の講義なので、欠席はしないようにしてください。発表・レポートなどで総合的に判断します。詳細は第1回目の講義で説明します。

◆ E-Mail :

## ◆英文法をより深く

[英文法]

開講単位：2単位 担当者：真野 一雄

◆**学習目標** 英文学専攻の学生として必要な英文法知識を全般的により深く習得します。

◆**授業方法** テキスト本文の解説、補足説明を行います。設問、練習問題も行います。必要に応じて別途、練習問題を行うこともあります。

◆**準備学習** 毎回、テキストを読み、設問、練習問題の解答を用意しておいてください。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	第6章 受動文 第7章 準動詞
2日目	第8章 形容詞 第9章 名詞句と文構造の多様性
3日目	第10章 代用表現 第11章 関係詞 試験+質疑応答

◆**教科書** 丸沼『大学生のための現代英文法』 開拓社 2,310円（税込）（送料340円）

◆**参考書** 他の英文法参考書、英文法研究書など

◆**成績評価基準** 試験（100%）で評価します。（試験は途中退出なしです）毎回出席することを前提として評価します。

◆ E-Mail :

## ◆ English Composition 2

〔英作文Ⅱ B〕

開講単位：2単位 担当者：アレックス ブラウン

◆**学習目標** This course focuses on Creative Writing generating essays that are plot-driven and character-driven. The course also explores other forms of writing; narratives and comparative essays.

◆**授業方法** We will work on developing essays through various activities individually and in groups. Essay construction takes place in a workshop-like environment with emphasis on essay analysis.

◆**準備学習** There are no prerequisites for this course. Students are encouraged to write a journal in English that will be reviewed (not graded) by the teacher during the course.

◆**授業計画** (1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分)

1日目	Introduction and Orientation. Creative writing Activities 1, 2 and 3. Essay analysis and critique. Completion of first draft Essay 1.
2日目	Brainstorm ideas for Essay 2. Creative writing Activities 4, 5, 6. Essay analysis and critique. Completion of first draft Essay 2.
3日目	Activities 7 and 8. Introduction of Narratives and Comparative Essays.

◆**教科書** No text will be required. Students will be provided with handouts.  
Students are expected to bring a notebook, dictionary and a folder for notes.

◆**参考書**

◆**成績評価基準** Grades will be based on attendance, in class participation and Activity work as well as 2 graded essays

◆**E-Mail :**

## ◆言語の仕組みと言語獲得

〔英語学演習 E〕

開講単位：1単位 担当者：田中 竹史

◆**学習目標** ヒトは誰でも母語を獲得する事ができますが、その獲得は特別な勉強をしなくとも子供の頃にいつの間にか当たり前のようになされてしまうという事は周知の事実です。これは、通常大人が外国語を身に付けるのには意識的な努力が必要であるのとは対照的です。それでは一体、ヒトはどのような仕組みにより母語を身に付けているのでしょうか。本講座では、言語学のこれまでの研究成果を踏まえながら、言語獲得の問題について考えていきます。

◆**授業方法** まず、ヒトの言語獲得に関する基礎的知識を確認します。その後、テキストに沿った演習形式 (e.g., 受講者による担当部分の内容説明の後に教員による補足説明) で授業を進めます。

◆**準備学習** 短期集中講座ですから、単位取得のためには十分な準備 (e.g., 英語学の基礎事項・用語確認、本文和訳・内容把握) が求められます。必ず予習を行い授業に臨むよう努めて下さい。

ヒトの言語がどのような性質を持つのかという一般的な知識に関しては、参考書に挙げてある大津 (2004, 2008) が役立ちます。

◆**授業計画** (1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分)

1日目	初回ガイダンス 基礎知識確認 1. Introduction to Language Acquisition
2日目	2. Knowledge in the Absence of Experience 3. Stages of Language Acquisition 4. Why Language Does Not Have to be Taught
3日目	5. Dispelling a Common-Sense Account 6. Universal Grammar and the Logical Problem of Language Acquisition

◆**教科書** 事前資料送付 An Introduction to Linguistic Theory and Language Acquisition. Crain & Lillo-Martin (1999), Blackwell. (コピーを事前配布します)

◆**参考書** 丸沼『探検！ことばの世界』 大津由紀雄 (2004) ひつじ書房 1,680円(税込)(送料340円)  
丸沼『ことばに魅せられて 対話編』 大津由紀雄 (2008) ひつじ書房 1,680円(税込)(送料340円)  
英語学の入門書 (e.g., 通信教育部英語学概説教材『英語学入門』, 『ファンダメンタル英語学』, …)

◆**成績評価基準** 授業への取り組み (発表など) とレポートにより総合的に評価します。

◆**E-Mail :**

## ◆サロメに魅せられて—〈宿命の女〉と世紀末 [英米文学演習 F]

開講単位：1単位 担当者：鈴木 ふさ子

◆**学習目標** オスカー・ワイルドの一幕物の悲劇『サロメ』は、デカダンスとエロスの要素が色濃く現れる世紀末文学の傑作です。聖書に現れるサロメ像、フランス文学に現れるサロメ像、絵画に描かれたサロメなど様々なサロメ像の他、同時に文学や芸術の分野に現れた他のファム・ファタール（宿命の女）像と比較しながら、ワイルドのサロメと比較をし、世紀末と〈宿命の女〉の関係を理解することを目標とします。

◆**授業方法** まず、ガイダンスで様々なサロメ像を紹介します。その後、基本的には下記授業計画に沿って、ワイルドの『サロメ』を原文で読みます。指名された受講生には音読の後、訳を発表してもらいます。初日にグループを決め、決められた箇所やテーマについて話し合いと準備の時間を設け、指名されたグループには発表及びフロアとのディスカッションをしてもらいます。受講者の状況によって授業計画通りに進まないことがありますので、ご留意下さい。

◆**準備学習** 初回授業までにテキストを読んでおくようにして下さい。きちんと辞書を引き、自分なりに場面をイメージしながら、訳を作成してきて下さい。音読もできるように発音も調べておくようにしましょう。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	ガイダンス（授業の進め方・作者オスカー・ワイルドと19世紀末について、〈宿命の女〉とは？ 様々なサロメ像について） テキストの精読（Scene I・II） グループ発表
2日目	テキストの精読（Scene III・IV・V・VI） グループ発表
3日目	テキストの精読（Scene VII） グループ発表 全体のまとめ〈宿命の女〉について考える 試験

◆**教科書** 事前資料送付 事前にプリントを郵送します。

尚、テキストを必要とする場合には *Salome* (Dover, 1967) を各自で入手して下さい。

◆**参考書** 丸沼『サロメ』福田恒存訳 岩波文庫 378円（税込）（送料230円）

丸沼『オスカー・ワイルドの曖昧性』鈴木ふさ子著 開文社 2,415円（税込）（送料390円）

◆**成績評価基準** 全出席を前提に、以下のような割合で成績の評価をします。3日間の集中講座なので無遅刻が望ましいです。

授業に対する取り組み・積極性・発表（40%）・試験（60%）

◆ E-Mail :

## ◆ Kazuo Ishiguro の短編小説を読む

## [英米文学演習 G]

開講単位：1単位 担当者：榎本 義子

◆**学習目標** 日本生まれの英国の作家 Kazuo Ishiguro (1954-) の初期の短編 "A Family Supper" (1983) と最新の短編集 *Nocturnes* (2009) から "Crooner" を取り上げます。Ishiguro と大江健三郎の対談も読み、作風の変化にも気を配りながら、彼の物語の世界について考えます。

◆**授業方法** 事前の予習と受講期間全出席を前提とし、精読と速読を併用します。担当の受講生が本文を和訳したり、内容を要約して、問題点を発表し、それに基づいて全員でディスカッションを行います。各作品をあらかじめ丁寧に読んで、各自の意見を持って積極的に授業に参加してください。

◆**準備学習** 事前に配布されたプリントをよく読み、問題点を考えて、積極的に授業に臨んでください。3日間の集中授業ですので、初日の時点でプリントのどこから始めてよいように、辞書を引き、十分に予習をしてくることが必要です。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	ガイダンス "A Family Supper"（登場人物の分析、物語の舞台、「ふぐ」の役割、題名、ゴシック的な要素）
2日目	"The Novelist in Today's World: A Conversation" (163頁～165頁, 168頁～169頁) (Ishiguroの日本、"homeless writer" とは？) "Crooner"（語り手とGardner夫妻の性格設定、彼らの国籍の持つ意味、物語の舞台）
3日目	"Crooner" (Mr. Gardner がゴンドラで歌った意味、妻は何故泣いたのか？夫妻は何故別れたのか？題名) まとめ 試験

◆**教科書** 事前資料送付 プリントを事前に配布します。

◆**参考書** 授業中に紹介します。また、必要時にプリントを配布します。

◆**成績評価基準** 発表 (30%), ディスカッションなどへの授業参加 (20%), 試験 (50%) 毎回出席することを前提とします。

◆ E-Mail :

## ◆ヘレニズム・ローマ時代の哲学

[西洋思想史 I ]

開講単位：2単位 担当者：土屋 瞳廣

◆**学習目標** 近年目覚しい研究の進展が見られ、その独自の意義が評価されつつあるヘレニズム・ローマ時代の哲学について講義します。ヘレニズムとは、いわば古代地中海世界におけるグローバリゼーションであり、その混沌とした時代状況は今日の我々を取り巻く状況ととてもよく似ています。本授業では、一般にはまだ知されることの少ないこの時代の哲学を取り上げて、現代に生きる我々の目からあらためてその英智を再発見してみたいと思います。

◆**授業方法** 下記の授業計画に挙げたテーマを中心に、歴史的・社会的背景も交えて講義します。授業の区切り目には、コメント・カードに授業内容についての疑問点、意見、感想等を書いて提出してもらいます。受講者が少人数の場合には、コメント・カードの代わりに、口頭での質疑応答を取り入れることもあります。積極的に授業に参加されることを期待します。

◆**準備学習** 特別な予備知識は必要としませんが、市販の解説書等を読んで、ヘレニズム期以前も含めて古代哲学史の流れを一通り知っておくことが望ましいです。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	古典期までの古代哲学の概観、ヘレニズム時代とは何か、シノペのディオゲネス（通貨変造、世界市民主義）、エピクロスとエピクロス派（快樂主義と原子論）、ゼノンと初期ストア派（物質主義、宇宙神学、命題論理学、アパティアと賢者の理想）。
2日目	ピュロンと古代懷疑主義（探究としての懷疑、エポケーとアタラクシア）、ヘレニズム期の科学（アレクサンドリアの機械学）、ローマ帝国の歴史と社会、キケロ（弁論術の伝統、ギリシャ哲学の受容）、セネカ（生涯と著作、ストア哲学の実践）
3日目	解放奴隸エピクテトス（精神の自由）、哲人皇帝マルクス・アウレリウス（『自省録』、生きられたストア主義）、プロティノスと新プラトン主義（神秘主義、存在の階層）、ボエティウス（古代の学問の継承、『哲学の慰め』）、古代の終焉と古代哲学の行方、試験

◆**教科書** 当日プリントを配布します。

◆**参考書** 授業では使用しませんが、今後のさらなる勉強のための参考書は、授業中に詳しく紹介します。

◆**成績評価基準** 試験 80%、平常点（コメント・カードや授業中の発言等）20%

◆**E-Mail :**

## ◆看護と哲学について

[哲学演習 B]

開講単位：1単位 担当者：本間 司

◆**学習目標** 医療をめぐる理解について

◆**授業方法** 討論。

◆**準備学習** 特になし。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	古代思想（ヒポクラテス、デモクリストス）の理解。 看護と哲学について。
2日目	生死観の可能性について。
3日目	医学と論理学との関係について。

◆**教科書** [当日資料配付] 資料を配布する。

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 発表及び討論から。

◆**E-Mail :**

## ◆古文書を通して歴史を考えてみよう

[古文書学]

開講単位：2単位 担当者：横山 則孝

◆学習目標 日本史を研究する上においての古文書の重要性を認識するとともに平易な近世文書の読解力を身につける。

◆授業方法 講義形式による授業を中心とするが、古文書度の読解については各自発表してもらう。

◆準備学習 参考書にあげておいた類いの書物にふれておくとよい。

◆授業計画 [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	史料の中における古文書の位置づけ 活字史料（古文書）の紹介、大日本古文書等
2日目	近世の古文書（支配者側発行のもの）の読解（基本的なものを取扱う） 例、知行宛行状、老中奉書、將軍御教書
3日目	近世の古文書の内、いわゆる地方文書の読解（平易なものを取扱う） 例、奉公人請状・三下り半・往来手形

◆教科書 なし

◆参考書 丸沼『近世古文書解読字典 増訂』監修 林英夫 柏書房 2,650円（税込）（送料390円）

◆成績評価基準 小テスト・授業への参加・最終試験等の総合的評価による

◆E-Mail :

## ◆古代ローマ人の私生活

[西洋史演習]

開講単位：1単位 担当者：坂口 明

◆学習目標 ローマ人は、どのような私生活を送っていたのだろうか。政治活動や経済活動については比較的よく知られているが、彼らの個人的な関心や暮らしについてはあまり知られていないようだ。史料に即して、食事、病気、死などに関するローマ人の姿や考え方を探る。

◆授業方法 ローマ史の史料は、ラテン語またはギリシア語で書かれているが、この授業では、J.-A. Shelton, *As the Romans Did. A Sourcebook in Roman Social History*, New-York/Oxford 1982におさめられた英訳を用いる。テキストを輪読し、適宜解説を加えるとともに、質疑やディスカッションも交えて、ローマの社会の実態に迫りたい。

◆準備学習 前項で述べたように輪読を中心とするので、テキストを前もって読んでくることが、参加の前提条件である。さらにローマ史に関する本を読んでおけば（市販の『世界の歴史』などのシリーズにおさめられたものや、ローマ人の生活に関する一般書でOK）を読んでおけば、理解はより深まるであろう。

◆授業計画 [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	テキストの80-88ページ(meals)を読む予定であるが、時間配分はフレキシブルに考えたい。質問や意見が続出して予定通り進まなくともさしつかえない。むしろ参加者の積極性を期待する。
2日目	テキストの88-96ページ(illness, medical treatment, doctors, death)を読む予定であるが、時間配分はフレキシブルに考えたい。質問や意見が続出して予定通り進まなくともさしつかえない。むしろ参加者の積極性を期待する。
3日目	テキストの97-103ページ(funerary laws and funerals, personal massages)を読む予定であるが、時間配分はフレキシブルに考えたい。質問や意見が続出して予定通り進まなくともさしつかえない。むしろ参加者の積極性を期待する。

◆教科書 事前資料送付 上記のテキストをプリントして事前に配布する。

◆参考書 授業中に指示する。

◆成績評価基準 毎回出席することを前提として、テキストの理解度・授業における積極性を総合して評価する。

◆E-Mail :

## ◆日本経済と物価問題

【日本経済論】

開講単位：2単位

担当者：飯島 正義

◆学習目標 物価に関する基礎理論を確認していくと共に、1970年代以降の日本の物価に関する主要な問題について、具体的には70年代のstagflation, 80年代後半のバブル経済, 90年代後半以降のデフレ状況について理解を深めていきます。

◆授業方法 講義形式。当日配布するプリントを中心に授業を進めていきます。

◆準備学習 通信教育部のテキスト等で下記の授業計画に関係するところを事前に学習しておくと授業が理解しやすいと思います。

◆授業計画 [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	<ul style="list-style-type: none"><li>・授業内容とその進め方、成績評価についての説明</li><li>・物価に関する基礎理論</li><li>・日本経済と物価問題</li></ul> <p>*物価に関する基礎理論を確認すると共に、1970年代以降の日本の物価問題全般について説明します。</p>
2日目	<ul style="list-style-type: none"><li>・stagflation</li><li>・バブル経済の形成と崩壊</li><li>・平成不況</li></ul> <p>*1970年代以降の日本の主な物価問題について個別に説明していきます。</p>
3日目	<ul style="list-style-type: none"><li>・平成不況</li><li>・デフレと国民生活</li><li>・筆記試験</li></ul> <p>*1990年代後半以降のデフレとその影響について説明します。</p>

◆教科書 当日資料配付 当日プリントを配布します。

◆参考書 板書あるいはプリントで紹介する予定です。

◆成績評価基準 平常点（授業への取り組み、確認プリント等）20%，試験80%。なお、毎回出席することを前提とします。

◆E-Mail :

## ◆租税の理論と仕組みについて考える

【租税論】

開講単位：2単位

担当者：吉田 克己

◆学習目標 この講義は、租税の基礎的な理論とともに、わが国における主要な租税の仕組みについての理解を深めることによって、受講する皆さんに租税を身近な存在にしてもらうことをねらいとしている。

◆授業方法 講義形式により教科書に沿って授業をすすめるが、必要に応じてプリントを配布し利用する。

◆準備学習 租税は、社会を支える基盤であり、われわれの生活や企業の活動におおきなかかわりをもっている。このような租税について考えることは、とりもなおさず、社会の仕組みと動きを、そしてわれわれの生活そのものについて考えることでもある。学習の準備として、日頃から各種メディアによる租税についての報道に关心を寄せてもらいたい。

◆授業計画 [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	租税問題へのアプローチ 租税の機能（財源調達機能、所得再分配機能、経済安定化機能） 租税の分類
2日目	租税の原則（古典的租税原則、現代の租税原則） 所得税の基礎理論 わが国の所得税制度
3日目	消費課税の体系 消費税の基礎理論 わが国の消費税制度

◆教科書 丸沼『現代租税論の展開』[改訂版] 吉田克己 ハヤカワ出版 1,995円（税込）（送料340円）

◆参考書 最初の講義時に紹介する。

◆成績評価基準 最終日に実施する試験の結果により評価する。ただし、3日間を通じて授業に出席することを前提とする。

◆E-Mail :

## ◆交通サービスとマーケティング

〔交通論〕

開講単位：2単位 担当者：針谷 莊司

◆**学習目標** 交通サービスをマーケティングの立場から考えてみる。  
日常の中での諸現象を交通・マーケティングの立場から学習する。

◆**授業方法** この講義は、単に聴講するだけでなく、自分自身の考えを積極的に表現できる講義とする。  
日常起こっている現象を踏まえ、積極的に考え参加する講義をめざす。また、経済現象の変化と対応について考えをまとめていく

◆**準備学習** テキストを読んでおくこと  
LCCの開業など、交通のトピックスのニュースを確認しておくこと。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	交通とは何か 交通サービスとマーケティング
2日目	交通サービスとネットワーク 地域社会と交通 交通と立地
3日目	規制緩和と交通 交通サービスと物流 交通環境をとりまくトピックス

◆**教科書** 通材『交通論 0827』通信教育教材（教材コード 000184）1,900円（送料込）

◆**参考書** 講義時、指示致します

◆**成績評価基準** 授業時課題 意見発表 試験を総合的に評価します。

◆ E-Mail :

## ◆国際通貨制度の基礎を学ぶ

〔国際金融論〕

開講単位：2単位 担当者：谷川 孝美

◆**学習目標** 近年、欧州の債務危機問題など国際金融に関する様々な事柄が話題になっています。この講義では、このような国際金融における諸問題を考える上での基礎的概念や、国際金融制度の歴史的な変遷などを理解することを目標とします。

◆**授業方法** 授業計画にしたがって、パワーポイントを利用した講義形式で行います。講義では、基礎的な概念や国際金融制度について平易な解説をする予定です。なお、為替レート決定などの国際金融理論については取り扱いませんので注意してください。

◆**準備学習** 国際金融論は金融論およびマクロ経済学の基本的な理解を前提としています。学習の準備として確認をしておくと良いでしょう。また、外国為替レートなど海外市況や国際金融情勢などに、日頃から関心を持つことも大切です。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	①イントロダクション ②外国為替の仕組み ③外国為替市場と為替レート ④国際収支統計と対外取引 ※国際金融を理解するための基本的な事柄について解説します。
2日目	①金本位制から国際金本位制 ②IMF体制から為替フロー ③経済通貨同盟と欧州単一通貨ユーロ ※国際通貨制度の歴史的な変遷について概説します。
3日目	①国際金融市场 ②国際協調とBIS規制 ③通貨危機と国際通貨制度改革 ④講義のまとめ ※国際金融市场とその他諸問題について概説します。

◆**教科書** [当日資料配付] 指定しない。当日プリント配布。

◆**参考書** 通材『国際金融論 0833』通信教育教材（教材コード 000432）1,950円（送料込）  
丸沼『国際金融論をつかむ』橋本優子・小川英治・熊本方雄、有斐閣 2,205円（税込）（送料340円）  
その他、授業時に適宜紹介します。

◆**成績評価基準** 授業への取り組み、小テスト、最終試験等により総合的に評価します。

◆ E-Mail :

## ◆会計の基礎と応用—会計データを読む

[会計学]

開講単位：2単位 担当者：田村 八十一

◆**学習目標** 本講義では、会計、特に企業会計の基礎を概説するとともに、その応用である会計データをいかに読むか、すなわち分析するのかについて解説する。従って、会計の基礎を理解したうえで、ある程度の財務および非財務情報を用いて分析できるようになることを本講義の目標とする。

◆**授業方法** 基本的には講義形式で進める。但し、1日当たり長時間の講義となるので、事例を用いた会計データの分析も実施する。1日目～3日目の間に、これら分析のミニレポートを提出してもらう予定である。従って、電卓を必ず持参されたい（ノートPCなどでも可）。

なお、1日目と2日目の授業の最後にミニテストを実施するとともに、最終日にテストを実施する。

◆**準備学習** 理解を容易にするために事前に参考文献などを読んでおくと良い。また、次の【】内のキーワードについて参考文献などで事前にその概念を調べておくと良い。

【財務諸表、会計公準、1年基準と正常営業循環基準、期間損益計算、発生主義、実現主義、取得原価（主義）、時価（主義）、国際会計基準あるいは国際財務報告基準（IFRS）、個別財務諸表と連結財務諸表】

◆**授業計画** [1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分]

1日目	1. 企業会計の基礎概念1（会計公準などの基礎的な概念を概説する。） 2. 貸借対照表、損益計算書、キッシュフロー計算書などについて（その構造と特質などを概説する。） 3. 会計データを読む1 4. ミニテスト
2日目	1. 企業会計の基礎概念2（評価基準などの基礎的な概念を概説する。） 2. 日本の会計制度と国際的会計基準などについて 3. 会計データを読む2 4. ミニテスト
3日目	1. 企業のディスクロージャーと企業の社会的責任（CSR）などについて 2. 会計政策と財務諸表分析などについて 3. 会計データを読む3 4. テスト

◆**教科書** [当日資料配付] 当日プリント配付。

◆**参考書** 丸沼 (1)『経営分析』大橋英五 大月書店 3,150円（税込）(送料390円)  
(2)『会計の社会化』熊谷重勝・内野一樹編著 創成社 1,995円（税込）(送料340円)  
(3)『ゼミナール現代会計入門（第9版）』伊藤邦雄 日本書房 3,675円（税込）(送料390円)

◆**成績評価基準** 3回のミニレポート（60%）、2回のミニテスト（20%）、最終日のテスト（20%）  
なお、上記、成績評価は、3日間の出席を前提条件とする。

◆ E-Mail :

## ◆ 「いい」教育とは何かを考える

[教育の思想／教育原論]

開講単位：2単位 担当者：宮島 健次

◆**学習目標** 「教える」とはどういうことでしょうか。また「学ぶ」とはどういうことなのでしょうか。教育へのこの根源的な問い合わせについて、私たちは意外に明確な答えを持たない場合が多いのではないでしょうか。この授業では、これから教師になろうとする人たちに対して、このような教育へのさまざまな根源的問い合わせを投げかけ、最終的に自らの理想的な教育、すなわち「いい」教育とは何かを考え出すことを目的とします。この目的を達成するために、現代の教育理念を構成しているさまざまな教育思想を丁寧に読み解いていきます。

◆**授業方法** 教科書をもとにした授業を行います。しかし、ただ教科書を読むだけでは意味がありませんので、教科書の内容を授業者なりに解説したサブ・ノートの意味合いを持ったプリントを作成・利用し、受講者に「考える」ことを促していきます。受講者数にもよりますが、今のところ、受講生同志によるディスカッションをも加えた、三部構成（第一部 プリント演習、第二部 模範解答・解説、第三部 ディスカッション）を考えています。

◆**準備学習** 下に指示した教科書を熟読してくること。このテキストを読んだことを前提に授業を展開していきます。

◆**授業計画** [1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分]

1日目	コメニウス、ロック、ルソー、ペスタロッチの教育思想を中心に、演習→解説→ディスカッション
2日目	ヘルバート、フレーベル、マン、デューイ、ニイルの教育思想を中心に、演習→解説→ディスカッション
3日目	グーバー、アリエス、イリイチの教育思想を中心に、演習→解説→ディスカッション 最終テスト

◆**教科書** 丸沼『教育思想のルーツを求めて—近代教育論の展開と課題—』関川悦雄・北野秋男 啓明出版、2007、1,830円（税込）(送料340円)

◆**参考書** 授業中に指示します。

◆**成績評価基準** 以下の観点で、総合的に評価します。授業参加度（30%）、教科書の理解度（20%）、および最終日のテスト（50%）

◆ E-Mail :

## ◆社会の変化と教育制度の変化

## [教育制度論]

開講単位：2単位 担当者：長嶺 宏作

◆**学習目標** 本授業では社会の変化にともない教育に何が求められ、何が教育制度として具現化されたのかを考察する。教育が必要とされるのは自明なことではなく、社会的な背景から求められている。自明視されやすい教育の諸理念を一度疑うことで、教育制度を見直し、日本の教育制度の構造と特質を理解し、現在の学校が、どのような制度理念によって成立、維持しているのかを批判的に考察したい。

◆**授業方法** 基本的には講義形式で授業は行いますが、授業で取り上げたトピックについてのディスカッションや調べて来たものを発表してもらうことなど隨時行い、授業内容の理解を深めたいと考えています。

◆**準備学習** ①受講生自身の小・中・高校入試について、どのような選択肢があり、どのような理由で選択したのかをA4、1枚でまとめてください。②受講生が住んでいる地区的教育委員会（市町村・都道府県どちらでも構いません）のメンバーの名前と職業・年齢（わかる範囲）。③学校選択制度に関する新聞記事を一つ取り上げ、コピーして、それについての簡単なコメント（200～400字程度）を書いておいてください。

◆**授業計画** [1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分]

1日目	公教育の誕生と能力主義社会の進展：教育制度における平等性と優秀性の葛藤 ①ガイダンス、②公教育の誕生、③単線系と複線系：戦後教育制度の基本理念、④中等教育の問題：高校入試、⑤能力主義社会とは？：能力主義社会の実像
2日目	日本の教育制度・政策の変遷：社会と人間像の転換 ①学習指導要領の変遷：戦後教育改革の理念、②学習指導要領の変遷：教育の現代化、③学習指導要領の変遷：ゆとり教育から確かな学力へ、④日本の教育政策の決定過程：中央教育審議会の答申をみる、⑤日本の教育政策の決定過程：官邸主導による教育改革
3日目	教育におけるガバナンス：最も妥当な統制とは何か？ ①教育委員会制度とは何か？②教育における権限関係：誰が官僚か？③教育財政問題：義務教育費の負担構造と責任、④学校選択制度の理論、⑤学校選択制度の実態 一まとめ：教育における規範と科学的事実

◆**教科書** 使用しない。[当日資料配付] 当日、レジュメ等を配布する。

◆**参考書** 授業中に紹介する。

◆**成績評価基準** 事前レポート（30%）、授業内の活動への評価（20%）、試験（50%）

◆ E-Mail :

## ◆道徳教育について多面的に学ぶ [道徳教育の研究／道徳教育の理論と方法]

開講単位：2単位 担当者：山岸 竜治

◆**学習目標** 道徳教育はいわゆる「道徳の時間」のみならず、学校の教育活動全体を通して行われるのが原則である。ただし道徳教育は学校の外部でも行われているはずである。この授業では、教師として学校教育活動において道徳教育を担えるよう理論や方法などを学ぶとともに、人としてあるいは市民として「道徳的に生きるとはどのようなことか」を考える。学校教育における善悪、あるいは市民社会における善悪についても各自に深く考えてもらいたい。

◆**授業方法** 授業方法は講義形式を基本として、必要に応じて——条件が整えば——ディスカッションを行う。また、VHS、DVD、ブルーレイなどの視聴覚教材を用いて理解を深めることもある。

◆**準備学習** 「中学校学習指導要領 第1章 総則」の「第1 教育課程編成の一般方針」の「2」（教科書『中学校学習指導要領解説 道徳編』では139頁の中央部分。「学校における道徳教育は……」以下）を熟読しておくこと。

◆**授業計画** [1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分]

1日目	道徳は教えられるのか、を考える：プラトンの『メノン』を手がかりに ガイダンス：山岸の自己紹介、評価の説明・確認、授業計画の説明・確認 etc. 『中学校学習指導要領解説 道徳編』で道徳教育の指導法を考える 『心のノート』で道徳教育の指導法を考える
2日目	道徳教育の歴史：修身、道徳の時間 etc. いじめの問題について考える：定義の変遷、事件史 etc. 体罰について考える：何が体罰か、親の体罰と教師の体罰、事件史 etc. 道徳的問題についてより具体的に考える：グループワーク（ディスカッション or ディベート）
3日目	差別について考える：発達障害、特別支援教育、同和問題、性的マイノリティー etc. 道徳教育と心理学：ピアジェ、コールバーグ etc. テスト ※以上に関しては受講生の人数や外部環境による若干の変更がありえる

◆**教科書** 丸沼 文部科学省『中学校学習指導要領解説 道徳編』日本文教出版、2008年、138円（税込）（送料340円）

◆**参考書** 文部科学省『こころのノート』／『心のノート』（※出版社は色々のため省略。購入は不要。義務教育課程で使用したものがある、あるいはご家族（お子さん等）が使用済みのものをお持ちの場合は、持参されたい）。

◆**成績評価基準** テストと受講態度を中心に総合的に評価（※不正を行った者には絶対に単位認定をしない。また認定後に不正が発覚した場合は単位を取り消しにゆく）。

◆ E-Mail :

## ◆博物館を探るーみる・しらべる・つたえるー 【博物館情報・メディア論】

開講単位：2単位 担当者：大塚 英明

◆**学習目標** 授業のテーマを「博物館は何を発信するか」と設定し、多様化するユーザーが求める良質な情報発信について検討するとともに、これを取り巻く今日的な課題を探り、基礎的な能力を構築する。

◆**授業方法** 上記の「学習目標」を視野に入れ、以下の項目を基軸に講義を基調として、必要に応じて質疑応答を行ない、映像資料等を用いて理解を深化する。

1. 博物館の情報・メディアの概念を理解する。
2. 博物館における情報発信とその受信の在り方を考える。
3. 情報管理とシステム構築を考える。

◆**準備学習** 国内外の博物館・美術館等の内、2館のホームページを比較し、双方の映像を用意してその内容等について、自身の見解をまとめること。なお、授業内の報告を行なう。

◆**授業計画** [1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分]

1日目	博物館における情報・メディアの概念、博物館における情報・メディアの役割、メディアとしての博物館、博物館の基本的機能と情報システム
2日目	情報社会における博物館、情報機能の充実と拡大、博物館と情報教育、資料のドキュメンテーション
3日目	質疑応答 課題について各自の報告を行なう、知的財産としての情報、情報管理と危機管理、博物館における情報管理と今日的課題

◆**教科書** 使用しない。授業内に関連資料等を配布する。

◆**参考書** **通材**『博物館情報・メディア論 2016』通信教育教材（教材コード 000480）3,200円（送料込）  
〈この教材は市販の『新訂 博物館経営・情報論』佐々木亨他著（放送大学教育振興会）と同一です〉

◆**成績評価基準** 授業内報告 30% 試験 70%

◆**E-Mail :**

## 各期の開講講座表と講座内容（シラバス）

# 第5期

日 程		授 業 時 間	備 考
8月16日	金	9:00～17:30	※時間内に昼休みを設けます。
8月17日	土	9:00～17:30	
8月18日	日	9:00～17:30 <試験も含む>	

※以下の第5期開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コ ー ド	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		受講 方 式	制 限・注 意					
			科 目 コ ー ド	科 目 名		配当 学 年	カリ キ ュ ラ ム	受 講 条 件			
H1	歴 史 学	下川 雅弘	0015	歴 史 学		1年					
H2	政 治 学	関根 二三夫	0023	政 治 学		1年					
H3	英 語 G	石黒 恭代	0041	英 語 I	1年	I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。				
			0042	英 語 II							
			0043	英 語 III	2年						
			0044	英 語 IV							
H4	英 語 H	寒河江 融	0041	英 語 I	1年	I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。				
			0042	英 語 II							
			0043	英 語 III	2年						
			0044	英 語 IV							
H5	英 語 J	山本 由布子	0041	英 語 I	1年	I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。				
			0042	英 語 II							
			0043	英 語 III	2年						
			0044	英 語 IV							
H6	中 国 語 III・IV	稻葉 明子	0063	中 国 語 III	2年	III・IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	III・IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。				
			0064	中 国 語 IV							
H7	英 語 学 概 説	山岡 洋	0085	英 語 学 概 説		2年					
H8	西 洋 古 典	元氏 久美子	0087	西 洋 古 典	※	2年					
H9	民 法 III	根本 晋一	0134	民 法 III		2年					
HA	商 法 III	福田 弥夫	0144	商 法 III		2年					
HB	国 際 政 治 学	大八木 時広	0223	国 際 政 治 論	2年	経済学部のみ申込可 法学部・文理学部のみ申込可 商学部のみ申込可	経済学部のみ申込可 法学部・文理学部のみ申込可 商学部のみ申込可				
			0224	国 際 政 治 学							
			0225	国際政治学概論							
HC	国 文 学 概 論	武藤 純子	0321	国 文 学 概 論	条件 参 照	国文学専攻のみ 1学年以上申込可 その他は2学年以上申込可	国文学専攻のみ 1学年以上申込可 その他は2学年以上申込可				
HD	国文学講義 I (上代)	梶川 信行	0331	国文学講義 I (上代)							

### 注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		受講 方 式	制 限・注 意		
			科 目 コ ー ド	科 目 名		配当 学 年	カ リ キ ュ ラ ム	受 講 条 件
HE	国 文 学 演 習 B	長谷川 正江	0386	国文学演習 I	※	3年		国文学専攻のみ申込可 I～VIのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず記 入してください。
			0387	国文学演習 II				
			0388	国文学演習 III				
			0389	国文学演習 IV				
			0390	国文学演習 V				
			0391	国文学演習 VI				
HF	英 作 文 I B	安田 比呂志	0447	英 作 文 I	※	2年		スクーリング1回の合格で単 位完成する科目です
HG	英 語 学 演 習 H	青木 克憲	0481	英語学演習 I	※	3年		英文学専攻のみ申込可 I～IIIのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず記 入してください。
			0482	英語学演習 II				
			0483	英語学演習 III				
HH	英 米 文 学 演 習 J	堤 裕美子	0486	英米文学演習 I	※	3年		英文学専攻のみ申込可 I～IIIのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず記 入してください。
			0487	英米文学演習 II				
			0488	英米文学演習 III				
HJ	英 米 文 学 演 習 K	佐藤 秀一	0486	英米文学演習 I	※	3年		英文学専攻のみ申込可 I～IIIのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず記 入してください。
			0487	英米文学演習 II				
			0488	英米文学演習 III				
HK	西 洋 思 想 史 II	瀧田 寧	0513	西 洋 思 想 史 II		2年		
HL	哲 学 概 論	齋藤 隆	0531	哲 学 概 論		2年		
HM	哲 学 特 殊 講 義	齋藤 瞳	0571	哲 学 特 殿 講 義		2年		
HN	考 古 学 特 講 I	野中 和夫	0651	考 古 学 特 講 I		2年		
HP	日 本 史 特 講 II	坂口 太助	0662	日 本 史 特 講 II		2年		
HQ	西 洋 史 特 講 I	後藤 秀和	0669	西 洋 史 特 講 I		2年		
HR	国 際 経 済 論	陸 亦群	0737	国 際 経 済 論		2年		
HS	経 済 開 発 論	辻 忠博	0740	経 済 開 発 論		2年		
HT	情 報 概 論 B	一島 力男	0773	情 報 概 論		2年		
HU	広 告 論	樋口 紀男	0830	広 告 論		2年		
HW	中 小 企 業 論	山本 聰	0848	中 小 企 業 論		2年		
HX	発 達 と 学 習	陶山 智	0906	発 達 と 学 習	※	2年		スクーリング1回の合格で単 位完成する科目です
HY	教 育 の 方 法・技 術 論	池田 有里子	0926	教 育 の 方 法・技 術 論	※	2年		スクーリング1回の合格で単 位完成する科目です
J1	英 語 科 教 育 法 III	市川 泰弘	0961	英 語 科 教 育 法 III	※	2年		英文学専攻のみ申込可 スクーリング1回の合格で単 位完成する科目です
J2	経 済 地 理 学	佐藤 俊雄	0973	経 済 地 理		2年		商学部のみ申込可
			0974	経 済 地 理 学				法・文理・経済学部のみ申込 可

## 講座内容（シラバス）

### ◆環境と人間の関係から見直す日本の歴史

[歴史学]

開講単位：2単位 担当者：下川 雅弘

◆**学習目標** 環境問題が深刻化する現在、歴史学においても環境を意識した研究が進展している。自然と人間の相互作用・相互関連を十分考慮して、自然と人間の相剋の歴史を見つめ直す歴史学の一分野を、特に環境史という。これらの成果に学びつつ、環境と人間の関係から、日本の歴史を見直していくことを通じて、歴史学の意義・役割についても考えていただきたい。

◆**授業方法** 授業時に配布するプリントや、パワーポイントにより適宜紹介する写真・地図・図表などを用いて、講義形式により授業を展開する。テーマごとに講義内容に関する質問を行い、ミニットペーパーを配布の上、これに記入してもらった回答を紹介することを通じて、受講者の基礎知識や理解度を確認しながら講義を進めていく。

◆**準備学習** 講義は時代順に展開するわけではなく、また、特定の教科書も使用しないので、少なくとも中学で学習したレベルの日本史の基礎知識（時代の大まかな流れなど）については、年表などを用いて復習した上で授業に臨んでほしい。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	「歴史学」の講義を始めるにあたって、歴史学における「自然」「環境」の捉え方（歴史学と歴史観、戦後日本の歴史学の主流、環境決定論、人類の「行き詰まり問題」としての環境問題、「環境史」の登場）、歴史時代の気候変動データ
2日目	小氷期と歴史上の出来事（二毛作と小氷期、江戸の大飢饉と小氷期、冷涼化と温暖化）、都市と環境（都市問題とは？、都市問題と地球環境問題、都市江戸に学ぶ）、江戸の都市環境（江戸のゴミ処理、江戸の「リサイクル」、江戸の屎尿処理、江戸の上水道）
3日目	前近代の開発と山林利用（前近代の山林資源の利用、山争いと惣村の登場、江戸時代の山林資源の枯渇と育成林業、江戸時代の新田開発とその弊害）、歴史学と環境問題、試験

◆**教科書** [当日資料配付] 授業時に適宜プリントを配布する。

◆**参考書** 授業時に適宜紹介する。

◆**成績評価基準** 試験（70%）、平常点（30%）。平常点はミニットペーパーへの回答状況などにより評価する。毎回出席することを前提とする。

◆ E-Mail :

### ◆政治を基礎から学びましょう

[政治学]

開講単位：2単位 担当者：関根 二三夫

◆**学習目標** 基礎教育としての講義を行います。議会及び大統領もしくは内閣の動きを見ますと、政治が難しいことのようを感じられます。しかし、そこで制定され執行される法律や予算は、国家や社会や個人の発展の為に寄与するものです。この講義においては、政治がわれわれの生活に大きな影響を及ぼすと同時に、身近な現象であることを学びます。

◆**授業方法** 講義形式で行います。講義においては、受講生の政治に関する問題意識を高め、それに対する解決能力を啓発するように進めていきます。講義で知りえた内容が、如何なる意義を有するのか、それが個人や社会や国家にとってどのように関係してくるのかを客観的に理解しなければなりません。受講に際しては、予習や復習が必要になります。

◆**準備学習** 政治学は社会科学のカテゴリーに入り、人間社会を対象にする学問です。社会を構成する人々はそれぞれ考え方方が異なりますので、同じ原因が示されても異なる結果が出るのが通例です。政治学の学問としての課題もそこにある、現実の社会を理解し、社会における問題を解決して、るべき社会を築く必要があります。学習の準備として、メディアの記事などに関心を持ち、問題点を把握することが必要になります。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	政治学の変遷、政治の概念、政治の本質、政治権力（概念・構造・支配の手段）、国家（成立の要素・分類）、議会政治（沿革・原理） ※政治学は長い歴史を有していること、現実の政治やるべき政治とは何か、政治の世界における力関係や影響力、国家を成立させる要素とは何か、議会政治の歴史や原理を学びます。
2日目	議会の構成、立法部と行政部（議院内閣制・大統領制）、選挙制度の原則、選挙区、選挙区の画定、代表選出の形態、政党（概念・特徴） ※一院制や二院制、立法部と行政部との関係、選挙の仕組みを支える原則、選挙区やその作成の基本的考え方、代表を選出する形態、政党とは如何なるものか、また、その特徴などを学びます。
3日目	政党（発展過程・機能・問題点）、圧力団体（概念・特徴・活動・問題点）、コミュニケーション（機能・類型・方向性）とリーダーシップ ※政党がどのように発展して来たか、また、その働きや問題点を考え、圧力団体とは如何なるものか、その特徴や活動、問題点などを学びます。さらに、組織や集団において重要なコミュニケーションやリーダーシップについて考えます。

◆**教科書** 通材『政治学 0023』通信教育教材（教材コード 000279）1,800円（送料込）

◆**参考書** 丸沼『教養政治学』岩井奉信、黒川貢三郎、関根二三夫他、南窓社、3,045円（税込）（送料 390円）

◆**成績評価基準** 試験 70%，平常点 30%，  
※試験同様、質問や小テストへの解答等の平常点等も重視しますので、受講に際しては欠席をしないように注意してください。

◆ E-Mail :

## ◆ TOEIC でリスニング・文法を学ぶ

〔英語 G〕

開講単位：1単位 担当者：石黒 恵代

◆**学習目標** 現在、TOEIC の重要性が高まっているので、英語の基本文法を学びながら TOEIC 独特のパターンに慣れていくことを目的とします。

初心者から 500 点ぐらいまでを目指します。あくまでも基本英語のスキルアップを目指します。

◆**授業方法** テキストに沿って、リスニング部門、リーディング部門の演習をし、講義します。

◆**準備学習** 特になし。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	ガイダンス 第1章：基本時制・ビジネスレター1 第2章：進行形・完了形・広告1 第3章：名詞・主語と動詞の一致・表・グラフ
2日目	第4章：前置詞・通知文1 第5章：分詞・分詞構文・ビジネスレター2 第6章：不定詞・動名詞・通知文2
3日目	第7章：助動詞・ウェブサイト 第8章：比較・社内メモ 第9章：関係詞・代名詞・広告とウェブサイト 試験

◆**教科書** 丸沼『ターゲットとポイントで学ぶ TOEIC テスト』 金星堂 2,205円（税込）（送料 340円）

◆**参考書** 特になし

◆**成績評価基準** 出席状況と授業時の発表（60%）、試験（40%）。総合的に評価します。

◆**E-Mail :**

## ◆ Poe の moral に関わる作品を読む

〔英語 H〕

開講単位：1単位 担当者：寒河江 融

◆**学習目標** アメリカの作家 Poe は様々なジャンルの作品を書き、探偵小説などではそのジャンルの父とまで言われる人であります。その中でも特に有名な moral に関わる作品を精読することで、英文の読解力と文法知識の向上を目指します。

◆**授業方法** 学生一人一人に、音読・和訳をしてもらいます。和訳はきれいな日本文にする必要はありません。元の英文構造がわかるように、直訳をしてもらいます。一人一文で当てます。なお、翻訳は参考にするのは構いませんが、それを発表するのは意味がないのでやめましょう。大幅に減点をします。どうしてその訳になったか、などの質問をします。完璧に訳せなくても構いません。

◆**準備学習** できる限り予習して目を通してください。解からない単語は無いようにしておくこと。予習、単語調べなどをせずに授業に出席した場合、受講意志なしとみなします。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	テキストの精読。
2日目	テキストの精読。
3日目	テキストの精読。午後、本テキストに関する試験。

◆**教科書** 事前資料送付 事前にプリントを配布します。

◆**参考書** 辞書（必要、電子辞書可）

◆**成績評価基準** 授業参加（受講態度、発表等）と最終の総合テストで評価を出します。授業に関する上記の事柄について守れない者は大幅に減点します。

◆**E-Mail :**

## ◆英詩の暗唱と英文解釈

[英語 J]

開講単位：1単位 担当者：山本 由布子

◆**学習目標** Byron, Shelley そして Wordsworth のような、主に英国の詩人の作品をそれぞれ少しづつ（詩は 10 行前後の抜粋）鑑賞し、詩の英語表現とその独特の世界を学ぶことで、英語に対する関心を深めることを目標とします。英詩は初めてという方も、受講できます。

◆**授業方法** 授業は次の 2 つの方法で進めます。①英詩の内容を理解し、暗唱し、皆の前で発表する。②それぞれの詩に関する書かれたエッセイを日本語に訳す。皆さんには、詩のリズムを体得していただくために、声に出して何度も練習していただきます。最終的には、5 つのうち 2 つの詩を覚え、書けるようにしていただきます。

◆**準備学習** 予習は必ずしてください。テキストには詩とエッセイが載っています。詩はその内容を自分なりに理解してください（暗唱の時間は授業時に取ります）。詩に関するエッセイは日本語訳できるように、分からぬ單語、熟語を調べてきてください。授業は以下の計画のもとで 5 つの詩を読む予定ですが、進度によっては全ての詩を読むことができない場合があります。

◆**授業計画** (1日目：450 分, 2日目：450 分, 3日目：450 分)

1日目	・ガイダンス ・Love—Robert Burns (テキスト2ページから) ・Beauty—Lord Byron
2日目	・Music—P.B. Shelley ・Julia—R. Herrick
3日目	・Lucy—W. Wordsworth ・試験

◆**教科書** 丸沼『Poems of Either Shore』(詩のかけ橋) Peter Milward 著 音羽書房鶴見書店 1,680 円 (税込) (送料 340 円)

◆**参考書** 英和辞書 (電子辞書も可)

◆**成績評価基準** 平常点 60% (出席、発表、小テスト、授業内での積極性) と試験 40% で総合的に評価します。但し、全ての授業に出席することを前提といたします。

◆ E-Mail :

## ◆易から難へ—音から捉える中国語

[中国語 III・IV]

開講単位：1単位 担当者：稻葉 明子

◆**学習目標** 自宅学習が困難な発音を完成させながら、将来にわたって中国語を自動的に吸収し、自力で学習していくための能力を確立しましょう。正しい発音は即ち確固たるリスニング力を意味します。漢字や日本語訳に頼らず音声のみから文と文脈を自力で捉えていく力をつけます。教科書後半は長文読解教材です。短期集中で身に付けたリズム感を用い、適切な構文把握に導きます。

◆**授業方法** 日本語の連想の無い状態で、各課についてシートを用いた単語の音声導入を行い、場面と音声から自力で内容を掴んでいく訓練を行います。普通に出席していれば、スクーリング中に発音記号の疑問点は解消するでしょう。初日に学習方法を示すので、2日目以降に行う小テストにむけて指示通りに復習をしてください。

◆**準備学習** 予習の必要な長文読解については講習前に指示書とともに示します。音声による認識と練習が主眼の授業ですので、授業計画に示した教科書についてはあえて「予習せずに」臨んでください。適宜初級文法をまとめながら進めます。中国語 II は修得中であっても差し支えありません。

◆**授業計画** (1日目：450 分, 2日目：450 分, 3日目：450 分)

1日目	発音の総復習と実地訓練。(声調・母音・子音・音節) 第6課を用いた基本単語の音節把握とスクーリング中の基本作業の確認。
2日目	第8課 存在の「有」、方位詞、量詞、二重目的度をとる動詞。「快～了」 第10課 助詞「過」、助動詞「打算」「想」、動詞の重ね型。 第12課 様態補語、「是～的」、語氣助詞「了」 数字・時刻の言い方と時間量の概念。
3日目	第14課 「像～一樣」、助動詞「会2」文脈とアスペクト。 第16課 方向動詞、助詞「地」、応用表現と文脈説解。 第18課 受け身文「讓」、「好看」、「難看」、「書面語」文體の説解。 教場試験

◆**教科書** 通材『中国語 II 0062』通信教育教材 (教材コード 000459) 2,450 円 (送料込)

〈この教科書は、関中研『中国語@キャンパス基礎編 (改訂版)』(朝日出版社) と同一です〉その他プリントを配布。

◆**参考書** 授業中隨時紹介します。二日目以降に教科書附属 CD を用いた復習が必要になりますので、教材音声に手軽に親しめる環境を工夫してください。(付属 CD をプレーヤーに取り込む、出版社の HP にアクセスするなど)

◆**成績評価基準** 最終試験を基礎に、2日目以降の小テスト、学習状況を加味して判断します。

◆ E-Mail :

## ◆英語学の概略を理解する

〔英語学概説〕

開講単位：2単位 担当者：山岡 洋

◆**学習目標** 言語学の一分野としての英語学が、どのような学問分野であるか、その全体像を理解する。具体的には、英語学という学問の存在意義やその下位分類としてどのような学問分野が存在するかを説明する。本講座は、内容的には、本年度の春期スクーリングで開講する「英語学概説」と合わせて、一つのまとまりとなるもので、今回はその全体の後半部分の話をします。

◆**授業方法** 授業形態としては、テキストに沿った教員側からの説明を基本として授業を進めていく。予習をしてくることを原則とする。教員側からの説明を基本とするが、学生側からの積極的な授業参加を期待する。そのため、質疑応答が活発になるように、教員側から常に学生側に質問を投げかけるようにする。

◆**準備学習** 下記に挙げる教科書や参考書に目を通しておくこと。3日間の短期スクーリングであるために課題などはあまり出せない。そのため、事前に予備知識を身に付けておくことが求められる。

◆**授業計画** [1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分]

1日目	ことばの仕組み 機能的統語論
2日目	意味論 語用論
3日目	英語史 自習 試験・解説

◆**教科書** 丸沼『日英語対照による英語学概論』 西光義弘編、くろしお出版、1999年 2,625円（税込）（送料390円）

◆**参考書** 丸沼『ことばの仕組みを探る：生成文法と認知文法』 英語学モノグラフシリーズ1、原口庄輔・中島平三・中村捷・河上誓作 2,625円（税込）（送料340円）

◆**成績評価基準** 授業参加度（20%）、最終試験（80%）

◆ E-Mail :

## ◆シェイクスピア悲劇の名せりふに触れる

〔西洋古典〕

開講単位：2単位 担当者：元氏 久美子

◆**学習目標** 英米文学の古典であるシェイクスピアの代表的悲劇作品の名せりふを学び、その解釈に触れ、そしてせりふを暗唱することによってシェイクスピア作品独特のせりふのリズムと言いまわしを学びます。英米文学を学ぶうえで役立つ知識を得るとともに、英文学専攻の学生としてふさわしい英語力を養うことを目指します。

◆**授業方法** シェイクスピアの悲劇作品の名せりふを精読し、Commentary を読むことによってせりふの理解を深めます。また作品のストーリー、背景、映像作品などの紹介もします。せりふを音読することにより、シェイクスピア作品独特のリズムと言いまわしを体感します。講義中心の授業となりますが、受講に際しては、予習や復習が必要になります。

◆**準備学習** シェイクスピア作品のせりふのすばらしさを理解するために授業で学んだせりふの1つを選んで20行程度を暗記していただくことになります。夏期スクーリングの3日間で英語のせりふを暗記するのは難しいと思われる方は、あらかじめ暗記するせりふを選び、音読練習をしてください。できれば選んだ作品のストーリーを読んでおいてください（日本語訳可）。Commentary の英文は、巻末のNotes を参照しながら予習してください。

◆**授業計画** [1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分]

1日目	ガイダンス（授業の進め方、評価方法などについての説明）、シェイクスピアについての基本知識。 The Dawning of Love, by Romeo (from <i>Romeo and Juliet</i> ii. 2) 『ロミオとジュリエット』の有名なバルコニーシーンの冒頭、ロミオがジュリエットへの熱い思いを語る。 A Broken Heart, by Hamlet (from <i>Hamlet</i> i. 2) 父の急死と母の早すぎる再婚に対し、喪服のハムレットが心のうちの悩みを激しい口調で語る第一独白。
2日目	The Problem of Being, by Hamlet (from <i>Hamlet</i> iii. 1) 「生きるべきか、死ぬべきか、それが問題だ」と訳されたあまりにも有名なハムレットの第三独白。 Inner Conflict, by Claudius (from <i>Hamlet</i> iii. 3) 自ら犯した兄殺しの罪の恐ろしさにおびえたクローディアスの独白。
3日目	The Cause of Justice, by Othello (from <i>Othello</i> v. 2) 妻デスモーナの不義に対して正義の裁きを下し、殺そうとするオセロの独白。 Invocation of Chaos, by Lear (from <i>King Lear</i> iii. 2) 娘たちの忘恩に激怒し、嵐の荒野にさまよい出たリアは、荒れ狂う大自然に向かって叫ぶ。 試験

◆**教科書** 丸沼『Memorable Speeches from Shakespeare (『シェイクスピアの名せりふ』)』 Peter Milward著  
南雲堂 1,995円（税込）（送料260円）

◆**参考書** 授業中に紹介します。

◆**成績評価基準** 授業への取り組み（発表など）、試験により総合的に評価します。毎回出席することを前提として評価します。

◆ E-Mail :

## ◆要説 債権総論

[民法Ⅲ]

開講単位：2単位 担当者：根本 晋一

- ◆**学習目標** 1 民法学における、債権総論の体系的な位置付を理解する。  
2 債権総論の体系（全体像）を理解する。  
3 1, 2の理解および修得を前提として、債権総論に関する基本論点を理解する。

◆**講義方法・受講上の注意** 講義形式を採用する。シラバス（学習計画）は凡そその目安である。法改正や新判例、新論点を追加した場合、シラバスと進行に齟齬が生じる場合もある。なお、根本「民法Ⅲ」スク2単位+根本「民法Ⅲ」スク2単位=「民法Ⅲ」1科目（4単位）完成は不可である。例外は認めない。

◆**授業計画** [1日目：520分, 2日目：520分, 3日目：390分]

1日目	学習目標の1および2 債権総論の体系と基本論点（債権の発生・目的など）
2日目	(昨日の続き) 債権総論の体系と基本論点（債権の効力・多数当事者の債権債務関係など）
3日目	(昨日の続き) 債権総論の体系と基本論点（債権譲渡・債権の消滅など） 筆記試験（ただし、レポート試験の場合には実施しない）

◆**教科書** 指定しない。

◆**参考書** 通材『民法Ⅲ 0134』通信教育教材（教材コード 000354）2,600円（送料込）  
丸沼『じつは身近な債権法—知って得する！ 契約、損害賠償制度 etc…の「基礎知識』山川一陽著 日本加除出版株式会社 3,360円（税込）（送料 340円）など。その他の文献については適宜紹介をする。

◆**成績評価基準** 筆記試験またはレポートの成績・出席率・授業態度等を、総合的に考慮する。

◆ E-Mail :

## ◆企業取引の決済手段～手形・小切手～

[商法Ⅲ]

開講単位：2単位 担当者：福田 弥夫

◆**学習目標** 企業間で取引が行われると、必ず決済（支払い）が必要となる。私たちの日常生活でもそれは同様で、書店での本の購入や、鉄道に乗車する際の切符の購入にも、必ず決済が必要とされる。この授業では、企業取引の決済手段として利用されている手形と小切手を中心としながら、各種決済手段の実際とその法的な構成を理解することを目的とする。

◆**授業方法** スクーリング形式の授業であるから、毎回出席はとる。出席は重視する。基本的には講義形式の授業となるが、ビデオなども活用して、わかりやすい授業を心がける。さらに、受講生に対して質問をしたり、意見を求めたりして、対話型の授業形式も取り入れて行く。3日間の集中講となるので、毎日の予習と復習が重要であることはいうまでもない。

◆**準備学習** 民法の債権に関する単位を取得済みか、あるいは履修中であることが望ましい。商法Ⅰや商法Ⅱの単位を習得済みであることは必要ない。手形や小切手による支払いには、必ず商品の売買契約などがその基礎として存在する。そして、手形は転々流通する性質を有することから、民法の債権譲渡の理解が必要となる。民法の債権法に関する基礎的な知識の習得を、準備学習として行っておくことが望ましい

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	① ガイダンスー講義の進め方、成績評価について ③ 銀行取引と手形・小切手の関係	② 各種の決済手段とその特徴 ④ 手形・小切手の経済的機能
2日目	① 手形理論とは何であるか ③ 手形の振り出し ⑤ 小テスト	② 手形行為と民法の関係はどうなっているか ④ 手形の偽造と変造
3日目	① 手形の譲渡方法。裏書とはなにか。その効力にはどのようなものがあるか ② 為替手形と小切手の特徴。支払委託証券の意味するもの ③ クレジットカードの法的構成	④ 授業のまとめ。試験

◆**教科書** 通材『商法Ⅲ 0144』通信教育教材（教材コード 000314）2,850円（送料込）  
その他、ハンドアウトや資料を配布する

◆**参考書** 条文を参照することが多いので、コンパクトな六法を持参すること

◆**成績評価基準** ①平常点 20%, ②小テスト 20%, ③試験 60% なお、授業における積極的な参加（質疑に対する応答など）は、10点を上限とした加点要素とする。

◆ E-Mail :

## ◆ 20世紀の国際政治史と日本外交

〔国際政治学〕

開講単位：2単位 担当者：大八木 時広

◆学習目標 国際政治を理解するためには、歴史的な知識と視点が必要不可欠である。この授業では20世紀の国際政治史を学ぶことで、現代の世界を形成するさまざまな背景を探求し、国際政治を理解する上での基礎を養う。

◆授業方法 基本的には講義が主体。ただし一方的な講義だけで終わらないよう、対話形式や討論形式も予定。また理解度をみるため、小テスト（平常点）を行う予定。

◆準備学習 事前に教科書を読んで学習しておくことが望ましい。予習の際には、細かな点にとらわれるのではなく、大きな流れを理解することが望ましい。

◆授業計画 [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	冷戦がどのように開始されて、展開していくのか、その中で日本が占領期をいかに切り抜け、独立回復に向けて外交を展開したかを学習する。初日は1940～50年代が対象となる。
2日目	まず1960年を対象として、冷戦がどのように激化したのか、その中で日本外交はどのように巻き込まれたのかをまず学習する。そして、いわゆるデタントの時代とはどのようなものであり、日本外交はデタントとどのように関わったのかという1970年代の国際政治と日本外交を取り上げる。
3日目	冷戦が終結に向かう1980年代の国際政治について、日本外交の展開と組み合わせて学習する。また1990年代以降、21世紀の現代国際政治の流れを最後に取り上げ、日本外交に何が可能かを考える。

◆教科書 丸沼『国際関係論』佐渡友哲・信夫隆司 共編 弘文堂 2,310円（税込）（送料340円）

◆参考書 特になし。

◆成績評価基準 平常点（小テストを含む）（20%）、試験（最終日に実施）（80%）

◆E-Mail：

## ◆黄表紙入門—挿絵と文章を楽しむ—

〔国文学概論〕

開講単位：2単位 担当者：武藤 純子

◆学習目標 江戸時代中期に出版された黄表紙を読み解きます。文と挿絵が織りなす「むだ」と「うがち」のおもしろさ。そこには近代小説が切り捨てた文学の形があります。江戸庶民が大好きだった黄表紙の世界に触れ、近世文学特有の表現様式を理解していきましょう。

◆授業方法 受講者参加型の講義形式で進めます。テキストの音読をはじめ、言葉や挿絵の読み解きに関しても、意見を求めます。受講者の発する声とともに、授業を進めていきます。

◆準備学習 教科書（解説・作品の本文）を通読し、理解できない事柄・語句をノートに書き出しておいて下さい。

◆授業計画 [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	・江戸時代の戯作の歴史と特色について ・黄表紙『金々先生栄花夢（きんきんせんせいえいがのゆめ）』の購読と分析 ・文と挿絵が織りなすナンセンスと笑いの世界を読み解く ・本作の特色をまとめる
2日目	・草双紙の歴史と黄表紙の特色について ・黄表紙『江戸生艶氣権焼（えどうまれうわきのかばやき）』の購読と分析 ・文と挿絵が織りなす穿ちと笑いの世界を読み解く ・本作の特色をまとめる
3日目	・黄表紙『辞闇戦新根（ことばたたかいあたらしいのね）』『的中地本問屋（あたりやしたぢほんどんや）』 ・文と挿絵が織りなすパロディーの世界を読み解く ・江戸の出版文化と文学の特色について考える ・試験

◆教科書 丸沼『「むだ」と「うがち」の江戸絵本—黄表紙名作選』小池正胤校注・解説、笠間書院 1,680円（税込）（送料340円）

◆参考書 授業中指示します。

◆成績評価基準 授業への参加度・小テスト・小レポート（30%）と最終日の試験（70%）で評価します。

◆E-Mail：

## ◆「国語」教科書の中の万葉集

## 〔国文学講義 I (上代)〕

開講単位：2単位 担当者：梶川 信行

◆**学習目標** 高等学校「国語総合」の教科書で教材化されている万葉集について考えます。その万葉觀は概して古く、中には皇国史觀と受け止められかねない記述も見られます。教材化された万葉歌を検討することを通して、若い人たちに對して『万葉集』をどう教えるべきか、ということを考えたいと思います。

◆**授業方法** 講義を中心とします。プロジェクトを使用し、写真・地図・図版など、多くの画像を示すことによって、理解が深められるようにするつもりです。毎回最初に出席を取る代わりに、上代文学に関する常識を聞くクイズを行います。また授業中に、受講生に対して質問があるので、しっかりノートを取っておいて下さい。

◆**準備学習** 『万葉集』に関する本を、できるだけたくさん読んでおくこと。その際、学問的な裏付けのある書物を選んで下さい。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	ガイダンス・問題意識 雄略天皇御製	「国語総合」の万葉歌の概観 額田王	志貴皇子
2日目	柿本人麻呂 大伯皇女	山部赤人 大伴坂上郎女	
3日目	山上憶良 大伴旅人	大伴家持 まとめ	試験

◆**教科書** 丸沼『萬葉集』鶴久・森山隆 おうふう 1,995円(税込)(送料390円)

◆**参考書** 丸沼『国語教科書の中の「日本」』石原千秋 ちくま新書 2009 798円(税込)(送料260円)  
『教科書の中の宗教』藤原聖子 岩波新書 2011 840円(税込)(送料260円)

◆**成績評価基準** 最終日に試験を行います。原則として、自筆ノートのみ持ち込み可。しっかりノートをとっておいて下さい。なお、上代文学に関する常識を聞くクイズで得た得点は、試験の点数に加点します。

◆ E-Mail :

## ◆井原西鶴の町人物を読む

## 〔国文学演習 B〕

開講単位：1単位 担当者：長谷川 正江

◆**学習目標** 井原西鶴の作品の中から町人物と称される『日本永代蔵』『世間胸算用』『西鶴置土産』『万の文反古』の数章を読み、浮世草子に描かれた風俗や人間像について学ぶ。各人の調査・発表を通じて、江戸時代前期の語彙や表現、また俳諧師西鶴の文体的特徴を理解する。テキストには影印本を用いて変体仮名や崩し字に触れ、古典籍の原文を読む意義を考える。近世期に成立した出版文化と当時の読者層の問題についても考察する。

◆**授業方法** 受講者決定後に、人数を考慮しつつテキストに収録されている短編作品を適宜割り振り、全員に通知する。最初に近世の出版文化の概略について講義するが、各作品については、個々の学生の発表と質疑による演習形式で行う。また適宜影印の翻刻作業を交える。

◆**準備学習** 扱う作品は著名なもので、翻刻・注釈は複数ある。それらを比較対照した上で、各自発表の準備をしていただきたい。発表に当たっては、各自B4サイズの発表資料を最低一枚は用意し、教員と受講者全員に配布すること。その際テキストの注釈を補う資料を心がけること。また、各自市販の変体仮名手引きを用意し、持参すること。出版社は問わない。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	・近世前期の出版文化について講義する。西鶴の本はどの程度の部数が印刷され、値段はいくらだったのか。 ・以下学生による発表。日本最初の経済小説『日本永代蔵』に見る成功者と没落者の群像。たとえば当時のベンチャー企業越後屋、現在の三井グループの成功の秘証は何だったのか。
2日目	・『世間胸算用』に見る町人の生活ぶり。当時一年最大の収支決算日であった大晦日に、借金取りとの攻防が避けられない。借金を返せないとどうなるのか。自己破産制度も生活保護制度も年金制度ない時代に、国は頼れない。いかにして生きのびるのか。
3日目	・『西鶴置土産』遺稿集にも商品価値があった西鶴だが、彼が遺した最後のメッセージとは何か。 ・『万の文反古』西鶴の遺稿集。簡便なメールがない時代、人間は書簡文に何を託すのか。 ・各自の担当箇所を中心としたリポート形式の試験。

◆**教科書** 丸沼『影印版頭注付 西鶴の世界Ⅱ』雲英未雄・谷脇理史他編。新典社 1,365円(税込)(送料260円)

◆**参考書** 教科書巻末に掲載。また、『西鶴事典』(江本裕・谷脇理史編 おうふう)を参照のこと。受講者からの事前の質問により、こちらから個々に指示する場合がある。

◆**成績評価基準** 配布資料と発表内容の充実度(45%)、質疑など授業への参加度・影印読解への取り組み姿勢(20%)、リポート形式の試験の達成度(35%)で評価する。

◆ E-Mail :

## ◆基礎を確認しながら正確な英語を書く

〔英作文 I B〕

開講単位：2単位 担当者：安田 比呂志

◆**学習目標** 基本的な英語の文法事項を確認し、練習問題を反復的に解いて身につけながら、その文法事項を使用した英作文を行うことで、ライティング能力を向上させることを目的とします。最終的には、あらゆる場面において、英語で自分を正しく表現できる英語運用能力を養成することを目指します。英語の初級者を始めとする様々な英語力の学生を対象とします。

◆**授業方法** 授業で使用するテキストは、大学で英語を学ぶ上で知っておく必要がある最低限の文法事項を扱っています。授業では、基本的にテキストに沿って進みながら、これらの文法事項を習得するようにします。尚、授業では、学生の理解を重視するため、「授業計画」通りに進まない場合があります。

◆**準備学習** 毎回、前もって予習をしておいて下さい。授業中の発表で間違っても減点しません。授業は、自分が理解している内容を確認し、理解していないかった内容を理解するための場であると考えていますので、恐れることなく、予習の成果を発表で示して下さい。尚、授業には、英和辞典と和英辞典を必ず持参して下さい。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	ガイダンス。第1章から第8章まで進みます。各章の構成は、次の通りです。第1章：文の成り立ち、第2章：文の種類、第3章：動詞、第4章：5文型、第5章：現在形・過去形、第6章：未来形、第7章：助動詞、第8章：進行形。
2日目	第9章から第16章まで進みます。各章の構成は、次の通りです。第9章：完了形、第10章：受動態、第11章：不定詞、第12章：動名詞、第13章：分詞、第14章：名詞・冠詞、第15章：代名詞、第16章：形容詞。
3日目	第17章から第24章まで進みます。各章の構成は、次の通りです。第17章：副詞、第18章：前置詞、第19章：接続詞、第20章：疑問詞、第21章：関係詞、第22章：比較、第23章：否定、第24章：仮定法。

◆**教科書** 因沼 小中秀彦『会話作文のための復習英文法』(Hidehiko Konaka, *Basic Grammar for Everyday Writing*) (朝日出版社) 1,890円（税込）(送料 340円)

◆**参考書** 授業中に紹介します。

◆**成績評価基準** 授業での発表（40%）と試験の結果（60%）を総合的に評価します。

◆ E-Mail :

## ◆ R.W. Zandvoort (伝統文法家) を読む

〔英語学演習 H〕

開講単位：1単位 担当者：青木 克憲

◆**学習目標** 伝統文法の中での準動詞（動名詞、分詞、不定詞）に焦点を当てて、それぞれの特徴を探る。テキストの準動詞の箇所を読んでいき、読解力とともに準動詞のそれぞれの特徴を学習していく。

◆**授業方法** 1人数行ずつ当てて発表してもらい、日本語訳をしてもらい内容を検討する。内容が難しい個所があるので、受講者はよく予習をして授業に臨んでほしい。授業の中で「英文法解説」(江川泰一郎著) や他の文法家の考え方も可能な限り扱って、比較してみる。

◆**準備学習** 3日分の学習内容を英和辞書、「英文法解説」(金子書房)、「新英語学辞典」(研究社) などでよく調べて、日本語に訳し、その内容を検討しておく。疑問点もまとめておく。

〈受講条件〉2012年度夏期スクーリング英語学演習（青木克憲）を受講した者は、同一内容のため受講不可

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	動名詞と現在分詞
2日目	過去分詞と受動態
3日目	不定詞、試験

◆**教科書** 事前資料送付 「A Handbook of English Grammar (7版)」 R.W. Zandvoort 著 (丸善)  
授業で行うところをプリントして、事前に郵送する予定です。

◆**参考書** 因沼「英文法解説」(金子書房) 1,785円（税込）(送料 390円)  
「新英語学辞典」(研究社) 18,900円（税込）

◆**成績評価基準** 授業の中での発表（30%）、試験（70%）で評価します。

◆ E-Mail :

## ◆ Let's Play Shakespeare! 2013

## [英米文学演習 J]

開講単位：1単位 担当者：堤 裕美子

◆**学習目標** Shakespeare 劇の有名な作品の有名な場面を読み、その映画や舞台を鑑賞した上で、受講者でいくつかの研究グループを作り、Shakespeare 劇の上演に関するルールに則る一方で、衣装や舞台設定の自由さを生かし、受講者の自由な発想で実際に劇を上演します。

◆**授業方法** 初日午前は講義形式の授業を行い、初日の午後より最終日午前中まで演習形式の授業、最終日午後は単位認定試験として筆記試験を行います。グループに分かれての共同研究になるので、授業での積極的な参加を求めます。共同研究なので、受講期間中の欠席や遅刻は厳禁とします。

◆**準備学習** 事前資料を配布します。受講人数が多い場合には、円滑な授業展開のため事前資料の中に「配役希望アンケート」の実施方法を紹介し、受講前に配役を決定しますのでご協力をお願いします。『ハムレット』と『夏の夜の夢』両作品のあらすじを把握しておいて下さい。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	午前 1時限目（講義）：当時の演劇事情、Shakespeare 作品について基礎知識の学習、台本講読 午後 3時限目（講義）：台本講読	4時限目（演習）：研究グループ組み合わせ発表 5時限目（演習）：発表練習
	2時限目（講義）：台本講読	
2日目	午後 1時限目（演習）：発表練習 午後 3時限目（講義）：発表練習	2時限目（演習）：演出の工夫について各研究グループによる口頭発表 4時限目（演習）：予行演習 5時限目（演習）：調整練習
	5時限目（演習）：調整練習	
3日目	午前 1時限目（演習）：発表会準備 午後 3時限目（演習）：発表観賞会	2時限目（演習）：発表会 4時限目（演習）：After the Stage Talk 5時限目：単位認定試験
	5時限目：単位認定試験	

◆**教科書** 事前資料送付 『ハムレット』と『夏の夜の夢』の台本となるプリントを配布します。

◆**参考書** プリントを配布します。

◆**成績評価基準** 平常点（出席、授業への貢献度、小テスト）40%、場面の表演に対する評価 30%、筆記試験 30% の総合評価。単位認定は全出席を前提とします。

◆ E-Mail :

## ◆ アメリカ南部文学の巨匠になじむ

## [英米文学演習 K]

開講単位：1単位 担当者：佐藤 秀一

◆**学習目標** アメリカ南部文学の巨匠、W. Faulkner は、長編小説は無論のこと、短編小説でも傑出しており、その中でも特に名作とうたわれる珠玉の作品4編、*A Rose for Emily*, *That Evening Sun*, *Dry September*, *Red Leaves* を取り上げ、考察、鑑賞する。

◆**授業方法** 授業方法は、テキストを輪読する形式をとり、作品の読解と鑑賞を基本にする授業形態をとる。受講者数にもよるがいくつかのグループを作り各グループで読解し、鑑賞したことを全受講生の前で発表してもらう。予定通り進まない場合はご容赦ください。

◆**準備学習** アメリカの南部について、また、W. Faulkner について調べておいてください。更に、作品を深く鑑賞できると思います。

我慢強く、丹念に一語一語わからない単語は調べてください。予習は授業参加の必須条件です。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	Introduction <i>A Rose for Emily</i> (旧家出自の Emily の悲喜) <i>That Evening Sun</i> (黒人洗濯女 Nancy の暗がりへの恐怖)	読解と鑑賞の発表。
2日目	<i>That Evening Sun</i> (南部の保護なき宿命的な境遇) <i>Dry September</i> (黒人私刑という南部の風土)	読解と鑑賞の発表。
3日目	<i>Red Leaves</i> (主人が死にそれと共にマイ称される週刊から逃亡を企てる悲劇の奴隸) 読解と鑑賞の発表。	

◆**教科書** 丸沼「*A Rose for Emily and Other Stories*」 by W. Faulkner, 大橋健三郎編注, 英宝社 1,575円(税込)(送料260円)

◆**参考書** 授業の中で紹介する。

◆**成績評価基準** 発表(20%)、授業などへの参加度(20%)、最終試験(60%)  
毎回出席することが評価の対象の前提として総合的に評価します。

◆ E-Mail :

## ◆ 17世紀後半の哲学・思想における人間観と思考法 [西洋思想史Ⅱ]

開講単位：2単位 担当者：瀧田 寧

◆**学習目標** 本講義では、ブレーズ・パスカル、アントワーヌ・アルノー&ピエール・ニコル共著『論理学、別名思考の技法』、そしてジョン・ロックの哲学・思想に触れ、彼らの人間観や思考法を考察することを通じて、現代の私たちが受け入れている多くの考え方の出発点とも言える西洋近代の哲学・思想について理解を深め、その理解した内容を自分なりに説明できるようになることを目標とする。

◆**授業方法** プリント配布したテキストを読み、解説を加える。但し、哲学書は一読して直ちに理解できるものではないので、講義では同じ文章を繰り返し読む。その際、皆さんにも順番に読んでいただく。また1日目と2日目の講義後にはコメントを書いていただく。なお、授業は講義形式で進めるので、質問や意見等は休み時間か授業後に受けることにするが、特に重要だと判断した「講義後コメント」は、最終日までの授業の中で紹介することもある。

◆**準備学習** パスカルやロックについては、主要著作や関連するキーワードだけでも自分なりに調べておくと、授業への参加意欲が高まるのではないかでしょうか。また『論理学、別名思考の技法』については、「哲学基礎講読」（通信教育部教材）に収録の解説論文（I, III）が、講義の理解を深める上で役立つと思います。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	<ul style="list-style-type: none"><li>ガイダンス</li><li>17世紀後半の哲学・思想の流れを、本講義に関係する範囲を中心に、年表（プリント配布）を用いて解説する</li><li>パスカルの年譜を見た後、彼の著作の一部を読みながら、彼の人間観と思考法を考察する</li></ul>
2日目	<ul style="list-style-type: none"><li>『論理学、別名思考の技法』の一部を読みながら、そこに見られる人間観と思考法について考察する</li><li>ロック哲学の概略を解説する</li><li>ロックの『人間知性論』の一部を読みながら、ロック哲学の意義を考察する</li></ul>
3日目	<ul style="list-style-type: none"><li>ロックの『人間知性論』や他の主要著作の一部を読みながら、ロックにおける人間観と思考法を考察する</li><li>まとめ</li><li>論述試験</li></ul>

◆**教科書** [当日資料配付] 当日プリントを配布する。

◆**参考書** 講義の中で紹介する。

◆**成績評価基準** 平常点（1日目と2日目の講義終了後に書いていただくコメント）と試験により、総合的に評価する。

◆**E-Mail :**

## ◆ 「神中心から人間中心へ」の哲学的意味を学ぼう

[哲学概論]

開講単位：2単位 担当者：齋藤 隆

◆**学習目標** 古代哲学の知識を前提とし、中世から近世への展開（ルネサンス・宗教改革）と近代哲学の二大潮流とを概観し、「人間中心」の「近代」の意味の理解を目指す

◆**授業方法** テキストと印刷物を用いて講義形式で行う。

◆**準備学習** 古代哲学と中世哲学の展開について一応の理解を目指して、テキストの当該箇所をよく読んでおくこと。（初日に、ルネサンスと宗教改革についてのレポートを提出してもらう。）

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	ミュートスからロゴスへ 古代哲学概観（エレア学派・プラトン・アリストテレス中心） キリスト教と教父哲学（アウグスティヌス中心）
2日目	教父哲学からスコラ哲学へ（トマス・アクィナス、ウィリアム・オッカム中心） ルネサンスと宗教改革 大陸合理論の哲学者たち
3日目	英國経験論の哲学者たち カントからヘーゲルへ

◆**教科書** 通材『哲学 0011』通信教育教材（教材コード 000404）3,250円（送料込）  
<この教材は市販の『西洋思想の要諦周覧』嘉吉純夫・齋藤隆編著（北樹出版）と同一です>

◆**参考書** 授業時配布する印刷物

◆**成績評価基準** 平常点（授業への出席と参加状況）と試験の成績を総合的に勘案して評価する。

◆**E-Mail :**

## ◆メルロ＝ポンティの身体論を考える

[哲学特殊講義]

開講単位：2単位 担当者：齋藤 瞳

◆**学習目標** モーリス・メルロ＝ポンティは、身体について深く考察した20世紀のフランスの哲学者です。メルロ＝ポンティは私たちの認識活動にとって身体がとても重要だと考え、西洋哲学史に大きなインパクトを残しました。本授業では、メルロ＝ポンティの主著『知覚の現象学』の主に第1部の講読や解説を通して、身体について哲学的に考えていくたいと思っています。本授業は参加者それぞれが問題を考え、発言し、理解を深め、展開させることを目標としています。

◆**授業方法** テキストはプリント配布いたします。みなさんと配布したテキストを読んだりしながら、解説を加えます。随時意見交換をしながら、参加者にも発言いただき、対話しつつ授業を進めたいと思っています。また、毎回の授業の最後に小レポートを提出していただきます。みなさんのレポートをもとにして、次の授業で議論を行うこともあります。

◆**準備学習** 授業に参加するにあたって、身体について簡単に考えてください。身体は私たちがなにかを考える時（認識活動する時）にどんな役割を果たしているだろうか。良い役割とはなにか。反対に、悪い役割とはなにか。また身体の役割をなくしてしまうと、私たちの認識活動はどうなってしまうか、など。ただし「哲学史」的に考える必要はありません。まずはご自身の日常に感じる素朴な感想から問題意識を固めてください。お考えいただいた内容は、最初の授業で自己紹介も兼ねて参加者それぞれに発表していただきます。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	・Introduction：自己紹介、身体の役割とはなんだろうか。 ・メルロ＝ポンティの哲学の概要 ・『知覚の現象学』講読
2日目	・レポートを基にした議論 ・『知覚の現象学』講読
3日目	・レポートを基にした議論 ・『知覚の現象学』講読

◆**教科書** [当日資料配付] プリントを配布します。

◆**参考書** 授業の中で適時紹介します。

◆**成績評価基準** 授業内に行う小レポート(40%), 試験(60%)

◆ E-Mail :

## ◆江戸時代の水事情を考える

[考古学特講Ⅰ]

開講単位：2単位 担当者：野中 和夫

◆**学習目標** 21世紀の重要な資源の一つに「水」があげられる。100万都市の江戸においても同様で、水の確保と排水処理は幕府の重要な政策の1つであった。神田上水・玉川上水をはじめとする上水道の整備、井戸の掘削さらには生活排水、雨水処理等々の下水道について、考古、文献、地理、自然科学の多角的視点から考える。

◆**授業方法** 講義形式による授業。2日目に東京都水道歴史館にて発掘された木樋、石樋や絵図、文献等々の史資料見学を予定。

◆**準備学習** 教科書を熟読しておくこと。

◆**授業計画** [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	地理からみた江戸の水事情をまず説明する。その上で『上水記』に記された多摩川上水、神田上水の経緯と上水道の管理について学ぶ。また、『玉川上水留』をはじめとする史料から、上水道の普請・修理について理解し、あわせて政策上の矛盾点を考える。
2日目	発掘された遺構を通して大名屋敷と町家の上水事情を理解する。また、本丸、面の丸の江戸城中枢部の水事情を説明する。東京都水道歴史館で、江戸時代から今日に至る水事情を見学し、理解を深める予定。
3日目	江戸の下水事情について学ぶ。あわせて上水道、下水道の構造的特徴を考える。自然科学分析の成果も紹介する予定。

◆**教科書** 丸沼『江戸の水道』野中和夫編 同成社 3,885円(税込)(送料390円)

◆**参考書** 丸沼『江戸上水道の歴史』伊藤好一 吉川弘文館 1,785円(税込)(送料340円)

丸沼『江戸の上水道と下水道』江戸遺跡研究会 吉川弘文館 5,775円(税込)(340円)

◆**成績評価基準** 平常点(30%), 最終試験(70%)

◆ E-Mail :

## ◆日清・日露戦争と日本の近代

## 〔日本史特講Ⅱ〕

開講単位：2単位 担当者：坂口 太助

◆**学習目標** 明治以降、日本は「欧米諸国に追いつくこと」を一つの大きな目標として「近代化」を進めていきますが、その一方で日本の近代はまた、多くの戦争が行われた時代でもありました。本講義では、主に明治時代（日清戦争・日露戦争）に注目し、「近代化」と戦争との関連、清（中国）やロシアとの戦争に至る過程を考えていきます。また、戦争の「勝利」がその後の日本の進路にどのような影響を与えたのかも考えていきます。

◆**授業方法** 当日プリントを配布して講義形式で行い、要点やプリントの補足事項などは板書します。また、適宜アンケートを行い、可能な範囲内でアンケートに記載された質問・疑問などに授業内で答えていきます。講義形式ではありますが、受講者ひとりひとりが問題意識・目的意識を持って取り組むことができる授業にしたいと考えています。映像資料（DVD）も使用する予定です。

◆**準備学習** 受講に当たり、特別な事前学習・準備などは必要ありません。戦争や軍隊に関する専門用語の解説なども適宜授業内で行います。ただし、近代の戦争を巡る様々な問題は現在の日本にも関連する問題でもあり、授業で時事問題などに言及する場合もありますので、関連するテレビや新聞の報道は関心を持って見ておくようにして下さい。

◆**授業計画** [1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分]

1日目	まず、受講するまでの基礎知識として、日本の近代という時代について概観し、現代の日本との類似点・相違点、また「戦争」というものに対する近代と現代における認識の相違などを考えていきます。その上で、1日目は江戸時代末期のペリー来航前後（1800年代中盤）の国際社会について検討し、日本がどのような環境の中で「近代化」を始めたことになったのか、という問題を考えていきます。
2日目	欧米諸国をモデルに「近代化」を進める明治新政府にとって、「周辺諸国との国境を画定すること」は重要な課題でした。2日目は、「国境の画定」という問題、さらにはその延長線上にあるとも言える「主権線・利益線概念」に注目して日本と周辺諸国、特に清との関係を検討し、両国の対立要因、日清戦争（1894～95年）へと至った過程を考えています。また日清戦争の勝利がその後の日本に与えた影響も考えていきます。
3日目	日清戦争に勝利したのち、日本はロシアとの対立を深めていくことになります。3日目は、日本の動向だけではなくロシアの対アジア政策なども検討し、両国の対立要因、日露戦争（1904～05年）へと至った過程を考えています。また日露戦争の結果、日本は中国の「満州」と呼ばれていた地域に権益を獲得しますが、そのことがその後の日本に与えた影響も考えていきます。

◆**教科書** 教科書は指定しません。〔当日資料配付〕「授業方法」に記したように、当日プリントを配布して講義を行います。

◆**参考書** 講義の進捗に合わせ、より深く知るため・学ぶために適していると思われる文献を適宜紹介します。

◆**成績評価基準** 試験 60%・平常点 40%。平常点は、アンケートの内容その他講義への取り組みから総合的に判断します。欠席はアンケート未提出となりますので、なるべく毎回出席するようにして下さい。

◆ E-Mail :

## ◆近世近代の食肉と公衆衛生

## 〔西洋史特講Ⅰ〕

開講単位：2単位 担当者：後藤 秀和

◆**学習目標** 自らが口にする食物の出自、加工者、加工場所、加工方法、安全性などについて自ら知り、また判断を下している現代人はそう多くない。なぜならそれは高度にシステム化されているからだ。しかしそうしたシステムの歴史は200年以下の歴史しか持っていない。このシステムが産業化や医学の発達など様々な要素と絡み合って構築されてきたことを、食肉供給を事例として社会史的に把握するのが本講義の目標である。

◆**授業方法** 家畜をめぐる歴史研究の概要について概説したのち、近世・近代オーストリアの食肉業や家畜衛生に関する史料をもとに担当者が解説する。また参加者の作成したレジュメを発表し、議論する場も設ける。

◆**準備学習** 事前に配付する近世オーストリアの肉屋同職組合規定や家畜市場令、病畜規定などを読み、近現代食肉供給システムが成立する以前の社会における食糧供給や衛生観念などについて各自レジュメ（A4で2枚程度）を作成する。レジュメ作成方法については資料配付時に詳しく通知する。

◆**授業計画** [1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分]

1日目	まずヨーロッパの家畜や食肉を歴史学の課題とする意義について解説する。環境や宗教など様々な要素からヨーロッパ史における家畜と食肉の位置を把握する。また公衆衛生に関する既存の研究動向についても触れる。 次に18世紀オーストリアの肉屋同職組合の規定など実際の史料を用いて近世末期の食肉供給の特徴について参加者とともに議論する。
2日目	近代的な食肉供給システムが登場する以前の社会における食肉生産の現場について前日の議論をまとめた。 続いて都市の周縁部に隔離され、機械化され、医学的知識に基づく衛生上の検査が義務化された近代的屠畜場の成立について、いくつかの要素に分解しながら考える。中でも公衆衛生を理論的に支える獣医学の「学問化」という側面について重点的に取り扱う。
3日目	最終日は建築や労働といった側面にも注目しながら近代的屠畜場の成立について引き続き考える。 最後にまとめとして近代的な食肉供給システムの成立をより広い社会史・文化史的な文脈において捉え返すことを試みる。産業化や機械化の問題、労働文化の変容、消費者意識など、現代の諸問題とのリンクについて参加者とともに考える。

◆**教科書** 使用しない。〔事前資料送付〕〔当日資料配付〕事前および授業時にプリントを配付する。

◆**参考書** 丸沼『近代医学の光と影』服部伸 山川出版社, 2004年 765円(税込)(送料260円)

丸沼『ヨーロッパ近代の社会史：工業化と国民形成』福井憲彦 岩波書店, 2005年 2,940円(税込)(送料340円)

丸沼『中世ヨーロッパの農民世界』堀越宏一 山川出版社, 1995年 765円(税込)(送料260円)

いずれも西洋近代史および社会史の初学者は事前に参考することが望ましいが、必読というわけではない。

◆**成績評価基準** 平常点（レジュメおよび発言）と試験によって総合的に評価する。

◆ E-Mail :

## ◆世界経済発展と国際貿易

〔国際経済論〕

開講単位：2単位 担当者：陸 亦群

◆**学習目標** この講義は、世界経済発展の歴史、ことに戦後の国際通貨秩序の確立、自由貿易体制の形成、経済構造の変質および国際通貨制度の変遷を踏まえ、基礎理論としての比較優位の理論、国際貿易に関する純粹理論および国際貿易政策について逐次に解説していきたい。

◆**授業方法** 本講義は教材の内容を中心に原則として板書で授業を進める。必要に応じてパワーポイントを使用して講義関連資料および国際経済関連の新聞・雑誌記事等を解説し、そのプリント資料を配布する。

◆**準備学習** 国際経済論は応用経済学分野の科目であることから、経済学概論、経済原論（経済学原論）、経済学の何れかの科目を履修済みの上、本講義を受講することをお勧めする。事前にミクロ経済学基礎理論を温故し、講義終了後に教材内容に付き合わせてノートを整理し復習すること。

◆**授業計画** [1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分]

1日目	第二次大戦までの世界経済の生成と発展 戦後の世界経済の発展とその特徴 戦後の経済体質と経済構造の変質 1990年代以降の世界経済の変貌
2日目	伝統的貿易理論 新古典派貿易理論 近代的貿易理論 国際貿易の純粹理論による説明
3日目	関税分析と経済厚生 輸出入政策と管理貿易 自由貿易と保護貿易 グローバリゼーションと世界経済

◆**教科書** 通材『国際経済論〔改訂版〕 0737』通信教育教材（教材コード 000281）1,950円（送料込）

◆**参考書** 講義内容に応じて随时紹介する。

◆**成績評価基準** 筆記試験。国際経済学の基礎知識を身に付けているかを判定する。

◆ E-Mail :

## ◆経済開発問題を政策の観点から学ぶ

〔経済開発論〕

開講単位：2単位 担当者：辻 忠博

◆**学習目標** 発展途上国が抱える典型的な問題（人口の急増、都市化、農村の貧困、国際貿易、累積債務、開発援助）に注目し、それらの諸問題を経済開発論の学問体系の中で適切に位置づけることによって、独りよがりに陥ることなく望ましい解決策を模索することが出来る能力を養うことを目標とする。

◆**授業方法** 教科書に基づく講義資料に沿って、パワーポイントを使用して授業を進めるが（1日目に全日程の講義資料を受講者全員に配布する）、教科書では触れられていない関連事項や最新事情について知るために各種メディア（画像、ビデオ、YouTubeなど）を活用して、受講者の理解を促す一助とした。

◆**準備学習** 予習復習することが基本である。また、途上国の状況は常に変化しているので、新聞やテレビなどで途上国関連の情報に常に关心を持って接することが望ましい。なお、授業の進捗状況によっては下記の授業計画に記されている内容すべてを講義できないことがある。講義の合間の休憩時間中の質問も大いに歓迎する。

◆**授業計画** [1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分]

1日目	経済発展と人口政策、経済発展と都市政策 発展途上国とは何か、世界的な人口の増加と途上国の経済発展に対する影響、人口の急激な増加現象と途上国の都市化について学ぶ。
2日目	経済発展と農村開発政策、経済発展と貿易政策 途上国の農村に焦点を当てて貧困問題の解決法を探る。次ぎに、貿易政策について学び、途上国の経済発展に資する開発戦略を考える。
3日目	経済発展と債務・通貨危機、経済発展と開発援助政策、試験 これまでの途上国の開発の成功例、失敗例から望ましい開発戦略を模索する。また、経済発展を促す開発援助政策について学ぶ。最後に、3日間の勉強の成果を試験で問う。

◆**教科書** 通材『経済開発論 0740』通信教育教材（教材コード 000350）1,700円（送料込）  
パワーポイントのスライド資料も配布する。

◆**参考書** 一般的な書店で販売されている、あるいは、公共図書館などに所蔵されている国際経済論（国際経済学）、経済開発論（開発経済学）などの書籍はいずれも本講座の参考図書として使用できます。

◆**成績評価基準** 小レポート（40%）、筆記試験（60%）で評価。  
(授業時に視聴するビデオに基づく感想文を小レポートとして何度も提出してもらいます)

◆ E-Mail :

## ◆知的活動のための情報リテラシー

〔情報概論 B〕

開講単位：2単位 担当者：一島 力男

◆学習目標 まず、Windows の基本操作とネットワーク上でのパソコン利用について学ぶ。その上で、WWW による情報収集、情報セキュリティと情報倫理、ワードによる情報の編集、エクセルによる情報の分析について学ぶ。

◆授業方法 本講座では講義と演習の両方を行う。講義ではコンピュータネットワークの仕組と歴史、情報セキュリティと情報倫理などについて学ぶ。演習では、コンピュータを知的道具として利用できるようなることを目的として様々な課題に取り組む。

※授業は、Windows-Vista, Office2007 の環境で実施する。

◆準備学習 教科書の Appendix 3 に書かれている内容を予習しておくこと。

◆授業計画 [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	ガイダンス Windows の基本操作とネットワーク利用 コンピュータネットワークの仕組と歴史 情報の収集 (WWW とサーチエンジンの利用) 情報セキュリティと情報倫理
2日目	ワードによる文書作成の基本 (書式設定、文字修飾、箇条書き、均等割り付け、ページ設定などの利用) ワードによる文書作成の応用 (ハイパーテリンク、罫線、基本図形、ワードアート、クリップアートの利用) ワードとペイントの活用 エクセルの基本操とデータ整理 エクセルを利用した集計 (SUM 関数、AVERAGE 関数、COUNT 系関数、IF 関数などの基本関数の利用)
3日目	エクセルによるグラフ作成 データベース機能 (並べ替え、オートフィルタ、DCOUNT 関数などのデータベース関数の利用) エクセルによる統計処理 (MEAN 関数、FREQUENCY 関数、CORREL 関数などの統計関数の利用) 授業内テスト

◆教科書 **丸沼**『これからの情報リテラシー』 小林貴之・谷口郁生・毒島雄二著 共立出版 2,520円（税込）（送料390円） ISBN978-4-320-12227-7

※同じ出版社で他著者による同書名の本がありますので間違わないようお願いします。

◆参考書 授業中に指示する。

◆成績評価基準 授業への取り組み (20%), 実習課題 (50%), 授業内テスト (30%) により総合評価する。

※授業に毎回出席することを前提に評価する。

◆ E-Mail :

## ◆マーケティング・コミュニケーション

〔広告論〕

開講単位：2単位 担当者：樋口 紀男

◆学習目標 春期スクーリングを基礎編として、夏期スクーリングではマーケティングと広告をコミュニケーションの視点から実践的に理解することを目指します。特に失われた 20 年の中で、マーケティングと広告が直面する課題を軸にしながら、マーケティングと広告の新たな方向を目指したいと考えています。

◆授業方法 基本的には教科書を軸に進めますが、マーケティングや広告の新しい課題に対応するためにプリントを配布します。また、学生の皆さんの疑問点や意見を聞き、議論に組み込んでいきます。

◆準備学習 講義の範囲が広くなるため、多様な専門用語を使うことになりますので、授業の前後に教科書やプリントの専門用語の意味を辞書・事典類で正確に理解するようにしてください。

◆授業計画 [1日目：450分, 2日目：450分, 3日目：450分]

1日目	情報・メッセージ・メディア・コミュニケーションの概念について。 マーケティングと消費における〈情報・メッセージ・メディア・コミュニケーション〉の重要性について。 そこから、広告コミュニケーションのあり方とマネジメントの考え方を見ていく
2日目	広告予算、広告効果の考え方、広告規制についての基本、またインターネット・コミュニケーション、グローバル・コミュニケーションについて。特に、インターネットとは何か、グローバルとは何か、といったことを基本にする。
3日目	マーケティング・コミュニケーション、統合型マーケティング・コミュニケーション (IMC)、統合型マーケティング、ブランド・コミュニケーションの基本と応用について。 広告コミュニケーションの可能性について。

◆教科書 **通材**『広告論 0830』通信教育部教材 (教材コード 000481) 1,500円（税込）と **〔当日配付〕**プリント (授業時配布)

◆参考書 **丸沼**『わかりやすい広告論』石崎徹編著 八千代出版、2,835円（税込）(送料340円)

◆成績評価基準 授業の論点理解レポート (40%) とテスト (60%) で評価します。

◆ E-Mail :

## ◆中小企業の経営行動と経営戦略を考える

[中小企業論]

開講単位：2単位 担当者：山本 聰

◆**学習目標** 日本の企業の大半は中小企業であり、雇用者の多くも中小企業で働く。このように、日本経済の中で中小企業が果たす役割は非常に大きい。一方、中小企業の経営行動は往々にして一般的な大企業とは異なる。ここに中小企業論を独立したテーマとして学ぶ必要が生じる。本講義では中小企業の経営行動を経営学・経済学の理論と実態から解説する。その上で、ダイナミックに変化する中小企業の“今”を提示したい。

◆**授業方法** 実際の企業事例を豊富に紹介することで、受講者の理解を促す。また、一般的な中小企業の理論だけでなく「企業の所有構造」や「ファミリービジネス（＝同族経営）」の理論も講義する。その上で、中小企業の経営行動を演繹的な観点から理解することを求めたい。その際は、大企業の事例も積極的に活用する。なお、下記の講義項目はそれぞれが密接に関連するため、授業の進捗状況に合わせ、順番・内容を調整・変更する。

◆**準備学習** TVニュースや新聞を通じて、日本の経済や企業の現状を自分なりに勉強しておくこと。また、経営学やマーケティング、企業経済学などの基礎的な項目を復習しておくこと。授業では、受講者に積極的な発言を求めるため、自分なりの中小企業に関する問題意識を構築しておいて欲しい。

◆**授業計画** (1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分)

1日目	中小企業が日本の経済・産業の中で、どのように位置付けられているか、どのように発展・変化してきたのか、といった一連の問い合わせに解答するため、経済学・経営学の理論的枠組みと「下請システム」や「地域経済」、「人材」、「起業」、「インベーション」といったキーワードを軸に解説していく。その際、とくに中小製造業に多くの焦点を当てていくことにする。
2日目	中小企業の多くはいわゆる同族企業（＝ファミリービジネス）である。よって、中小企業における経営行動の決定要因の一端を理解するためには、ファミリービジネスの理論を学ぶ必要があるだろう。本講義では、大企業の事例も適宜、用いながら、ファミリービジネスの理論を講義する。その上で、演繹的に中小企業の経営行動の決定プロセスを学んでほしい。
3日目	近年、グローバル競争の激化から、国内中小企業の倒産・廃業が進展している。一方、事業継続を強く志向する中小企業の幾つかは積極的な国際化を進展させている。本講義ではこうした経済環境の変化を、「国際化」をキーワードに説明していく。その際、時間の許す限り、「中小企業の倒産」や「政策的支援」、「アジアの中小企業」といった関連するトピックを組み込みたい。

◆**教科書** 丸沼『中小企業の国際化戦略』額田春華・山本聰編 同友館 2011 2,100円（税込）（送料340円）（3日目の講義にのみ使用）

◆**参考書** 丸沼『現代中小企業論』高田亮爾他 同友館 2009 2,940円（税込）（送料390円）

◆**成績評価基準** 原則として、試験70%、平常点30%。なお、履修者の状況によっては、過去に担当者の「中小企業論」の単位取得の有無を鑑みて、成績評価基準に差異を設定する可能性もある。

◆ E-Mail :

## ◆「発達」と「学習」の心理学的基礎を学ぶ

[発達と学習]

開講単位：2単位 担当者：陶山 智

◆**学習目標** 子どもひとりひとりの状況や内面を適切にとらえ、きめ細かな指導（「個に応じた教育」）を行うには、豊富な経験もさることながら、種々の基礎知識が必要となる。この授業では、「発達」や「学習」に関する心理学的な基礎知識を幅広く理解することを目標とする。

◆**授業方法** 当日配布するプリントを用いて授業を進める。専ら講義の形式を取るが、理解を深めるために時に映像を利用する。下記の授業計画にある1～12の数字は、取り扱う内容の順番程度を示すものである。

◆**準備学習** 教育的な事象や過程にかかる問題を多岐にわたって取り上げる。このため授業で扱う情報の量は少なくない。「提示された理論やデータについてともに思考する」という態度を大切にしてほしい。心理学に関する基礎知識がいくらかあると、理解の助けになることが期待される。

◆**授業計画** (1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分)

1日目	1. 導入（日本の教育達成、個に応じた教育など） 2. 学習の基礎（条件づけ、観察学習） 3. 行動療法・認知行動療法 4. 心理テスト
2日目	5. 記憶（短期記憶、長期記憶、記名方略など） 6. 認知心理学的な観点から見た学習研究 7. ストレス・対処 8. 遺伝と環境、性格
3日目	9. ピアジェとピアジェ以降の認知発達研究 10. 人格の形成（「アイデンティティ」を中心に） 11. 認知的な動機づけ 12. 教育評価ほか

◆**教科書** (当日資料配付) 当日プリントを配布する。

◆**参考書** 授業の中で紹介する。

◆**成績評価基準** 平常点、最終試験により総合的に評価する。授業の内容は連続的なところがあるので、欠席をしないよう注意してください。

◆ E-Mail :

## ◆アメリカでの教員経験を生かして伝えられること [教育の方法・技術論]

開講単位：2単位 担当者：池田 有里子

◆**学習目標** アメリカ滞在 10 年半、現地校教員 7 年の実体験を現在の日本の教育と結びつけ、比較しながら、様々な教育方法・技術があることを学び、より良い授業づくりと授業実践力を養っていきましょう。

◆**授業方法** 基本的には講義形式で進めていきますが、皆さんからの積極的な疑問・質問・意見などを織り交ぜながら、そこから展開していくディスカッションも大いに取り入れます。参加される学生には、授業に関する資料の購読、日米の教育観の違いなど、臆せず前向きに取り組んでもらい、授業の内容にスパイスを効かせてもらいたいです。堅苦しい授業ではなく、楽しく、活気ある、カジュアルな雰囲気の授業を目指します。

◆**準備学習** アメリカの教育との比較をしながら進めていきたいと思いますので、普段からアメリカに関心を持ち、教育の背景にある分化や社会構造や地域性などを教育に結びつけて自分なりに考えておくことを勧めます。また、事前にお渡しする資料を第 1 日目までに読み、意見や質問などできるようにしておいてください。

### ◆授業計画

1日目	・ガイダンス、教員・学生の自己紹介 ・教育方法の違い（日本とアメリカを社会生活、文化的背景から比較して） (資料の購読をしながら大まかな相違を考える) ・アメリカと日本の大学・大学院の教育方法
2日目	・アメリカと日本の幼稚園・初等教育・中等教育の比較（教育の方法に注目して） ・アメリカと日本の高等学校教育の比較（教育の方法に注目して） ・教育評価の方法
3日目	・教材と教具、教育機器の利用方法 ・学生による発表、意見交換

◆**教科書** 毎回参考資料のコピーを持ってきて、全員に渡します。

◆**参考書** 上記に同じ

◆**成績評価基準** 課題の読みこなし、グループ学習や質疑応答などの授業参加度、発表、意見交換などを合わせて総合的に評価する。

◆**E-Mail :**

## ◆新しい英語教員をめざして

## [英語科教育法Ⅲ]

開講単位：2単位 担当者：市川 泰弘

◆**学習目標** 本講義では教員となって英語を教えるときにどのようなことに注意していくべきか、また教員になるためにどのようなことが必要なのかを考えながら、英語という教科を教える基本と実践について学習します。

◆**授業方法** グループディスカッションを中心にテーマごとにまとめてもらい発表してもらいます。したがって、事前に教科書を熟読して、積極的に講義に参加してもらいたいと思います。

◆**準備学習** 教科書を講義の中で読み進めません。シラバスに沿って関連する箇所を熟読しておいてください。また、事前（または当日）にプリントを配布しますが、それらも各日のテーマに沿って内容を理解しておいてください。

### ◆授業計画（1日目：450 分、2日目：450 分、3日目：450 分）

1日目	オリエンテーション・英語科教育法・学習指導要領 学習者について・英語の位置づけ・テーマディスカッション
2日目	早期英語教育と生涯英語教育（小学校英語教育の是非、バイリンガル教育、英語特区について）英語指導の原理・第 1 言語習得と第 2 言語習得・コミュニケーション能力・テーマディスカッション
3日目	指導ビデオでの教授法研究・英語教員について テーマディスカッション (なお内容は進度によって変わることがあります。)

◆**教科書** 丸沼『新しい時代の英語科教育の基礎と実践：成長する英語教師を目指して』JACET 教育問題研究会編 三修社 2,730 円（税込）（送料 340 円）  
〈この教科書は「英語科教育法Ⅱ 0997」通信教育教材（教材コード 000490）平成 25 年度改訂された新教材と同一です〉

◆**参考書** 丸沼『英語授業改善のための処方箋：マクロに考えミクロに対処する』金谷 憲著 大修館書店 1,890 円（税込）（送料 340 円）  
丸沼『Teaching by Principles – An Interactive Approach to Language Pedagogy (3rd Edition)』Brown, H.D. Longman 5,082 円（税込）（送料 390 円）

◆**成績評価基準** 3 日間の講義なので、欠席はしないようにしてください。発表・レポートなどで総合的に判断します。  
詳細は第 1 回目の講義で説明します。

◆**E-Mail :**

## ◆流通活動を地域・空間的視点から学ぼう

[経済地理学]

開講単位：2単位 担当者：佐藤 俊雄

◆**学習目標** 今回は、経済地理学の対象である経済地域および経済空間を、わが国の流通活動を支える商業、とくに小売業・卸売業・総合商社を中心に、これらの関連企業の組織・構造、技術、および地域・空間環境を通して学習し、その普遍性（共通性）と固有性（多様性）を学びます。

◆**授業方法** 講義形式で、授業計画および教科書に沿って進めます。各当日は要点を板書しますから、必ずノートに書き写して下さい。なお、講義のなかで重要だと感じたことは、板書しなくてもメモして下さい。一日の学習量とノート記入量が多いので、体力・気力・努力を持続可能にするように心掛けましょう。

◆**準備学習** 教科書の第1章から第3章まで、まず各章末の「本章の要点」を数回読み返し、つぎに順序よく最初から目を通して下さい。文中の図表にも注視しておきましょう。なお、章末の「研究課題」にも挑戦しておくと、当日の授業が良く理解できると思います。

### ◆授業計画〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	経済地域および経済空間の普遍性（共通性）と固有性（多様性）、低炭素型経済流通社会における生活者行動 ※経済地理学とは何か、生活者とは何か、低炭素型経済流通社会における生活者の地域・空間行動の特徴とパターン、生活者の変身者としての消費者とは何か、などを学びます。
2日目	小売業（者）の生活者・消費者への対応、小売業（者）の地域・空間変化への対応 ※小売業（者）が消費者を惹きつける条件と戦略、小売業の組織・構造、小売業の技術とマーケティング活動、小売業の立地と戦略、小売業の商圈とマーケティング戦略、などを学びます。
3日目	卸売業（者）の顧客への対応、卸売業（者）の地域・空間変化への対応、総合商社の流通活動 ※卸売業の組織・構造、卸売業の技術、卸売業のマーケティング機能と立地および商圈、卸売企業活動のグローバル化、総合商社のグローバル流通活動、などを学びます。

◆**教科書** 通材『経済地理 0973／経済地理学 0974』通信教育教材（教材 000233） 2,000 円（送料込）

◆**参考書** 各回の講義内容に従って、要望があれば、その都度、適切な参考書を紹介します。

◆**成績評価基準** 試験：70%，平常点（質問やミニ・テストなど）：30%

◆ E-Mail :

MEMO

### III 講座の申込方法

#### 1 受講手続の流れ

ここでは、受講手続の流れをまとめています。まず、この流れを把握し、受講手続を行ってください。なお、受講講座の選定にあたっては、『手引』のほかに『学習要覧』を参照してください。

項目	手 続 内 容
・『手引』入手 ・受講科目選択	・『手引』を読み、受講講座を決定する。
・受講講座 ・科目的単位修得方式決定	・受講講座・科目的単位修得方式を決定する。 単位修得方式の詳しい内容は『学習要覧』の「単位修得方式」を参照。



スクーリング併用試験方式希望者のみ	履修登録	・未登録科目を登録する。 スクーリング併用試験方式で受講する科目で、履修登録を行っていない科目は、表紙記載の締切日までに「履修届」又は「追加科目履修届」で登録する。 【「履修届」用紙の配布は前期生は『部報』3月号、後期生は『部報』9月号に同封（1枚）にて行います。『追加科目履修届』は本誌「各種用紙」にあります。】
	リポート提出	・リポートを提出する。 スクーリング併用試験方式で受講する科目でリポート未提出のものは表紙記載の締切日までに教務課必着で提出する。



受講希望の講座を申し込む	・受講を希望する講座・科目を「在学生専用サポート（Web報）」から申込み手続を行う。又は、『手引』巻末の「受講届」に記入し、教務課へ提出する。 ※表紙記載の締切日に注意してください。
--------------	--



スクーリング受講許可通知書の確認	・会計課から送付される「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」を受け取り次第、許可された講座を確認する。 ※内容に疑問があれば教務課へ問い合わせる。
許可講座の受講辞退 【許可講座の辞退を行う場合のみ】	・受講を許可された講座（全講座・一部の講座とも）を受講しない場合、表紙記載の締切日までに辞退手続をする。詳しくは後掲の「許可講座を辞退する」を参照。
受講料の納入	・「受講許可通知書」の内容に疑問がなければ、表紙記載の締切日までに受講料を振り込む。
使用教材の入手	・シラバスを参照し、許可された講座の教材を入手する。



授業開始	・通信教育部1号館1階掲示板にて講堂表を確認した後、指定の講堂で受講する。
------	---------------------------------------



試験結果確認	・教務課から送付される通知又は「在学生専用サポート（Web報）」で、受講した講座の成績を確認する。 ・発送日程は表紙記載。
--------	--

## 2 講座を申し込む

### 申し込み上の注意事項

「受講届」(はがき)と「在学生専用サポート (Web 報)」の両方で申込みがあった場合は、「在学生専用サポート (Web 報)」の内容を有効とします。

#### ① 「在学生専用サポート (Web 報)」による申込み

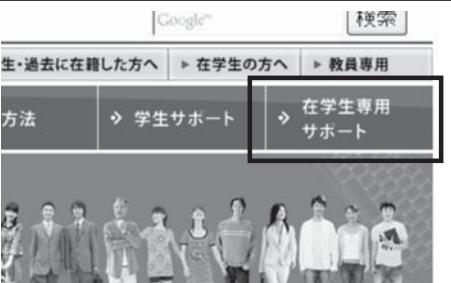
##### ●申込みの前に

<p>1 申込みには、ID とパスワードが必要です。 ID = 学生証番号 初期パスワード = 自分の西暦生年月日 (半角数字 8 衔)</p>	<p>● 個人情報の設定 パスワードなどの登録内容の変更をしたい方はこちら。 ※ログインが必要です。</p>
<p>2 申込みには、パソコンのメールアドレスの登録が必要です。 登録していない場合は、「在学生専用サポートページ (Web 報)」にある「個人情報の設定」で登録してから手続きをしてください。</p>	

〈メールアドレスについて〉

正科生は大学から配布しているメールアカウント (G メール) で申込みできます。G メールを利用するためには、承認が必要となりますので、「在学生専用サポート (Web 報)」に掲載されている「NU-AppsG (在学生専用メール)」から手続きしてください。

##### ●申込方法

<p>1 通信教育部ホームページ (URL : <a href="http://www.dld.nihon-u.ac.jp/index.html">http://www.dld.nihon-u.ac.jp/index.html</a>) の「在学生専用サポート (Web 報)」をクリックしてください。</p>	
<p>2 「スクーリング申し込み」でスクーリングごとに申込みができる期間が表示されていますので、申込期間の確認をしてください。 <b>申込</b> ボタンをクリックしてください。</p>	
<p>【夏期スクーリングの Web 報による申込期間】</p>	
<p>2013 年 5 月 31 日 (金) 10:00 ~ 2013 年 6 月 13 日 (木) 24:00</p>	
<p>3 申込みの流れの説明が表示されますので、手順・注意事項を確認してから、画面下の <b>次へすすむ</b> ボタンをクリックしてください。</p>	<p>【画面下】</p> <p>この画面コピーを必ず保存しておいてください。申込</p> <p><b>次へすすむ</b></p>

### 【ログインしていない場合】

ログイン ID・パスワードを入力する画面が表示されますので、入力してください（すでにログイン済みの場合は表示されません）。

こちらは、ログインが必要なページです。  
ID、パスワードを入力してください。

ログインID:   
※学生証番号を半角英字で入力

パスワード:   
※初期パスワードについて

[パスワードを忘れた場合はこちら](#)

- 4 申込みを受け付けているスクーリングが表示されますので、**[申込]**ボタンをクリックし、後は画面の指示に従って、手続を完了してください。

#### 受付中のスクーリング

希望のスクーリング・開催地を選択してください。

申し込み内容の確認、変更、削除する場合は、確認ボタンを押してください。

年度	コード	スクーリング種別	開催地	操作
2012	04	夏期スクーリング	東京	<b>[申込]</b>

[戻る](#)

## ●受付完了

申込受付が完了すると、登録されているパソコンのメールアドレスに受付メールが配信されます。配信されない場合は、申込確認画面で確認してください。

## ●申込確認

申込期間に限り、「在学生専用サポート（Web 報）」で確認することができます。

- 1 申込方法の1～3の手順で、受付中のスクーリングの画面まで進んでください。
- 2 申込みをしたスクーリングの**[確認]**ボタンをクリックして、内容を確認してください。

#### 受付中のスクーリング

希望のスクーリング・開催地を選択してください。

申し込み内容の確認、変更、削除する場合は、確認ボタンを押してください。

年度	コード	スクーリング種別	開催地	操作
2012	04	夏期スクーリング	東京	<b>[確認]</b>

[戻る](#)

## ●申込内容の変更・取りやめ

申込期間に限り、「在学生専用サポート（Web 報）」で変更・取りやめをすることができます。

申込内容を変更する場合には、いったん申込内容を削除する必要があります。

**[変更する]**ボタンをクリックして、内容を削除してから、再度申込みを行ってください。

年度	スクーリング名	開催地	コード
2012	夏期スクーリング	東京	13

講座	充当科目	併用
*****	*****	**

確認を終了して、在学生専用サポートのトップ画面に戻る		<b>[確認終了]</b>
申し込み内容を変更するので、一旦全て削除して、申し込み画面のトップに戻る		<b>[変更する]</b>

注意) 申込期限の経過したスクーリングは、受付できません。

## ② 「受講届」による申込み

「受講届」による申込みは、以下の要領で本誌巻末の「受講届」を作成し、教務課に提出してください。

### (1) 記入上の注意

#### (ア) 講座コード

開講講座のコード番号です。記入にあたっては、「開講講座表」の「講座コード」欄を参照してください。

#### (イ) 講座名

開講される講座の名称です。この講座名を「開講講座表」を参照の上、記入してください。間違えて「充当科目名」を記入しないよう注意してください。

#### (ウ) 充当科目コード

開講講座の単位修得により充当できる科目的コード番号です。記入にあたっては、「開講講座表」の「科目コード」欄、及び後掲の「(2) 注意事項」を参照してください。

#### (エ) 受講希望方式

スクーリング併用試験方式による受講希望の有無を意思表示する欄です。スクーリング併用試験方式による受講を希望する場合についてのみ、次のとおり講座ごとに記入してください。

履修方法	記入方法
スクーリング併用試験方式を希望する	「併用」と記入
スクーリング併用試験方式を希望しない	無記入（空欄のまま）

#### (オ) 学生証番号・氏名・電話番号

電話番号は記載事項を確認する場合に使用します。確実に連絡のとれる電話番号を記載してください（緊急時電話番号に優先的に連絡しますので、あらかじめご了承ください）。

## (2) 注意事項（「総合科目」、「英語」などの外国語科目及び「各演習科目」など）

例えば、「英語」の講座は、「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」、「英語Ⅲ」及び「英語Ⅳ」という科目を含んで開講されます。今回のスクーリングで「英語Ⅰ～Ⅳ」のどの科目に充当させるかは、各自の履修状況・履修計画によって異なります。したがって、英語をスクーリングで受講する際には、「受講届」に記載する充当科目コードによって「英語Ⅰ～Ⅳ」のうちどの科目で受講するのか、各自が大学に申告しなければなりません。

「受講届」では2桁の講座コードと4桁の充当科目コードの計6桁のコードによって、受講講座（科目）を登録します。コードは「開講講座表」の「講座コード」欄、「科目コード」欄に記載されています。

「英語」の場合、「開講講座表」の「科目コード」欄に4つのコードが記載されていますが、各自の履修計画に合致する科目（「英語Ⅰ～Ⅳ」のいずれか）のコードを、1つ選択してください。

<input type="checkbox"/> 内を必ず御記入ください	平成25年6月 日作成			
平成25年度 夏期スクーリング受講届(04)				
開講時期	講 座 コード	講 座 名	充 当 科 目 コ ー ド	受 講 希 望 方 式
第1期				
第2期				
第3期	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
第4期				
第5期				
※併用試験方式を希望する場合は、この欄に「併用」と明記してください。 なお、希望しない場合は、空欄のまままで提出してください。				
私の申込みは、上記のとおり相違ありません。				
学 生 証 番 号				
フ リ ガ ナ				
氏 名	(オ)			
自 宅 電 話 番 号				
緊 急 時 電 話 番 号				
※提出締切日 平成25年6月13日(木)【締切日までの消印有効】 ※各期から1講座ずつ申込みできます。 ※書き損じた場合は修正テープ、修正液で訂正してください。 ※本票は上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。				

《記入例》(講座「英語 C」において「英語Ⅲ」を選択した場合)

講 座 コード	開講講座名	担当講師名	充 当 科 目	
			科 目 コ ー ド	科 目 名
15	英 語 B	○○ ○○	0041	英 語 I
			0042	英 語 II
			0043	英 語 III
			0044	英 語 IV
16	英 語 C	○○ ○○	0041	英 語 I
			0042	英 語 II
			0043	英 語 III
			0044	英 語 IV

- (1) 希望する講座として「英語 C」を選択。
  - (2) 「英語 C」を選択したことによって講座コードは「16」となる。
  - (3) その講座で充当する科目として「英語Ⅲ」を選択。
  - (4) 「英語Ⅲ」を選択したことによって充当科目コードは「0043」となる。
  - (5) 「受講届」の記入は、講座コードに「16」、充当科目コードに「0043」と記入します。また講座名に「英語 C」と記入します。
- ※ 「・・・演習」という講座も同様で、例えば「英語学演習」の場合、「英語学演習 I」、「英語学演習 II」及び「英語学演習 III」という科目を含んで開講されます。今回のスクーリングで「英語学演習 I ~ III」のどの科目に充当させるかを「受講届」に記入する充当科目コードによって各自が大学に申告してください。

### 記入上の注意事項

- (1) 黒のボールペンを使用し、楷書で正確に記入してください。
- (2) 「受講届」提出締切後の追加、変更はできません。
- (3) 記入誤り、記入漏れによる追加変更は一切いたしません。
- (4) 次の場合、大学の判断により事務的な処理にて講座の決定を行いますので、希望講座を受講できない可能性があります。
  - ・乱雑な記入
  - ・記入誤り、記入漏れ
  - ・記入した講座コード、講座名、充当科目コードの不一致

### (3) 「受講届」を提出する

「受講届」の記入が終わったら、「受講届」を教務課に提出してください。提出方法は以下の2通りです。

#### ア 教務課窓口に直接提出

教務課カウンターに提出用ポストを設置しますので、そちらに投函してください。【提出は事務取扱時間内】

#### イ 郵送で提出する

「受講届」に切手を貼付し、郵送してください。【提出締切日までの消印有効】

### 郵送提出においての注意事項

天災や郵便の遅延・未着そのほかの事故については、いかなる配慮も行いません。

「受講届」が教務課に届かなかった場合、受講ができなくなりますので、特定記録郵便・簡易書留・書留を強くお勧めします。

特定記録郵便の場合、大学での受領記録が残りませんので、「受講許可通知書」が届くまで、郵送した際の受領証を必ず保管してください。紛失の場合、郵便追跡確認ができなくなります。

また、リポート等、他の書類と一緒に送付するとその間にはさまってしまい、事故の原因になります。「受講届」は単体で送付してください。

### 3 受講講座の変更・追加

#### ① 受講講座変更届の作成

受講講座の変更・追加をする場合は、市販の便箋等を使用し、以下の記入例を参考に「変更届」を作成してください。

※変更・追加のために、複数の「受講届」用紙を使用した場合や他のスクーリングの「受講届」を使用した場合は、正しい申込みが判別不能となり、申込みが「無効」となりますので、決して使用しないでください。

#### ② 記入事項

変更・追加する事項の記入を行うほかに変更前の申込講座の「スクーリング名称」、「開催期」、「講座コード」、「講座名」、「充当科目コード」及び「受講希望方式」の併用申込有無を明記してください。また、自己の所属学部・学科（専攻）・学生証番号・氏名も忘れずに記入してください。

#### ③ 提出先・提出方法

「受講届」提出と同様です。

#### ④ 提出締切

「受講届」提出の締切日と同一です。別途の日程はありません。

※郵送の場合は受講届の提出と同様に提出締切日までの消印有効です。

《記入例》

〈市販の便箋等〉

平成〇年〇月〇日				
日本大学通信教育部教務課長 殿				
平成 25 年度夏期スクーリング受講講座変更届				
標記のことについて、既に「受講届」にて申し込んだ夏期スクーリング受講講座を下記のとおり変更したく、本書面をもってお願いたします。				
記				
(当初の受講講座)				
期	講 座	講座名	充当科目	受講希望方式
	コード		コード	
第1期	A3	英語 A	0043	併用
第2期	BG	英米文学演習 D	0486	—
(変更後の受講講座)				
期	講 座	講座名	充当科目	受講希望方式
	コード		コード	
第1期	A3	英語 A	0043	併用
第3期	C1	英語 E	0044	併用
上記のとおり相違ありません。				
法学部法律学科 学生証番号：12133000 氏名：日大 太郎				

# IV 申込講座の許可と不許可

## 1 受講許可通知書を確認する

申込内容に基づき大学が受講資格審査を行い、その結果を「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」により通知します。

なお、「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」の発送は、7月12日（金）を予定しています（発送完了をもって「在学生専用サポート（Web報）」にも掲載します）。発送予定日から5日を経過しても通知が届かない場合は、至急、会計課（電話 03-5275-8925）に連絡してください。

「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」を受領したら、以下の要領で許可内容を必ず確認してください。

### ① 充当科目コードの確認

必ず充当科目コード・単位を確認してください。

「充当科目コード」及び「開講単位数」欄に記載された内容が、申込み内容と同一であることを確認してください。

「英語」や「演習」などのように「I, II, III…」の区別のあるものや、科目的名称が類似している科目がありますので、十分注意してください。

スクーリング併用試験方式で申込みをした科目であっても、単位数はスクーリング開講単位が記載されています。

### ② 講座コード・講座名・時間割の確認

必ず講座コード・講座名・時間割を確認してください。

「講座コード」欄に記載された内容が、申込み内容と同一であることを確認してください。受講申込者数により講座が分割されている場合があります。

### ③ スクーリング併用試験方式の確認

併用試験の許可・不許可について下表のとおり記載されていますので確認してください。なお、併用試験の申込みがなされなかった科目についても不許可の表示となっています。

「併用手続き」欄表示	許可・不許可	備考
○	許可	
—	不許可	スクーリングの受講は可能です

\* 受講許可後にスクーリング併用試験の申込みをすることはできません。

## 2 講座振り分け及び受講不許可について

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者が定員を超えた場合、以下の①から③のいずれかで対応させていただきます。

### ① 超過した人数分の学生を他講師担当の同一科目講座へ振り分ける

### ② 新たに他講師担当の同一科目講座を増設し、超過した人数分の学生をその講座へ振り分ける

\*①及び②の場合、振り分けられた講座を受講することになります。担当講師、授業内容は振り分けられた講座の内容に変更されますのでご注意ください。

### ③ 超過した人数分の学生を受講不許可にする

※希望した講座が受講できることになります。また、新たに代わりの講座を申し込むこともできません。あらかじめご了承ください。

振り分けられた講座の受講を辞退する場合には、「3 許可講座を辞退する」を参照し、辞退手続を行ってください。なお、①及び②についても受講辞退後、新たに代わりの講座を申し込むことはできません。あらかじめご了承ください。

## 3 許可講座を辞退する

この手続は、「スクーリング受講許可通知書」を受け取った後、やむを得ない理由等により受講許可講座の全部又は一部の受講ができなくなった場合、その講座の辞退を行う手続です。

ただし、この辞退手続はスクーリング受講料等納入前であることが条件となります。スクーリング受講料等納入後に受講辞退の意思表示があったとしても受講料等は一切返還しません。

講座の辞退を行う場合には以下により手続を行ってください。

### ① 手続書類

#### 【すべての講座を辞退する場合】

「スクーリング受講許可通知書」に記載されているすべての講座を辞退する場合、以下の(1)及び(2)を同封の上、教務課試験係まで提出してください。

#### 【一部の講座を辞退する場合】

「スクーリング受講許可通知書」に記載されている講座の一部を辞退する場合、以下の(1), (2)及び(3)を同封の上、教務課（試験係）まで提出してください。

この場合、受講希望の許可講座のみ記載された「スクーリング受講許可通知書」等を大学から再送付します。

- (1) 「受講申込辞退願」【各種用紙】
- (2) 受講許可通知時送付書類（2連用紙、次の(A)及び(B)の書類）
  - (A) スクーリング受講許可通知書兼領収書
  - (B) スクーリング受講料等振込依頼書
- (3) 350円分郵便切手（大学からの再送付時の速達郵便料）を貼付した、長形3号（A4判三つ折の用紙が入る大きさ）の返信用封筒（自己の郵便番号、住所及び氏名を明記）

### ② 手続期限 いかなる場合でも期限後は手続できません。

7月22日（月）《事務取扱時間内必着》

### ③ 提出先 教務課試験係

事務時間内であれば窓口での提出もできます。

※ この手続は他の講座への変更・追加申し込みではありませんので注意してください。

※ 辞退手続は1回しかできません。

# V 受講料の納入

申込講座の辞退がない場合、受講料等を期限までに納入してください。

## 1 受講料：1講座 10,000円×受講講座数

「情報概論」は受講料の他にコンピュータ等実習料 3,000円 「博物館実習Ⅰ」は 20,000円 (スクーリング受講料 10,000円、諸経費 10,000円) の納入が必要となります (受講料と共に納入してください)。

## 2 納入期限：7月29日（月）銀行窓口 当日取扱時間まで

## 3 納入方法

必ず大学から送付される「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」を使用し銀行窓口から振り込んでください。「(A) スクーリング受講許可通知書兼領収書」と「(B) スクーリング受講料等振込依頼書」は、切り離さずに銀行窓口へ持参してください。

「博物館実習Ⅰ」は受講料納入方法が他の講座とは異なります。納入方法については、本誌4ページで確認してください。

### 注 意 事 項

#### ① 納入に際しての注意事項

- (1) 銀行窓口のみの取扱いとなります。会計課窓口及び郵送での納入はできません。
- (2) 自動振込機（ATM）及びネットバンキングからの納入は受け付けません。銀行係員が勧めても使用しないでください。
- (3) 「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」に記載された事項を訂正したものは受け付けません。
- (4) 三井住友銀行本・支店窓口からの振込手数料は、無料となります。

#### ② その他の注意事項

- (1) 発送予定日から5日経過しても「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」が届かない場合は、至急会計課に連絡してください。また、期日までに納入できない事情が発生した場合は、至急教務課に連絡してください。
- (2) 「(A) スクーリング受講許可通知書兼領収書（銀行領収印の押印されているもの）」は、受講時、試験時、通学定期券購入手続を行う際、学生証とともに必要になります。受講期間中は常に携帯してください。
- (3) 受講料等を納入した後に、受講申込辞退の意思表示があったとしても、受講料等の返還は行いません。



## 1 使用教材の購入

スクーリングは集中講義形式の授業ですので予習なしでの受講は学習効果が期待できません。受講許可通知書を受け取った後、本誌のシラバス（教科書、参考書）で使用教材が、『通信教育教材』か『市販教材（市販本）』かを確認の上、以下の要領で教材を購入してください（教科書等の価格・送料はシラバスに記載されています）。

教材購入方法の見分け方は、後掲の「③教材購入方法の見分け方」を参照してください。

### 注意事項

「指定配本」、「履修届」及び「追加科目履修届」による配本を受け、所持している『通信教育教材』であっても、教材改訂によりシラバスに記載されている「教科書」や「参考書」と異なる場合がありますので、科目名のみによらず、シラバスに掲載されている「教材コード」と所持する『通信教育教材』の教材コードとを照合し、不一致の場合は、教材を購入してください。

なお、教材購入後の変更・取消及び費用の返還はできませんので注意してください。

#### ① 使用教材が『通信教育教材』の場合

**通材**印が付されている教材は、本誌「各種用紙」の「教材購入願」を使用し購入してください。既に今回の使用教材を入手している場合は、改めて「教材購入願」によって購入する必要はありません。教材の送付先は、すべて大学に登録されている各自の住所への郵送となります。教材が手元に届くまでは手続完了後、約1週間を要しますので、「受講許可通知書」を確認した後、速やかに手続きを行ってください。

なお、通信教育教材について不明な点は、研究事務課（電話03-5275-8890）に問い合わせください。

#### ② 使用教材が『市販教材（市販本）』の場合

『市販教材（市販本）』は、一般書店で購入してください。住居地周辺の書店で購入できない場合は、**丸沼**印のついている本については、丸沼書店で購入できます。

(書店名) (株) 丸沼書店

(所在地) 〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-8-12

(電話) (03) 3261-4540

(FAX) (03) 3261-0118

(営業時間) 9:00 ~ 20:00 (日曜日は休み)

(購入方法) 直接店頭(174ページを参照)で購入のほか以下(1)~(3)の方法で通信販売も可能です。

(1) 代金引換払 (手数料250円が別途かかります)

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」に必要事項を記入の上、上記あてに郵送又はFAXをしてください。

(2) 郵便為替（前納）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格+送料の合計金額分の定額小為替又は郵便為替を同封して上記あてに郵送してください。

(3) 現金書留（前納）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格+送料の合計金額を同封して上記あてに郵送してください。

不明な点は、丸沼書店に直接問い合わせてください。

**市販教材の価格・送料は『手引』作成時の金額です。改訂等により金額が変わる場合があります。あらかじめご了承ください。**

### ③ 教材購入方法の見分け方

※事前資料送付・当日資料配付について:教務課(電話 03-5275-8911)にお問い合わせください。

#### ④ スクーリング受講に伴う六法の携行及び指定の六法

法律系の科目をスクーリング受講する場合、特にシラバスに記載がなくとも『六法』は必携となりますので、各自用意の上、授業に臨んでください。

## 通信教育部指定の六法について

スクリーニング試験時に参考が許可される『六法』は、次の9種類に限ります。ただし、担当講師から別途指示がある場合は、この限りではありません。

## 《試験時に参照が許可される六法》

岩波書店『コンパクト六法』、『セレクト六法』、『基本六法』

有斐閣『六法全書』『ポケット六法』

第一法規『司法試驗用六法』『旧司法試驗用六法』『新司法試驗用六法』

## 第一法規『判例法』 二省堂『デイリー六法』

注意事項：(1) 上記指定の『六法』に、書き込み等がある物は、参照物として認められません。したがって、『六法』は学習時に使用するものと試験時に使用するものとで別に用意してください。

(2) 判例・解説つきのもの(『六法』付録の小冊子等を含む)は参照物としては認められません。

## 2 「休暇依頼状（勧奨状）」と「出席証明書」の発行

### ① 休暇依頼状（勧奨状）

休暇依頼状は、スクーリングに出席するために勤務を休む必要がある場合に、大学から勤務先に対して発行するものです。日本大学通信教育部長名でスクーリングの開講期間等を明記した「休暇依頼状」と、文部科学省発行で通信教育の主旨等を記載した「勧奨状」の2通を発行します。なお、発行はスクーリングの受講許可後となります。

休暇依頼状（勧奨状）希望者は、送付先を明記した返信用封筒（定形・80円切手貼付）を添えて、本誌「各種用紙」の「休暇依頼状（勧奨状）申込書」により庶務課あてに申し込んでください。

### ② 出席証明書

勤務先にスクーリングに出席したことを証明する書類が必要な場合には、大学として「スクーリング出席証明書」を発行します。「在学生専用サポート（Web報）」の「各種手続用紙（様式）」からのダウンロード又は『部報』（4月号又は10月号）巻末の「証明書交付願」を使用し、教務課あてに申し込んでください。「出席証明書」の発行は、講義日程が終了した後となります。窓口で申し込む場合は、返信用封筒（定形・80円切手貼付）を添えてください。郵送での申し込みは、約10日間の日数を要します（手数料は1通につき300円）。

## 3 通学定期券の購入

通学定期券は、正科生がスクーリング受講を目的として通学する場合に限り購入できます。通学定期券購入の手続き等は、以下のとおりです。なお、平成24年4月1日より手続き等が変更になりました。

### ① 学生証裏面学籍シールの記入

- (1) 「学生番号」「氏名」及び「現住所」を黒のボールペンで記入してください。
- (2) 「通学区間」欄に対象区間及び経由（乗り換え駅）を記入してください。また、定期券が2枚に分かれる場合は2行に分けて記入してください。

### ② 購入手続

- (1) 学生証及び「スクーリング受講許可通知書兼領収書（銀行領収印の押印されているものに限る）」持参で事務取扱時間内に学生課窓口に来校し、「後掲③の所定の用紙」に記入して「在籍確認」印の押印を受けてください。
- (2) 通学定期券取扱い駅の窓口にて定期券購入用紙に必要事項を記入し、押印済の学生証を提示することで通学定期券が購入できます。

### ③ 学生課窓口で記入する所定用紙

- (1) 通学定期乗車券発行控（全員必要）
  - (2) 滞在先届（スクーリング期間中に現住所以外から通学する場合に限り必要）
  - (3) 通学証明書（都営地下鉄、都電及び各路線バス等を利用する場合に必要）
- ※スクーリング当日は窓口が大変混雑しますので、(1)及び(2)の用紙は本誌「各種用紙」から切り取り、事前に必要事項を記入の上、持参してください。

#### ④ 対象区間

自宅（又は滞在先）の最寄り駅から以下「通信教育部最寄り駅」までの最短経路を対象とします。

【通信教育部最寄り駅】

鉄道会社	最寄駅
JR東日本	水道橋駅
都営地下鉄	水道橋駅、神保町駅
東京メトロ	神保町駅、後楽園駅

※最短経路とは所要の時間が最短、交通費が最安及び乗換が最少である等の合理的な経路のことをいいます。

※途中経路や迂回経路は一切認められません。

#### ⑤ 禁止事項

通学定期券を不正に使用してはいけません。不正使用したことが発覚すると、鉄道会社等の営業規則に基づき定期運賃の数倍の罰則金等が科せられます。また、大学自体も通学定期券発行の指定から外され、他の学生に多大な迷惑をかけることになります。

不正使用は絶対に行わないでください。

【不正使用例】

① 現住所及び通学区間を偽ること	③ 記名人以外が使用すること
② 他人に譲渡・貸与すること	④ その他、不正に使用すること

#### ⑥ その他注意事項

- (1) 通学区間が変更となった場合は、学生課に届け出てください。
- (2) 年度内に「通学定期乗車券発行控」欄が不足となった場合は、学生課に申し出てください。
- (3) 「在籍確認」印は、年度内に限り有効です。

### 4 「学割証」の発行（長距離区間乗車時の学生割引制度）

#### ① 申込方法

本誌「各種用紙」の「学割証交付願」にて学生課へ郵送又は窓口で申請してください。

※郵送の場合は、80円切手を貼付した宛名明記の返信用封筒が必要です。

#### ② 発行対象条件（全項目該当が条件）

- (1) 正科生であること。
- (2) スクーリングに出席することが目的であること。
- (3) JR 各社の鉄道又はバスを使用すること。  
JR 以外の会社における学割証の適応の可否は、当該会社に各自で問い合わせてください。
- (4) 乗車距離が片道 100km 以上であること。

#### ③ 割引額

普通乗車券運賃の2割（特急券や指定席は割引き対象外）

#### ④ 乗車日（有効期間）

乗車日は当該行事初日の 10 日前から最終日の 5 日後までの間に限り選択することができます。

## ⑤ 発行枚数

原則として1枚です（1枚で往復が購入できます）。

ただし、毎日通う場合等は、往復乗車券購入枚数分の「学割証」を発行します。

また、往復乗車券の有効期間は以下のとおりです。

有効期間を超える場合には、片道乗車券を2枚購入することになり、「学割証」も2枚必要です。

### 【往復切符有効期間】

片道の距離 (km)	101～200	201～400	401～600	601～800	801～1000
有効期間	4日間	6日間	8日間	10日間	12日間

## ⑥ 受付開始日

7月19日（金）から受付を開始します。

## ⑦ 発行所要期間

受付開始日以降で、「学割証交付願」を受け付けてから2日後に発行します（即日発行はできません）。

郵送の場合も同様で、受付日の2日後にポストに投函しますので、郵送に要する日数を考慮して申請してください。

※急ぎの場合であっても、発行所要時間を短縮することはできませんので、郵送で申請する場合は、速達郵便にて申請し、返信用封筒には速達郵便料金350円分の切手を貼付してください。

## ⑧ 使用方法

JR各駅の窓口にて「学割証」と「学生証」を提示することで「学生割引乗車券」を購入することができます。

## ⑨ 購入日

乗車券が購入できるのは、原則として乗車当日であり、事前の購入はできません。新幹線等の座席を事前に確保したい場合は、特急券や指定席券のみを事前に購入し、乗車券は乗車当日に購入するのが良いでしょう。

## ⑩ 禁止事項

「学割証」を不正に使用してはいけません。不正使用したことが発覚すると、「学割証」の発行が停止されるだけでなく、鉄道会社等の営業規則に基づき使用区間普通運賃の数倍の追徴金が課せられます。また、大学に対しても割引特典取り消し等の処分がなされるため、他の学生に多大な迷惑をかけることになります。不正使用は絶対に行わないでください。

なお、「学割証」を使用しなかった場合は、必ず学生課まで返却してください。

### 【不正使用一覧】

① 記載事項を改変すること	④ 購入した乗車券を他人に譲渡すること
② 記名人以外が使用すること	⑤ 鉄道外車等の規則に違反して使用すること
③ 有効期間外に使用すること	⑥ その他、不正に使用すること

## 5 記入欄について

夏期スクーリング受講生で未就学児のいる学生のために、開講期間中に限り、委託保育士による託児室を開設します。

利用希望者は、本誌「各種用紙」の「託児室利用登録書」を学生課へ提出してください。具体的な必要書類や費用の納入方法等は、後日登録者へ通知します。

### ① 提出締切日

7月1日（月）【必着】

### ② 開設期間及び時間

(1) 開設期間 8月6日（火）～8月18日（日）

※ただし、休講日の12日（月）は除く。

(2) 開設時間 8：40～17：40

### ③ 記入場所

通信教育部1号館会議室（地下1階）

### ④ 定員

20名

### ⑤ 記入対象者

平成25年8月6日現在で、満3歳以上の未就学児

※委託業者との契約の都合上、満3歳未満の場合は一切利用できません。

### ⑥ 費用

3,500円／日（昼食・おやつ・傷害保険料等）

### ⑦ その他

託児室を利用できるのは、学生本人が夏期スクーリングを受講する期間に限ります。自習等ではお預かりできませんので、あらかじめご了承ください。

なお、不明な点等は学生課（03-5275-8921）まで問い合わせてください。

## 1 講座の受講

- ① 夏期スクーリングの会場は通信教育部1号館、3号館及び近隣の本学校舎を予定しています。講堂は、ホームページ及び講義初日に通信教育部1号館の入口に掲示してお知らせします。
- ② スクーリングは出席が重視されます。遅刻、欠席のないように準備してください。
- ③ スクーリング受講の際は「学生証」及び「スクーリング受講許可通知書兼領収書」（銀行領収印の押印されているもの）を携帯してください。

## 2 試験の受験

試験は最終日に実施されます。特に大学が指定する科目や担当講師から特別の指示のあった科目の試験は、教室・時間を別に定めて実施します。試験の実施に関する指示は掲示、又は授業中に告知します。なお、スクーリング試験を受験できなかったり、不合格になった場合でも、追・再試験は実施しません。その他注意事項を次に挙げます。参照してください。

### 「スクーリング試験」受験上の注意

- 1 「学生証」及び「スクーリング受講許可通知書兼領収書」（銀行領収印の押印されているもの）を机上通路側の試験監督者が見やすいところに置くこと。受講手続及び受講料納入がない場合、受験できない。
  - 2 「学生証」を忘れた場合又は未更新の場合は、事前に教務課（講師室）に申し出て指示を受けること。
  - 3 携帯電話等は一切使用を禁止する。試験場内では電源を切ること。また、時計・電卓としての使用も禁止する。
  - 4 持ち込みを許可されたもの以外は机上に置かないこと。
  - 5 解答用紙は、1人1枚とし、再交付はしない。
  - 6 解答用紙の下段、太線枠内※印の事項については、必ずペン又はボールペンで記入すること。当該事項について記載がない場合又は誤記等は採点の対象にならない場合がある。
  - 7 試験開始後20分以上遅刻した者は受験することができない。
  - 8 途中退室は、試験監督者の指示がある場合に限り、試験開始30分後から認める。解答用紙を試験監督者に提出して退室すること。なお、用紙の持ち帰りは一切認めない。
  - 9 試験場では、試験監督者の指示に従うこと。
  - 10 不正行為（不正とみなされる行為含む）は絶対行わないこと。不正行為を行った場合は、学則により処分（停学・退学等）される。
- ※ 試験中の参考物等の貸し借りは不正行為とみなす。

### 3 スクーリング結果の確認

スクーリングの結果は、教務課から平成25年度授業料（前期生のみ）及びスクーリング受講料を納入した学生に郵送で通知します。また、「在学生専用サポート（Web報）」でもお知らせします。掲載の開始はホームページの新着情報に掲載します。

電話・郵便による問い合わせには一切応じることができません。また、「スクーリング結果通知書」の再発行はいたしません。天災による郵便の遅延・未着や、その他の事故に対していかなる配慮も行いませんので、「スクーリング結果通知書」を紛失した場合などは「在学生専用サポート（Web報）」で確認、又は「単位照合票」の交付を受け、確認してください。

結果発表時期	平成25年 9月中旬
--------	------------

#### ① 結果の表示

結果は、「合格」、「不合格」又は「未受講」で発表します。

※受講許可のない講座を受験した場合には「無効」とし、単位は修得できません。

#### ② 単位数

結果が「合格」の場合、開講単位（1単位又は2単位）のスクーリング単位を修得したことになります。「講座内容（シラバス）」に記載されている単位数が、それぞれの科目（講座）のスクーリング単位数です。

スクーリング併用試験方式で受講が許可されている場合、スクーリングの合格及び提出されたリポートが全て合格した時点で科目的所定単位の修得が認められますが、スクーリング単位はあくまで「講座内容（シラバス）」に記載された単位数での修得となります。そのため「スクーリング結果通知書」には併用試験方式による受講であっても、単位数欄は、所定単位ではなく、スクーリング単位が記載されます。

**地球温暖化対策及び電力供給力低下に伴う節電について**

例年、地球温暖化対策としての取組を行っておりますが、原子力発電所の稼働停止に伴う電力供給力の低下にも対応するため、通信教育部では下記のとおり節電に協力します。

これにより、教室内は例年よりも暑くなることが予想されます。各自、服装の調節や水分補給等に心がけ、体調管理に留意してください。

ご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力を願いいたします。

なお、教職員も軽装（ノーライフ、ノーネクタイ、半袖ワイシャツ等）とさせていただきますのでご了承願います。

- 1 館内の冷房の温度を28℃に設定します。
- 2 学生ホール、廊下及び事務室の照明を一部消灯します。

## 1 受講にあたっての諸注意

### ① 学生証の携帯

「学生証」は学生としての身分を証明するものであり、常に携帯している必要があります。また、スクーリングの受講、「通学定期券」購入等の際にも必要となります。

### ② 健康保険証の携帯

スクーリング受講中は、万一の病気や事故に備えて、「健康保険証」（又は「保険証」に代わる「資格証明書」）を必ず携帯してください。

### ③ 掲示板の閲覧

スクーリング期間中は、実施校舎の掲示板に重要な事項について掲示します。授業、卒業論文指導の日程、各種行事等についての変更、注意事項等を伝達する場合は、スクーリング実施校舎に掲示します。来校の際は必ず確認してください。

### ④ 貴重品等の管理及び紛失に関する注意

衣類、カバン、学生証、教材及び貴重品等各自の所持品を身辺から手放さないよう注意してください。大学の施設内であっても、校舎内には学外者の往来も多数あり、係員の監視が十分に行き届かない場合があります。盗難や紛失には十分注意してください。

なお、盗難や紛失があった場合には、速やかに学生課まで申し出てください。

### ⑤ 紛失及び落し物の拾得

校舎内で所持品を紛失したり、他人の落し物を拾得した場合は、速やかに学生課まで届け出してください。届けられた物品は学生課で保管します。

### ⑥ 自転車・オートバイ等の車両による通学の禁止

スクーリング実施校舎周辺は、駐車・駐輪できる場所がありません。また、無断で駐車・駐輪すると違反になるばかりでなく、近隣の方の迷惑になるので、公共の交通機関を利用して下さい。なお、自転車による通学も禁止です。

## ⑦ その他の注意事項

- (1) 授業中の教室の出入り及び授業中の廊下の往来は静粛にすること。
- (2) 所定以外の場所には立ち入らないこと。
- (3) 所定場所以外での喫煙（教室内喫煙、歩行喫煙及び吸い殻の投げ捨て等）は禁止。
- (4) 授業中及び試験中は携帯電話等の電源を必ず切ること。なお、試験中は時計としても使用不可。
- (5) 体調が悪い場合は、保健室（開室時間や場所は掲示板で確認）へ申し出ること。

## 2 初めて夏期スクーリングを受講する学生へ ~学友会への参加~

スクーリングを初めて受講する学生は、居住地の都道府県の学友会支部長等役員に連絡して、実際に先輩の意見などを聞くことを勧めます。

『部報』7月号に各都道府県の学友会支部役員一覧を掲載していますので、利用してください。学習方法の他にも、宿泊施設・交通・経費など、スクーリングに関していろいろな疑問等があると思いますが、先輩方のアドバイスを受けておくとよいでしょう。

## 3 諸届と課外活動（学友会・研究会・同好会等）

### ① スクーリング期間中の滞在先届

スクーリングを受講するためにホテル等の宿泊施設や知人宅等に滞在する場合は、本誌「各種用紙」の「滞在先届」又は学生課窓口に設置してある「滞在先届」を記入し、受講初日までに学生課に提出してください。

- ※ 不測の事故発生時の対応に必要なため、必ず提出してください。
- ※ 郵送では受け付けしません。
- ※ 通学定期券購入手続の際にも必要です。

### ② 懇親会等の届出

スクーリング期間中に各都道府県の学友会支部主催で行事を計画している場合は、責任者が行事日程の3日前までに「懇親会等届」（学生課で配布）を、終了後には「参加者名簿」（学生課で配布）を、それぞれ学生課に提出する必要があります。

### ③ 掲示物

学内で課外活動に関する掲示物を掲示する場合は、次の事項を厳守すること。

- (1) 用紙は最大A3判まで。
- (2) 事前に学生課で検印を受けること。
- (3) 通信教育部校舎の所定の掲示板を使用すること。法学部・経済学部校舎への掲示は不可（特別許可を得た場合を除く）。

### ④ 講堂の使用

スクーリング期間中はほとんど全ての講堂を使用しているため、課外活動等には使用できません（特別許可を得た場合を除く）。

## 4 スクーリング開講期間中の学生相談室

スクーリング期間中、学生相談室では、学習上及び日常生活上の悩みごとについて、通信教育部の専任教員及びカウンセラーが応じます。相談内容については、秘密を厳守します。

主な相談内容：学習、課外活動、進路（就職、将来の方針）、適応（性格、対人関係、恋愛、家庭）、生活（経済、住居）、その他

学生相談室の開室日程及び場所等については、通信教育部1号館に掲示します。

## 5 「千代田区生活環境条例」について

千代田区では、歩きタバコや吸いガラ・空き缶などのポイ捨てを禁止する「生活環境条例」が施行されています。

JR水道橋駅及び通信教育部校舎周辺は、「路上禁煙地区」及び「環境美化地区」に指定されています。スクーリング受講生は、条例を遵守してください。

## 6 緊急時の避難行動の指針について

学事日程に従いスクーリングを開講しますが、授業中に起きる不測の事態に備え、身の安全が確保できるよう、以下のとおり対応についての行動方針を示しますので、熟読の上、ご理解ご協力をお願いします。

### ① 学生の服装について

突発的な災害に備え、学生は普段から身を守る服装に心掛ける。

※例えば、帽子、長袖、安全な靴、タオルやマスク、学生証（身分証明書）の携行など。また、日頃から自分で準備しておくと良い物（懐中電灯、自宅までの帰宅経路の地図、携帯ラジオ等）を携行していることが望ましい。

### ② 避難について

#### (1) 地震発生時

- ア 地震が発生し、教室内で強い揺れを感じた場合は、机の下に隠れ、身を守る姿勢を取る。
- イ 教室外の場合は、その場で、頭を保護し、揺れに備えて身構える。釣り下がっている照明・機器等の下からは退避する。

#### (2) 避難時

- ア 強い揺れが収まった場合、担当教員の指示に従い非常口などからあわてず整然とすみやかに避難場所に避難する。

- イ 救護を必要とする者がいる場合、状況により救護活動を行う。

- ウ 緊急一斉放送が入った場合にはその指示に従う。

※緊急放送例：「揺れが収まりました！身の回りの安全を確認し落ち着いて避難してください。」

—あわてて出口、階段に殺到しないように心掛けること。—

#### (3) 避難場所

- ア 避難場所では、担当教員又は職員が学生の安否の確認を行うので、確認しやすい安全な場所で待機をしていること。

- イ 避難場所は安全な場所を前提に「通信1号館学生ホール」や「西神田公園」とし、必要に応じて千代田区指定の避難所へ移動する。

#### (4) あわてて帰宅をしない

強い地震の後には大きな余震が予測されるため、周囲の状況（何が起きたのか）、被害情報、余震情報、交通機関に運行状況等により判断し、帰宅が困難な場合は避難場所の通信1号館学生ホールで待機する。状況によっては一晩待つこともあり得る。また、必要に応じて千代田区指定の帰宅困難者支援場所に移動する。

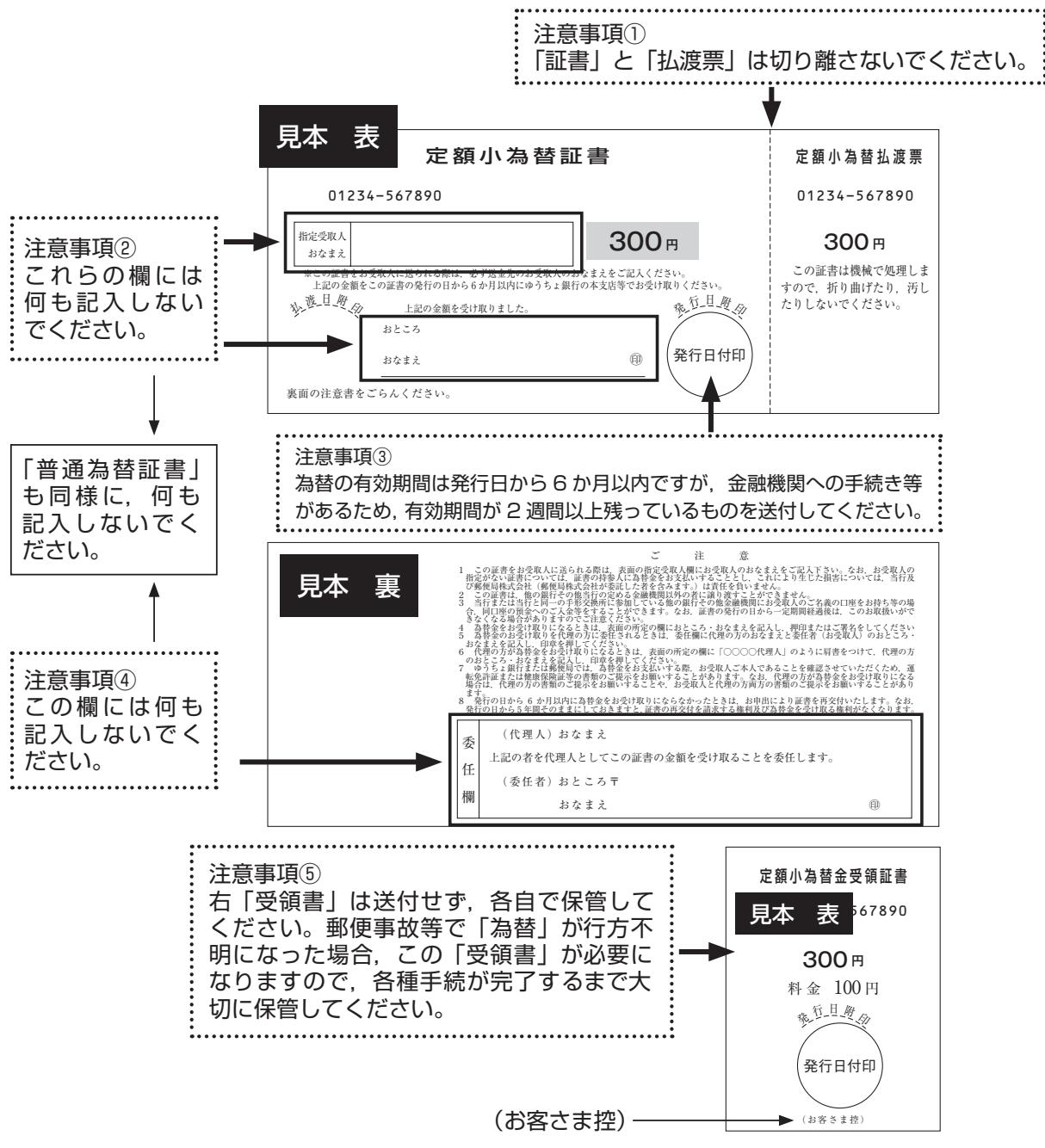
MEMO

- ・教材購入用紙（丸沼書店用）
- ・教材購入願（通信教育教材購入用）
- ・追加科目履修届
- ・通学定期乗車券発行控
- ・学割証交付願
- ・託児室利用登録書
- ・滞在先届
- ・休暇依頼状（勧奨状）申込書
- ・<受講申込辞退願>平成24年度夏期スクーリング

## 「為替」送付時の注意事項

「証明書交付願」「追加科目履修届」「教材購入願」等の各種手続において、手数料等を郵送にて「定額小為替証書」又は「普通為替証書」で納入する場合には、以下のことに注意してください。

なお、「定額小為替証書」又は「普通為替証書」をゆうちょ銀行又は郵便局窓口で購入する際は、手数料がかかります（詳細は郵便局窓口でご確認ください）。



# 丸沼

## 教材購入用紙(丸沼書店用)

### 市販教材(市販本) 購入用

※**丸沼**印の教材を郵送にて購入の際は、この用紙で申し込んでください。  
詳細は、「使用教材の購入」のページを参照してください。

(送付先) 丸沼書店

平成25年度 夏期スクーリング				
申込日	平成25年 月 日			
科目名	書名	教材費(税込)	送料	
小計		円	円	
合計		円		
購入方法 (いずれかに○)	①代金引換	②定額小為替・郵便為替	③現金書留	

※下記の住所、氏名の欄は返信用に使用しますのではっきり書いてください。

送 り 先	住 所	〒 -
	氏 名	
	電話番号	( )

※この用紙で「通信教育教材」は購入できません。  
※足りない場合は複写の上、使用してください。

購入方法は裏面を参照してください。

## 【購入方法】

(1) ~ (3) の方法で通信販売も可能です。

(1) 代金引換払（手数料 250 円が別途かかります）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」に必要事項を記入の上、下記宛に郵送又は FAX をしてください。

(2) 郵便為替（前納）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格 + 送料の合計金額分の定額小為替 又は郵便為替を同封して下記へ郵送してください。

(3) 現金書留（前納）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格 + 送料の合計金額を同封して下記 へ郵送してください。

不明な場合は、丸沼書店に直接問い合わせてください。

### ※送料について

送料は書籍の総重量で変わります。それぞれの書籍の組み合わせにより送料が異なりますので、郵便為替・現金書留の場合、ご注文各書籍の送料の合計をお送りください。余った送料については、ご返金いたします。また、代金引換払の場合、書籍代 + 送料（実費） + 手数料（250 円）を受取時にお支払いください。

(書 店 名) (株) 丸沼書店  
(所 在 地) 〒 101-0061  
東京都千代田区三崎町 2-8-12  
(電 話) (03) 3261-4540  
(F A X) (03) 3261-0118  
(営 業 時 間) 9:00 ~ 20:00 (日曜日は休み)

# 通材

平成 年 月 日

日本大学通信教育部 御中  
(提出先:会計課)

## 教材購入願

学 生 番 号					氏 名	フリガナ
連絡先電話番号(携帯電話可)					- - -	

(太線枠内にボールペンで記入してください)

	教材コード	科 目 名	金 額	スクーリング種別 講 座 名
1	0 0 0			
2	0 0 0			
3	0 0 0			
4	0 0 0			
5	0 0 0			
6	0 0 0			
合計科目数			合計金額	
			_____	円

\*ボールペンで記入してください。

\*「教材コード・科目名・金額」は『部報』及び『スクーリング手引』  
で確認し、必ず記入してください。

「教材コード」と「科目コード」は異なりますので、注意してく  
ださい。

\*「スクーリング種別・講座名」にはスクーリング・メディア授  
業において『通信教育教材』を使用する場合にのみ記入してく  
ださい。

\*『スクーリングの手引』における各講座の教科書(参考書)欄  
で指定されているもの、例えば、「**通材**『政治学 0023』通信  
教育教材(教材コード 000279)」と記載されている教材を購入  
する場合は「政治学」を科目名として記入してください(受講  
科目ではなく**指定された教材の科目名を記入**)。

会計課領収印

## 「通信教育教材」の購入について

『通信教育教材』を購入する場合、「教材購入願」を使用し、以下の手続きにしたがって教材を入手してください。また「教材購入願」で購入できる教材は、『通信教育教材』のみです。スクーリング等で教科書・参考書に指定された市販教材（市販本）は丸沼書店又はお近くの書店で購入してください。

### 1 購入手続

#### ① 窓口手続

「教材購入願」に必要事項を記入し、現金を添えて会計課窓口（本館1階）へ提出してください（なるべく釣り銭のないようにしてください）。

#### ② 郵送手続

現金書留又は為替が利用できます。

##### (1) 現金書留での購入

「教材購入願」と合計金額分の「現金」を現金書留封筒にて会計課あてに送付してください。その際、必ず釣り銭のないようにしてください。

注意：普通郵便の中に現金を封入することは、郵便法によって禁止されています。

また、郵便事故による補償もありませんので、必ず現金書留を利用してください。

##### (2) 為替での購入

「教材購入願」と合計金額分の「定額小為替証書」又は「普通為替証書」を会計課あてに送付してください。

注意：郵便事故防止のため、なるべく簡易書留や特定記録郵便を利用して下さい。  
為替には何も記入せず送付してください。

### 2 教材購入対象者

- ① 面接授業（スクーリング）、メディア授業で「通信教育教材」を使用する場合
- ② 教材を紛失した場合
- ③ 学習する際に、参考として使用する場合
- ④ 教材が改訂された場合

### 3 注意事項

- ① 手続後の変更・取り消しはできません。また、返金もしませんので注意してください。
- ② 教材は大学に登録されている住所へ発送し、**窓口ではお渡ししません。**  
教材が手元に届くまでに約1週間要しますので、特にスクーリング、メディア授業で使用する場合は「受講許可通知書」を確認した後、速やかに購入手続きをしてください。
- ③ 「教材購入願」で入手した教材でリポート提出はできません。リポート+科目修得試験方式、スクーリング併用試験方式、メディア授業併用試験方式で単位修得する場合は、履修登録（履修届・追加科目履修届）で教材を入手してください。

平成 年 月 日

日本大学通信教育部 御中  
(提出先:会計課)

## 追加科目履修届

学 生 番 号						氏 名	フリガナ
連絡先電話番号(携帯電話可)						- - -	

(太線枠内にボールペンで記入してください)

(平成 年度)

\*「裏面」の注意事項を熟読の上、記入してください。

科目コード	科 目 名	単位	合計科目  _____科目
1			
2			
3			
4			
5			
_____ 単位 × 1,500 円			合計単位数  _____ 単位
			合計金額 _____ 円

\*科目コードは『教材要綱』で確認し、必ず記入してください。

\*「追加科目履修届」は大学が受理した日の学年で登録されます。

上級学年の科目を履修する場合は注意してください。

【裏面〈注意〉④※印 参照】

\*新入生の登録は前期生は4月1日から、後期生は10月1日からになります。

会計課領収印

## 「追加科目履修届」提出上の注意

「1学年指定配本」以外の科目や「履修届」で履修登録していない科目を、科目修得試験またはスクーリング・メディア授業併用試験方式で受験する場合は、この「追加科目履修届」用紙を提出してください。

### ○ 追加履修費

1単位につき1,500円（例：4単位科目は4単位×1,500円=6,000円）。

### ○ 手続方法

手続は隨時受け付けています。必要に応じてそれぞれの履修登録締切日までに手続を行ってください。

#### ① 窓口による手続（直接持参による納入）

追加科目履修届用紙と追加履修費（現金）を持参の上、通信教育部の会計課窓口に提出し、手続を行ってください。

#### ② 郵送による手続（郵便小為替による納入）

郵便局で追加履修費（現金）を「定額小為替」又は「普通為替」に換え（手数料が必要）、追加科目履修届用紙と一緒に簡易書留で会計課あてに送付してください。

#### ③ 郵送による手続（現金書留による納入）

追加科目履修届用紙と追加履修費（現金）と一緒に現金書留封筒で、会計課あてに送付してください。

※教材の受け渡しは郵送に限ります。窓口での受け渡しは一切行いません。

なお、教材が手元に届くのは、「追加科目履修届」受理後、約1週間を要します。

### 〈注意〉

#### ① 対象者・科目

- ・「1学年指定配本」以外の科目
- ・「履修届」による配本以外の科目
- ・スクーリングでなければ履修できない科目や、教材を刊行していない科目は履修登録の対象になりません（例：総合科目・演習科目など、『学習要覧』に「※」印を記載の科目、及び教育実習・教育実践指導）。
- ・Dカリキュラム在籍者は、配当学科・学年にも注意してください。
- ・正科生のみ（科目履修生は使用できません）。

#### ② 履修登録の有効期間

履修登録した科目（指定配本科目、履修届・追加科目履修届により配本を受けた科目）は、在籍期間中有効です。

#### ③ 当該科目の所定単位で登録

4単位科目を、スクーリングまたはメディア授業で2単位修得している場合でも4単位として登録してください（所定単位4単位の科目を、2単位のみ登録することはできません）。

#### ④ その他

「追加科目履修届」で登録し、配本された科目の教材は「教材購入願」で購入する必要はありません。

- ・当年度の授業料を納入していない場合は、履修登録できません。
- ・届出後の変更・取り消しはできません。また、返金も行いませんので、慎重に科目を選択してください。
- ・記入に際しては、ボールペンを使用してください。

※追加科目履修届は大学が受理した日の学年で登録されます。現在の学年より、上級学年の配当科目を追加履修する場合は、学年進級時（前期生は4月1日、後期生は10月1日）から登録が可能となります。

また、新入生の場合も同様で、前期新入生は4月1日から、後期新入生は10月1日からの受付となります。受付開始日前に到着した場合は、受理することができず、返送いたしますのでご注意ください。

# 通学定期乗車券発行控

平成 年 月 日

学 科		学 年	学生番号		
大 学 院					
フリガナ				性 別	年 齢
氏 名				男・女	才
現 住 所					
電 話	( )				
通学区間	駅～ 駅				経由
	駅～ 駅				経由

※記入後、学生課に提出すること。

※現住所・通学区間等に変更が生じた場合は学生課に届けること。

※現住所・通学区間等に偽りがあった場合には、学則により懲戒を行う。



## 注意事項

- ※ 通学定期券購入の手続きについては郵送では一切受け付けません。
- ※ 通学区間の「経由」欄には「乗り換えを行う駅名」を記入してください。

例

正しい記入	新橋 駅～ 水道橋 駅	<u>秋葉原</u>	経由
誤った記入	新橋 駅～ 水道橋 駅	<u>総武線</u>	経由



日本大学通信教育部長 殿

## 学割証交付願

下記の事由のため、学割証の交付をお願いします。

記

			平成 年 月 日 申請	
学部	学科（専攻）	学生番号		
氏名			年齢 歳	
現住所	〒 -			
TEL ( )				
申請事由（該当箇所に○を記入してください）				
東京・地方スクーリング（春期） （　　）	開講地	卒業論文面接指導（月日）		
夏期スクーリング（第期）		総合面接試問		
東京・地方スクーリング（秋期） （　　）	開講地	科目修得試験（第回）		
昼間・夜間スクーリング （曜日 時限）		その他（　　）		
乗車区間	自	線 駅	至	線 駅
乗車日	行	年 月 日	帰	年 月 日
必要枚数	_____枚（1枚で往復乗車券購入可能。複数枚の場合は理由を明記すること） ※理由			
利用交通機関	鉄道・バス・その他（　　）		受取方法	窓口・郵送

### 【注意事項】

- ① 科目履修生には、鉄道会社等の規定により発行できません。
- ② 大学主催行事以外（旅行等個人的事由）には使用できません。
- ③ 乗車区間が100kmを超える場合に限り発行します。
- ④ 郵送の場合は、返信用封筒（あて名明記、80円切手貼付）を同封してください。
- ⑤ 1枚で往復乗車券が購入できます。ただし、学割証の有効期間内に限ります。
- ⑥ この交付願では通学定期券の購入はできません。



## 平成 25 年度 託児室利用登録書

平成 年 月 日 申請

学部・学科（専攻）		学部		学科 (専攻)	
学 生 番 号					
氏 名					
住 所		〒 -			
電 話 番 号		自宅 ( )	携帯 ( )		
受 講 予 定 (○で囲む)		第2期 8/6~8	第3期 8/9~11	第4期 8/13~15	第5期 8/16~18
託 児 す る 子 供	氏 名	(フリガナ：) (男・女)			
	生 年 月 日	平成 年 月 日 ( 才)			
	健 康 状 態 (具体的に)				
	※アレルギー等に関しても 記入を願います。				
	既 往 症				
託児予定日 (○で囲む)		8/6(火)・7(水)・8(木)・9(金)・10(土)・11(日)・13(火)・14(水)・15(木)・16(金)・17(土)・18(日)			

・複数名託児希望の場合はこの用紙をコピーして使用してください。



## 滞在先届 平成 25 年度 夏期スクーリング

学 部	学科（専攻）	学 生 番 号							氏 名		
スクーリング期間中滞在先住所（宿泊施設名、知人宅名等もご記入ください。）											
〒 - - - - - 方											
電 話 ( )											
最 寄 駅 [ 駅 ]											
受講期間 第1期 · 第2期 · 第3期 · 第4期 · 第5期 (○で囲む)											
通 学 区 間										学生課受付印	
										↔ 水道橋・神保町・後楽園	
現 住 所											
〒 - - - - -											
TEL ( )											

\* 本届によって得られた情報は、受講者が事故に遭遇した際など、緊急時において大学が各種対応をするために利用します。

----- キ リ ト リ -----

### 注意事項

※記入後にコピーしたものを添えて（計2部必要）受講初日までに学生課窓口に提出してください。  
※郵送では受け付けません。



日本大学通信教育部長 殿

## 休暇依頼状（勧奨状）申込書

スクーリング受講のため休暇依頼状の発行をお願いします。

平成 年 月 日 申請

申 込 者	氏 名			
	学 部		学科（専攻）	
	学 年		学生番号	
	勤務先			
	所属部署			
スクーリング	種 別		開 催 地	
	受講期間			
提出先	勤務先名			
	役職名			
	役職者氏名			

### ＜注意事項＞

- \*スクーリングの受講許可後発行します。
  - \*休暇依頼状に記載する受講期間は、スクーリング開講期間のみとなります。
  - \*送付先を明記した返信用封筒（定形・80円切手貼付）を必ず同封してください。
  - \*勤務先名は正式名称を記入してください。



併せて提出するもの	
全講座辞退→受講許可通知書	
一部講座辞退→受講許可通知書	
返信用封筒（長形3号、350円切手貼付）	

平成25年 月 日

日本大学通信教育部 御中

## 平成25年度夏期スクーリング受講申込辞退願

1 学生番号 \_\_\_\_\_

2 氏名（フリガナ） \_\_\_\_\_

3 連絡先電話番号 \_\_\_\_\_

- 4 辞退内容  全講座辞退（許可通知書記載講座すべてを辞退）  
 （□にチェック）  一部講座辞退（許可通知書記載講座の一部を辞退する場合、  
 辞退講座のみを以下へ記入）

期	講座コード	講座名
1		
2		
3		
4		
5		

5 辞退理由（詳述）

---



---



---

※ 提出期限【教務課必着】7／22（月）

※ (A)スクーリング受講許可通知書兼領収書及び  
 (B)スクーリング受講料等振込依頼書と一緒に送付のこと。

※ 一部講座辞退の場合、350円分の郵便切手（大学からの再送付時の速達郵便料）を貼付した、長形3号（A4判三つ折の用紙が入る大きさ）の返信用封筒（自己の郵便番号・住所・氏名を明記）を同封のこと

※ 辞退手続きは1回しかできません。

教務課受付印	会計課受付印



# 付 錄

## 1 夏期スクーリング宿泊施設の利用案内

夏期スクーリングを受講する際に、宿泊施設の確保あるいは滞在にかかる経費は大切な問題です。大学では、皆さんのが大学近隣の施設にできる限り低料金で宿泊できるよう、下記のとおり宿泊施設を紹介します。

なお、掲載の宿泊施設に予約する際には、必ず「日本大学通信教育部夏期スクーリング受講生」であることを申し出てください。申し出がない場合には、通常料金となります。

### ① 学生寮

株式会社 共立メンテナンスー日本大学通信教育部生のみに限定宿泊ー

〒101-8621 東京都千代田区外神田2-18-8 日本大学学生寮事務局

申込電話番号 (03) 5295-7791

受付時間 午前9時～午後6時 日大スクーリング担当

※ 土日・祝日の受付はしません。

#### (1) 申込方法

申込みに関しては、すべて電話で受け付けます。全日程6月10日(月)午前9時から行います。

#### (2) 申込みの流れ

(ア) エントリー 電話で期間(利用日と利用日数)・名前・連絡先(電話・携帯等)を伝えます。

(イ) 抽 選 業者から、申込日又は翌日に電話で抽せんの結果を連絡します。宿泊できる場合には、その際、書類の送付先を聞かれます。

(ウ) 書類発送 業者より入館書類(振込用紙・許可証・利用案内・地図等)が送られます。

(エ) 振込み 業者より送付される案内書にしたがって、所定の金額を振り込みます(**入金後のキャンセルはできません**)。

(オ) 入館 指定会館にて入館証明証と引き換えに居室の鍵が渡されます。

※ エントリー時には、後で日程の変更がないよう注意してください。

※ 会館と部屋については、業者が決定します(会場に通学できる範囲で案内します)。

※ 居室数は少数です。満室になり次第締め切ります。

※ **入館は午後4時から午後7時の間に、退館は午前10時までです。時間外の入館や、退館時間の延長は原則できません。**

※ 日曜日・祝祭日・お盆期間[8/10(土)～8/15(木)予定]は、各会館の管理人が休暇中のため、各種対応はできません。

●居室の設備 ベッド／机／イス／エアコン／電話／書棚／洋服タンス／電気スタンド／カーテン／テレビ／アンテナ／布団(一部の会館に電話設備がない場合があります)

●共用の設備 食堂／バスルーム／洗面所／トイレ／ランドリールーム／防火・消火・放送設備など

●共用の備品 冷蔵庫／アイロン／掃除機など

#### (3) 費用 1泊 5,040円(税込)

費用には、月曜～土曜日の食事代(朝夕2食)がサービスとして付いています。ただし、日曜日・祝祭日・お盆期間[8/10(土)～8/15(木)予定]は食事が提供されませんが、金額は変わりません。

※ 居室の利用費、食事代(月曜～土曜)、電気代、布団リース費が含まれています。

※ その他の金額は、電話使用料が退出時に精算となります。

## ② 寮（ドミトリー）

問合せ・申込先 トラストシステムサービス株式会社

TEL (03) 3945-6548 (月～金)

### 【トラスティ田無】男子専用単身寮

〒188-0004 東京都西東京市西原町 5-2-5

TEL (042) 468-8008

【交通案内】西武新宿線「田無」駅下車徒歩 17 分、西武池袋線「ひばりヶ丘」駅からバス 8 分徒歩 1 分

【料 金】シングルタイプ 3,150 円 (税込 朝夕 2 食付)

【室 数】5 室

【設 備】共用：大浴場・食堂・コインランドリー・自販機・トイレ

居室：エアコン・電話・机・家具付・インターネット専用回線

※ 大浴場は、平日 22 時間、日曜・祝日は 24 時間入浴可。

※ 日曜・祝日及び 8 月 11 日 (日) ~ 16 日 (金) は、食堂を営業しません。

クレジットカード：不可

### 【コンフィアンス南葛西－I】男女単身寮

〒134-0085 東京都江戸区南葛西 5-7-6

TEL (03) 3804-7211

【交通案内】東京メトロ東西線「葛西」駅下車徒歩 18 分、JR 京葉線「葛西臨海公園」駅下車徒歩 14 分

【料 金】シングルタイプ 4,200 円 (税込 朝夕 2 食付)

【室 数】5 室

【設 備】共用：大食堂、自販機、コインランドリー

居室：バス・トイレ・エアコン・電話・冷蔵庫・机

※ 日曜・祝日及び 8 月 11 日 (日) ~ 16 日 (金) は、食堂を営業しません。

クレジットカード：不可

## ③ その他の

### 臼井ホーム（ホームステイ）

〒156-0044 東京都世田谷区赤堤 5-11-20

TEL・FAX (03) 3328-2405

【交通案内】京王線「下高井戸」駅下車徒歩 7 分

日本大学文理学部へ徒歩 3 分

【料 金】シングルタイプ (3 室) 3,900 円 (全日程朝夕 2 食付),

【設 備】(1 階に) 風呂・(2 階に) トイレ・冷房・テレビ・冷蔵庫・電子レンジ・ドライヤー・机

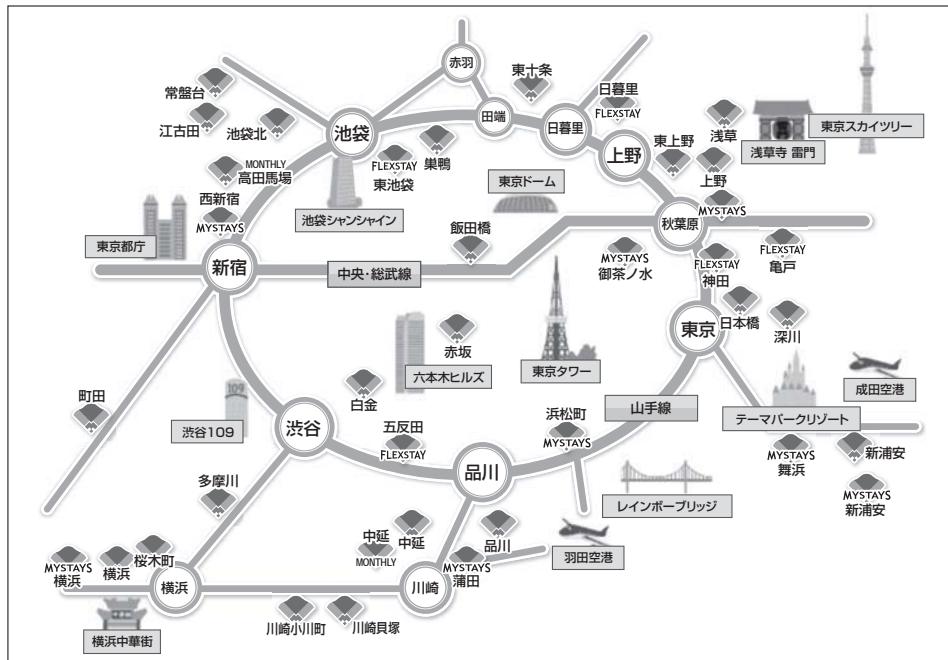
洋服ダンス・洗面所・ベッド・インターネット接続 OK

※ 一般的の住居（臼井氏宅）を、ご好意により安く提供して頂いていますので、常識の範囲を超えた夜中の出入りや、連絡なしでの食事キャンセル等は固く慎んでいただきます。

## フレックス・イン (旧ウィークリーマンション東京)

### 【立地】

- ・高田馬場・飯田橋など、東京23区内山手線沿線を中心に30か所以上のネットワーク。  
皆様に快適な滞在空間をご用意しています。



### 【料金】

- ・おひとり様 1泊あたり、7泊～29泊利用の場合 4,400円より・30泊以上利用の場合 3,900円よりご案内しています（いずれも税込・光熱費別）。
- ・1泊～6泊のご利用の場合は、シングル1泊7,200円～・ツイン1泊9,900円～（税込・光熱費含む）となります。ご滞在6泊以下のご予約については、チェックイン日の1週間前からの受付になります。
- ・日本大学スクーリング受講生である旨お伝え頂ければ、上記通常利用料金より5%割引（なお、他の割引との併用はできません）。

### 【設備】

- ・テレビ、電話、冷蔵庫、エアコン、ベッド及び料理道具等の生活必需品が完備。
- ・インターネット回線常時接続無料（一部施設を除く）。
- ・館内にはフロントがあり 24 時間有人管理体制。またエントランスは暗証番号付きオートロックシステムを採用しているため安心。
- ・中長期滞在者には、コインランドリー、電子レンジのレンタル及びコピー・FAX 等のサービスがある。

### 【申込】

- ・予約、お問い合わせは電話にて下記予約センターまで。
- ・電話の際は日本大学スクーリング受講生である旨伝えること。

株式会社フレックスステイ・ホテルマネジメント

予約センター 03-3434-3939 (受付時間：9時～18時・平日のみ)

ホームページ <http://www.flexstayhm.jp>

## 東京セントラルユースホステル

スクーリング特別プログラム

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸 1-1  
セントラルプラザ 18 階

### 【交通案内】

JR 中央線各駅 飯田橋駅

西口下車 徒歩 1 分

東京メトロ、都営地下鉄 飯田橋駅

B2b 出口から直結

### 【利用料金】

4人室× 25 室

8人室× 2 室

10人室× 2 室

全室男女別相部屋（二段ベッド）、バス・トイレ・洗面共同 ベッドメイクはセルフサービス

会員料金 3,360 円

コインランドリー、ロビーに Wi-Fi 有

※「スクーリング特別プログラム」はユースホステルの会員対象です。会員でない方はご入会が必要となります（当日入会可 料金 2,500 円で 1 年間、世界中のユースホステルで利用可）。

※スクーリングの宿泊料金は当日お支払いください。

※朝食は 500 円で、和洋のバイキングとなります。ただし、提供のない日もあります。

### 【申し込み方法】

電子メールのみ

tcyh@jyh.gr.jp

表題に「日本大学スクーリング」と記載してください。

宿泊申込必要事項

1. 大学名
2. 氏名（フリガナ）
3. 郵便番号
4. 住所
5. 電話番号・携帯番号
6. 宿泊開始日及び日数（チェックイン〇月〇日～チェックアウト△月△日 ×泊×日）

### 【備 考】

寝室は4人～10人の男女別相部屋となります。可能な限り同じスクーリングの方と同室にいたします。

また学習室として、会議室、食堂を可能な範囲で開放いたします。

施設の概要などについては、ホームページをご参照ください。

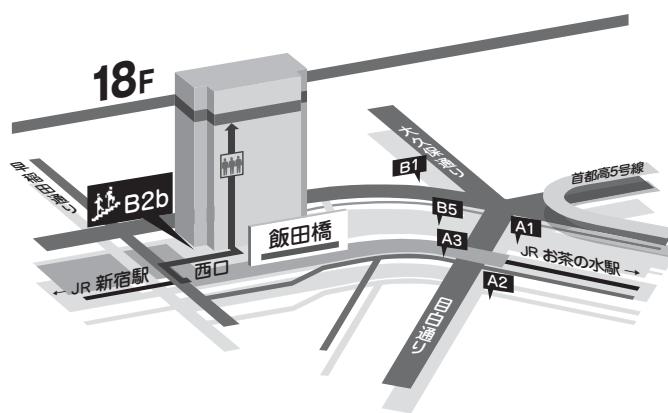
<http://www.jyh.gr.jp/tcyh/>

### 【問合せ】

東京セントラルユースホステル

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸 1-1 セントラルプラザ 18 階

電話 03-3235-1107 FAX 03-3267-4000



#### ④ ホテル・旅館等

(※ 地図の銀行は、旧名称となっている場合があります)

[新宿・渋谷地区] 通信教育部までの通学時間 20~30分以内

##### 東京ビジネスホテル

〒160-0022 東京都新宿区新宿 6-3-2

TEL (03) 3356-4605 FAX (03) 3356-4606

シングルA	45室	5,800円	
タイプ	室数	料金（税・サ込）	特記事項
シングルB	114室	4,500円	バス・トイレ共用
ツイン	20室	土・祝前 10,800円 平日・日・祝 9,800円	
トリプル	14室	13,950円	
フォース	14室	17,100円	



交 通 案 内 都営地下鉄新宿線「新宿三丁目」駅、東京メトロ丸ノ内線「新宿御苑前」駅下車徒歩 7 分  
客 室 設 備 バス・トイレ・洗面用具・冷房・テレビ・電話・机・大浴場（男女別）あり。ドライヤー、ズボンプレッサー・アイロンはフロント貸出し（無料）。コインランドリーが館内にあります。  
※ 新宿区立四谷図書館まで徒歩約 10 分

クレジットカード 利用可 VISA UC MC JCB AMEX

朝 食 735円（バイキング）年中無休営業

夕 食 480円～（お茶漬）※その他丼物あり 定休日 日曜・祝日

※電話予約の際スクーリングでのご宿泊とお申し出をお願いします。

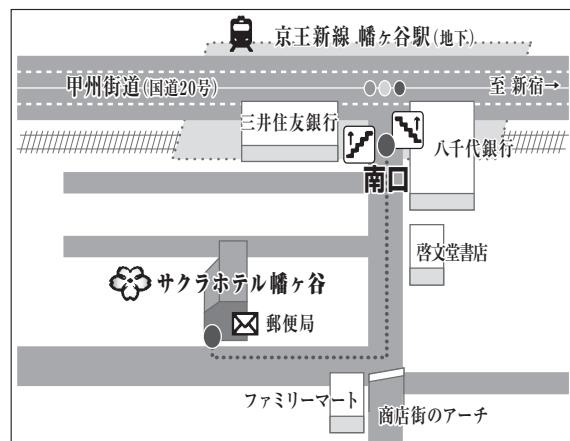
##### サクラホテル幡ヶ谷

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷 1-32-3

TEL (03) 3469-5211 FAX (03) 3468-4307

<http://www.sakura-hotel.co.jp/jp/hatagaya>

タイプ	室数	料金（税・サ込）
シングル	67室	6,930円
ツイン	6室	11,550円
トリプル	2室	14,700円



交 通 案 内 京王新線「幡ヶ谷」駅下車徒歩 2 分、小田急線「代々木上原」駅下車徒歩 15 分  
水道橋まで 20 分（京王新線「幡ヶ谷」駅→「神保町」駅→都営三田線「水道橋」駅）

客 室 設 備 バス・トイレ・洗面用具・冷房・テレビ・内線電話・冷蔵庫（空）・ドライヤー・机・コインランドリーあり。ズボンプレッサー、ティーサーバー、電気スタンドは貸出し。全室無料インターネット利用可（LAN ケーブル）。無料 WiFi 全室完備。

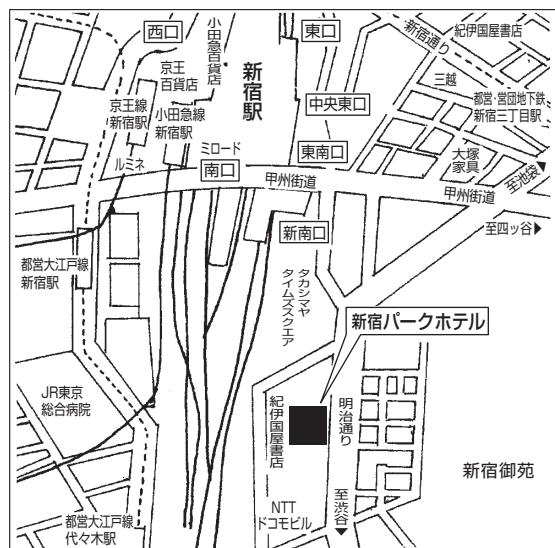
クレジットカード 利用可 VISA MC JCB AMEX

朝 食 350円 1F サクラカフェ（AM5:00～AM11:00）

## 新宿パークホテル

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-27-9  
TEL (03) 3356-0241 FAX (03) 3352-2733  
<http://shinjukuparkhotel.co.jp>

タイプ	室数	料金（税・サ込）
シングル A	78 室	7,900 円
シングル B	83 室	8,400 円
シングル C	8 室	10,400 円
ツイン	30 室	13,800 円
和室	3 室	24,800 円 (4 名)



交 通 案 内 JR「新宿」駅新南口下車徒歩 3 分, JR「代々木」駅東口下車徒歩 4 分

客 室 設 備 バス・トイレ・洗面用具・冷房・テレビ・電話・冷蔵庫・ドライヤー・机あり。全室インターネット利用可。電気ポット・ティーバッグ・コインランドリーあり。

クレジットカード 利用可 VISA UC DN JCB AMEX

朝 食 650 円 (洋食), 800 円 (和食)

## ホテルたてしな

〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-8-6  
TEL (03) 3350-5271 FAX (03) 3350-5275  
<http://tateshina.co.jp>

タイプ	室数	料金（税・サ込）
シングル A	29 室	6,510 円
シングル B	21 室	6,825 円
ツイン	15 室	11,550 ~ 13,650 円
和室	2 室	12,600 円 (2 名 1 室料金)

(夏期スクーリング特別料金)

交 通 案 内 都営地下鉄新宿線「新宿三丁目」駅下車徒歩 3 分, 東京メトロ丸の内線「新宿三丁目」駅下車徒歩 6 分, JR「新宿」駅下車徒歩 13 分

客 室 設 備 バス・トイレ・洗面用具・冷房・テレビ・電話・冷蔵庫・ドライヤー・机あり。全室でインターネット利用可。

クレジットカード 利用可 VISA UC DN JCB AMEX

朝 食 840 円 (税込)

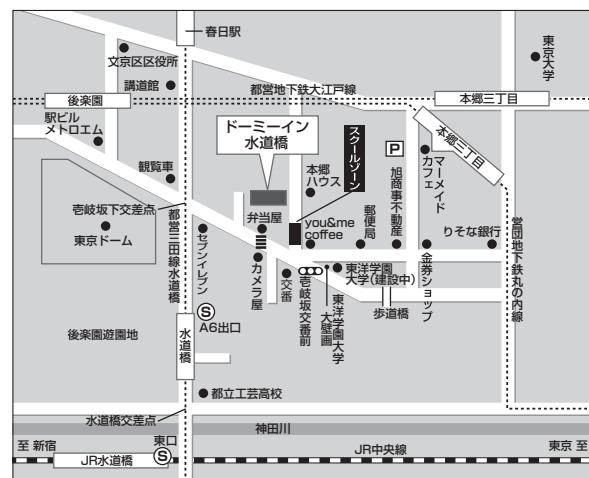


[神田・御茶ノ水・水道橋周辺地区] 通信教育部までの通学時間 5 ~ 30 分以内

**ドーミーイン水道橋**

〒113-0033 東京都文京区本郷 1-25-27  
TEL (03) 3815-4790 FAX (03) 3815-4791  
<http://www.hotespa.net/hotels/suidobashi>

タイプ	室数	料金 (税・サ込)
プチシングル	7 室	7,000 円
シングル	35 室	8,000 円
スタジオツイン	18 室	14,400 円



交 通 案 内 JR「水道橋」駅東口下車徒歩 7 分, 都営地下鉄三田線「水道橋」駅下車徒歩 3 分

客 室 設 備 客室設備 バス・トイレ・洗面用具・冷暖房・テレビ・電話・冷蔵庫・ドライヤー・机・コインランドリーあり。ビデオ・ズボンプレッサー・LAN ケーブル無料貸出し。

クレジットカード 利用可 VISA UC DC MC JCB AMEX NICOS OMC UFJ Saison AEON Diner's Club

朝 食 1,100 円 (和洋食のバイキング)

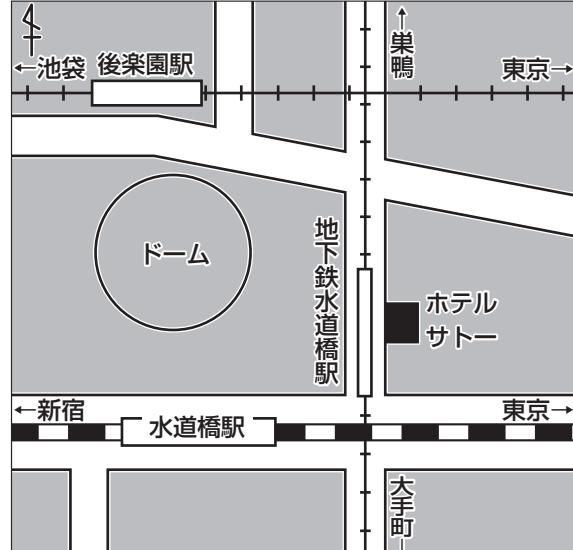
※ 男女別人工炭酸泉大浴場「楽楽の湯」(サウナ付) あり。

**ホテルサトー東京**

〒113-0033 東京都文京区本郷 1-4-4  
TEL (03) 3815-1133 FAX (03) 3815-1139  
<http://www.hotel-satoh.co.jp>

タイプ	室数	料金 (税・サ込)
シングルA	9 室	6,000 円
シングルB	44 室	6,500 円
ツイン	15 室	9,800 円
トリプル	6 室	14,000 円
和室	6 室	8,700 ~ 18,000 円 (1名~4名)

※ 割引料金にて受付



交 通 案 内 JR・都営地下鉄三田線「水道橋」駅下車徒歩 1 分

客 室 設 備 バス・トイレ・洗面用具・冷房・テレビ・電話・冷蔵庫・ドライヤー・机あり。ズボンプレッサーは貸出し。インターネット 有線LAN モデム無料貸出し

クレジットカード 利用可 VISA UC DN DC MC JCB AMEX

朝 食 500 円

水道橋グランドホテル

〒113-0033 東京都文京区本郷 1-33-2  
TEL (03) 3816-2101 FAX (03) 3812-2332  
<http://www.hatago.co.jp>

タイプ	室数	料金（税・サ込）
シングルA	67 室	7,000 円
シングルB	73 室	8,000 円
ツイン	43 室	13,000 円

※ 予約時スクーリングプランと申し込むと  
全タイプ割引料金にて受付



交 通 案 内 JR「水道橋」駅・東京メトロ丸の内線・南北線「後楽園」駅下車徒歩3分

客室設備 1Fロビーにインターネット。近くにコンビニあり。バス・洗浄器付トイレ・洗面用具・冷房・テレビ・ビデオ・電話・マイナスイオンドライヤー・加湿器・机あり。ズボンプレッサーは貸出し。電気スタンド貸出し。

クレジットカード 利用可 VISA DN MC JCB AMEX

朝 食 1,050 円 (税込)

※ 一部客室にてインターネット利用無料（リクエストの上、パソコンは持参ください）。

※ 噫煙ルームは、リクエストになります。

## ヴィラフォンテーヌ神保町

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-30

TEL (03) 3233-9990 FAX (03) 3233-9998  
<http://www.hvf.jp>

タイプ	室数	料金（税・サ込）
エコノミー	10 室	8,500 円 (通常 9,500 円)
スタンダード	34 室	8,500 円 (通常 10,000 円)
ヒーリング ルーム	シングル 26 室	8,500 円 (通常 11,500 円)
ツイン	2 室	15,000 円

※連泊プラン：エコノミー、スタンダード、ヒーリングルーム1名1泊あたり8,000円

交通案内 JR「水道橋」駅東口下車徒歩7分、都営地下鉄新宿線・三田線・東京メトロ半蔵門線「神保町」駅A5番出口下車徒歩3分

客室設備 バス・トイレ・洗面用具・冷房・テレビ・電話・冷蔵庫・ドライヤー・机・コインランドリー(有料)あり。ズボンプレッサーは貸出し。全室LAN回線無料(光ファイバー方式)。  
※全室16m<sup>2</sup>のゆとりの空間にダブルベットとゆったりサイズのバスルーム  
※ヒーリンググリームは低反発マット使用

クレジットカード 利用可 VISA DN MC JCB AMEX

朝 食 無料サービス（部屋食可）



## ヴィラフォンティーヌ九段下

〒101-0065 東京都千代田区西神田2-4-4  
TEL (03) 3222-8880 FAX (03) 3222-8868  
<http://www.hvf.jp>

タイプ	室数	料金（税・サ込）
スタンダード	72 室	8,500 円 (通常 10,600 円)
ヒーリングルーム	60 室	8,500 円 (通常 12,000 円)
レディースルーム	12 室	8,500 円 (通常 12,000 円)

※連泊プラン：スタンダードルーム、ヒーリングルーム、レディースルーム1名1泊あたり 8,000 円

交 通 案 内 JR「水道橋」駅西口下車徒歩 7 分、都営地下鉄新宿線・三田線・東京メトロ半蔵門線「神保町」駅 A2 出口下車徒歩 3 分。  
東京メトロ東西線・半蔵門線・新宿線・「九段下」駅 5 番出口徒歩 6 分

客 室 設 備 バス・トイレ・洗面用具・冷房・テレビ・電話・冷蔵庫・ドライヤー・ズボンプレッサー・机・コインランドリーあり。全室 LAN 回線無料（光ファイバー方式）。  
※全室約 16m<sup>2</sup>のゆとりの空間にダブルベットとゆったりサイズのバスルーム  
※ヒーリングルームは低反発マットレス使用。

クレジットカード 利用可 VISA DN MC JCB AMEX

朝 食 無料サービス



## サクラホテル神保町

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-21-4  
TEL (03) 3261-3939 FAX (03) 3264-2777  
<http://www.sakura-hotel.co.jp/jp/jimbocho>

タイプ	室数	料金（税・サ込）
シングル	8 室	6,090 円
	6 室	7,140 円
ツイン	8 室	8,400 円
トリプル	10 室	3~5名までのグループルーム 3,780 円 (一人あたりの料金)



交 通 案 内 都営地下鉄新宿線・三田線・東京メトロ半蔵門線「神保町」駅下車徒歩 2 分、JR「水道橋」駅下車徒歩 15 分

客 室 設 備 冷房・テレビ・電話・机・コインランドリーあり。ドライヤー・アイロン。  
バス・トイレは各階共通。室内インターネット利用無料（パソコンは持参）。

クレジットカード 利用可 VISA UC DN DC MC JCB AMEX

朝 食 320 円 サクラカフェ (AM5:00 ~ AM11:00)

朝 食 500 円

※ 客室には浴衣とフェイスタオルのサービスあり。

※ 洗面用具はフロントにて販売。

## 東京グリーンホテル後楽園

〒112-0004 東京都文京区後楽1-1-3  
TEL (03) 3816-4161 FAX (03) 3818-2406  
<http://www.greenhotel.co.jp>

タイプ	室数	料金（税・サ込）
シングル	100室	7,700円
ツイン	8室	15,400円

※ 全タイプ割引料金にて受付

※ 全て朝食付

※ ルームチャージなし



交 通 案 内 JR「水道橋」駅下車徒歩1分、都営地下鉄三田線「水道橋」駅下車徒歩5分

客 室 設 備 バス・シャワー付トイレ・洗面用具・冷房・テレビ・電話・ドライヤー・机・冷蔵庫あり。  
近くにコンビニエンスストアあり。ズボンプレッサー貸出し。インターネット接続無料。

クレジットカード 利用可 VISA UC DN DC MC JCB AMEX

## セントラルホテル

〒101-0047 東京都千代田区内神田3-17-9  
telフリーダイヤル (0120) 102-844  
FAX (03) 3256-6250  
<http://www.pelican.co.jp/centralhotel/>

タイプ	室数	料金（税・サ込）
シングルA	87室	5,200円 バス・トイレ共同
シングルB	12室	5,880円 バス・トイレ付
ツイン	9室	7,300円 バス・トイレ共同
トリプル	1室	9,660円 バス・トイレ共同



交 通 案 内 JR・東京メトロ銀座線「神田」駅下車徒歩1分

客 室 設 備 洗面用具・冷房・テレビ・電話・机あり、ドライヤー・ズボンプレッサーは貸出し。男女大浴場完備。

クレジットカード 利用可 VISA UC DN DC MC JCB AMEX

朝 食 前日売り 980円、当日売り 1,050円

※姉妹ホテル「グランドセントラル」(徒歩2分)

1F カフェレストラン「茶空楽」での食事。

## グランドセントラルホテル

〒101-0048 東京都千代田区神田司町 2-2  
 TEL (03) 3256-3211 (代)  
 FAX (03) 3256-3210  
<http://www.pelican.co.jp/grandcentralhotel/>

タイプ	室数	料金（税・サ込）
シングル A/B	98 室	6,900 円
ツイン	40 室	11,000 円

\* スクーリング受講生は、上記割引料金にて受付。  
 通常料金はシングル 9,345 円より、ツイン 13,860 円より。

交通案内 JR「神田」駅下車徒歩 3 分、東京メトロ丸の内線「淡路町」駅下車徒歩 4 分

客室設備 バス・洗浄器付トイレ・洗面用具・冷房・テレビ・電話・冷蔵庫・ドライヤー・机・コインランドリー(地下 1 階)・宅急便あり。ズボンプレッサー・電気スタンド貸出し。アイロン・レンタルパソコン(有料)。

クレジットカード 利用可 VISA UC DN DC JCB AMEX

朝 食 前日売り 980 円、当日売り 1,050 円

カフェレストラン「茶空楽」

平 日 AM7:00 ~ PM 6:00

土・日 AM7:00 ~ AM10:30 (朝食のみ)



## ニューセントラルホテル

〒101-0046 東京都千代田区神田多町 2-7-2  
 TEL フリーダイヤル (0120) 102-829  
 FAX (03) 3256-3219  
<http://www.pelican.co.jp/newcentralhotel/>

タイプ	室数	料金（税・サ込）
シングル	269 室	バス(シャワー)無・トイレ付 (朝食付) 6,500 円



交通案内 JR・東京メトロ銀座線「神田」駅下車徒歩 2 分、東京メトロ丸の内線・都営地下鉄新宿線「淡路町」・「小川町」駅下車徒歩 2 分

客室設備 ツインのみバス(シャワー)・トイレ・洗面用具・冷房・テレビ・電話・机・コインランドリー(地下 1F) あり。冷蔵庫は一部あり。スタンド・ドライヤー・ズボンプレッサーは貸出し。サウナ付大浴場地下 1F (男女別) あり。宅配便サービスあり。全室有線 LAN 設置。  
 ※ 近くにコンビニエンスストアあり。

クレジットカード 利用可 VISA UC DN DC MC JCB AMEX

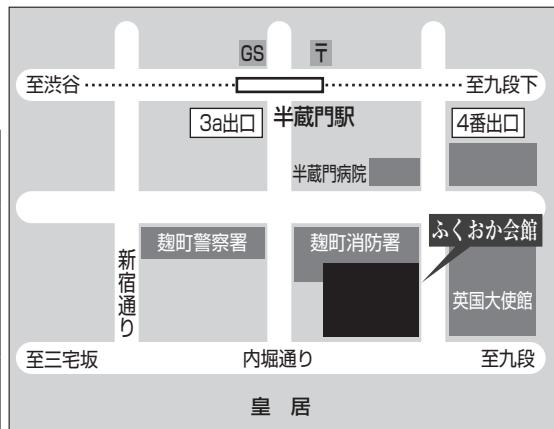
朝食会場は当館 2 階「NC スペース」にて

AM6:30 ~ AM9:30

## ふくおか会館

〒102-0083 東京都千代田区麹町1-12  
TEL (03) 3265-3171 FAX (03) 3222-6509  
<http://www.sky-hotel.jp/fukuoka>

タイプ	室数	料金（税・サ込）
シングル	77室	6,000円 14m <sup>2</sup> セミダブルベット
シングル (身障者用ルーム)	1室	6,000円
ツイン	6室	15,000円～17,000円 ツインA 19m <sup>2</sup> ツインB 28m <sup>2</sup>



交 通 案 内 東京メトロ半蔵門線「半蔵門」駅下車徒歩4分、東京メトロ有楽町線「麹町」駅下車徒歩9分、JR中央線「四谷」駅下車バス／晴海埠頭行「半蔵門」下車徒歩2分

客 室 設 備 バス・トイレ・洗面用具・冷房・テレビ・電話・ドライヤー・机あり。2Fに自販機コーナー・無料給茶機設置・禁煙室有り。ズボンプレッサー貸出し。

クレジットカード 利用可 VISA UC DN DC JCB AMEX

朝 食 950円

夕 食 1,500円～

## 浅草橋ビジネスホテル

〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-11-9  
TEL (03) 3865-4747 FAX (03) 3865-4848  
<http://www.abh.co.jp/>

タイプ	室数	料金（税・サ込）
シングル	69室	5,200円
ツイン	12室	8,800円

※ 夏期スクーリング受講生への特別料金で受付。

交 通 案 内 JR総武線・都営地下鉄浅草線「浅草橋」駅下車徒歩2分

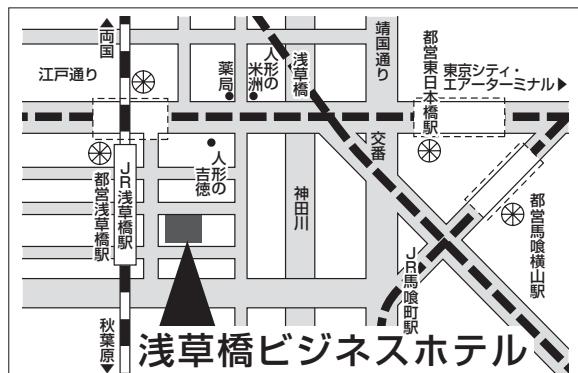
客 室 設 備 バス・トイレ・洗面用具・冷房・テレビ・電話・冷蔵庫・机あり。ズボンプレッサー。貸出パソコンあり。LAN接続全室対応（無料）。一部禁煙室あり。コインランドリー（有料）。ドライヤー全室完備。

※ 近くにコンビニエンスストアあり。台東図書館浅草橋分館まで徒歩5分。

クレジットカード 利用不可

朝 食 300円（前日予約制）

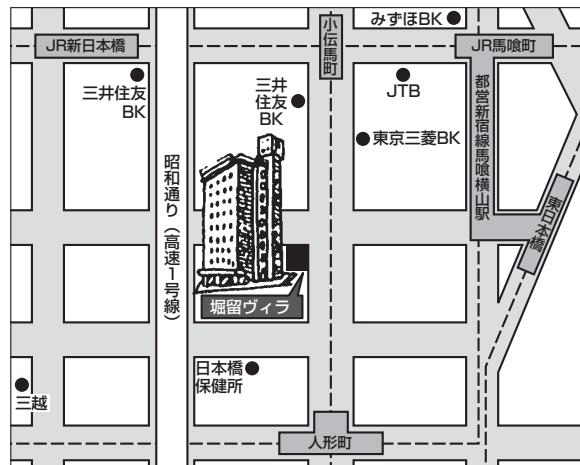
夕 食 ルームサービスも利用できます  
PM5:00～PM9:00まで  
土・日・祝日はお休み



## ビジネスホテル堀留ヴィラ

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 1-10-10  
 TEL (03) 3664-0840 FAX (03) 3664-0320  
<http://www.horidomevilla.jp/>

タイプ	室数	料金（税・サ込）
シングル	84 室	スクーリング価格 5,900 円
ツイン	4 室	スクーリング価格 10,000 円



交 通 案 内 都営地下鉄新宿線「馬喰横山」駅下車徒歩 5 分, 東京メトロ日比谷線「人形町」駅下車徒歩 3 分

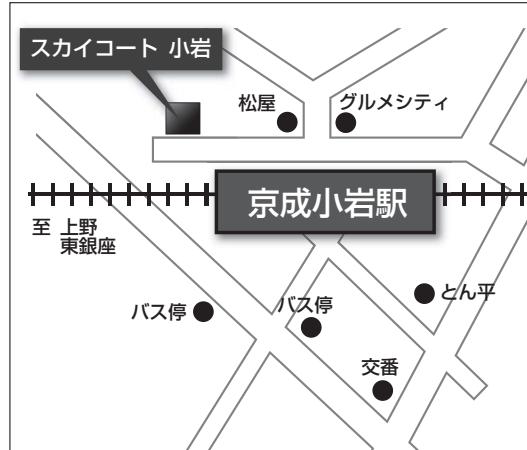
客 室 設 備 バス・シャワートイレ・洗面用具・冷房・テレビ・ドライヤー・机・冷蔵庫・コインランドリー(有料)あり。ズボンプレッサーは貸出し。※インターネット接続全室完備  
 ※ 近くにコンビニエンスストア多数あり。日本橋図書館まで徒歩 10 分。

クレジットカード 利用可 VISA MC

## ホテルスカイコート小岩

〒133-0051 東京都江戸川区北小岩 6-11-4  
 TEL (03) 3672-4411 FAX (03) 3672-4400  
<http://www.skyc.jp/hotel/koiwa.htm>

タイプ	室数	料金（税・サ込）
シングル	66 室	5,500 円
ツイン	11 室	9,450 円



交 通 案 内 京成線「小岩」駅下車徒歩 1 分, JR 総武線「小岩」駅下車徒歩 20 分

客 室 設 備 バス・トイレ・洗面用具・冷房・テレビ・電話・冷蔵庫・ドライヤー・机。ズボンプレッサー台数限定貸出し。コインランドリーは近隣 3 分以内にあり。フロントロビー内にインターネットコーナーあり。

クレジットカード 利用可 VISA UC DN DC MC JCB AMEX

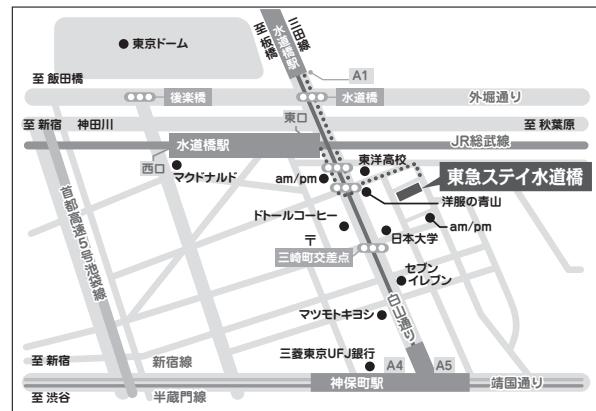
朝 食 800 円

※ 食事と駐車場の予約は、電話にて確認すること。

### 東急ステイ水道橋

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-1-12  
 TEL (03) 3293-0109 FAX (03) 3293-0109  
 メールアドレス : suidobashi@tokyustay.co.jp  
<http://www.tokyustay.co.jp/hotel/SUI/>

タイプ	室数／面積	料金（税・サ込）
シングル A	120室 / 15m <sup>2</sup>	8,000円 1泊朝食付き (通常 9,500円)



※日本大学通信教育部夏期スクーリング受講生と予約の際申し出ること。

※電話・FAX・Eメールで24時間申込可能。

※喫煙又は禁煙部屋の希望を申し出ること。

交通案内 JR「水道橋」駅 東口から徒歩3分、都営三田線 水道橋駅 A1出口から徒歩4分、都営三田・新宿線 東京メトロ半蔵門線「神保町」駅 A5出口から徒歩8分

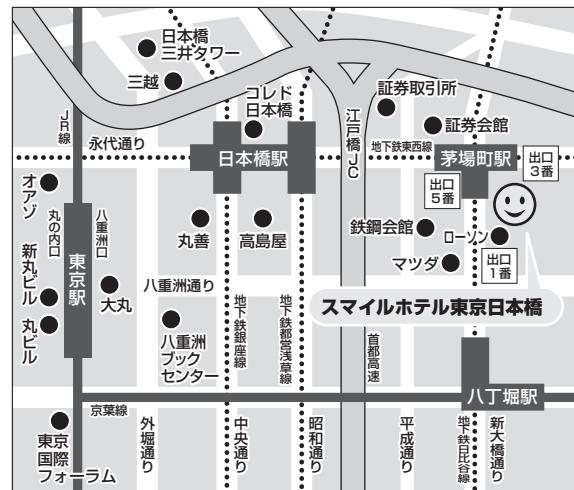
客室設備 バス・シャワートイレ・洗面用具・冷暖房・液晶テレビ・電話・冷蔵庫・電子レンジ・洗濯乾燥機・ドライヤー・机・ナイトウエア・セーフティーボックス・インターネット(LAN)  
 は使用料・通信費無料  
 ※ゆったりサイズのバスルーム

クレジットカード 利用可 VISA UC DN DC MC JCB AMEX

### スマイルホテル東京日本橋

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-13-5  
 TEL (03) 3668-7711 FAX (03) 3668-7719  
<http://www.smile-hotels.com>

タイプ	室数	料金（税・サ込）
シングル	116室	7,500円 (通常 9,450円)
ツイン	24室	12,000円 (通常 14,490円)
トリプル	3室	15,000円 (通常 18,480円)



交通案内 東京メトロ東西線「茅場町」出口から徒歩1分

客室設備 バス・シャワートイレ・洗面用具・冷房・テレビ・電話・冷蔵庫・ドライヤー・加湿空気清浄機全室完備・ロングパジャマ・机・コインランドリーあり。  
 アイロン・ズボンプレッサーは貸出  
 高速インターネット無料接続サービス  
 ※2011年1月全館リニューアル・ホテル近隣にコンビニ・飲食店多数あり。

クレジットカード 利用可 VISA UC DN DC MC JCB AMEX

朝 食 朝食バイキング 前売840円・当日売1,000円 AM7:00～AM9:00

## スマイルホテル浜松町

〒105-0014 東京都港区芝1-8-18  
TEL (03) 5476-2211 FAX (03) 5476-2210  
<http://www.smile-hotels.com>

タイプ	室数	料金（税・サ込）
スタンダード	24 室	8,800 円 (通常 13,500 円)
デラックス シングル	16 室	9,800 円 (通常 15,500 円)



交通案内 JR・東京モノレール線「浜松町」より徒歩8分  
地下鉄都営浅草線「大門」出口から徒歩8分

客室設備 バス・シャワートイレ・洗面用具・冷房・テレビ・電話・ミニキッチン・冷蔵庫・電子レンジ・ドライヤー・加湿器・ナイトウェア・机・コインランドリー・加湿機・空気清浄機あり。  
アイロン・ズボンプレッサーは貸出  
高速インターネット無料接続サービス

クレジットカード 利用可 VISA UC JCB AMEX

※ 3泊以上のご利用者には、コンビニ等で使える QUO カード 1,000 円分プレゼント

※ 1ヶ月以上の場合、サービスアパートメント利用あり。(マンスリー料金あり)

## 新宿タウンホテル

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-16-15  
TEL (03) 3365-2211 FAX (03) 3365-2253  
<http://www.shinjukutownhotel.com>

タイプ	室数	料金（税・サ込）
シングル	43 室	5,700 円
ツイン	7 室	9,000 円
和室	1 室	9,000 円 (2名)

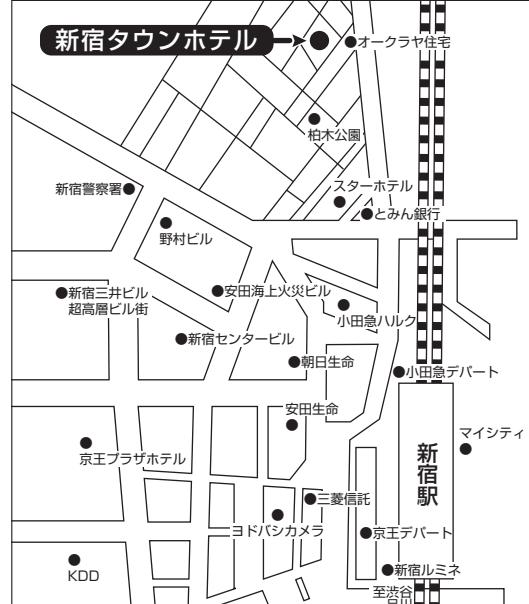
交通案内 JR「新宿」駅下車徒歩8分、  
西武新宿線「西武新宿」駅下車徒歩5分

客室設備 バス・トイレ・洗面用具・冷房・テレビ・電話・冷蔵庫・机・ドライヤーあり。ズボンプレッサーは貸出し。乾燥機付洗濯機（無料）が館内にあります。

クレジットカード 利用可 VISA UC JCB AMEX

※ 朝食（和・洋）は無料サービス。

※ 電話予約の際、夏期スクーリングで宿泊と申込すれば、通常シングル 6,300 円が 5,700 円。  
(チェックイン時に学生証提示)



## 2 交通案内・校舎案内

### ① 交通案内～通信教育部までの交通～

#### 〔東京駅乗継の場合〕

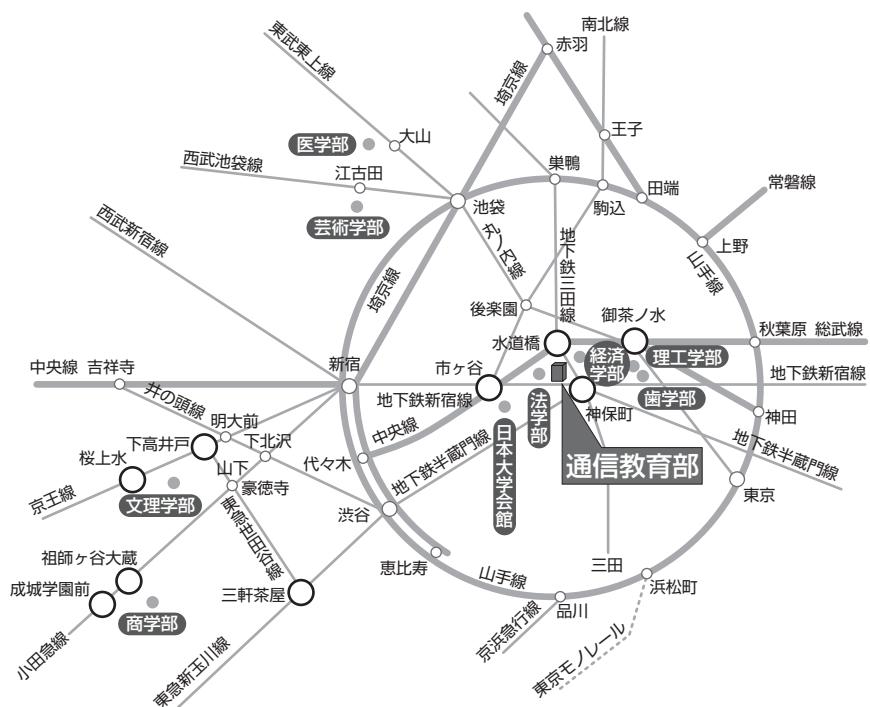
JR 中央線(1・2番線から発車する電車いずれも可)に乗り換える。御茶ノ水駅でJR 総武・中央線の各駅停車(新宿・中野方面)に乗り換え、次の駅・水道橋駅下車徒歩約5分。東京駅から約15分。

#### 〔上野駅乗継の場合〕

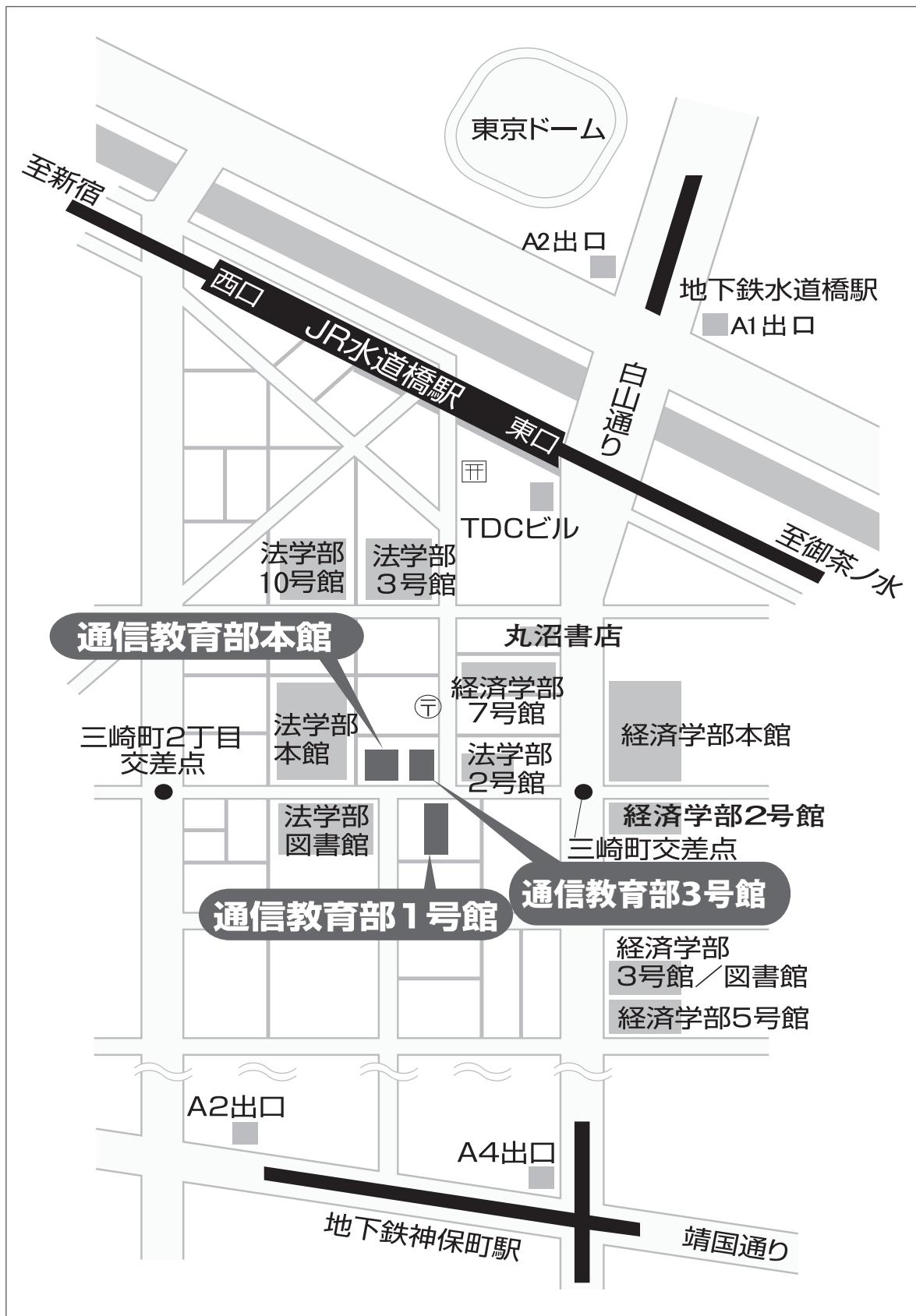
JR 山手線・京浜東北線(東京方面)に乗り換える。秋葉原駅でJR 総武・中央線各駅停車(新宿・中野方面)に乗り換え、水道橋駅下車徒歩約5分。上野駅から約20分。

#### 〔羽田空港乗継の場合〕

東京モノレールで浜松町駅下車、JR 山手線・京浜東北線(東京・上野方面)に乗り換える。秋葉原駅でJR 総武線・中央線各駅停車(新宿・中野方面)に乗り換え、水道橋駅下車徒歩約5分。羽田空港駅から約50分。



② 校舎案内



- JR中央線・総武線（各駅停車）「水道橋」駅下車 徒歩 5 分
- 都営地下鉄三田線「水道橋」駅下車 徒歩 6 分
- 都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線「神保町」駅下車 徒歩 7 分

MEMO

## スクーリング手続 チェックシート

このシートは、受講届の記入からスクーリングを受講するまでの確認用です。

チ エ ッ ク 項 目	参 照
<b>◆受講届の記入</b>	
<input type="checkbox"/> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span> 内の必要事項の記入漏れはありませんか (講座コード・講座名・充当科目コード・学生証番号・氏名・電話番号)	III-2 講座を申し込む II-2 各期の開講講座表と 講座内容 (シラバス)
<input type="checkbox"/> 講座コード・講座名・充当科目コードは一致していますか	II-2 各期の開講講座表と 講座内容 (シラバス)
<input type="checkbox"/> 希望科目的受講条件は満たしていますか (配当学年・適用カリキュラム・その他受講条件)	II-2 「開講講座表」の見方 II-2 各期の開講講座表と 講座内容 (シラバス)
<input type="checkbox"/> 申し込む開講時期は間違って記入していませんか	I-1 開講日程及び会場 I-2 開講講座一覧表 II-2 各期の開講講座表と 講座内容 (シラバス)
<input type="checkbox"/> 修得済科目を申込んでいませんか	・単位照合票 ・単位修得状況確認 (在学生専用サポート)
<b>◆併用</b> ※希望者のみ	
<input type="checkbox"/> スクーリング併用試験方式希望の場合は、受講届の「受講希望方式」欄に 『併用』を記入していますか	III-2 講座を申し込む
<input type="checkbox"/> 希望する科目的履修登録は済んでいますか	III-1 受講手続の流れ 表紙 (Ⓐ 履修登録締切日)
<input type="checkbox"/> 併用希望科目のリポートは、必要通数分を期限内に提出していますか	III-1 受講手続の流れ 表紙 (Ⓑ リポート提出締切日)
<b>◆受講届の提出</b>	
<input type="checkbox"/> 提出締切日に間に合いますか (郵送の場合は締切日消印有効)	表紙 (① 受講届提出締切日) III-2 講座を申し込む
<input type="checkbox"/> <推奨> 申込内容の控えはありますか (受講届のコピー)	
<input type="checkbox"/> 申込完了のメールは届いていますか (ホームページからの申込の場合のみ)	
<input type="checkbox"/> <推奨> 特定記録郵便で発送しましたか	III-2 講座を申し込む
<b>◆受講料の納入</b>	
<input type="checkbox"/> 受講許可通知書の内容に間違いはありませんか	IV-1 受講許可通知書を確 認する
<input type="checkbox"/> 受講料の納入期限は厳守していますか	V 受講料の納入



**DISTANCE LEARNING DIVISION, NIHON UNIVERSITY**  
編集兼発行人 福田弥夫 〒101-8354 東京都千代田区三崎町2-2-3 日本大学通信教育部